

演 習 林 年 報

1998

1997 年度活動報告等

東京大学農学部附属演習林

1999.3

はじめに

東京大学農学部附属演習林は、西は愛知県瀬戸市にある愛知演習林から東は北海道富良野市にある北海道演習林まで、全国7か所に設けられており、その総面積は約3万2千ヘクタールとなっている。それらの演習林では長年にわたる森林の経営管理、研究の歴史があり、いろいろな森林についての膨大な資料とデータが蓄積されている。

そのように、異なった地域に分布し、それぞれ利用来歴が明らかで、かついろいろな林相からなる森林群において、それぞれの森林の立地特性や成長特性および材質特性等に関する各種試験・研究が、併せて210余名に及ぶ経験豊かな演習林職員と、大学内外を問わず各方面から来られる数多くの学生や研究者によって日夜たゆまず進められている。

また、小学校、中学校、高校、大学、及びいろいろな方面からの市民団体の方々の、森林科学や生物材料科学に関わる教育実習や体験学習等にも、格好のフィールドとして幅広くご利用頂いている。

近年、森林においては、木質資源のみならずエネルギーや食料資源、さらには樹木遺伝子資源としてその質的充実を図るとともに、国土保全、水源涵養、大気浄化、気候緩和、野生生物保護、保健休養などの公益的機能が高度に発揮されるような環境資源としてその効率的な育て方や取り扱い方及び利用の仕方を確立することが急務とされている。

本演習林においてもそれらに関する調査研究を鋭意すすめているが、21世紀における人類の最大のテーマである『森林と人間の共存共栄』を実現するための方策を考えていく上で、それらの演習林が必要不可欠な研究教育フィールドとして極めて重要な役割を担っていることは今更言うまでもないことであるが、それらの演習林の機能を更に高度に発揮していくためには、グローバルな利用を促進するための情報公開と、多目的な利用を支える厚いサポート体制が今後ともに重要である。

この年報が、本学演習林の果たしているそれらの役割の一端をご理解頂く上で、いささかなりともお役に立てば幸いである。

1999年3月31日

東京大学農学部附属演習林長

八木久義

目次

| | |
|----------------------------|-----|
| I 演習林の概要 | 1 |
| II. 演習林の活動 | |
| 1 研究活動 | |
| 1-1 地方演習林研究活動報告 | 2 |
| 1-2 森林生態圏管理学協力大講座ゼミ | 10 |
| 1-3 演習林技術官等試験研究・研修会議 | 14 |
| 2 試験研究業務 | |
| 2-1 試験研究業務実行位置図 | 16 |
| 2-2 林相別面積集計表 | 44 |
| 2-3 林相別蓄積集計表 | 44 |
| 2-4 立木伐採量 | 45 |
| 2-5 育林実行量 | 46 |
| 2-6 植栽樹種 | 46 |
| 2-7 素材生産総括表 | 47 |
| 2-8 土木実行総括表 | 47 |
| 2-9 道路現況 | 47 |
| 3 利用状況 | |
| 3-1 利用概況 | 48 |
| 3-2 演習林を利用して行った論文等 | 48 |
| 3-3 全利用者 | 58 |
| 4 教育活動 | |
| 4-1 大学院（講義および演習） | 102 |
| 4-2 学部講義等 | 103 |
| 4-3 他大学への非常勤講師 | 103 |
| 4-4 講習会・セミナー等 | 104 |
| 4-5 実習 | 105 |
| 5 科学研究費・受託研究費等によって行われた研究 | |
| 5-1 科学研究費 | 109 |
| 5-2 他機関との共同研究 | 111 |
| 5-3 受託研究 | 111 |
| 5-4 奨学寄付金 | 111 |
| 6 研修 | |
| 6-1 技官 | 112 |
| 6-2 事務官 | 113 |
| 6-3 安全・防災 | 113 |
| 7 国際交流 | |
| 7-1 国際シンポジウム | 114 |
| 7-2 共同研究 | 114 |
| 7-3 外国人研究者の来訪 | 114 |
| 7-4 外国人研究者の招聘 | 115 |
| 7-5 外国人研究者の講演会 | 115 |

| | |
|-----------------|-----|
| 7-6 外国出張..... | 115 |
| 7-7 海外研修旅行..... | 117 |

8 出版・広報活動

| | |
|---------------------|-----|
| 8-1 演習林報告..... | 118 |
| 8-2 演習林..... | 119 |
| 8-3 著書..... | 120 |
| 8-4 新聞・雑誌・放送等..... | 120 |
| 8-5 学内広報・その他広報..... | 121 |

9 各種委員会報告

| | |
|--------------------|-----|
| 9-1 運営委員会..... | 122 |
| 9-2 地方林長会議..... | 122 |
| 9-3 補佐会議..... | 122 |
| 9-4 演習林会議..... | 122 |
| 9-5 将来計画委員会..... | 122 |
| 9-6 演習林編集委員会..... | 122 |
| 9-7 演習林施設委員会..... | 122 |
| 9-8 全演の事務主任会議..... | 123 |

10 学外各種委員会..... 124

11 山火事予防活動..... 125

12 主要設備..... 125

13 年間行事表..... 126

III 資料

1 人事異動..... 127

2 収入・支出

| | |
|-------------------------|-----|
| 2-1 予算及び決算額..... | 130 |
| 2-2 歳入決算内訳書..... | 130 |
| 2-3 演習林収入歳入決算内訳細分表..... | 131 |

3 組織図

| | |
|-----------------|-----|
| 3-1 本部..... | 132 |
| 3-2 千葉演習林..... | 133 |
| 3-3 北海道演習林..... | 134 |
| 3-4 秩父演習林..... | 136 |
| 3-5 愛知演習林..... | 137 |
| 3-6 富士演習林..... | 137 |
| 3-7 樹芸研究所..... | 138 |
| 3-8 田無試験地..... | 138 |

IV 付録

1 東京大学農学部附属演習林 同縮尺図..... 140

2 各演習林所在地および連絡先..... 142

3 教職員の写真..... 143

I 演習林の概要

1890年に、東京農林学校は帝国大学に併合されて農科大学となり、1894年にはその附属施設として初めて大学演習林が房総半島の東南部に位置する清澄に設けられた。これが、今日の東京大学千葉演習林である。引き続いて、地域の生態的条件、教育研究目的に応じて、北海道演習林（1899年）、秩父演習林（1916年）、愛知演習林（1922年）、富士演習林（1925年）、樹芸研究所（1943年）、田無試験地（1929年）が設置された。現在、当演習林はこれら7つの地方演習林と本部から構成されている。千葉演習林は暖帯林及び中間温帯林に位置し、その面積は約2,200ha、スギ、ヒノキ、マツなどの主要林木の育成技術と持続的森林施業に関する試験を100年余にわたって実施してきた。また、モミヤツガ、広葉樹からなる天然林を有し、これらの試験研究、貴重な天然資源は学内外の様々な分野の研究・教育に多大の貢献をしている。また、近年では、自然史や立地生態系に関連した調査、研究が幅広く行われている。

北海道演習林は亜寒帯に位置し、その面積は約22,800ha、択伐施業の実証的かつ理論的研究を通じて林学ならびに北方林業の発展に寄与してきた。特に1958年以降、北方地域の森林の持つ環境保全機能と木材生産機能との調和を図る森林施業実験（林分施業法）が行われ、その成果は国の内外から高い評価を受け、この施業法の提案者である高橋延清名誉教授はエディンバラ公賞を受賞している。各種の試験林が造成され、また奥地天然林には11,000haに及び鳥獣保護区が設けられ、北海道の森林動植物に関する各種の調査・研究に利用されている。遺伝子資源・生物資源の宝庫として世界的に貴重なフィールドである。

秩父演習林は温帯に位置し、その面積は約5,800haである。その山容は険しく、森林環境は変化に富み、生物相もきわめて多様である。また、大面積にわたる貴重な原生林を対象に森林生態系に関する調査・研究が数多く行われている。また、育苗・育林技術、天然林の更新、中部山岳林の施業法などに関する研究も行われている。そのような多様な森林を背景に、当演習林は森林植物学、森林土壌学、森林土木学など多くの実習教育の場となっている。

一方、愛知、富士、樹芸、田無の演習林は、主に林学個々の専門領域に対応した特別な研究・教育林として設置されている。

愛知演習林では、低生産性林地を対象として森林水文ならびにせき悪地の造林法に関する研究が主に行われている。森林水文に関する60年余にわたる量水観測は、わが国における土壤保全、水文研究の科学的、技術的発展に重要な役割をはたしてきた。さらに、今日では、河川の不安定化、洪水の増大などで苦しんでいる熱帯地域への国際協力の面でその貢献が期待されている。

富士演習林は富士山麓山中湖畔に位置し、森林の保健休養機能の開発及び評価を中心的課題としている。

樹芸研究所は伊豆半島南端にあり、特用樹木の利用と育成に関する基礎研究と温泉熱を利用した熱帯・亜熱帯産樹木の育成試験が実施されている。

田無試験地においては、造林学、森林植物学、森林動物学などの生物系諸分野の圃場実験、室内実験などが行われている。事務部、研究部からなる演習林本部は弥生キャンパス農学部設置されており、各地方演習林を有機的に結びつける役割を担っている。

事務部は、庶務、会計、管財、用度の4掛からなり、全演習林の予算、人事、国有財産管理などを統括している。

研究部は弥生キャンパス内にあり、演習林全体の試験研究計画の円滑な実行を支援・統括する役割を担っている。また、全演習林にまたがる総合的なプロジェクト研究の立案と実行、森林科学その他専攻、他分野との共同研究を推進する企画・調整機能を有するとともに、所属する各教官はそれぞれの専門において独自の研究を進めている。一方、「演習林報告」及び「演習林」の発行、森林科学関係雑誌の受け入れによる図書館機能、各演習林における気象観測結果のとりまとめと公表、演習林の各種基本データのデータベース化とその提供などの業務が行われている。現在、インターネットに接続されたネットワークシステムが導入され、各地方演習林を結ぶ枢軸としての研究部の情報機能が一層大きくなっている。さらに、大学院農学生命科学研究科森林科学専攻の協力講座として、森林生態系学、森林遺伝子科学、森林情報・システム学、森林水資源学の4分野からなる森林生態圏管理学大講座を組織し、博士課程及び修士課程の学生を受け入れて大学院教育を行っている。

II. 演習林の活動

1 研究活動

1-1 地方演習林研究活動報告

千葉演習林

ヒノキ人工林造成過程における遺伝的多様性の変動

人工林、特に収穫までに100年近い長期を要するヒノキなどの樹種では、成林の安全性の確保が重要であり、それを保証するためには、林を遺伝的に多様な状態に保つことが有効である。ところが、現在のところ、人工林の造林、保育等の過程での、集団の遺伝的多様性の変化については、ほとんど明らかになっていない。そこで、本研究では、秩父演習林における天然林と人工林の遺伝的多様性の比較、樹芸研究所における人工林の取り扱いによる多様性の変動の追跡、民間苗畑における育苗過程における多様性の変動の追跡、また、千葉演習林や演習林研究部における遺伝子の分析等を通じて、ヒノキ人工林の遺伝的多様性の実態を明らかにする。これまでに、育苗過程において、自家受粉に起因すると思われるホモ接合体の減少やクローン化による多様性の変動状況、天然林と人工林の遺伝的違いなどについて明らかにした。

造林地植生の動態

スギ、ヒノキ造林地を対象に、遷移の観点からの群落の動きと雑草木管理との関係に関する生態学的検討を1969年より行ってきた。今年度では、千葉演習林札郷作業所管内前沢にて皆伐後6年間のスギ幼齢林地群落についてこれまでに既に得られている調査資料の解析とまとめを主に行った。調査・解析結果から立地環境の異なる斜面各位置により群落の動態・遷移の様相が異なり、特に優占種の交替パターンや遷移の速さが異なることがわかってきた。

スギ・ヒノキ林における長伐期、複層林施業に関する間伐方法の研究

千葉演習林のスギ、ヒノキ人工林の面積は約800haあり、そのうち60年生以上の伐期に達した高齡林が約50%を占める。今後これらの高齡林の施業方法として、皆伐面積は年3ha前後とし、その他の人工林は長伐期林に移行する。現在、長伐期施業林の造成のために間伐方法の検討を行っている。平成9年度から次の4種の間伐方法を実施し健全な高齡林の造成を目指す。

1) 環境保全型間伐法

本間伐法は過密高齡林分を比較的低い間伐率により、個体間競争を緩和し、林床植生が繁茂する健全な林分の造成を目的とする。

2) 長伐期施業型間伐法

本間伐法は長伐期施業を想定し、間伐により最大限の利益を得ると同時に将来の大径良質材の生産を目的とする。

3) 複層林施業型間伐法

本間伐方法は複層林施業を念頭においたもので、長伐期施業型間伐より、さらに強度な間伐を行い、林床に植栽した下木の生育に必要な林内照度を維持することを目的とする。

4) 帯状間伐法

本間伐法は主策線に対し魚骨状に20mの幅で伐採区、残存区を繰り返し、本間伐法の長所、短所を明らか

にする。

スギ人工林におけるスギカミキリ被害の発生機構解明

千葉演習林でスギは最も主要な造林樹種である。今日まで千葉演習林でのスギカミキリ被害は軽微であったが、現在では演習林周辺の開発・職員の減少から育林施業をこれまでと同様に行うことは難しい。すなわち被害の発生拡大が懸念される。よってスギカミキリ被害の実態を把握すべく調査を行った。対象はIV齢級の8カ所の林分で斜面上部と下部、各50本を調べた。その結果、調査木800本中11本で孔を確認、林分での被害率は0~6%、全体で1.4%であった。今回の調査では被害率も極めて低く、人工林の管理上問題になるレベルではなかった。しかし、被害が単木に集中する傾向があり、新しいと思われる脱出孔も確認されているため、今後もモニタリングする必要がある。今後は他の齢級での被害の把握と、被害部位の解析、羽化成虫数の年次変動などの調査も行い、スギカミキリの被害発生機構を解明し、スギカミキリ防除をシステムティックに行える体制づくりを目指す予定である。

総合対照流域法による森林 環境系の応答解析

森林が環境におよぼす影響を、対照流域法を用いて総合的に解析することを目的として、2林班C1小班に袋山沢試験地を設定した。試験地はひとつの集水域(C流域、2.03ha)からなり、北側のA小流域(0.80ha)、南側のB小流域(1.09ha)および残流域に3分される。植生はスギ、ヒノキ壮齢人工林である。A、B、Cの3流域にそれぞれ量水堰堤が設けられており、流出水量・水質、堆砂量、浮遊砂濃度などを観測している。各流域の中では、降雨が樹冠に触れてから溪流へ流出するまでの経路に沿って、樹冠通過雨、樹幹流下雨の水量と水質、地表面流の発生場の分布、不飽和土壌水の深度分布と水質、地下水水位の変動と地下水水質、地温、土壌中CO₂濃度などを観測している。近い将来、AまたはB小流域の森林を皆伐し、その影響を解析する計画である。A、B小流域で観測された流出量を比較したところ、年流出量ではA流域の方が多いいにもかかわらず、基底流出の逡減時の流出量はB流域の方が多いいという結果が得られた。

ヤマビルの生態

房総半島南東部では1985年頃からヤマビルの大量発生が認められるが、防除方法を考える上で重要なヤマビルの生態についてはほとんど明らかにされていない。ヤマビルの総合的管理(密度低下、分布域の局限化など)システムの確立の基礎として、当流域における個体群変動要因、生活史、生息環境要因などを明らかにする。千葉演習林全域およびその周辺において、定点および一定ルートにおける定期的な野外個体群の採集を行い、ヤマビルの分布、生息数および寄主動物等を調査している。天津実験室において、給餌を伴う飼育個体の観察から生活史を解明している。清澄および郷台作業所管内の林内にデータロガーを設置し、生息場所である落葉の下の温度を測定している。ヤマビルの分布、生息数にニホンジカが深く関係していると考えられた。ふ化から産卵までの最短期間は5カ月であると推定された。生息場所である落葉の下の温度は林内気温と比較して変動幅が少なく、比較的安定していると思われた。

北海道演習林

北方天然林の持続的森林経営の実験

森林生態系の保全に配慮し、林分の個性を尊重しながら、健全で活力ある森林の育成を目指す「林分施業法」による大規模な施業実験を行い、40年が経過しようとしている。実験の対象面積は約2万haあり、これを里山と奥地の2つの作業級に分け、10年ないし20年周期で成長量に見合った弱度の択伐(材積伐採率

16～17%)を丁寧に行い、残った樹木の生育を促進させるよう、樹木の個体数、現存量、種の多様性の維持を林分ごとに図っている。施業実験林では林分施業法を広く普遍化させるため、択伐、補植などの林分をタイプ分けし、それぞれの林分に適した取り扱いを行いながら、森林を構成する生態系を解明し、森林構造と生産力を定量化し、より確実な後継樹確保のための技術や、これらを統合した情報管理システムの確立と最適な森林の取り扱い方について理論的・実践的な研究を行っている。

遺伝子資源の保全管理と利用に関する研究

本演では1952年に林木育種の研究が開始され、成長が速く耐病性や耐鼠性などに秀でた樹種に関する研究および育成が行われてきた。現在ではカラマツ属やカバノキ属の樹木を中心に、主に北方圏の諸外国から種子を収集・育苗し、開葉や黄葉などのフェノロジー特性の調査やDNA分析による種間関係の解明を行っている。また、全演協の共同研究で、前年に引き続きナラ類の種子交換を行い、発芽時期、開芽、紅葉のフェノロジー調査を行った。さらに、産地別に植栽されたミズナラの初産齢と樹木サイズとの関係を調査した。

一方、天然林において、トドマツとエゾマツの遺伝的多様性を評価するために、産地標高の異なる家系を対象に、成長や繁殖特性に関する調査を行った。その結果、高標高の家系と低標高の家系では様々な点で特性が異なることが明らかとなった。さらに、トドマツについてはアイソザイム分析を行い、標高による形質の違いを遺伝的側面で検証し、加えて択伐施業がトドマツ個体群の遺伝構造に与える影響について検討を行った。

天然林の長期観測大面積プロットによる林分動態の解析

天然林では樹木の生育分布が均一でなく、わずかな立地条件の差の影響を受けやすいので、その動態を把握するためには十分な個体数と現存量のある箇所で大面積プロットによる継続調査が必要となる。また、樹木の寿命は非常に長く、環境変化に対する反応速度が遅いため長期的な継続調査によって個体の成長、枯死、更新などの状況を把握することが不可欠である。これらについての良質な情報は大面積プロットにおける長期観測でしか得られない。本演では前山保存林に1992～93年に36ha、岩魚沢保存林に1994年に19haの大面積プロットを設置し、個体ごとの成長、進界・枯死木の記録測定を5年毎に行うことによって森林動態について長期モニタリングを実施している。

人工林育成技術と施業法に関する研究

本演では、山火事跡地、風害跡地及び天然更新の難しいところを中心に、これまでに3,463haの人工林を造成してきた。植栽された樹種数は、針葉樹58種13変種・広葉樹48種7変種で、その多くは林木の品種改良を研究目的として、国内外より導入したものである。このうち事業的造林樹種としては、トドマツ・アカエゾマツ・エゾマツ・ストロブマツ・カラマツ・ゲイマツ×カラマツ F_1 ・ヨーロッパトウヒ・シラカンバ・ヤチダモ等であるが、第10期(1986年～1995年)以降は試験的なものを除き、自生種以外の造林は実行していない。また、ミズナラ・ハリギリなど広葉樹林の造成を積極的に行っている。今後、これらの人工林は試験林を除き、間伐期に到達した各種人工林に対しては、機械化による間伐システムの開発や林内更新法の確立をめざし、また択伐施業地内の人工林に対しては、皆伐せずに針広混交多層林に誘導することを目的として、針葉樹と広葉樹との混交化を調整する間伐を積極的に進めるとともに、保育の段階でも侵入した広葉樹の本数調整を行なう等の方法を取り入れることにしている。

風害地の森林形成過程に関する研究

1981(昭和56)年、北海道を襲った台風15号は本演の森林にかつてない大被害をもたらし、被害面積約

8,700ha（内、激害地3,100ha）、被害材積約81万m³に達した。このため、多くの施業実験林や試験地が壊滅するとともに、広大な無立木地も生じた。

これらの風害地に対し、風害直後からその森林復旧対策として、植林と地がきを施し、現在まで面積にして1,154haについて植林が、そして860haについて地がきが終了した。また、これらの復旧対策と関連して、風害地内に各種の試験地を設定し、植生の遷移、立地と天然更新状況、森林形成過程における森林土壌動物相の変化、菌類の動向、さらには水収支の変化等を課題とする研究を行ってきた。その結果、これまでに風害跡地は、その環境により森林の回復パターンに大きな違いがみられること、天然下種更新を促進させることによって相当の更新稚苗が期待できること、また更新樹種によっては共生菌や菌害がその生残に大きく関与していること等々が明らかとなった。このように、一度破壊した森林を復元させるための技術確立には、極めて長期的な時間経過を必要とするが、これは地球規模での緑の回復のためにも重要な研究課題であるので、今後も本研究を継続する。

森林生態圏が生み出す水資源及び水辺の環境に関する研究

本演では、1983（昭和58）年より亜寒帯林の水収支の研究として、その基礎資料の収集を行ってきたが、その解析は不十分であった。そこで、今期（1996年～2005年）は、1)天然林の流域における短期及び長期の流出特性、2)風害地流域における降雨・流出関係の特性、3)河畔林の構造とそこに生育する生物種との相互関係、4)天然林流域における水質（pH、ミネラル、味、色など）の評価・解明のために、更なる研究を進めることとした。本演は、北海道の主要河川である石狩川の支流最上流部に位置し、寒冷多雪地の火山灰堆積地帯に位置しており、日本の他地域に比較してマイルドな応答関係をもつといわれている。従って、この地における広域な集水域の森林状態と併せて、降雨・流出関係を特定することは水文学の研究上意義深いことである。また今後、多様化するであろう水資源および水辺の環境に関する知的需要のなかで、森林生態系が生み出す水資源の涵養機能と森林流域の生態的特性の解明は、森林災害防止の観点からも重要な研究課題である。

秩父演習林

森林施業情報管理利用の高度化とシステム化に関する研究

地理情報と施業履歴情報を対としてシステム化し、森林での施業実験計画を具体化する研究を行っている。試験研究として行われる目的の異なる森林の取り扱いに関しても高度に配慮しながら、施業実験を編成し、摺り合わせて、限られた森林空間で多数の試験研究、施業実験を並立していくことに関する研究を行った。地理情報システムを活用すると共に、情報ネットワークを高度に活用し、試験研究、施業実験などのデータベースを、地図情報と合わせてイントラネットを通して高度にまた容易に用いることを可能とする施業情報管理利用システムを研究開発した。研究成果を、迅速に世界的に公開する方法や基準について検討した。施業実験においては、作業車両の走向移動や伐倒木の採材のしかたなど、リアルタイムでデータを採取、データベース化しながら、付加価値の高い資源利用の方法を、森林を攪乱しないやさしい技術で実現することも検討を行った。

山岳林における森林利用基盤整備に関する研究

地形急峻な山岳森林地帯における森林施業実験や試験研究を効率的に遂行するための基盤整備手法について研究した。林道や歩道及び軽軌条施設など、質の異なる施設を特色を生かしながら組み合わせ、広大な奥地林内に広がる試験地へのアクセスを容易にし、林況の異なる林分を広範に試験研究の対象とすることを可

能とすることを目的とした。現在、自動車道路の規格で、道路延長が約12km、密度は2m/haとなり、試験地を多く沿線に設定しているが、より広範な規模内容での試験研究、施業実験の効果的な推進には、基盤としての道路網のさらなる整備が不可欠であることが明らかである。地形急峻である故に安易な道路の開設は森林の破壊、攪乱に繋がるので、地形に応じて、モノレールなど自動車道路以外の規格・施設を適用することによって、森林にやさしい林道網を具現化する方法について検討した。現在の歩道を含む39m/haの林道網は、試験地や施業実験対象林分への最低のアクセス条件を確保したものである。自動車道や軽軌条施設などを組み合わせ、少なくとも現在の歩道程度の密度の道路網によって、林地への到達性を実現することが適切であると考えられた。

大面積プロットによる山地帯天然林の生態系の解明

入川林道の到達にともない、1991年から、標高1,200m付近のブナ・イヌブナ原生林において、測量、水平距離25mの方形区内の樹木測定、リター回収などを始め、順次、気象観測ステーションや宿泊・休憩施設、樹冠観察・林内微気象観察用の鉄塔建設などを行ってきた。1994～1996年度に文部省科学研究費を得て、約25mの鉄塔を2基加え、再測量と毎木調査などを行った。林道の両側の16.5haの地域のうち、5,0625haの毎木調査を終了し、72種の樹木を記録した。優占種はイヌブナ（胸高断面積合計12.16m²/ha）、ツガ（10.44）、ブナ（7.21）であった。鳥類の群集構造や個体群動態の環境条件を把握するために、3カ所で植生断面図による空間構造解析を行った。1997年度も微気象観測（5つの階層における気温、日射量）、樹冠部の昆虫群集、ロボットビデオカメラによって撮影した映像の解析（フェノロジー）などの研究を森林科学専攻の研究室と共同で行った。

大型野生動物の個体群管理のための基礎研究

当演習林内に開通する国道140号線の工事や交通の、自然環境への影響を明かにする調査の一環としてツキノワグマ個体群の動態を中心に調査している。入川流域6カ所と滝川流域の国道周辺7カ所に捕獲器を設置し、捕獲作業を行った。捕獲個体は各部の計測・採血をし、耳タグとマイクロチップをつけ、大個体には首輪式発信機を装着して放獣した。1997年には、7月から8月に14個体が18回捕獲された。32個体の歯の切片標本を用いた齢査定によると、0才から、雄で推定14才、雌で推定11才の個体までが捕獲された。21個体が2度以上捕獲され、最高で雄（S27）が6年間に11回、雌（O56）が6間に9回捕獲された。雌の定着個体の生息密度は、7～8km²当たり1頭程度であった。雄は、最大で60km²までの広い範囲を1年の内に移動し、9km以上移動した。滝川流域において、ニホンザルの雄（体重12kg）に発信器を装着し、生態調査を開始した。

土捨場跡地の植生回復

国道140号のトンネル掘削工事にもなって生じたズリによって、ワサビ沢平場が1995年秋に完成した。この平な地表面は、有機物の少ない礫から成り立ち、周囲からの土壌の流入がなく、崩落などによる地形変化は起こらないので、植生の一次遷移の研究地として恰好の場所と目された。また緑化のための植生回復の工事が予定されているので、人工的な緑化と自然にまかせた緑化との比較も好奇心を惹くものである。1997年には、植生回復の試験地を設定し、その一部に客土施肥・播種の処理を行い、ほぼ半分を防護柵（高さ2m、5.5cmメッシュ金網）で囲った。柵内の客土・播種区では、前年に比べて、最大植物高が2倍、植被率が10倍以上となった。柵内の客土・播種区の地上部現存量は82.5g/m²で柵外の客土・播種区の6倍であった。柵外では主要な構成種である、オノエヤナギ、ヨモギ、バッコヤナギを含めて17種にシカによる採食痕が確認されたが、柵内では全く確認されなかった。

秩父地方山地帯天然林の更新に関する基礎的研究

当演習林内には人為的な攪乱がほとんど入っていない天然林（原生林）が保存されている。そのうち1988～1993年に太平洋側の山地帯林を代表する林分であるブナ - イヌブナ林に2カ所、シオジ林に2カ所、900～2500m²の調査区を設置して、樹木の更新問題をあつかう上で重要な基礎資料となる種子落下数の季節および経年変化調査を、ブナ、イヌブナ、シオジ、サワグルミを中心にリタ - トラップを用いた方法により行っている。1988～97年でそれぞれの年間種子落下数が最大であったのは、ブナが1993年の282個/m²、イヌブナが1988年の944個/m²、シオジが1996年の949個/m²、サワグルミが1997年の401個/m²、だった。またそれぞれの年間種子落下数が100個/m²以上であった年は、ブナが1993、1996年、イヌブナが1988、1993、1995年、シオジが1988、1990、1993、1995、1996年、サワグルミが1990、1991、1994、1997年で、樹種ごとに種子の豊凶特性が異なっていた。この他に、葉、枝など他器官の落下量の季節および経年変化、デンドロメータによるブナとイヌブナの胸高直径の季節および経年変化などの調査も行っている。

秩父山地亜高山帯域における風倒跡地の更新過程

標高1950m付近に位置する1959年15号台風（伊勢湾台風）により生じた風倒跡地に1971年に130m²の調査区を、隣接する1840年頃と1880年頃の2度の風倒により更新した林分に1989年に438m²の調査区をそれぞれ設定して、風倒跡地の更新過程を調査している。前者の調査区では風倒後35年目までに高木層でダケカンバを中心にシラベとウダイカンバが混ざって優占する林分となり、設定以来7～8年毎に行った測定調査から亜高木層以下でコメツガの割合が徐々に増している様子が明らかとなった。一方、後者の調査区は成長錐により採取したコア試料の解析結果から、風倒後110年目までにシラベとカンバ類が優占する林分からコメツガ林に移行する過程にある林分と推察された。これら二つの調査区の更新過程がどのように繋がり、また後者の調査区が今後どのように推移するのかを、測定調査を定期的に行うことにより明らかにしていく。

愛知演習林

渇水時における都市近郊水源林の水資源供給量の評価に関する研究

水利の調整は極めて難しい問題であり、木曽川など多くの組織が水利権を有している場合は、後発の水利権者は極めて不利な状況におかれている。そこで、この研究では、瀬戸市などは木曽川にのみ水源を求めるのではなく、市域の水源を開発することも渇水回避の一つの手段として考えられるという立場をとる。具体的には都市近郊の水源林の整備、廃止されたため池の機能の回復を想定している。

本演習林は潜在的に瀬戸市の水源に位置し、保安林として水源涵養林の指定を受けている。精度の高い水文資料を擁しており、自然科学的な側面からこの渇水において水源林からの流出の特性を整理することが可能である。また、この資料を基本にして、水源林の整備あるいは廃止されたため池の機能回復などの手段によって、渇水回避あるいは水資源開発が瀬戸市のレベルでどの程度可能なかを推算してみることも比較的容易である。

森林水文に関する試験研究

試験流域の量水観測成果は、気象要素とともに観測以来70年の資料が蓄積され、きわめて貴重な学術的価値を有している。現在のところ、量水観測は降雨 - 流出系の観測体制であり、その種の研究が中心となっている。今後は、この貴重な森林量水試験の蓄積を継続発展させ、降雨遮断・蒸発散・斜面流出等の水文素過程別の研究と併せて、水源涵養機能のメカニズムを解明することを目標としている。

量水観測は流域の森林成長と同時並行的に継続観測されることが学術的に貴重である。しかし、過去に遡って森林の成長過程を数量的に追跡する方法論が確立されていないことで、森林状態と雨水流出との関連づけが未だ十分に行われておらず、今後の研究テーマの一つである。

犬山地区では斜面ライシメータで集中的な素過程別収支観測が行われ、山地における水循環機構を詳解するための予備的研究が進められている。この研究は将来、小流域レベルに拡張されることを前提とした研究であり、降雨－流出系の制約にとらわれない研究手法である。

蒸発散の直接測定が可能となり、これと組み合わせて森林微気象、樹液流、降水遮断の研究が赤津でも進展しつつあり、物質循環と水循環の関係の観測・解析と同様に森林生態学と水文学を結び付けた研究が計画されている。

痩せ地における森林造成に関する試験研究

森林の環境保全機能（水源涵養，洪水防止，保健休養等）を維持しつつ木材生産を行う森林施業法を確立することも、愛知演習林における試験研究の重要な柱である。

天然生林については、1968年からモザイク状皆伐更新法試験（沢を中心に左右交互に0.1haを上限に伐採，植栽）を実施している。これは、一斉皆伐に比較して、土壌の保全、あるいは動植物への影響の軽減、台風等気象災害の防止等、有効と考えられる。

人工林においては、間伐法を変えたスギ，ヒノキの総収穫量の比較試験、植栽密度を変えたヒノキ林の生産量の比較試験、恒続的収穫と森林の公益的機能の発揮を両立させる複層林造成試験、成長が劣る林地における肥培効果の比較試験等を行っている。

都市近郊林に関する試験研究

愛知演習林は立地条件から、東海都市圏を取り巻くグリーンベルト地帯にあるので、森林の多面的機能の解明を目的とする研究実験林としての位置づけを明確にし、都市近郊林・環境林に関する自然科学、社会科学を複合する総合的研究が始まろうとしている。

計画段階の項目が多いが、具体的には、都市部と森林との相互作用を水・大気・土壌を媒介として測る自然科学的研究、都市住民あるいは都市部・農村部の産業活動に及ぼす森林環境の機能評価に関する社会科学的研究、森林生態系を保持しながら都市公園の機能を有する森林域の造成実験およびそれに関する各種の試験研究が挙げられる。

富士演習林

景観定点観測および景観を中心にすえた森林管理

富士演習林は、わが国の代表的なリゾート地にあり、近年は、森林レクリエーション計画、景観管理および森林風致施業手法の確立に関する研究を課題としてきた。1988年5月から、原則として毎月下旬に、林内14カ所の定点において、35mmレンズカメラで30-70mmズームレンズを使用してスライド撮影をおこなっている。本年度は、12回の定点撮影を行った。また、林内各所で植物季節的な観察記録を、年度途中からはデジタルカメラ撮影を併用して行っている。長年の気象データなどと対比させ、景観の変化、森林の動態、気象変化など森林環境の変動と特質を、日本の象徴のひとつである富士山をモチーフにして表現し、視覚的に万人に理解されるように伝える手法の基礎データとすることをめざしている。1997年度には、過密となったヒノキ人工林の一部を、本数比率で46%、112本、景観管理の観点から間伐した。

多様な寒地性樹種の成長試験

亜高山帯移行域の冷温帯山地気候にあることを生かし、カラマツを中心とした寒地性樹種の育苗、育林、成長試験等に関する研究が継承されている。また、ブナ・ミズナラ等、天然性樹種の長期結実・更新動態の観察などが始まっている。ヨーロッパトウヒ・ストロームツ・ウラジロモミ・トドマツ・アカエゾマツ等の寒地性樹種の成長試験地標本木の胸高直径の測定をおこなった。また、高標高域（寒地）におけるヒノキの成長試験、日本各地から採種したブナ実生の成長試験のための胸高直径、樹高等の測定や実生の発生調査をおこなった。

ブナ植栽試験地の成長経過

標高99mの、2林班12小班の828m²に、1959年に山梨県林業試験場（現・森林総合研究所）から苗木の提供を受けて人工植栽された203本の内、生残していた170本のブナの樹高・胸高直径および東西南北4方向の枝張り長を1994年3月と1995年3月に測定した。1994年3月に小径木と樹幹解析標本として各直径階のものを5本、計87本を間伐し、83本を残した。1993年に堅果が豊作だった結果生じた実生の発生消長を1994年以降追跡し、またリタートラップによる種子生産量のモニターも行われている。

気象観測

2林班の、標高1,000m地点において、1952（昭和27）年1月から、毎日、午前9時の気温、雲量、気圧、湿度、地下20cmと地下1.0mの地温、最高・最低気温、積雪・霜などを記録している。富士山の東麓にあって、変化の激しい山地気象であり、冬は富士山から寒風をうけてすぐ近隣の地区よりも低温、多雪であるなど、特殊な山地の気象記録を蓄積している。1997年1月から1997年12月までの1年間の、年平均気温は摂氏7.9度、最寒月は2月で月平均気温摂氏マイナス3.8度、最暖月は8月で月平均気温摂氏21.3度、年降水量1583mm、最大積雪深45cmであった。

樹芸研究所

組織培養による熱帯産アカシアの増殖に関する研究

近年の植物育種では、遺伝子導入などのバイオテクノロジーを用いた新品種の育成が普通に行われるようになってきているが、樹木においては一部の樹種を除いてこのような技術が通常の育種に用いられるような状況には至っていない。しかし、熱帯地域をはじめとする脊悪地における森林再生では、強酸性土壌、乾燥土壌など過酷な条件に適応できる高い環境適応性を必要としており、バイオテクノロジーによらなければ達成できない課題が多く、その技術の開発が望まれている。そこで、熱帯地域の荒廃地の森林再生に用いられているAcacia auriculiformisにさらに高い環境適応性を付与することを目的に、遺伝子導入技術の開発に資する一連の技術を確立することを目指して実験室および温室で研究を続けている。これまでに実生、苗木などの生育段階の異なる植物体を出発材料として、組織培養によるクローン増殖法を確立したほかカルス培養法についても明らかにした。1997年度は、これら一連の技術開発の一環として、細胞選抜、細胞融合、遺伝子導入といった技術の中核となるカルスからの植物体再生法について検討を行なった。

熱帯産マメ科樹木と根粒菌との共生機構の解明及び有用根粒菌の探索に関する研究

現在、熱帯地域では大規模な森林破壊や土地の荒廃といった環境悪化が大きな問題となっている。このような荒廃地の森林を再生するために、熱帯地方の瘠悪地における有望な造林樹種として注目されているアカシア属樹木と、その共生菌であり窒素固定能力を持つ根粒菌との共生が植物体の環境ストレス耐性及び生産

性に及ぼす影響の解明を目的として、実験室および温室において研究を行なっている。1997年度はNaCl耐性菌株の選抜を行い、NaClストレス下においても良好な増殖を示し、さらに根粒形成能力にも優れた根粒菌を得ることができた。今後、さらに強酸性や重金属に耐性を持つ菌株の選抜や、選抜した菌が植物体の成長に及ぼす影響を調査する予定である。

産地の異なるブナのフェノロジー及び生理特性に関する研究

1990年以降、ブナの地理的変異を解明するため、同一条件下で育苗したブナを用いた産地別相互植栽試験が全国13カ所で実施されており、樹芸研究所でも青野試験林内に植栽して調査を行なっている。1995年から行なっているフェノロジー特性の調査では、開芽期の早遅に他の植栽地と同様の傾向が認められ、北海道、東北産のものが最も早く、それに日本海側の産地、九州産の順で続き、天城、山梨、沼津産が最も遅いことが明らかになった。1997年には樹芸研究所と富士演習林に植栽した個体について葉の形質の調査を行い、北海道演習林と秩父演習林における調査報告と比較した結果、葉面積は高緯度、日本海側のものほど大きく、この産地間の差異は遺伝的に固定されていることや、植栽地の気象条件により葉の形質に変異が生じる可能性があることが示唆された。また、1997年からは光合成の調査を開始した。今後、生理特性の地理的変異についても調査を進める予定である。

田無試験地

アカシア属樹木を用いた接木に関する研究

田無試験地では、挿し木、接木といった育苗技術に関する研究を行っており、こうした技術を使って造林法の改良を目指している。具体的には、接木を利用して性質を改良した樹木を作出し、それを造林木として利用できないかと考え、成長が優れているが、耐乾燥性が劣る樹種と、成長は悪いが耐乾燥性が優れている樹種を適切に接木することによって、成長も良く耐乾燥性にも優れている個体を作成しようと試みている。

近年は、マメ科のアカシア属樹木数種を用いて接木実験を行っている。これらの中には耐乾燥性や耐塩性があるといわれているもの、早生のものなどがあり、それらをいろいろな組み合わせで接いだときの耐乾燥性および成長等の変化について観察している。また、接木の効率を高めるということも重点課題としている。その結果、耐乾燥性があるといわれている *Acacia auriculiformis* を台木として早生の *A. mangium* を接いだときの活着率が比較的高かった。またこの組み合わせでは、水ストレスをかけたとき、他の組み合わせで活着した苗が早期に枯死したのに対し長期間枯死せず生育した。接木により台木の特性が接穂に影響し、接穂の耐乾燥性が高まったものと思われる。

1-2 森林生態圏管理学協力大講座ゼミ

平成9年4月25日(金曜日) 15:00~16:30

場所：農学部1号館 第7講義室

題目：「北海道演習林の天然林施業について」

担当：研究部 山本 博一 教授

北海道演習林では、林分材積、立木本数、樹種数樹木の直径分布そして立木価値の持続を目的として1958年から林分施業法を実施している。現在、以上のことを念頭に置き天然更新の状況に応じた林分区分、効率的で的確な現存量と林分構造の把握、固定試験地における成長量の把握、現地検討会を通じた意志疎通

と技術の伝承、伐採木の選木、伐採作業の指導と監督および優良広葉樹（ウダイカンバ、ミズナラ、ハリギリ、カツラ、ヤチダモなど）の単木管理に取り組んでいる。現在の問題点としては主に3つ挙げられる。一つ目は、風害跡地の更新木のほとんどをダケカンバが占めていること。二つ目は、奥地天然林ではエゾマツの天然更新がうまくいかず個体数の減少が見られ、また広葉樹があまり切られなくなっているため全体として林分構造が変化していること。三つ目はヒグマ、エゾジカ、クマゲラおよびシマフクロウなどの野生動物とどう共存していくかということである。個人的に興味深かったのは、密度効果が森林の純成長量を規定することから、なぜ16%の伐採率でいいのかが説明出来たことだった。今後の課題としては、世界的な自然環境の変動が予測されるなかで、遺伝的多様性の基準およびその維持管理の方法を確立することが挙げられると思う。（高橋 瑞樹）

5月30日（金曜日）14：40～16：30

場所：農学部1号館 第6講義室

題目：「人工酸性雨に対する樹木の耐性比較」

- 内容
1. ドイツの酸性雨被害（Hessen州を中心として）
 2. 韓国の酸性雨の現況
 3. 酸性雨に対する樹木の耐性比較

担当：韓国公州大学 鄭 龍文 教授

人工酸性雨に対する樹木の耐性比較という題目で、内容は以下の3つであった。第一は、ドイツにおける酸性雨被害についてで、Hessen州における酸性雨被害は、森林全体でいうと、弱度33.6%、中程度8.2%、強度0.6%である。被害原因は大気汚染によるもので、発電所や工場、自動車などから排出されるSO₂、NO₂、ほこりなどであるとしている。

第二は、韓国における酸性雨の現況についてで、環境基準はSO₂が0.03、NO₂が0.05（ppm/year）などに設定されている。国内各地の測定値はいずれも減少しつつあるが、スモッグの原因となるO₃は、夏期に基準値を上回ることがある。酸性雨の基準はpH5.65以下であるが、測定した値は大体pH5台である。しかし冬期にはpHが3～4まで下がり、最大ではpH2.8まで下がった例もあり、今後はさらに環境基準を厳しくする必要のあるとの指摘があった。

第三は、酸性雨に対する樹木の耐性比較についてで、人工酸性雨を芽生えに撒き、反応を見る実験を行ったところ、全体として、針葉樹の方が広葉樹に対して高い耐性を示すというデータが得られた。（田中 恵）

6月27日（金曜日）15：00～17：00

場所：農学部1号館 第6講義室

題目：「成層火山における水収支」

内容 インドネシアメラピ火山をフィールドとした総合的な水文研究の成果

担当：愛知演習林 芝野 博文 助教授

試験対象流域は、ジャワ島メラピ火山南西斜面一帯である。対象流域には、プチ川、ブロンケン川を含む四つの河川が放射状に流れていて、プロゴ川に注いでいる。はっきりとした雨季と乾季を持ち、乾季になると、降水量はほとんどなく、河川の流量もほぼなくなる。雨季には、空間的にも、時間的にも集中的に降雨にみまわれる。成層火山であるため、深部浸透量は日本の山に比べてかなり多い。また、深部浸透量は、標高と比例関

係にあり、標高が高くなるごとに深部浸透量は大きくなる。四つの河川での降水量、蒸発量、河川流量から、各流域での水収支を計算すると、プチ川に比べて、ブロンケン川は河川の流量が多い事が分かった。それは、プチ川はブロンケン川に比べて流域面積も狭く、高いところに流れているのでプチ川流域で深部浸透した地下水は、ブロンケン川へ受け渡されるためである。火山地帯特有の水収支が閉じてない流域で、流域どうしの水の受け渡しを考えることで、水文学的モデルを構築する事ができた。（本阿弥 俊治）

9月26日（金曜日）15：00～17：00

場所：農学部1号館 第6講義室

題目：「ニュージーランドの森林・林業の現状と課題」

担当：田無試験地 大橋 邦夫 助教授

国土面積が日本の約7割のニュージーランドは、国土の約8割が森林、牧草地、田畑に利用されている。そのうち森林面積は約3割を占め、植林地（殆ど全てラジアータパイン）面積は国土の5～6%にすぎない。天然林に関してはその殆どが国有林である。木材伐採量は日本の約半分の16,833千m³であるが、森林の単位面積当たりの伐採量は日本の約5倍にのぼる。また木材伐採量の99%以上が針葉樹である。1980年代中頃から行政改革を進めてきたニュージーランド政府は国有林野事業の民営化を決め、これまで国が管理してきた人工林の経営権を民間に払い下げた。そのため、現在、植林地総面積160万haのうち94%が民間の管理に委ねられている。また海外の資本が65%を占めるのも特徴である。ニュージーランドは木材の殆どを輸出しているが、このままのペースで木材生産を行っていくことが今後の木材需要の動向を考えたとき、妥当であるのかどうか疑問視される。またラジアータパインだけを植えることで多様性が低下し生態系に何らかの悪影響を与えるのではないかと感じた。これまでに絶滅した動植物はないのか、また絶滅にひんしている種はどうか、もしあるとすればその原因の一端を現行の林業形態が担っているということはないのか、などを知りたいと思った。（高橋 瑞樹）

10月27日（月曜日）10：00～13：00

場所：農学部1号館 林学会議室

題目：「修士2学生中間報告会」

担当：本阿弥、高橋、山野邊

11月28日（金曜日）15：00～17：00

場所：農学部1号館 第六講義室

題目：「コゲラ個体群の系統の研究と森林保全」

担当：研究部 石田 健 講師

コゲラは俗に言うキツツキの類で、日本・朝鮮半島を中心とした東アジアに分布する。その食性は主に昆虫を対象とし、その他、植物の実も対象とする。繁殖における、つがい関係は、その役割（給餌、抱卵）を同等に担い、また、行動もともにすることが多く、このことは他のトリにはあまり見られない特徴でもある。巣穴の近辺、約20haを行動範囲としてもち、個体サイズの割には非常に広く、見方を変えると、コゲラの生息の確認は、森林資源の多さとも取れなくはない。コゲラが1980年代より（それ以前の確認記録はない）東京の平野部での営巣が確認されるようになった。山間部における森林の減少にともなう形で、連続的な緑の回廊的森林を伝って、徐々に武蔵野の森林へ分散してきて、さらに武蔵野の森林の他への土地の転用

による山間部と都市部の森林の非連続化（中抜け）によって、都市部の比較的広い森林地へ、定住するようになったということが、推定されている。一方、島嶼部における、コゲラは、生息する森林を持つ比較的距離の近い島でも、確認されている島とそうでない島（大島と三宅島など）があり、その生息域の分散というモノは、かなり、謎めいたものである。よって、演者は様々な地域のコゲラの形態生態等を視点として、系統を探ることによって、由来を推測し、そこからみる森林保全のあり方を考え、まとめることを研究テーマとしているようである。本講演に置いては、奄美、沖縄、三宅島、東京、秩父の5地域において、えられたデータより、様々な部位の形態を比較していた。翼長、羽の紋様のように、地域差がみられるものから、嘴の長さのように、地域差のみられないもの、その他、尾の長さ、踵の大きさ、翼のとがり方等、様々な視点をもって観察を継続されているようであった。言うまでもなく、コゲラは動くサンプルであるため、系統を語る為に必要な個体数の確保というものが、困難きわまることが予想されるが、それ故に、貴重な研究であるとも言える。また、動物をもって、森林を語るということは、大衆にとって、森林の保全の意義等を理解する上で、興味そそられるものであると考えられる為、是非とも、成就させていただきたいテーマである。一方、1980年代以降、徐々に浸透してきたDNAを用いた系統分析については、現在、コゲラにおいて有効に使えるプライマーが見つかっておらず、現在進んでないようである。形態とDNAレベルとの系統分析では、視点が異なるため、一般論を覆すような結果もあり得るため、是非とも着手されて欲しいものである。（山野邊 太郎）

12月12日（月曜日）9:30～14:00

場所：農学部1号館 第7講義室

題目：「修士2学生中間報告会」

担当：本阿弥、高橋、山野邊

平成10年

1月23日（金曜日）13:00～17:00

場所：農学部1号館 林学会議室

題目：「エゾマツの天然下種更新法 - 各種菌類の生態から見た提案 - 」

担当：北海道演習林 高橋 郁雄 講師

題目：「1. 中国の樟子松（モウコアカマツ、*Pinus sylvestris* var. *mongolica*）について」

「2. 中国東北林業大学、長白山、田舎について 簡単な話」

担当：沈 海龍 生態圏管理学大講座 研究員

2月27日（金曜日）15:00～17:00

場所：農学部1号館 第7講義室

題目：「スウェーデン、フィンランドの森林施業」

担当：研究部 山本 博一 教授

1-3 演習林技術官等試験研究・研修会議

日程

平成9年10月30日(木)

試験研究発表、技術研修、懇親会

同10月31日(金)

現地研修

場所

秩父演習林・埼玉県立大滝グリーンスクール

試験研究発表・技術研修プログラム

開会挨拶(八木林長)

試験研究発表

1. 千葉演習林における一般入林者に対するアンケート調査の解析
阿達康眞・里見重成・鶴見康幸(千葉演習林)
2. 荒川源流域に生息するイワナの食性
大村和也・澤田晴雄・斉藤俊浩(秩父演習林)
3. 産地の異なるブナのフェノロジー,形質および光合成特性の比較
浅野良子・渡邊良広・村瀬一隆・辻和明(樹芸研究所)
4. アカシア属樹木に対する水ストレスの影響に関する研究
栗田直明・岩本則長・石塚孝一(田無試験地)
5. 急傾斜地におけるポット苗造林の試み - 植栽10年目の成育状況 -
山本勝彦・犬飼浩・小池征寛・宅間隆二・松井理生・平田雅和・大屋一美・井口和信(北海道演習林)
6. 複層林の成長経過 - 10年後の成長 -
後藤太成・井上淳・原孝秀(愛知演習林)
7. 秩父演習林における造林の現状と保育の将来展望
高野充広・五十嵐勇治・大畑茂・山中隆平(秩父演習林)
8. 集材作業システムにおける車両集材作業の違いによる森林への影響と作業能率
福士憲司・岩本進一・笠原久臣・坂口敏雄・伊原重男・河原漠(北海道演習林)
9. 富士演習林の冬期の気象に温暖化傾向は認められるか?
西山教雄・千島茂(富士演習林)
10. 南房総清澄山系における気温と降水量の時空間変動解析
軽込勉・山中千恵子・永島利夫(千葉演習林)

技術研修

「木・リグニン・環境問題」 研究部 鴨田 重裕 助手

現地研修

秩父演習林原生林内の試験地, 林道, 成長試験地の仕立て直し
直営による間伐作業、林内高規格一般道と林内到達補助路など

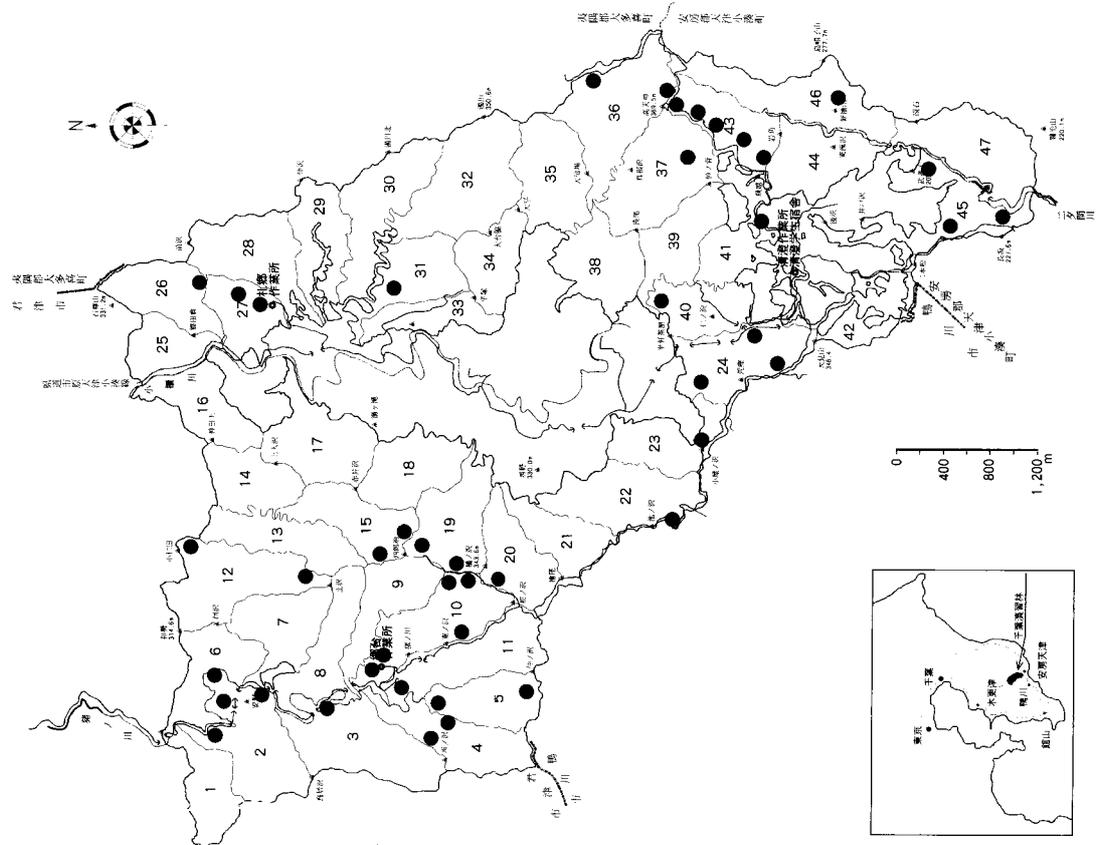
参加者

千葉演習林 鈴木祐紀・米道学・里見重成・阿達康真・軽込勉・山中千恵子
北海道演習林 山本勝彦・福士憲司
秩父演習林 仁多見俊夫・蒲谷肇・安村直樹・山中隆平・大畑茂・大村和也・
澤田晴雄・斉藤俊浩・高野充広・五十嵐勇治
愛知演習林 築瀬憲次・後藤太成・井上淳・荒木田きよみ
富士演習林 千島茂・西山教雄
樹芸研究所 浅野良子
田無試験地 大橋邦夫・栗田直明
本部・研究部 八木久義・植田榮司・山本博一・石田健・鴨田重裕・藤原章雄

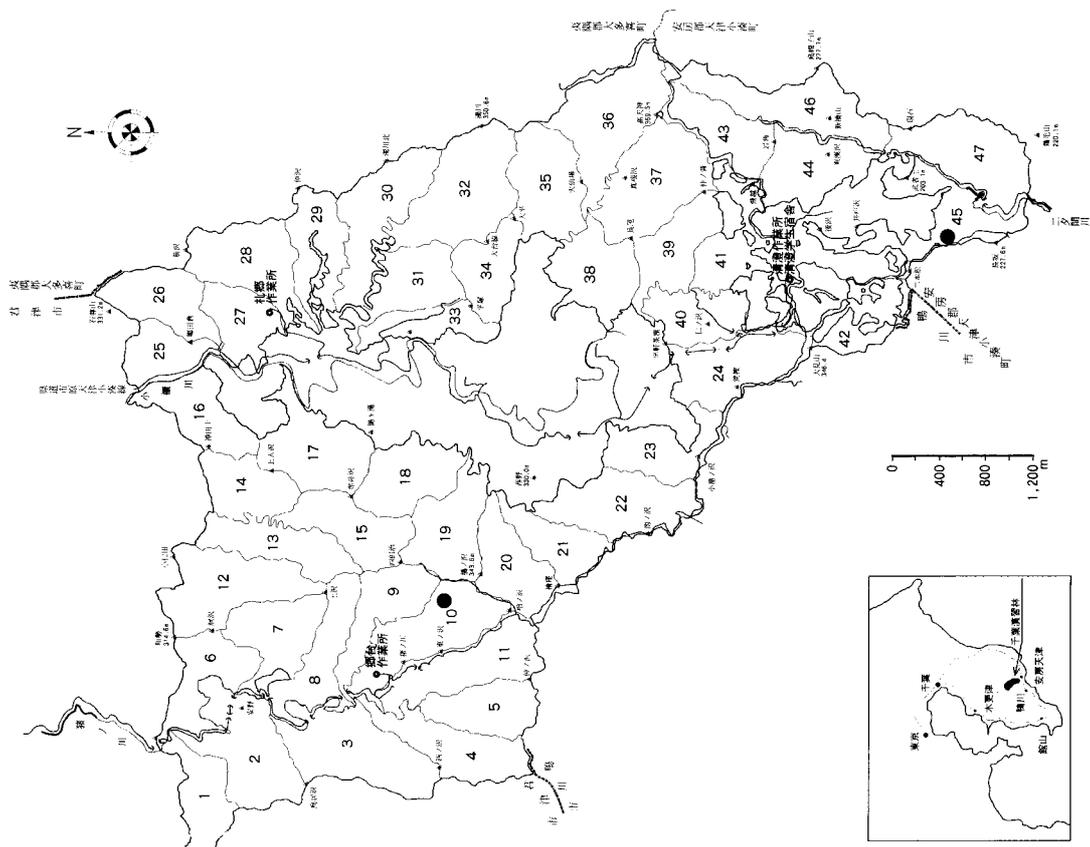
2 試験研究業務

2-1 試験研究業務実行位置図

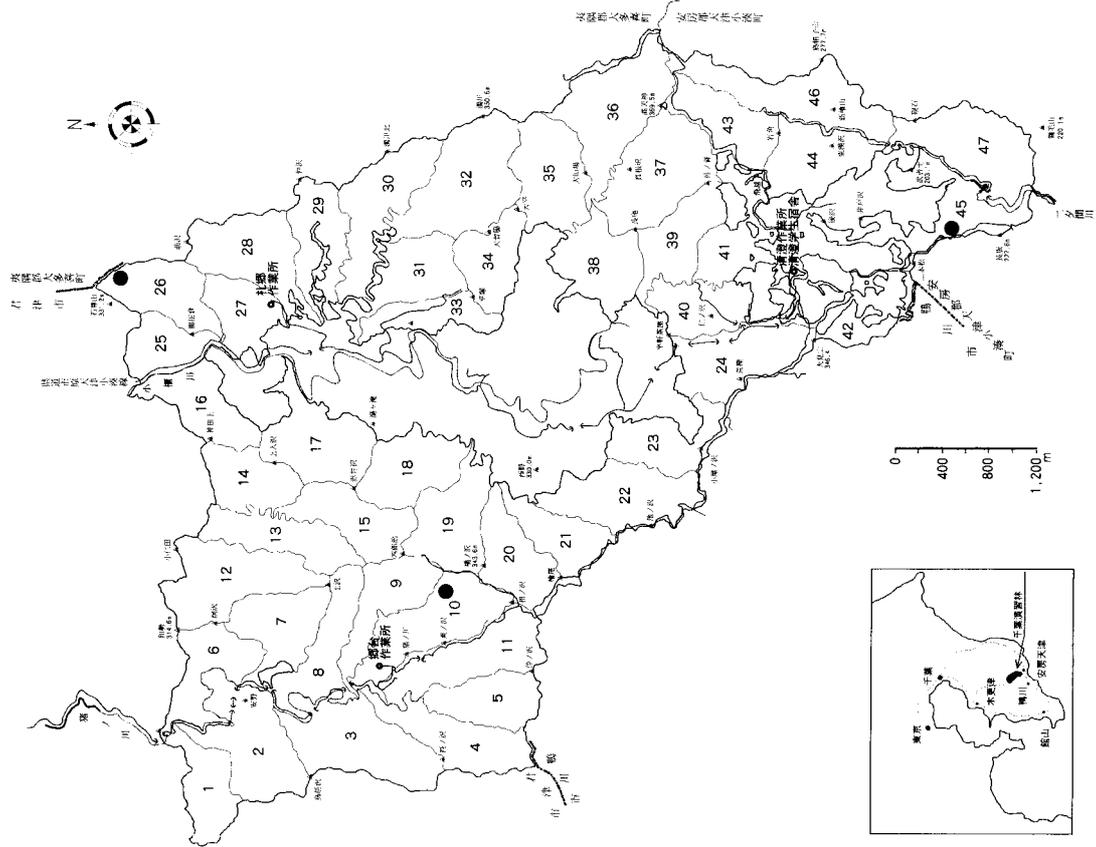
千葉演習林：試験研究を行った位置



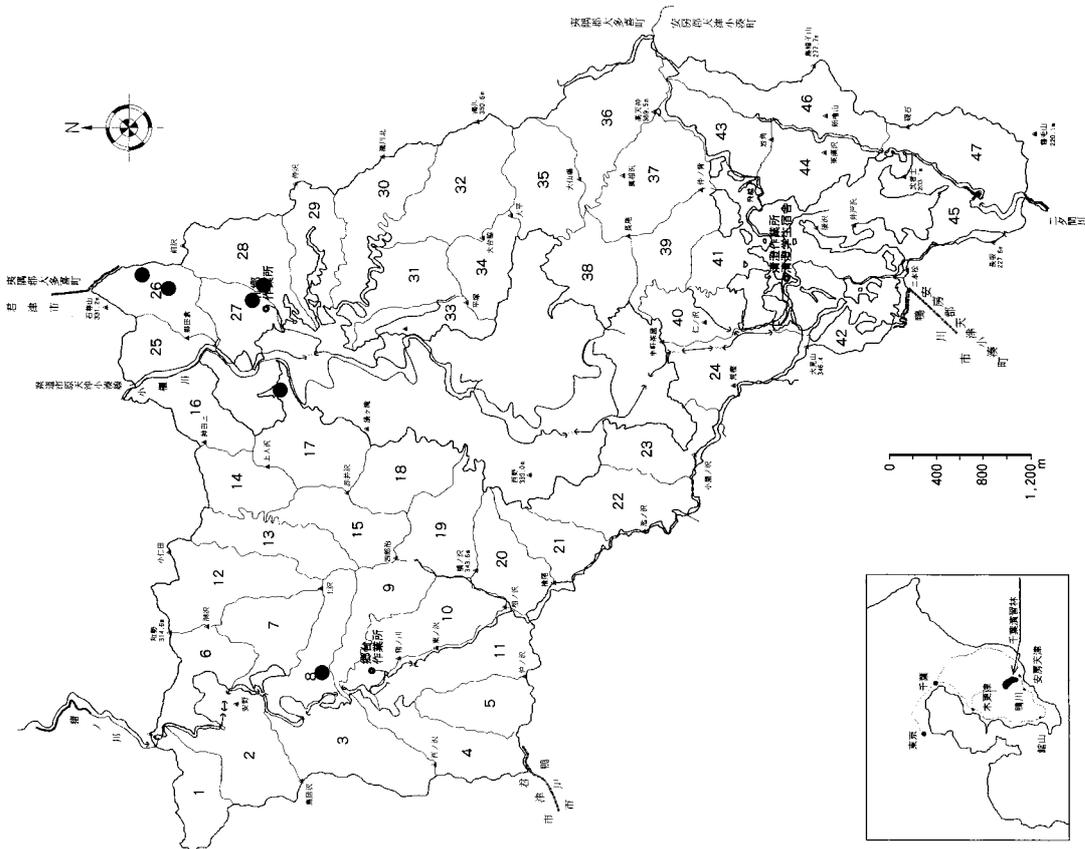
千葉演習林：地拵



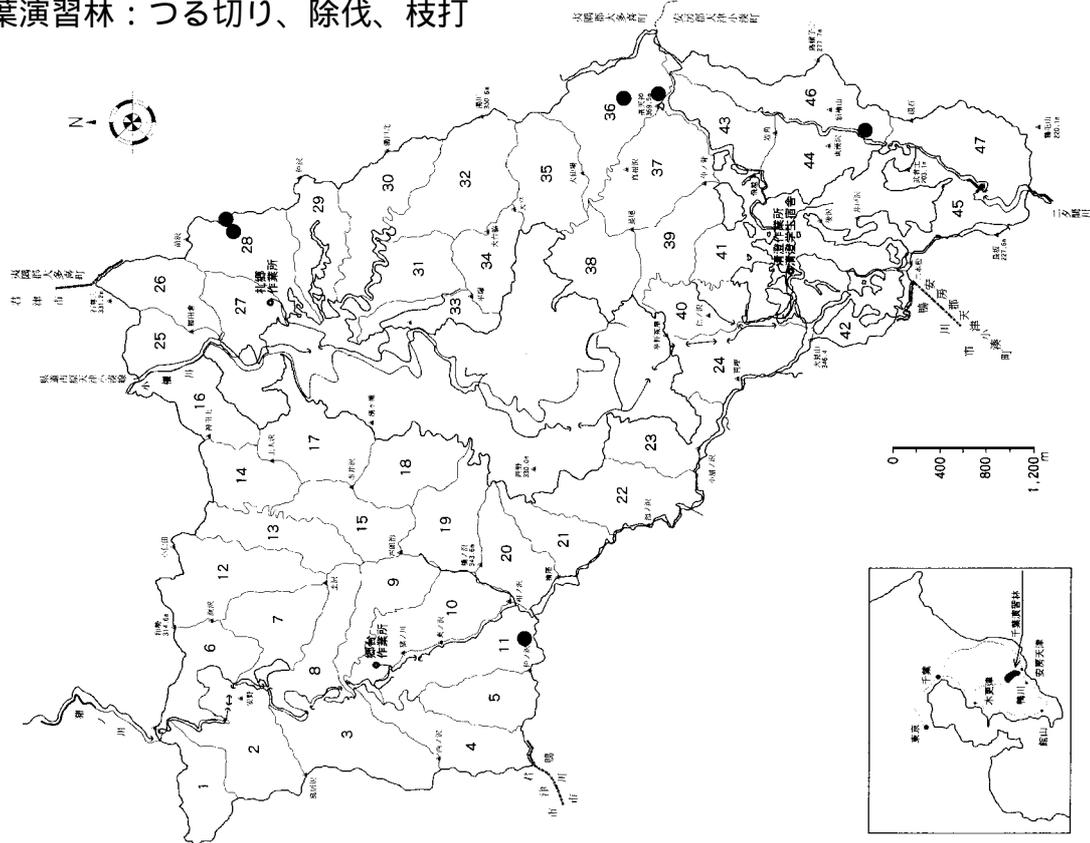
千葉演習林：新植、補植



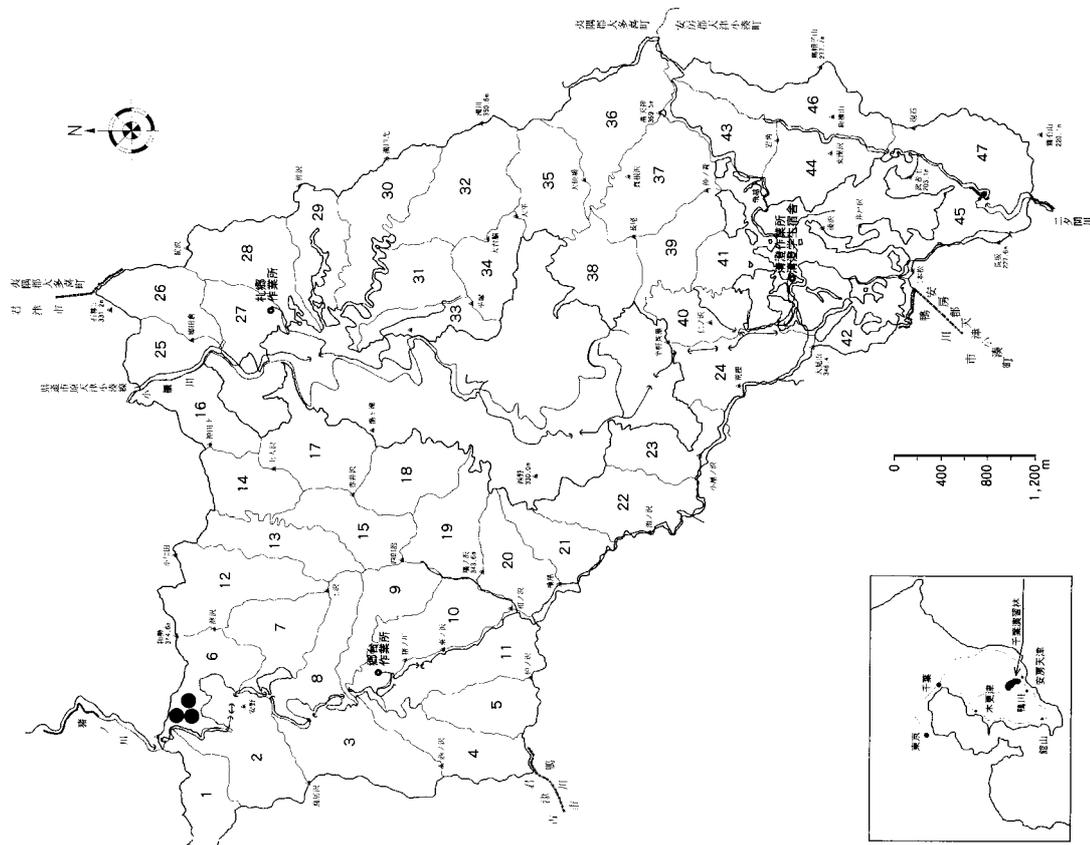
千葉演習林：下刈り



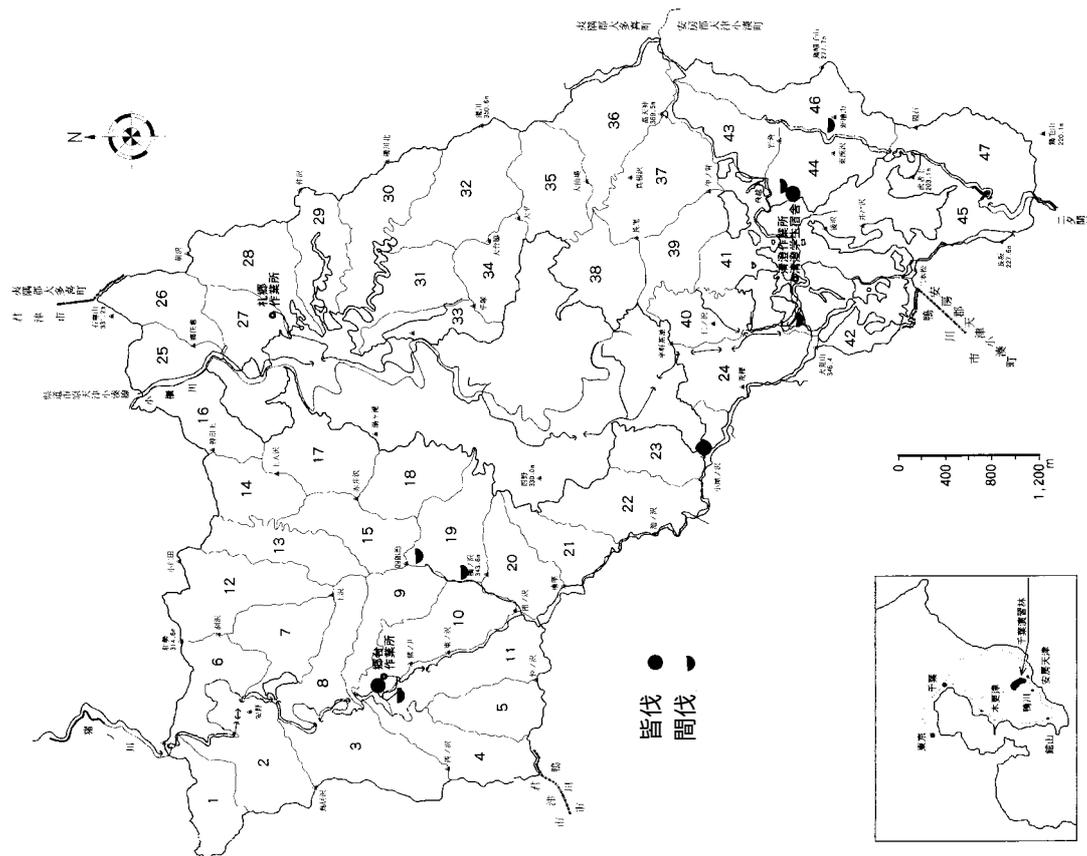
千葉演習林：つる切り、除伐、枝打



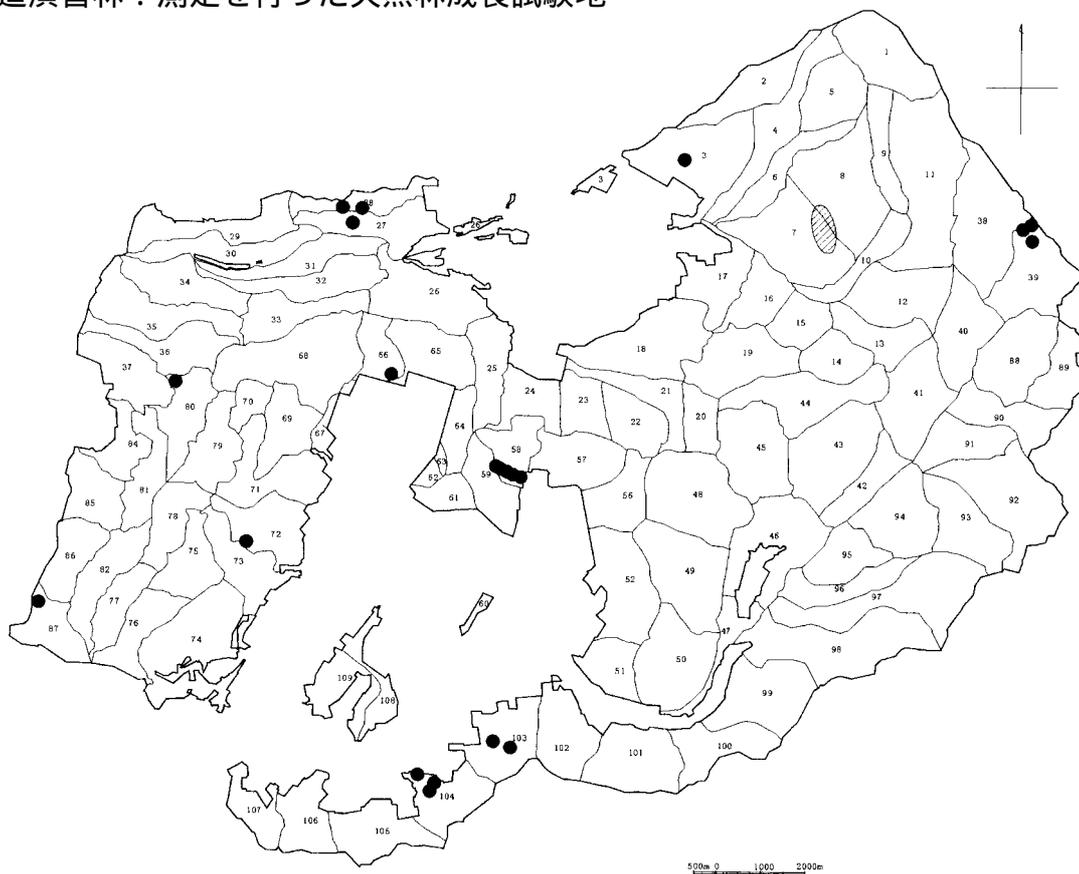
千葉演習林：間伐（請負）



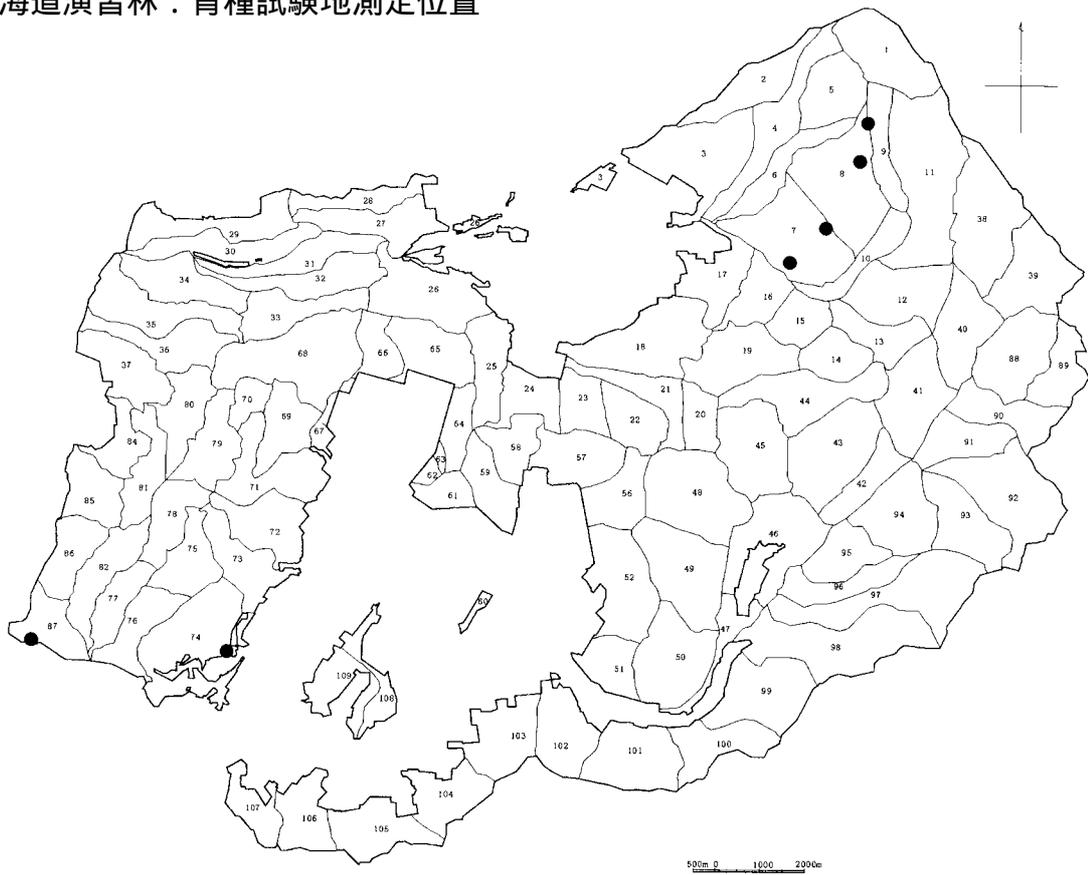
千葉演習林：皆伐、間伐処分



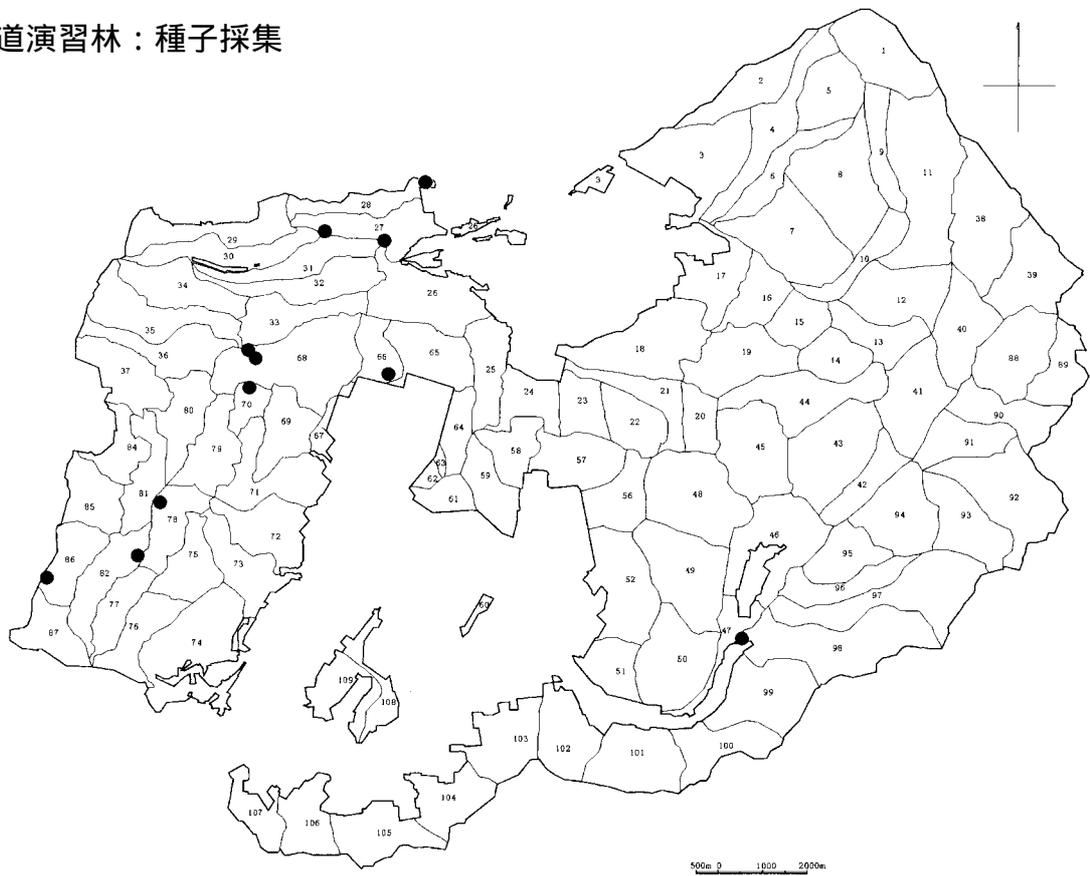
北海道演習林：測定を行った天然林成長試験地



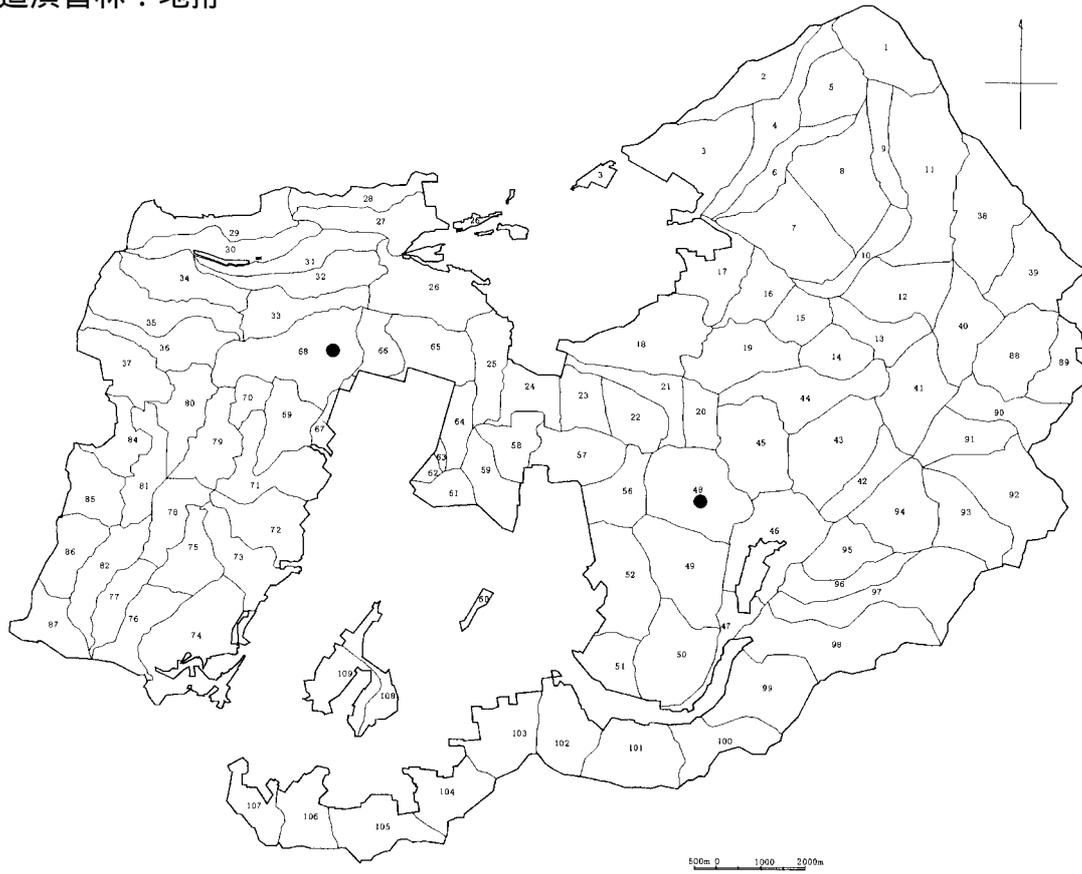
北海道演習林：育種試驗地測定位置



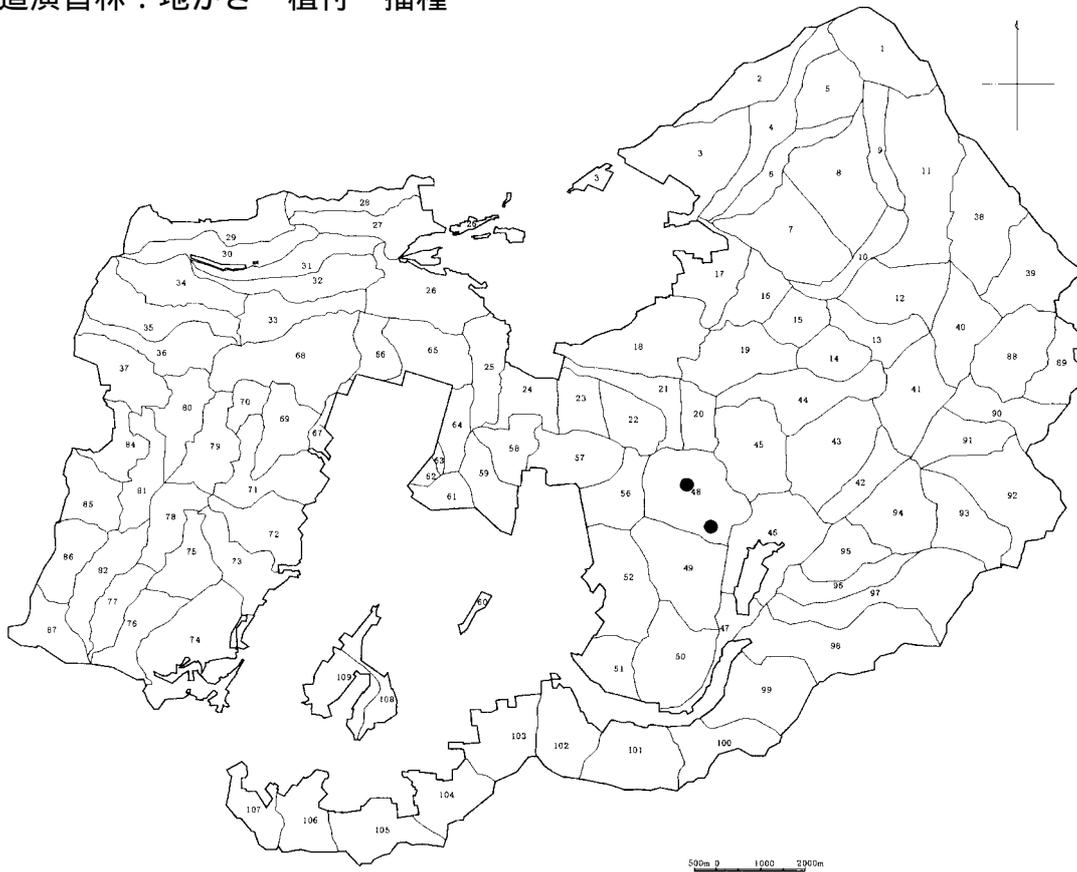
北海道演習林：種子採集



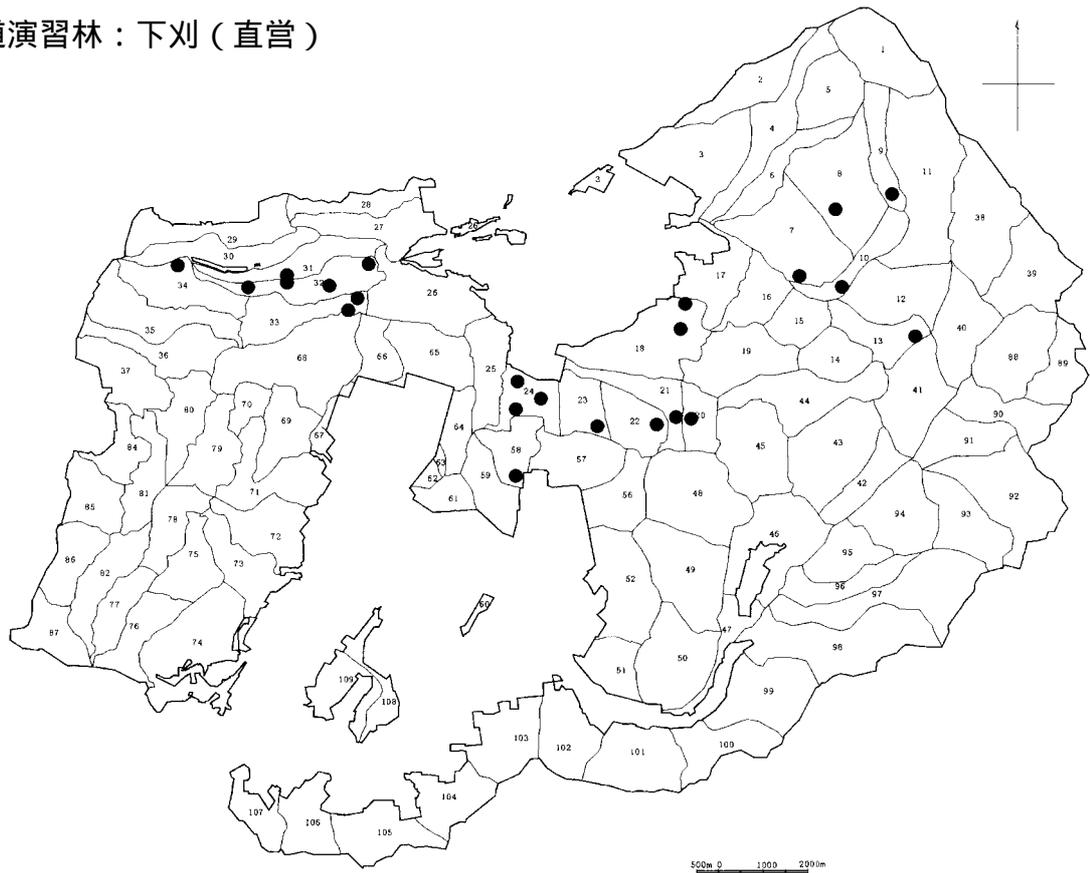
北海道演習林：地拵



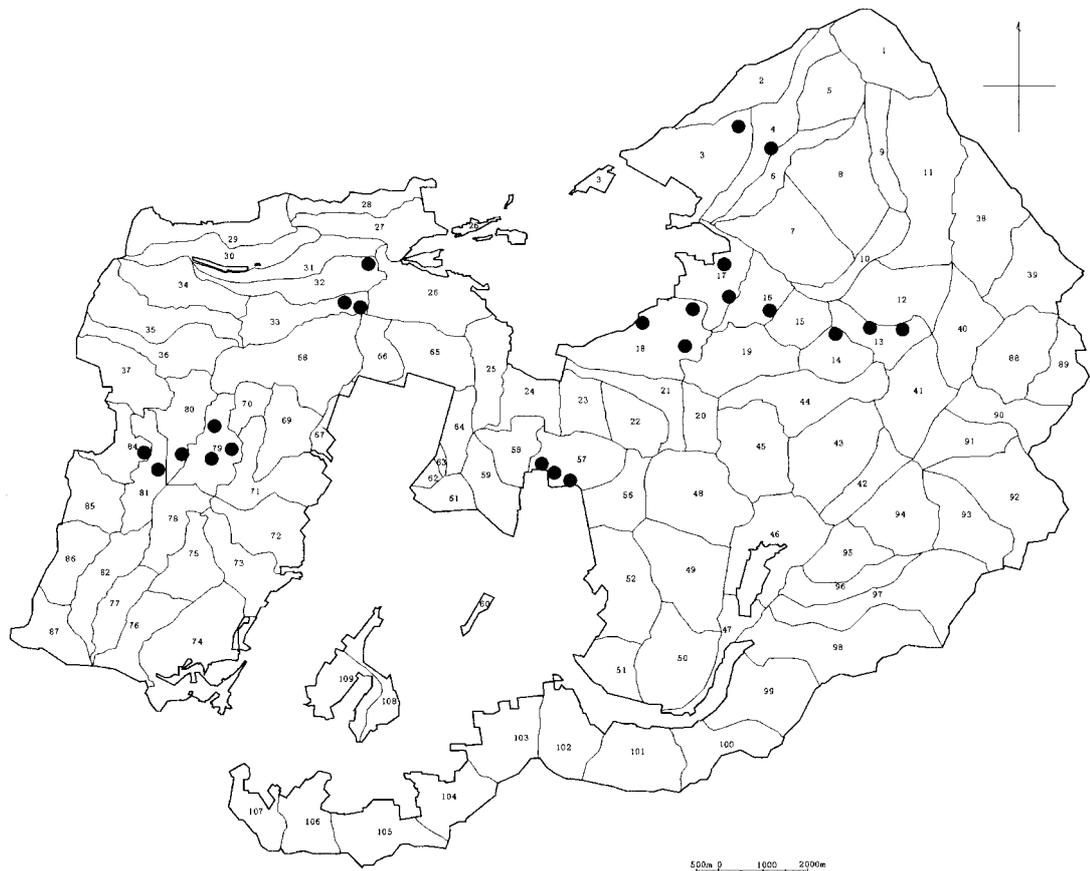
北海道演習林：地がき・植付・播種



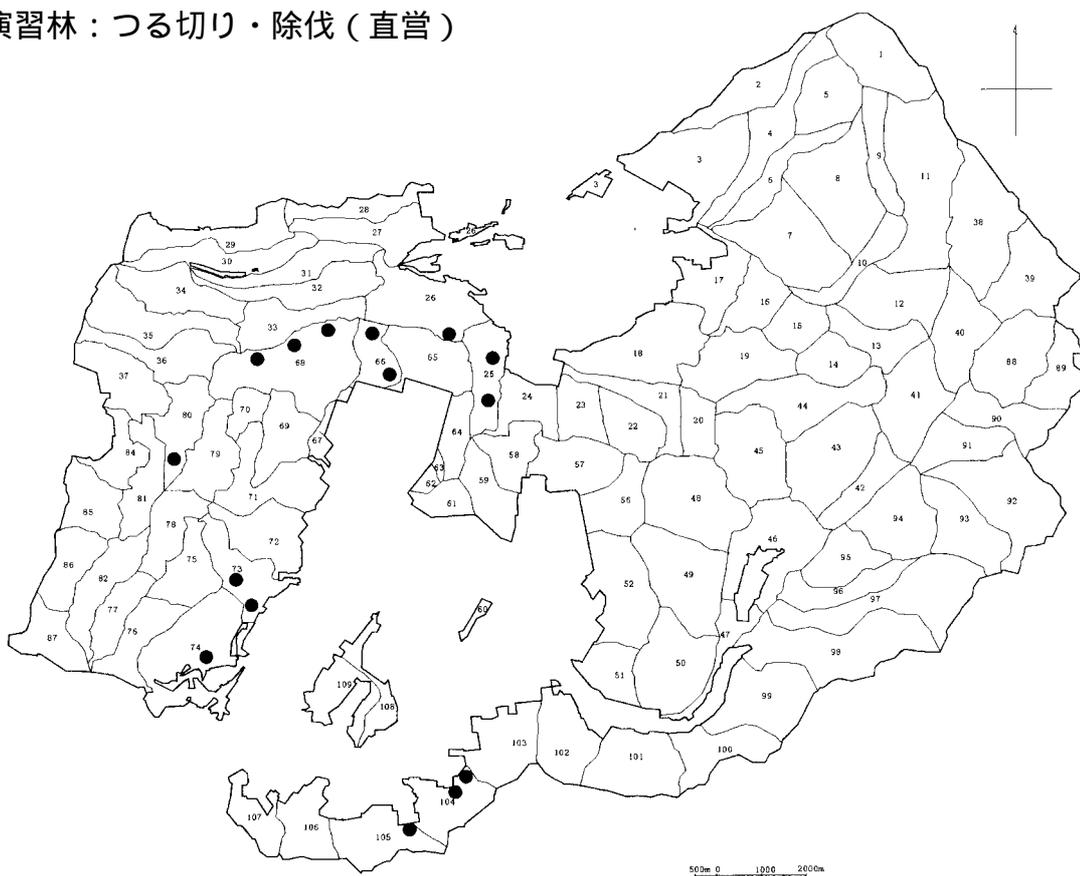
北海道演習林：下刈（直営）



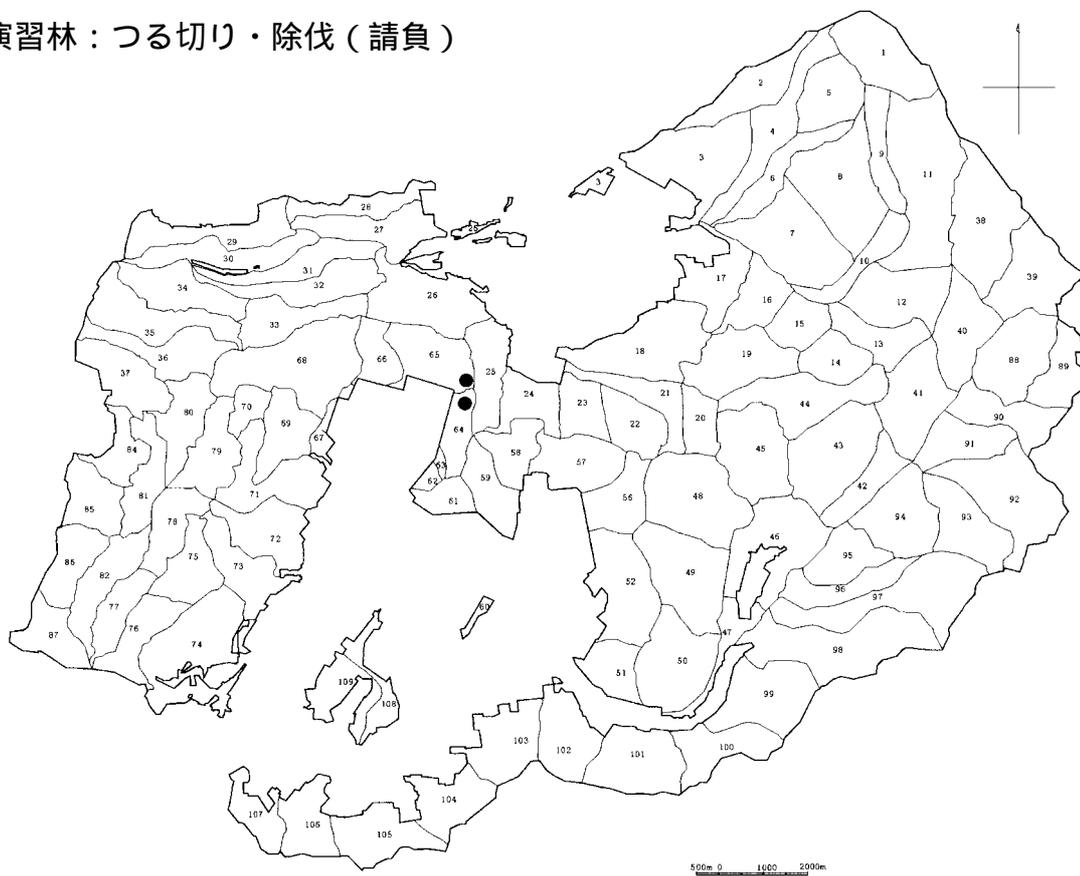
北海道演習林：下刈（請負）



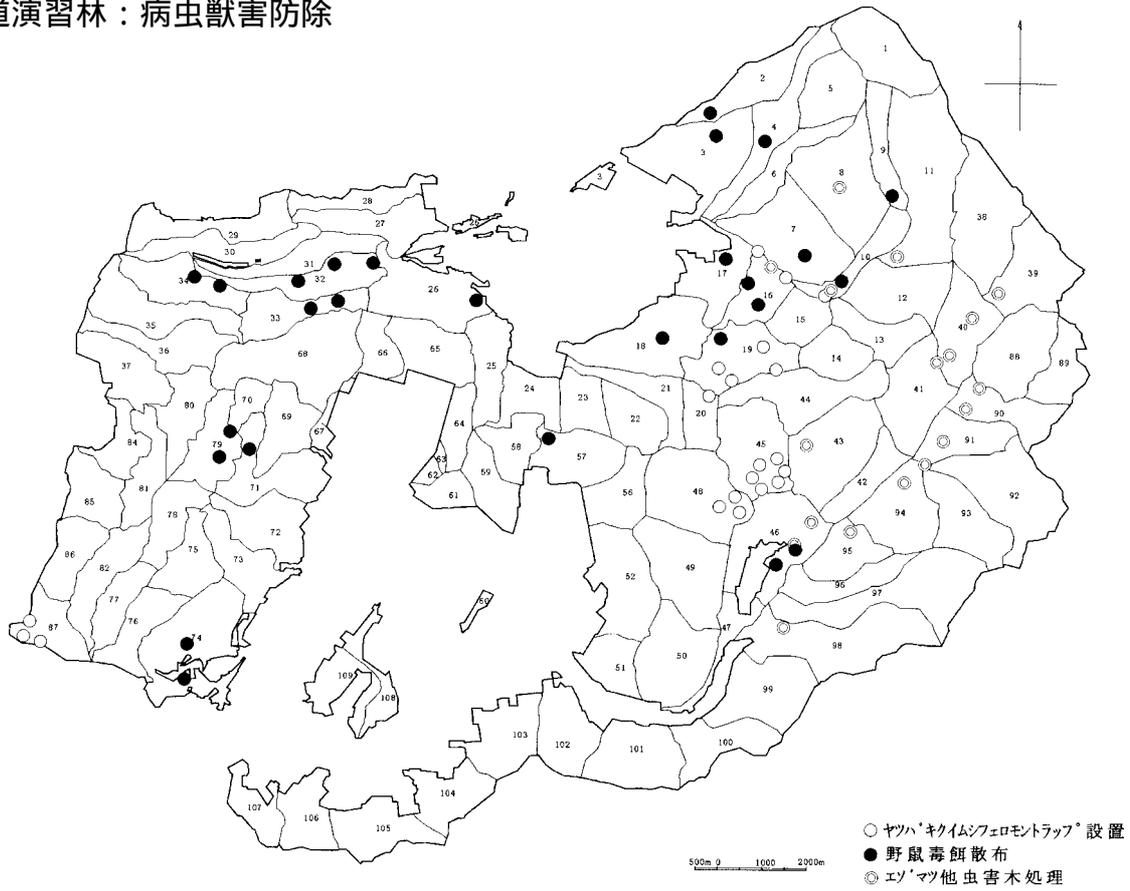
北海道演習林：つる切り・除伐（直営）



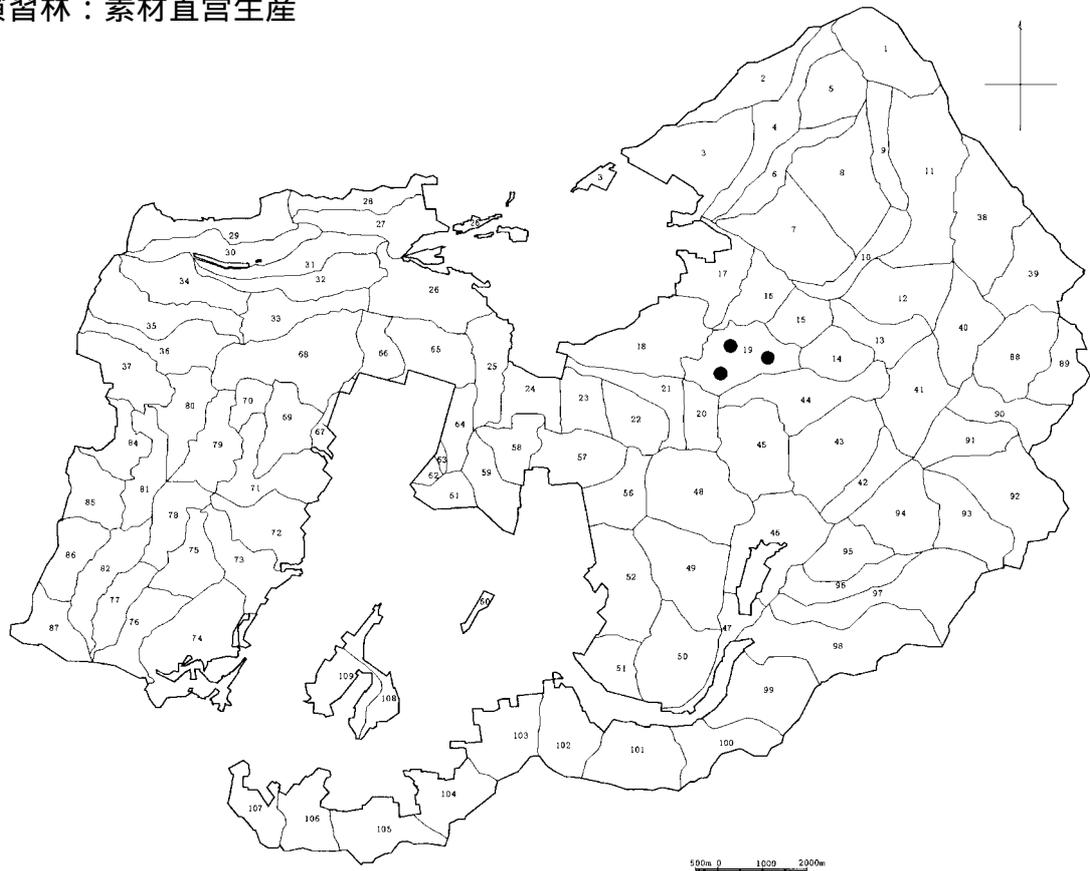
北海道演習林：つる切り・除伐（請負）



北海道演習林：病虫獣害防除



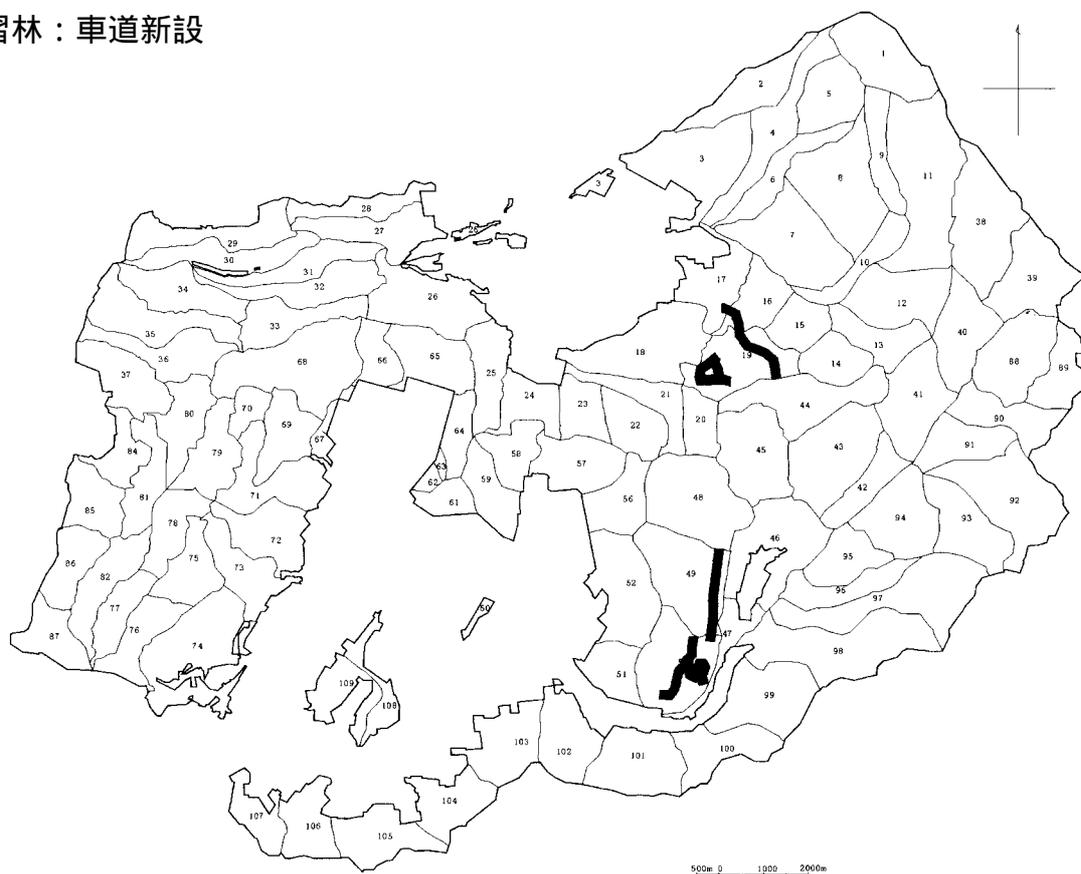
北海道演習林：素材直営生産



北海道演習林：計画外伐採



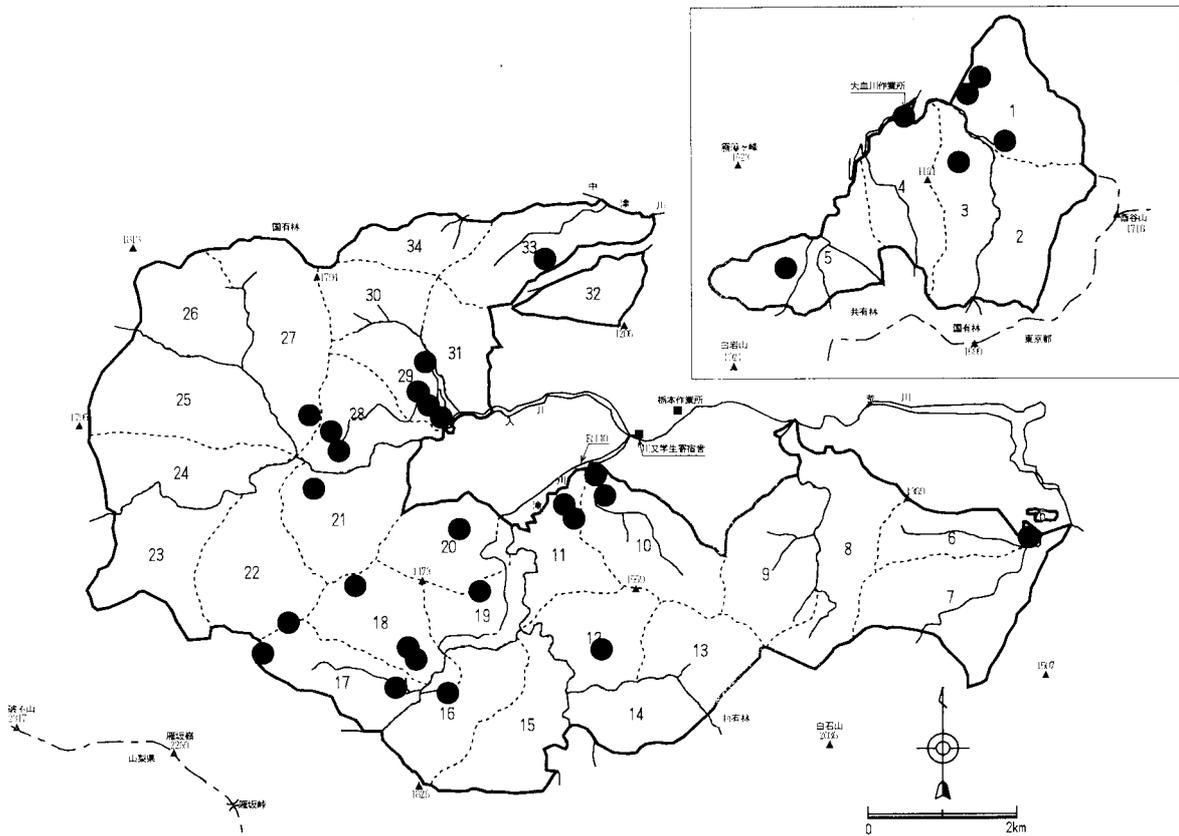
北海道演習林：車道新設



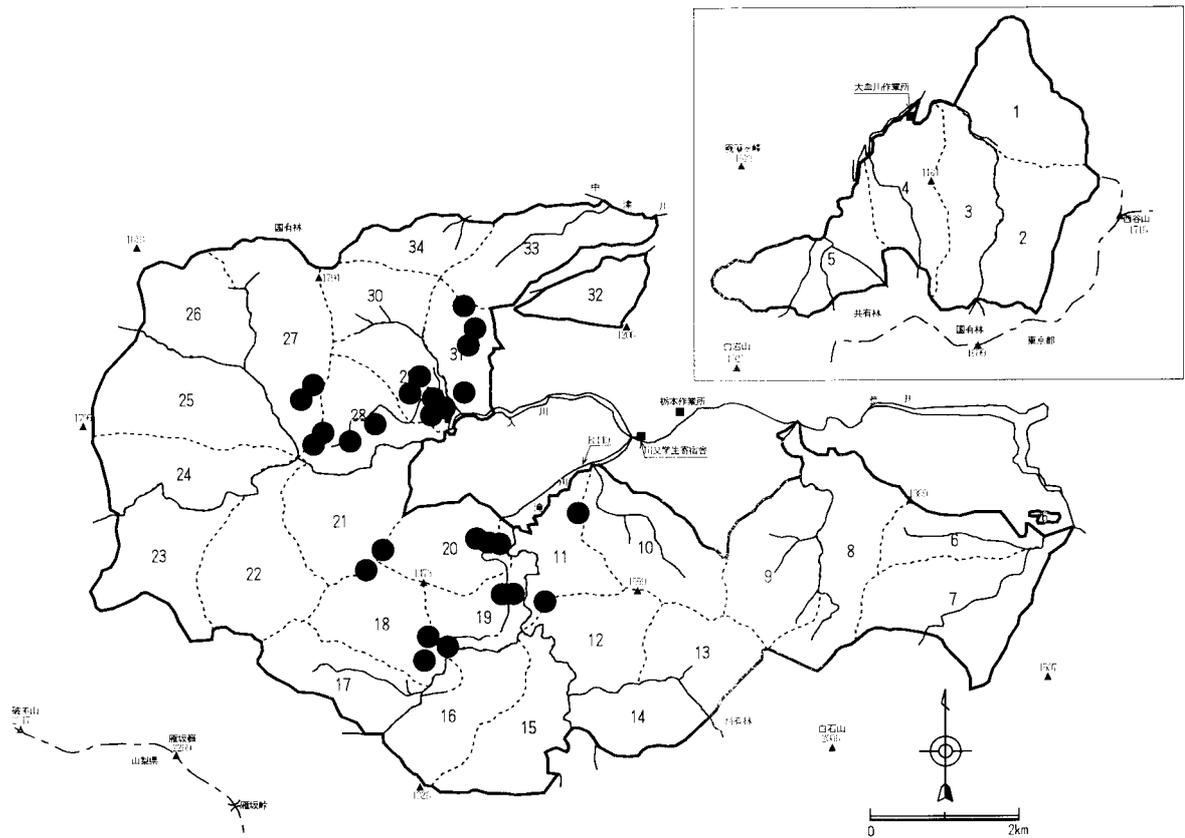
北海道演習林：砂利敷均



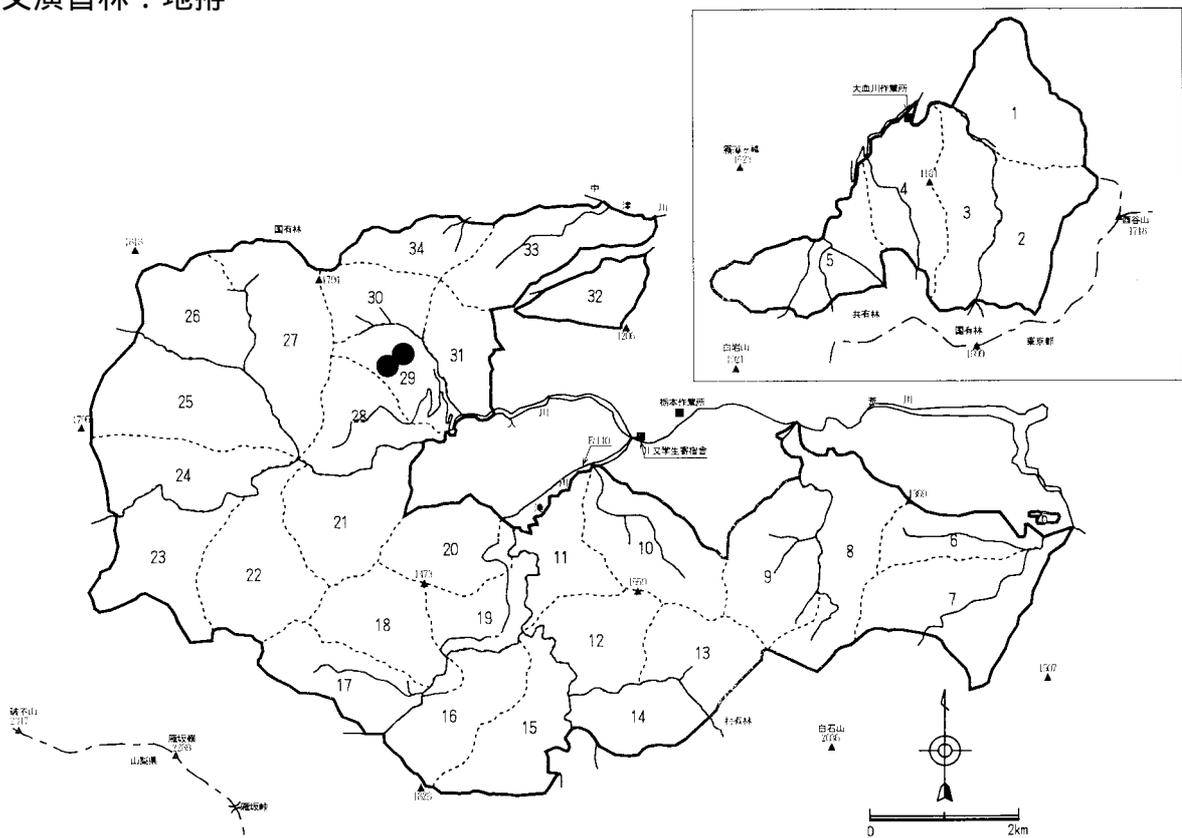
秩父演習林：測定などの調査を行なった試験地及び気象、量水観測地点



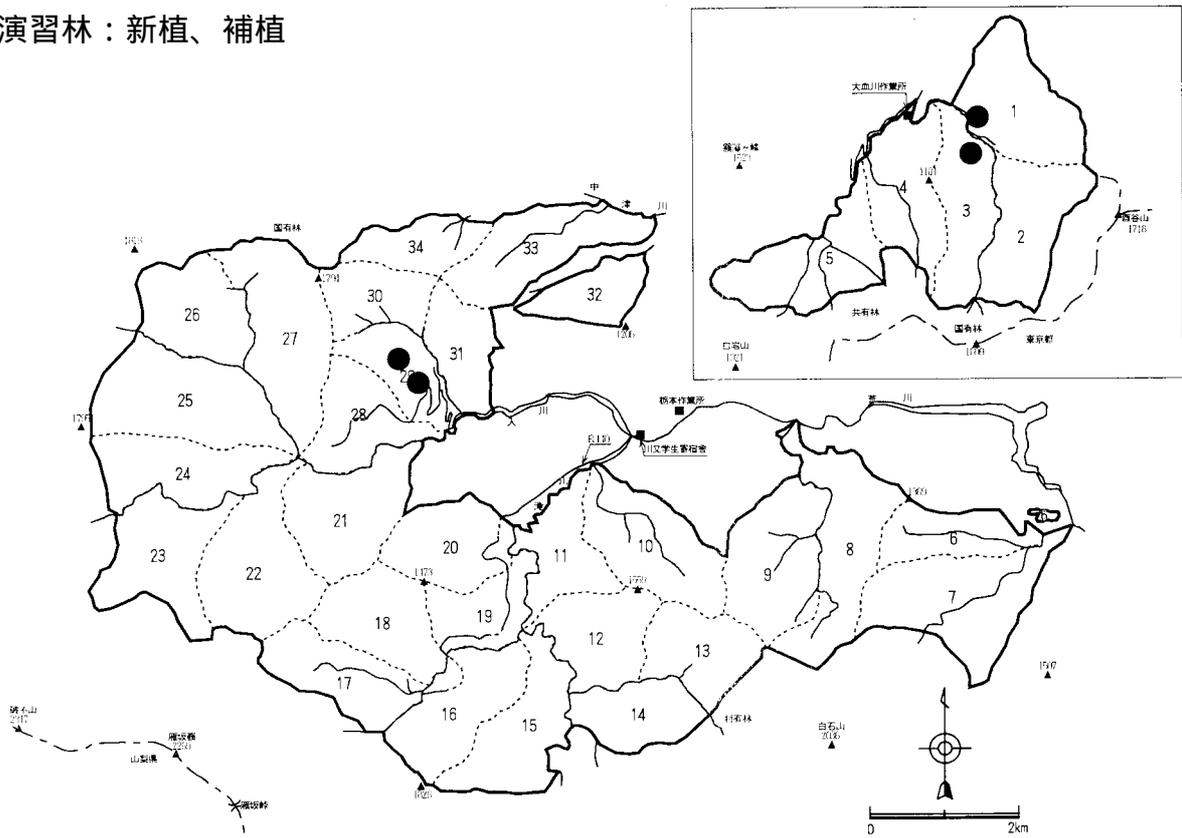
秩父演習林： 動物調査（ツキノワグマ、ノネズミ、キクイムシ）固定試験地、
トラップ設置場所



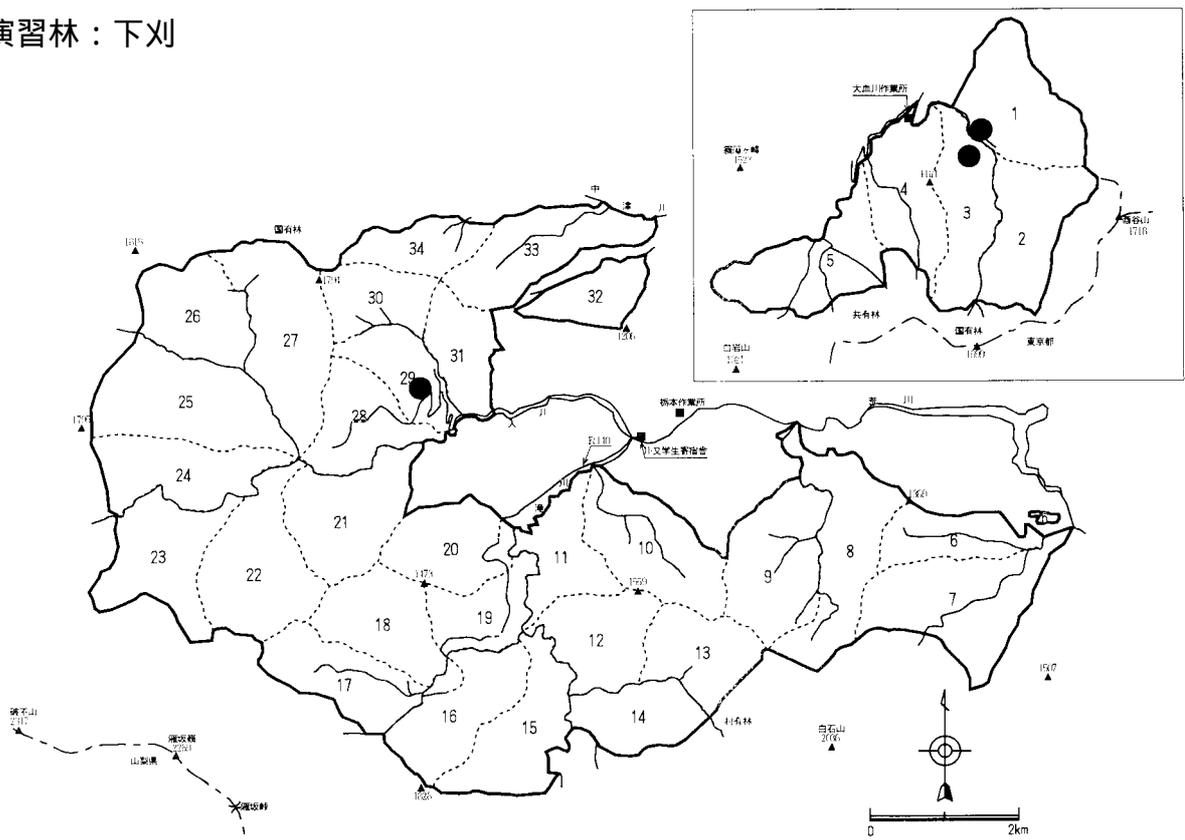
秩父演習林：地拵



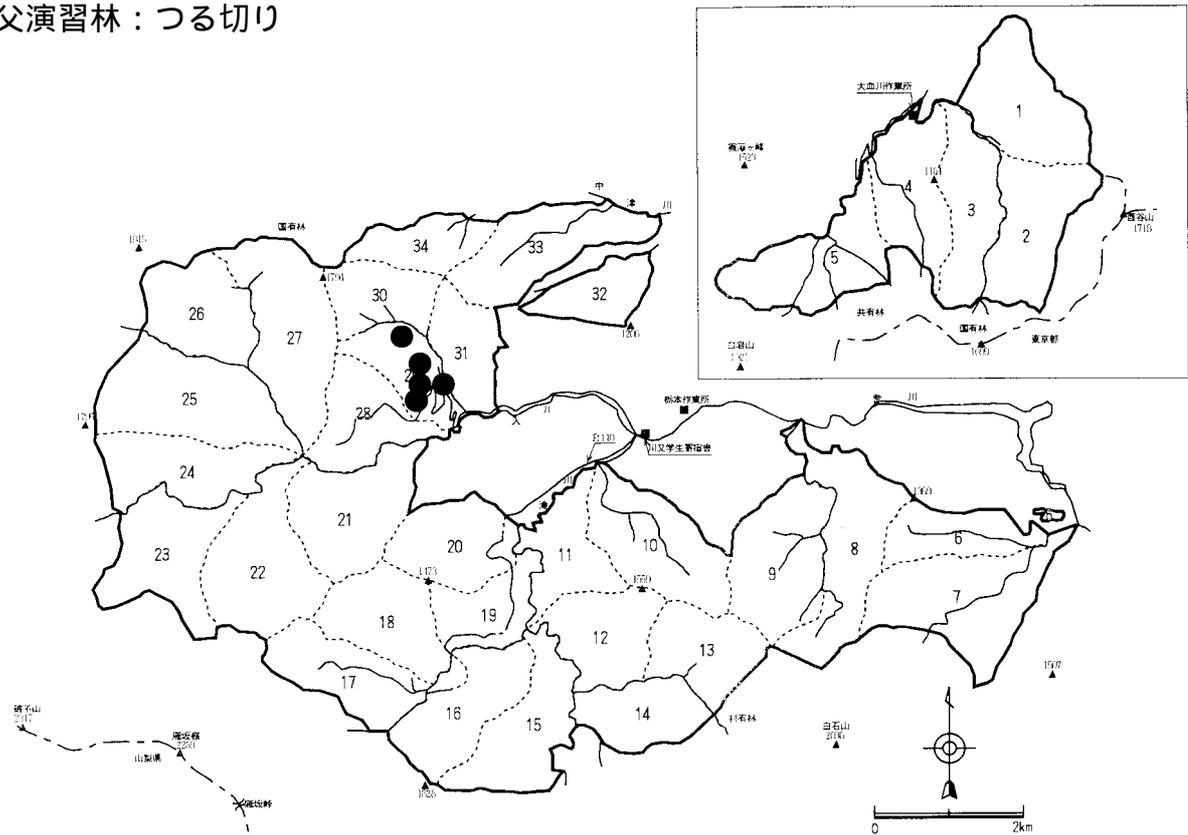
秩父演習林：新植、補植



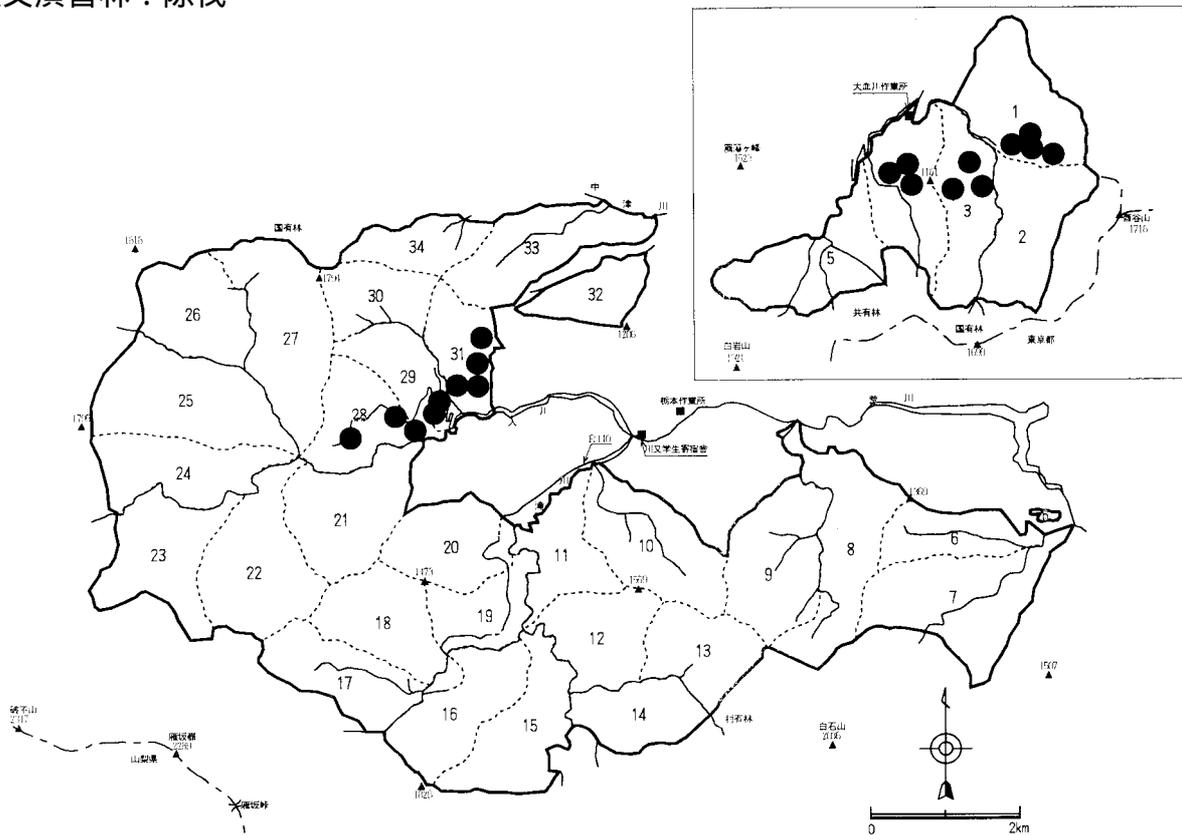
秩父演習林：下刈



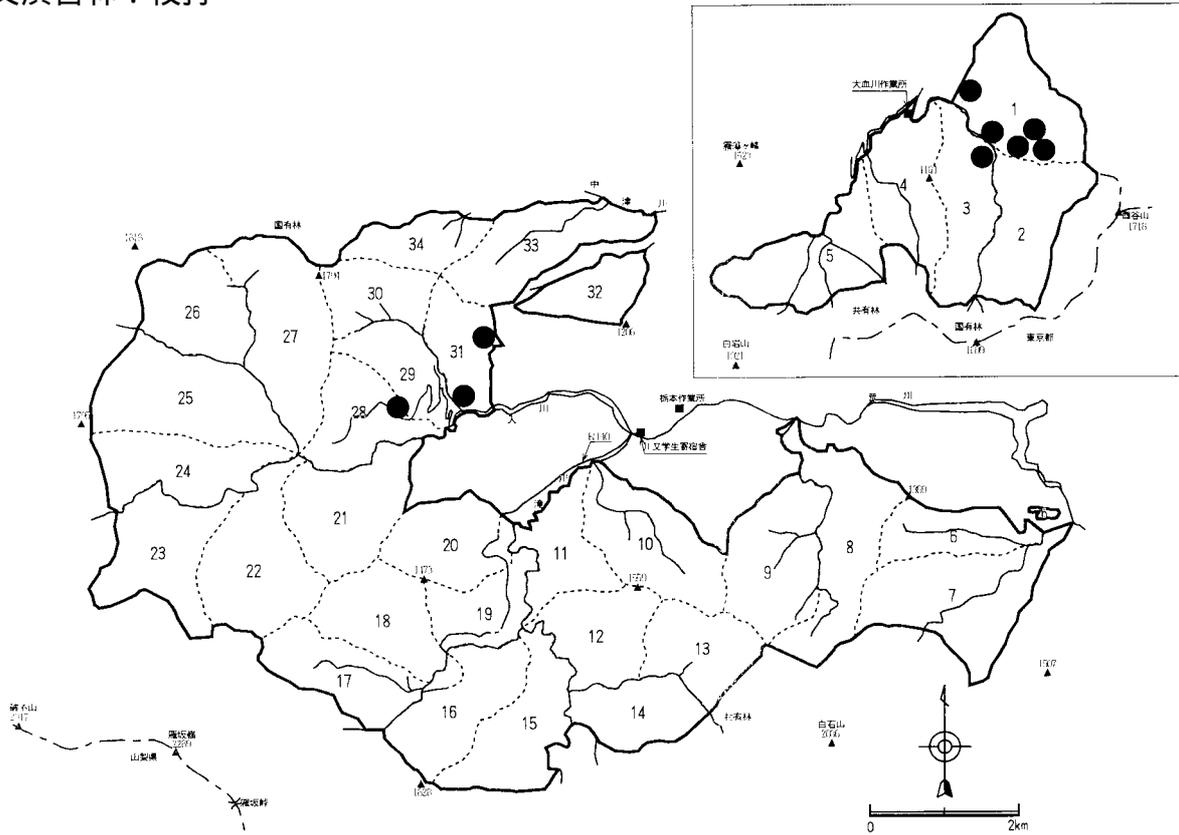
秩父演習林：つる切り



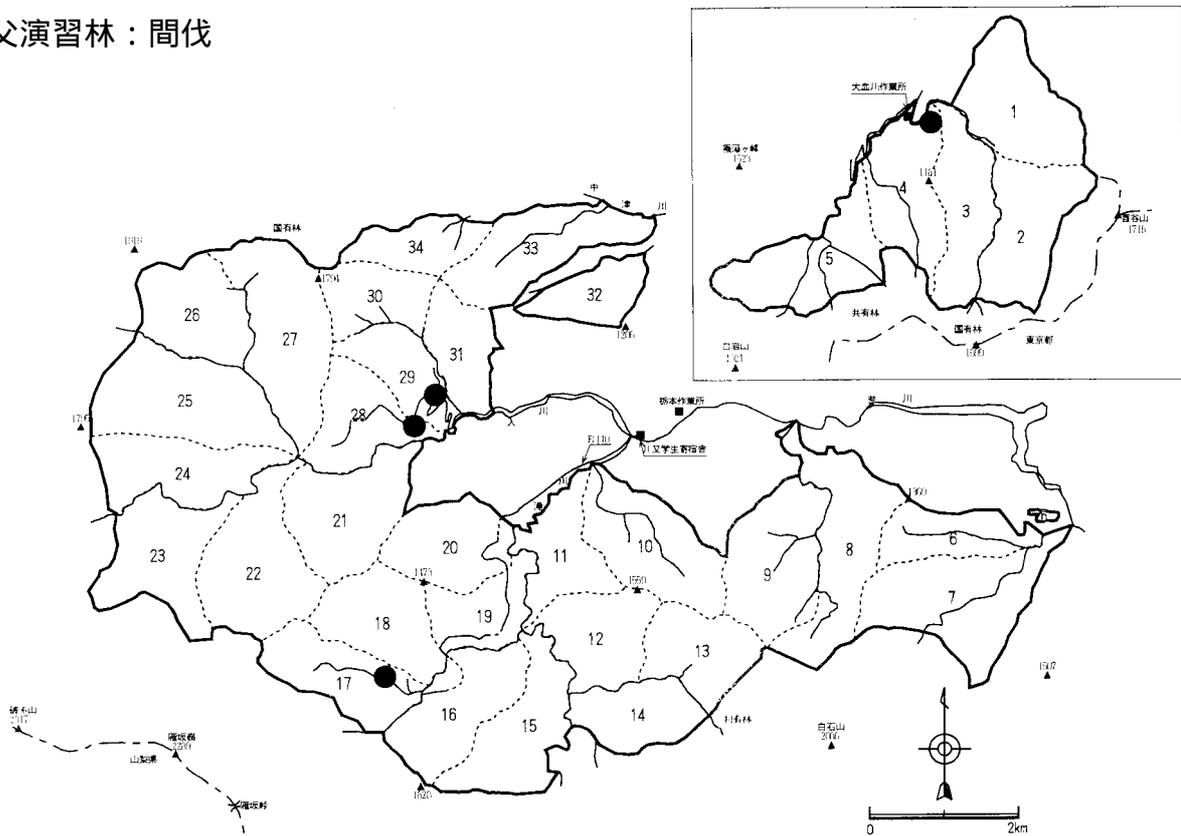
秩父演習林：除伐



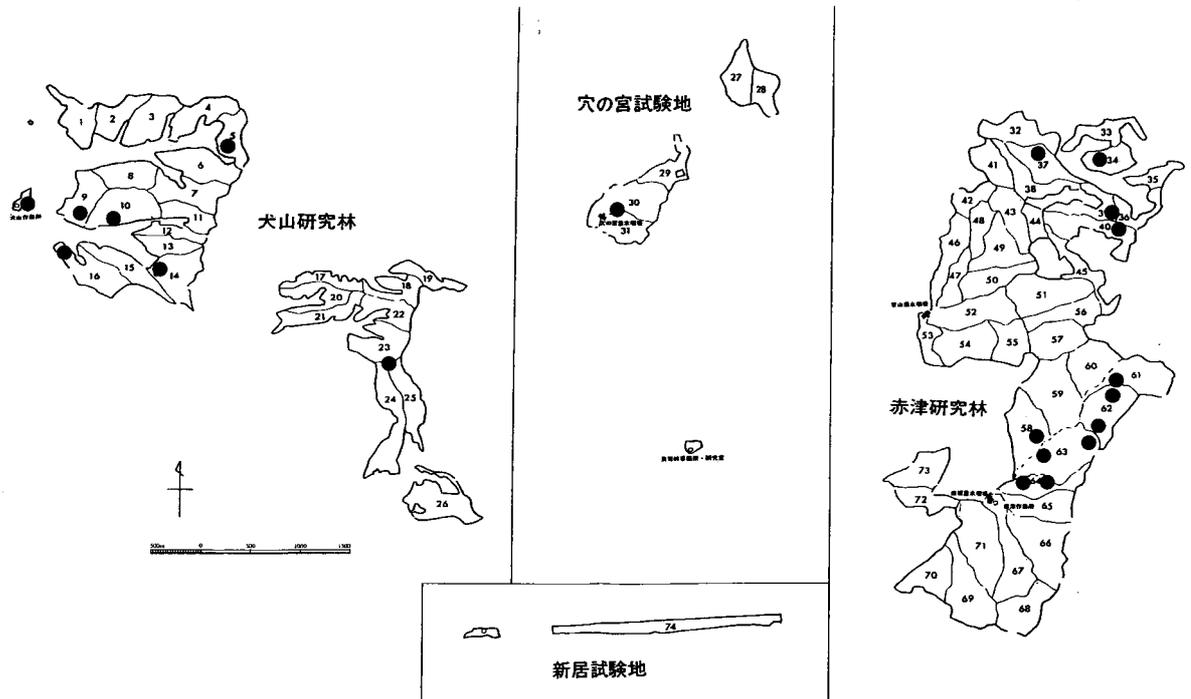
秩父演習林：枝打



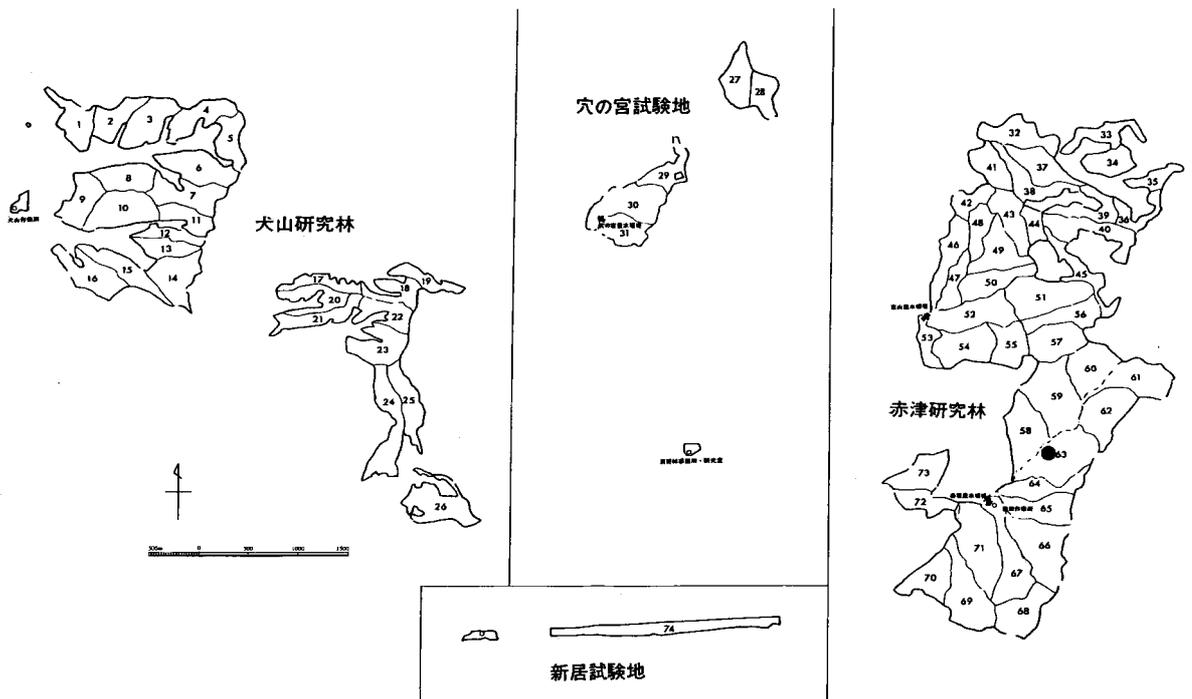
秩父演習林：間伐



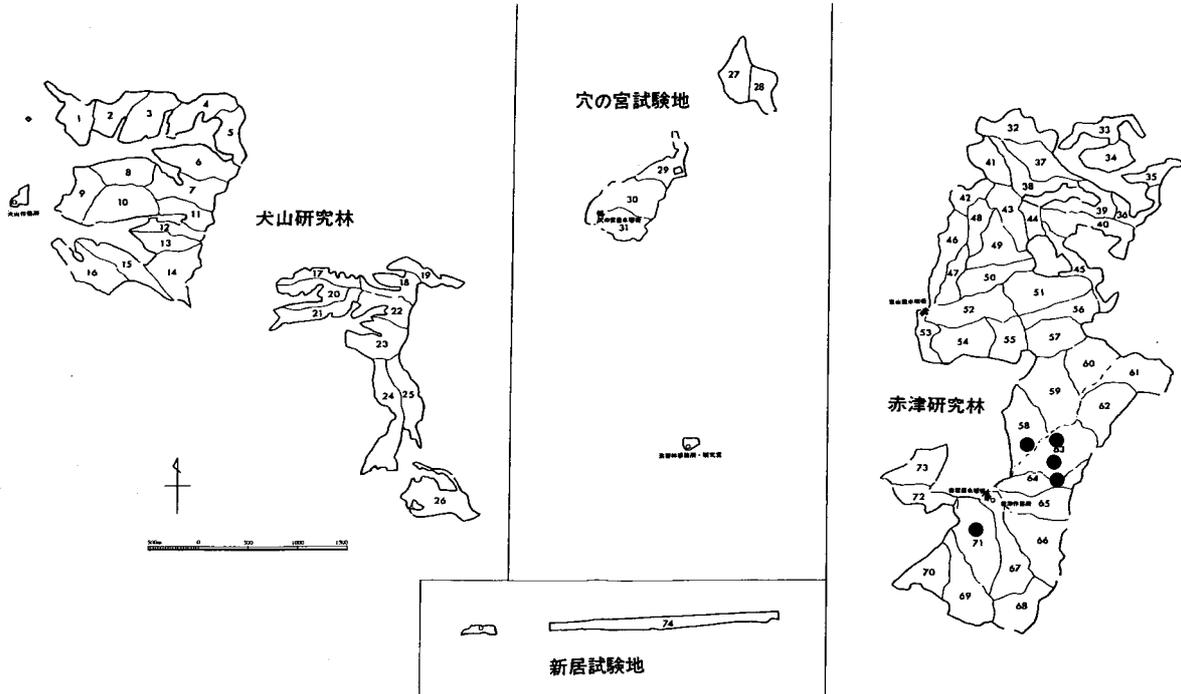
愛知演習林：試験地位置（小規模な固定標準地）



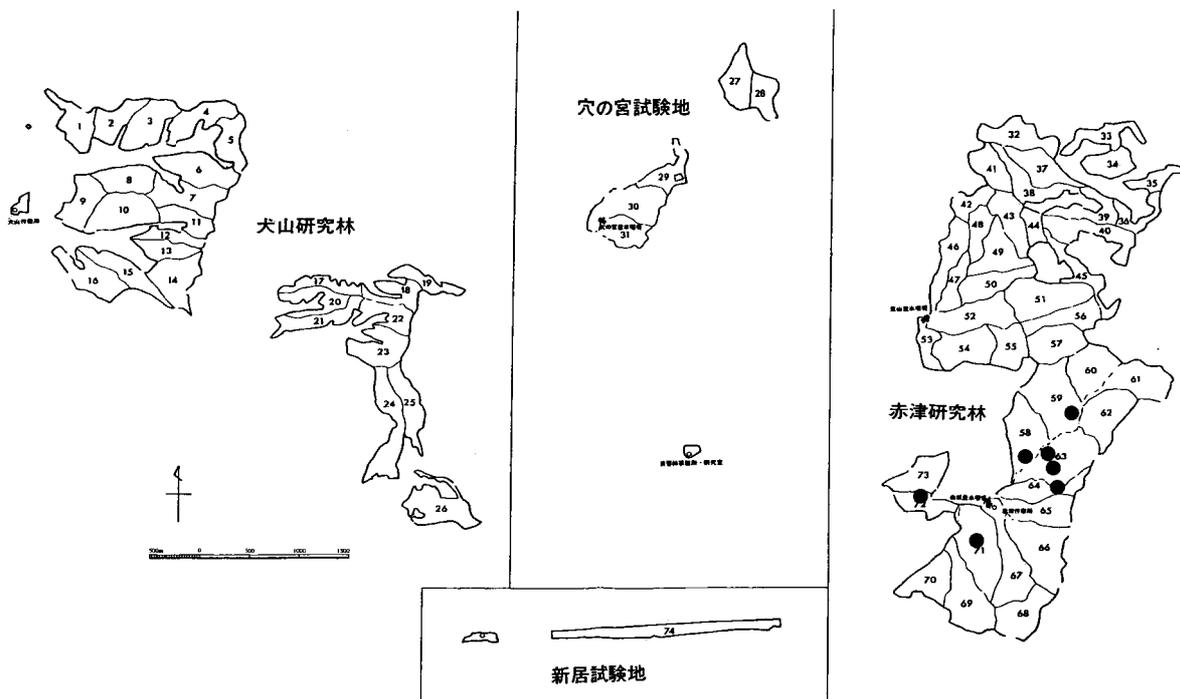
愛知演習林：地拵



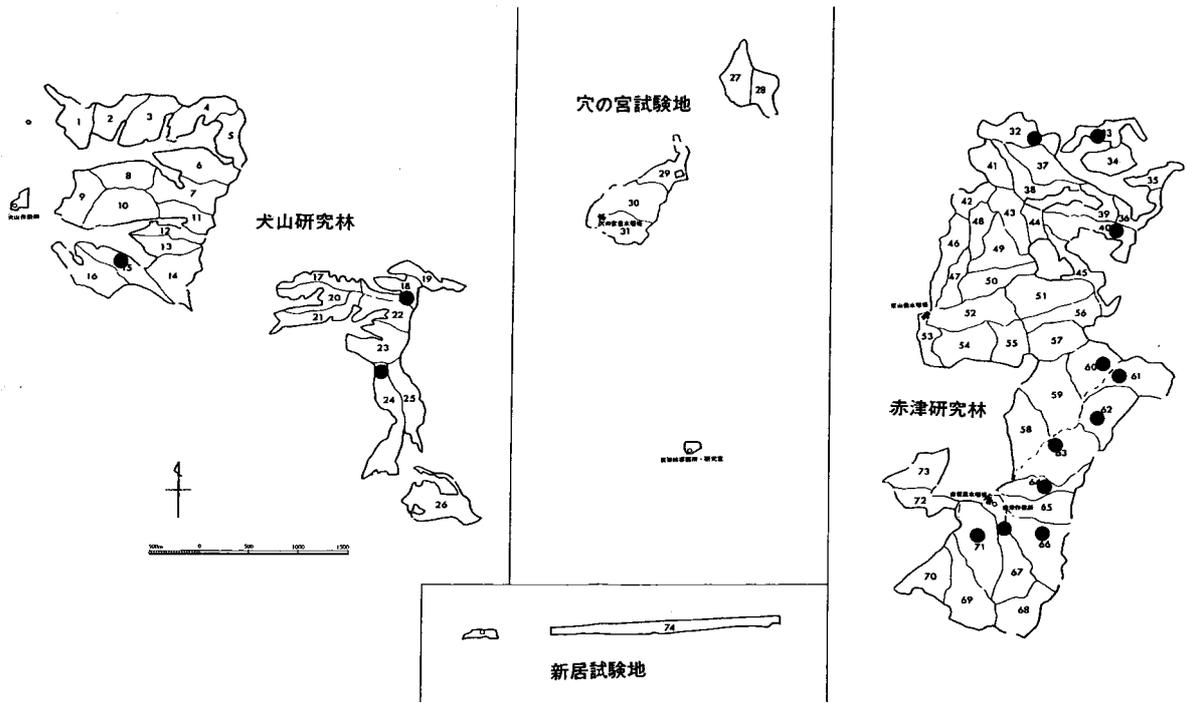
愛知演習林：新植・補植



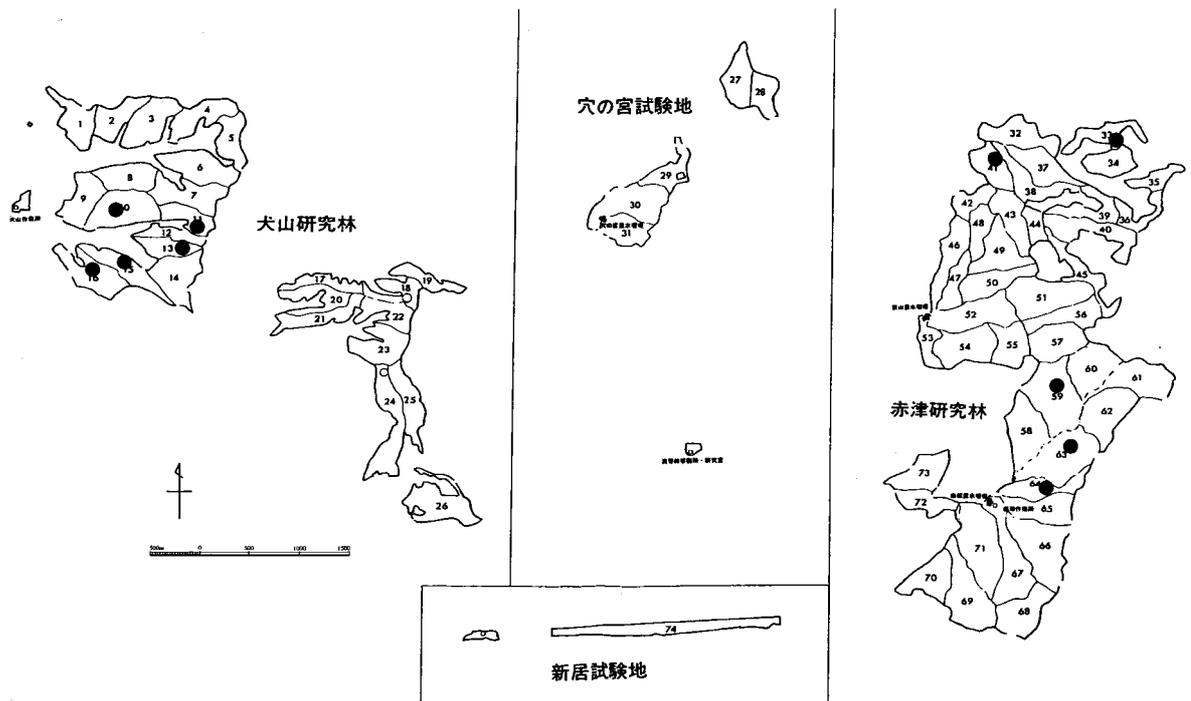
愛知演習林：下刈



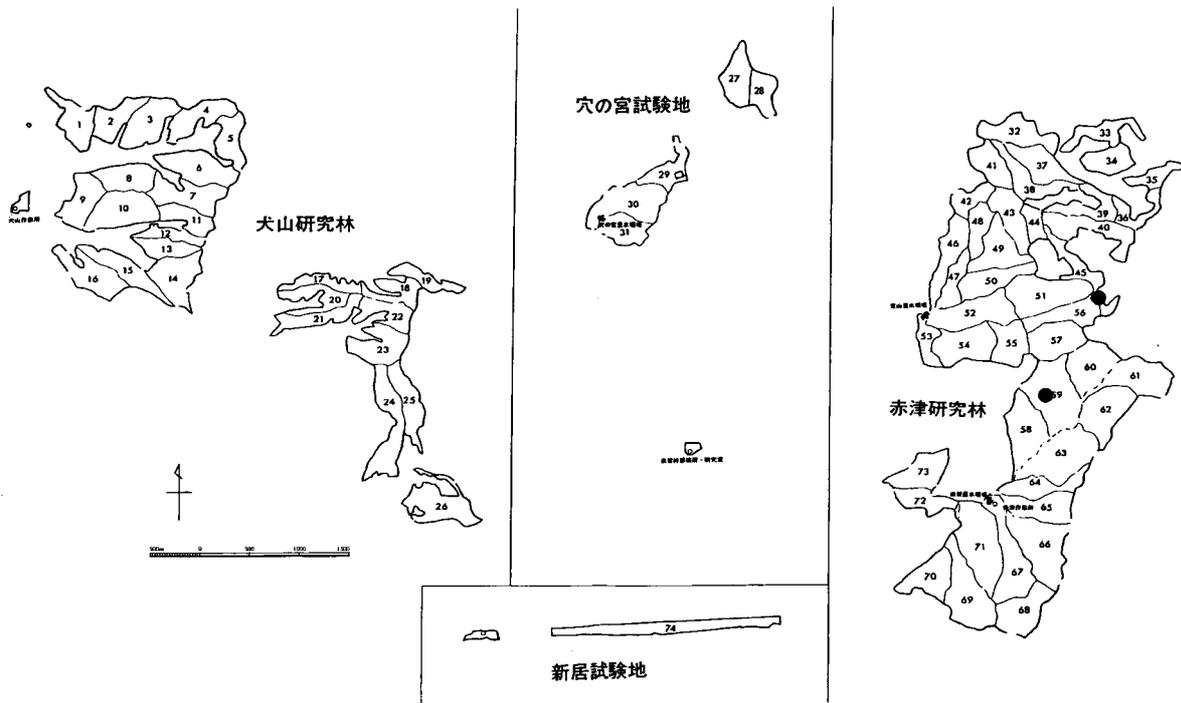
愛知演習林：除伐



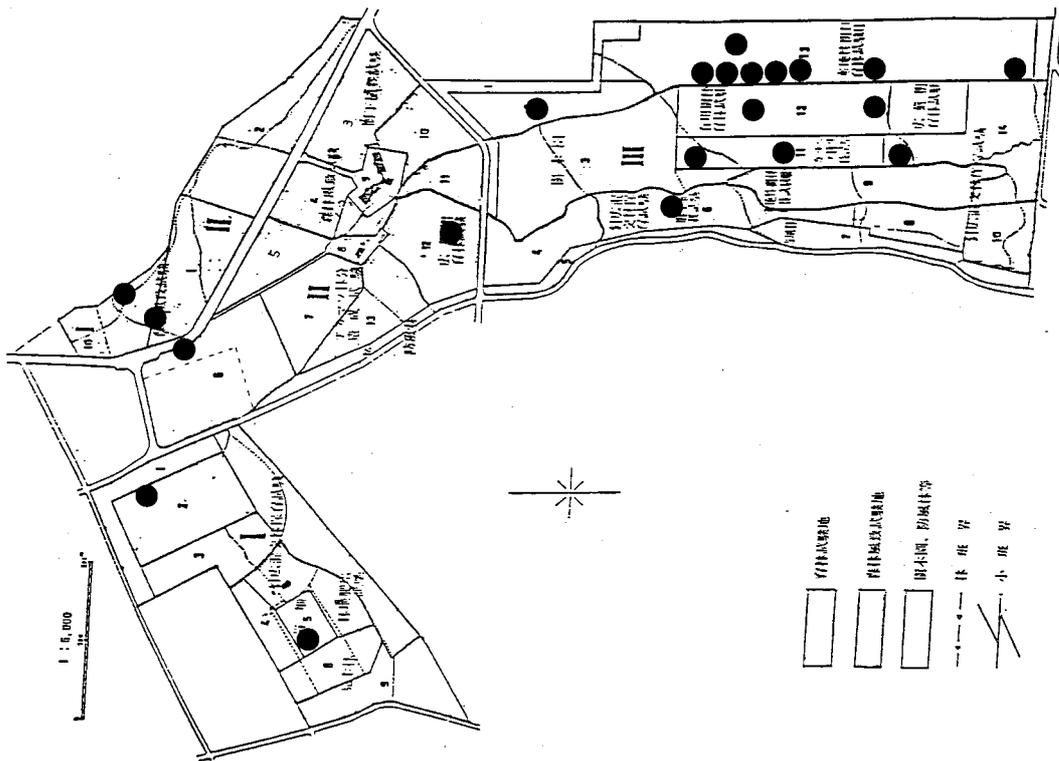
愛知演習林：枝打



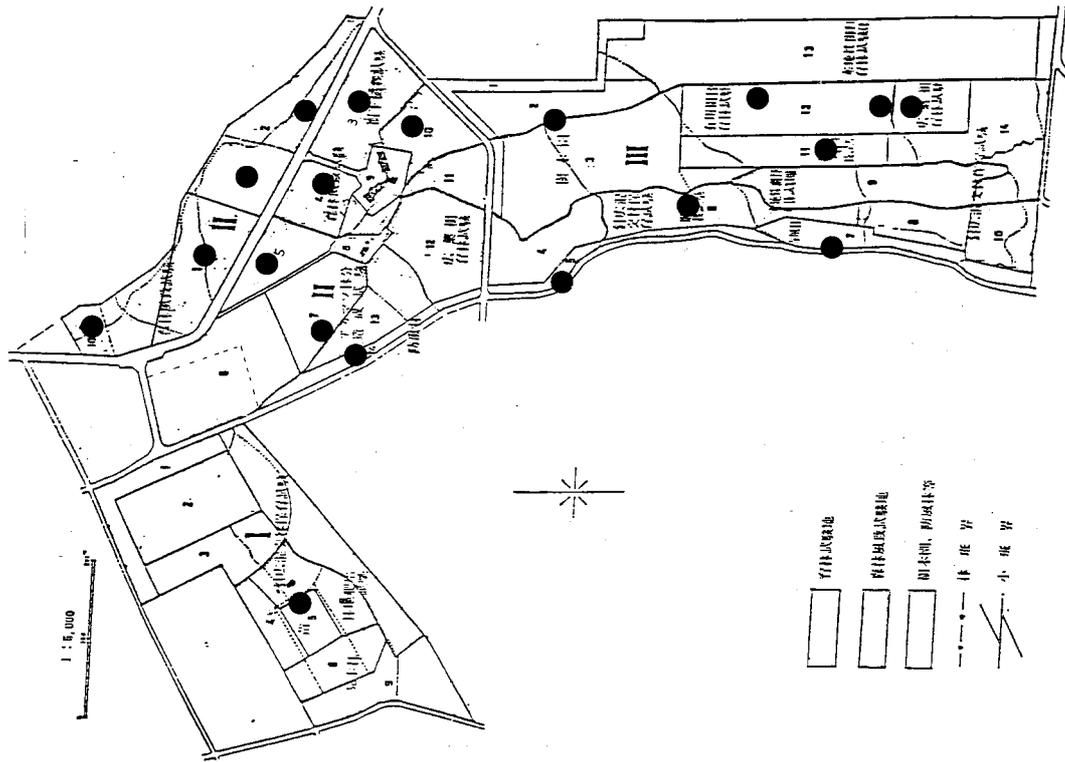
愛知演習林：間伐



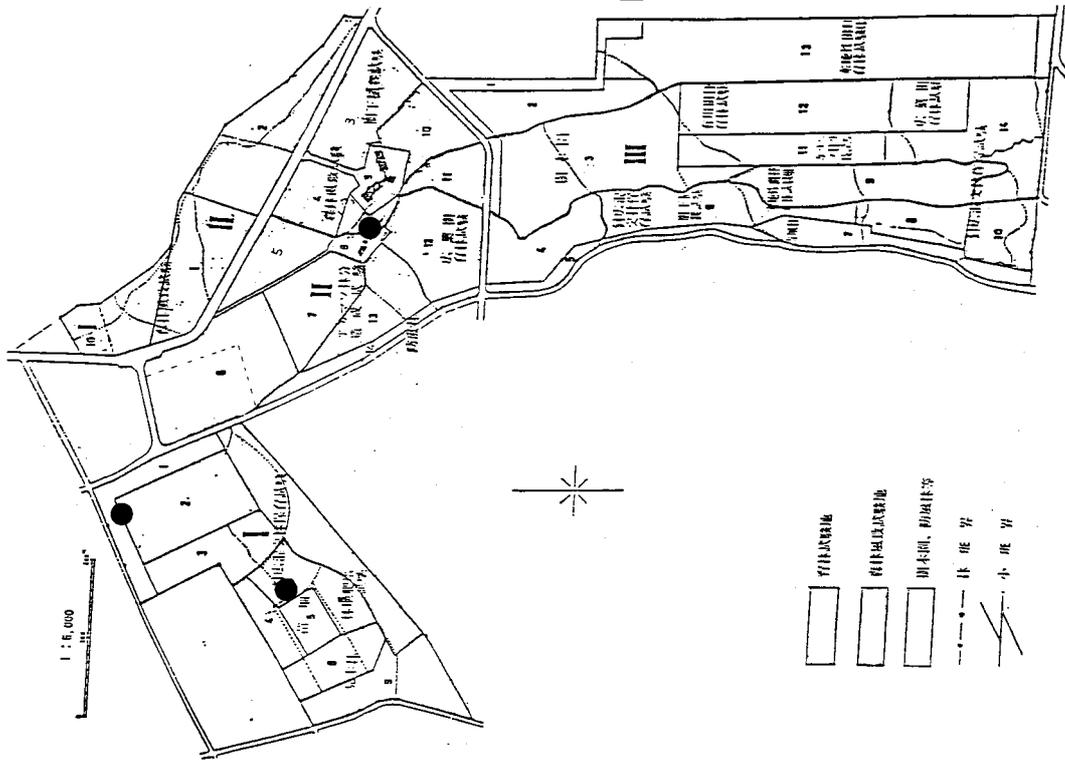
富士演習林：固定試験地



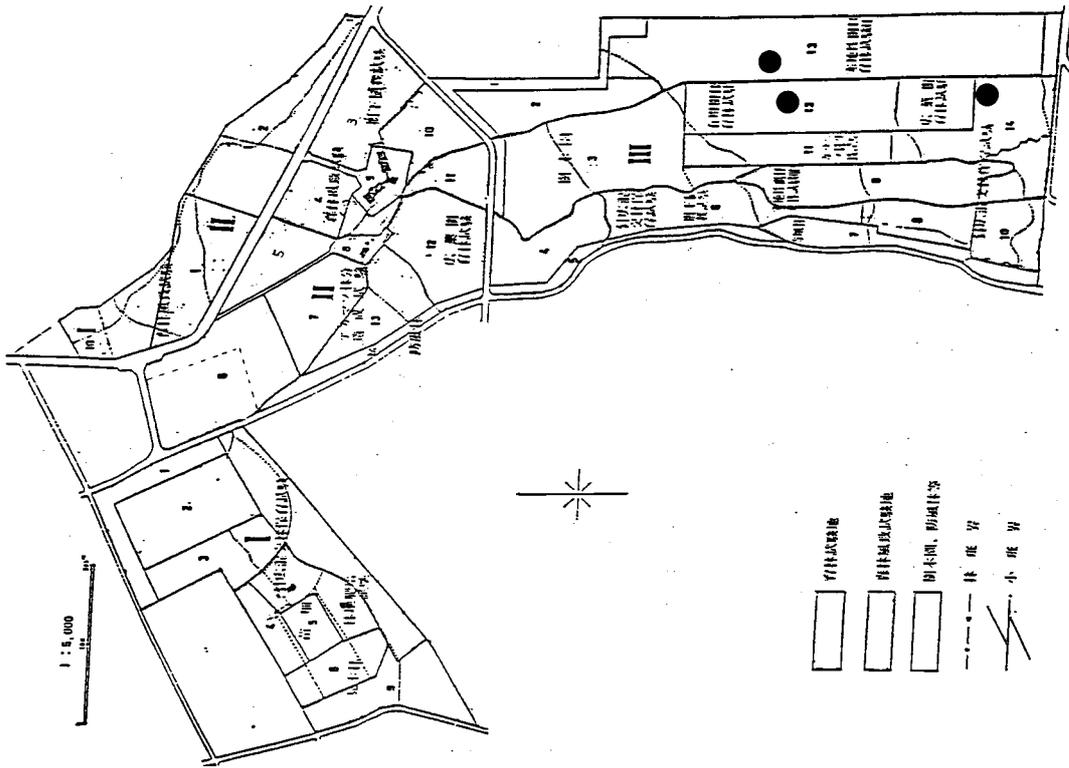
富士演習林：下刈



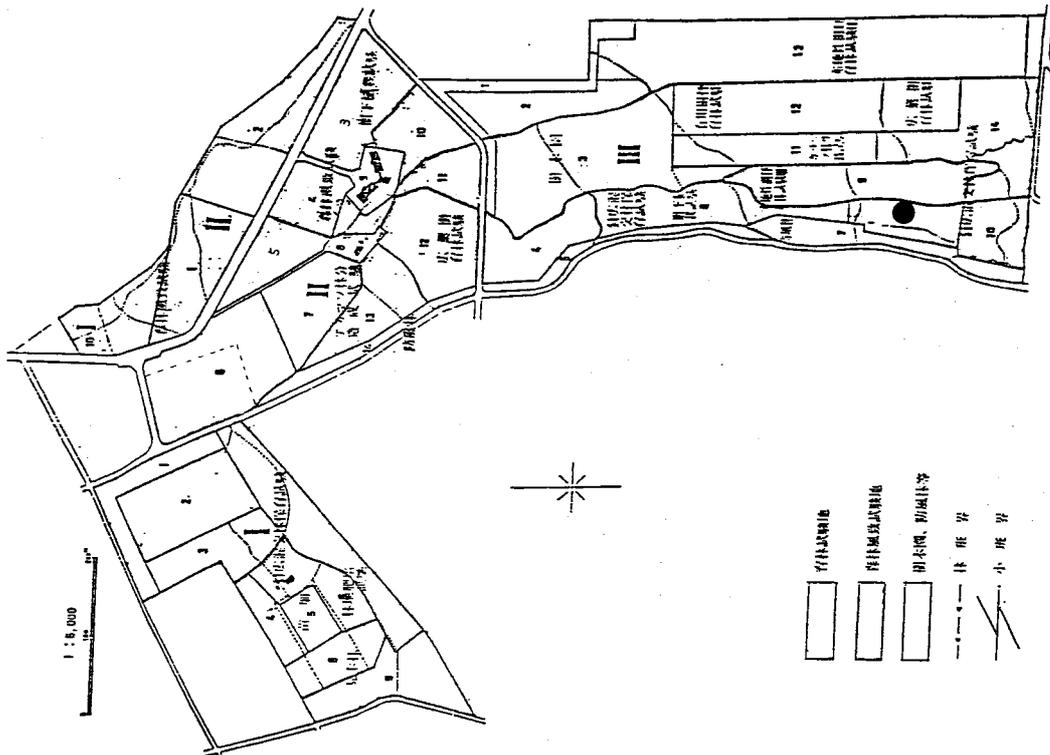
富士演習林：刈払



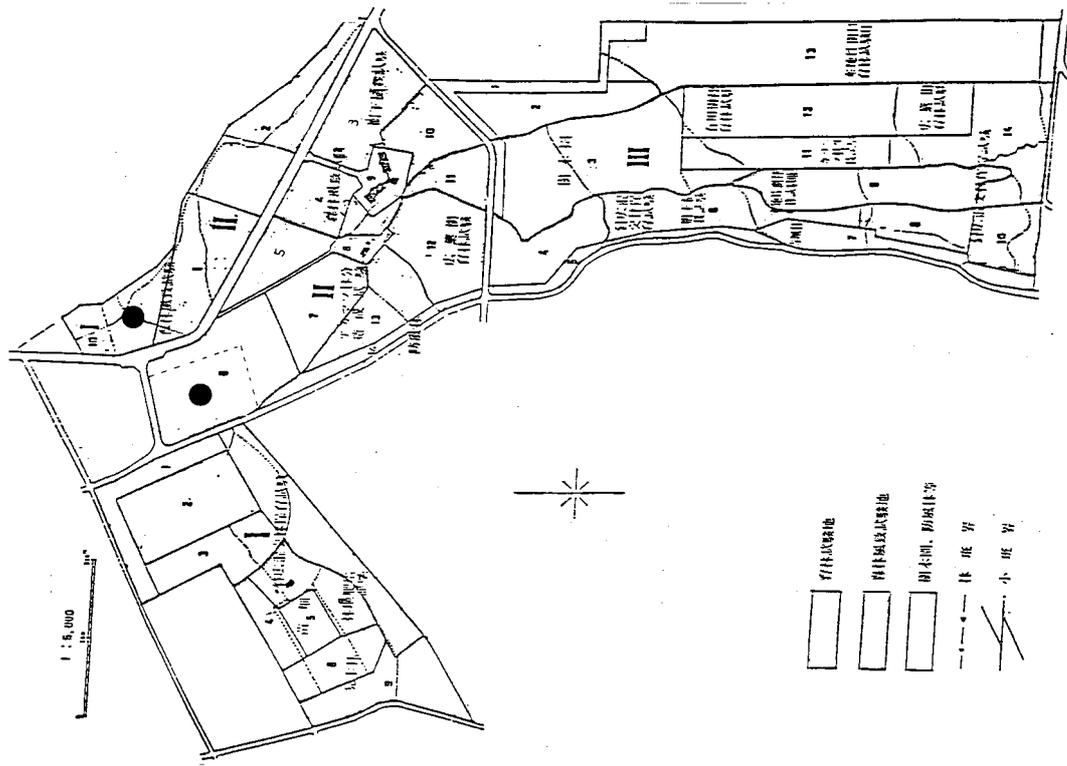
富士演習林：つる切り



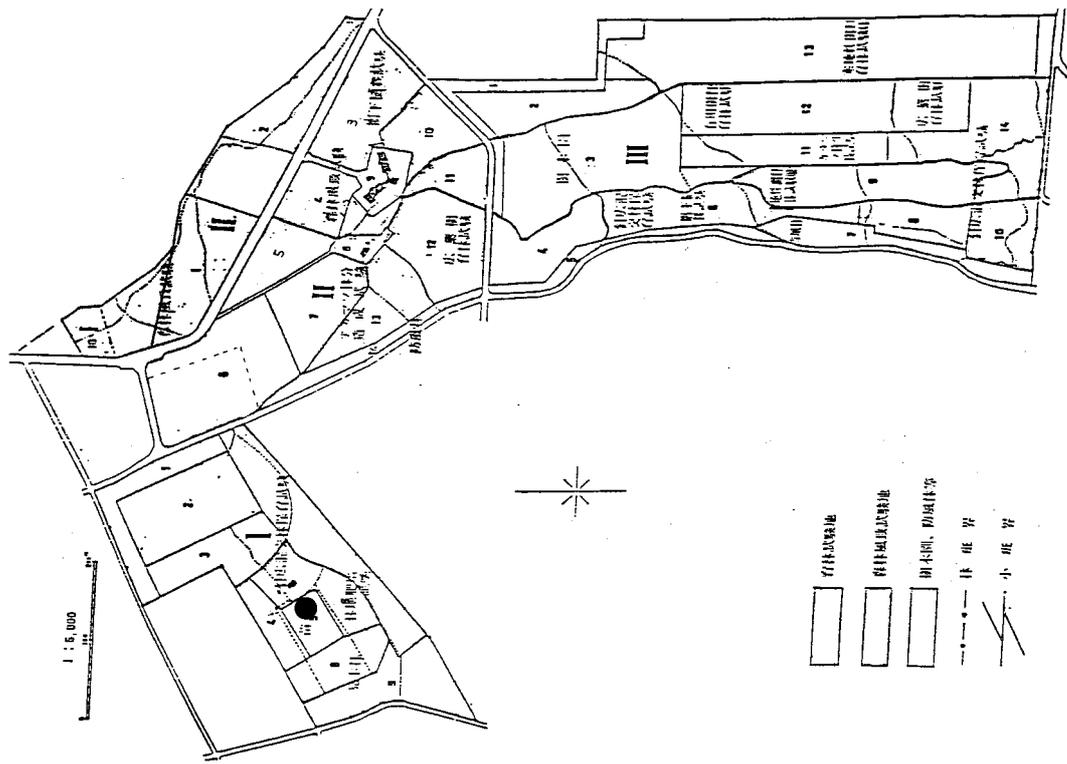
富士演習林：間伐



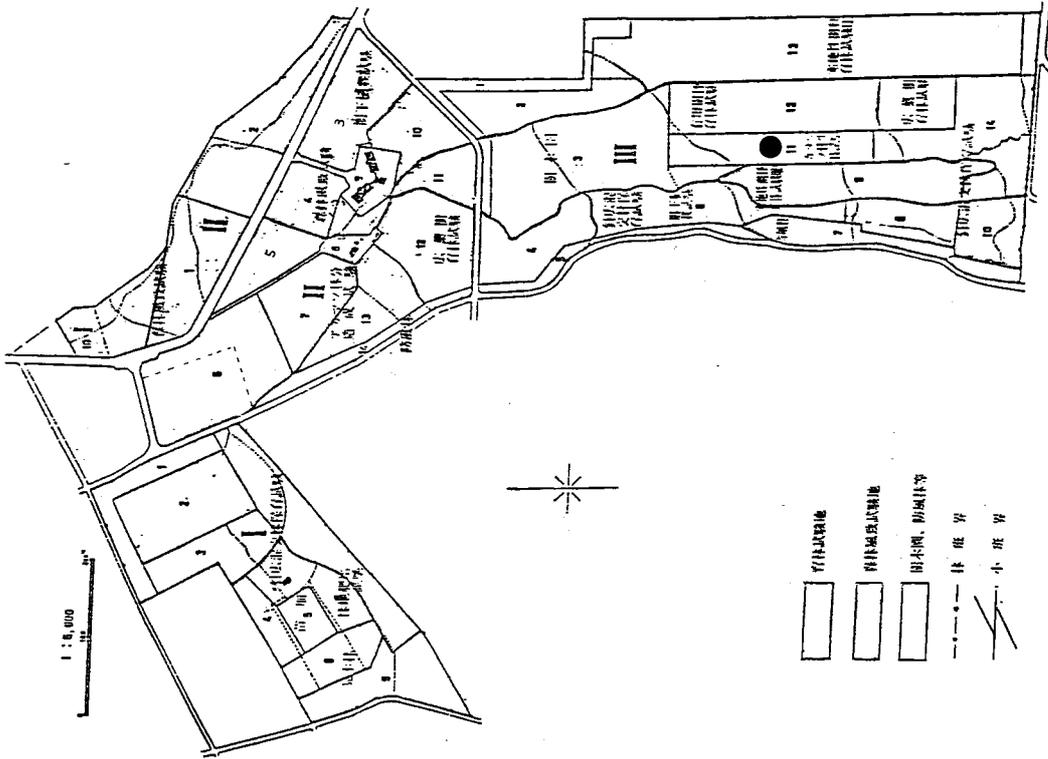
富士演習林：芝刈



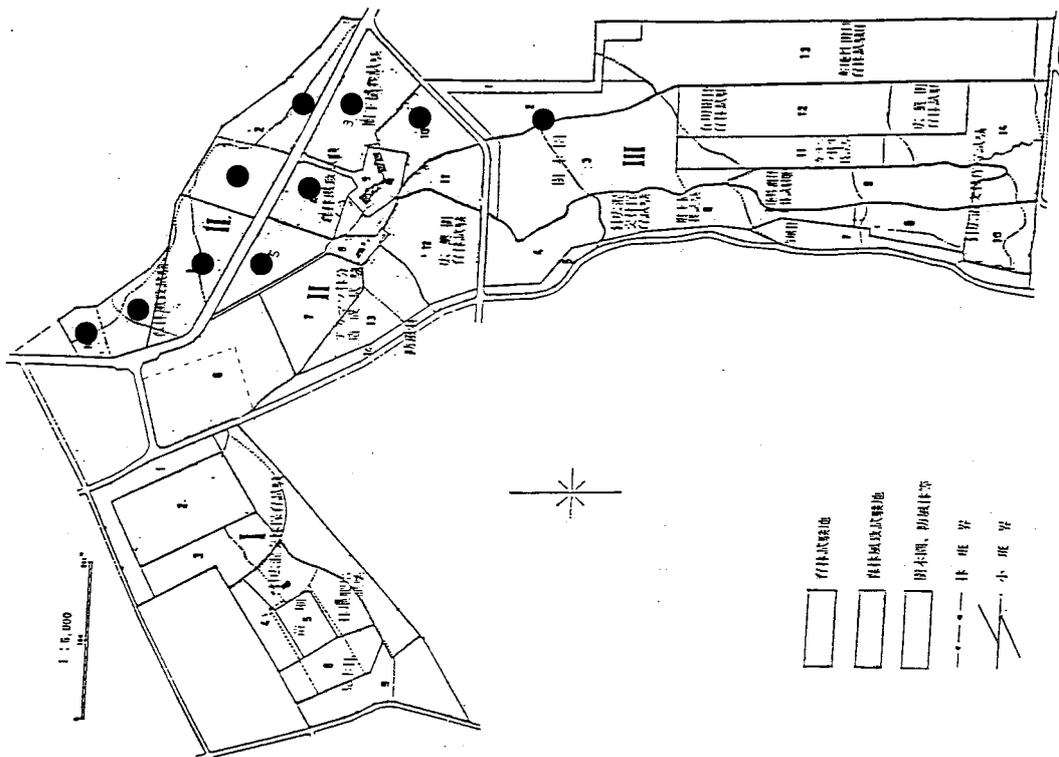
富士演習林：除草



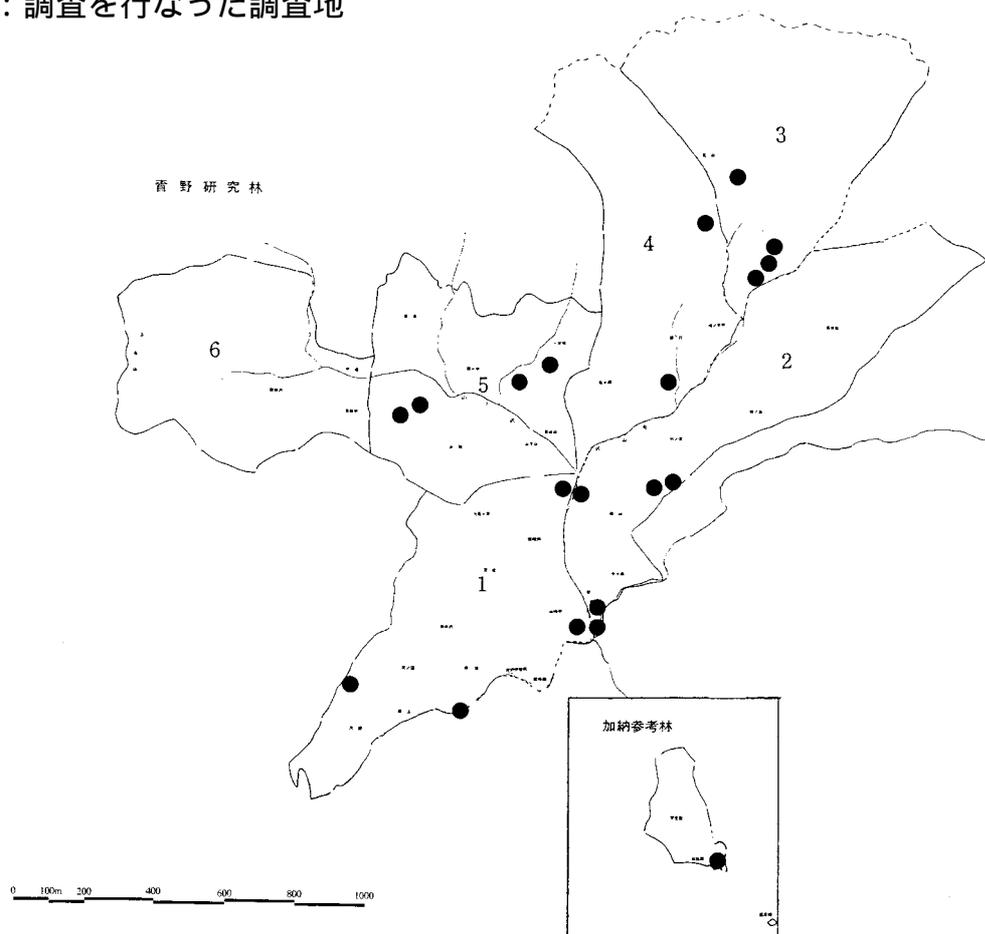
富士演習林：補植



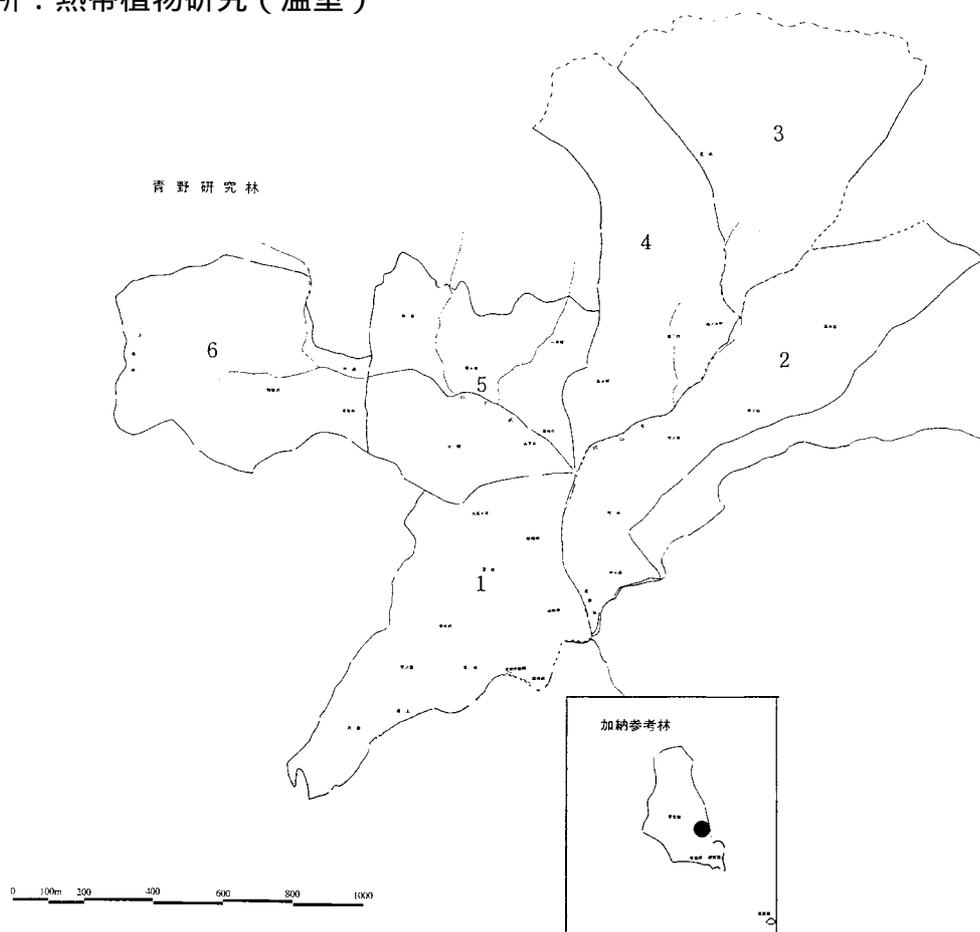
富士演習林：落枝片付



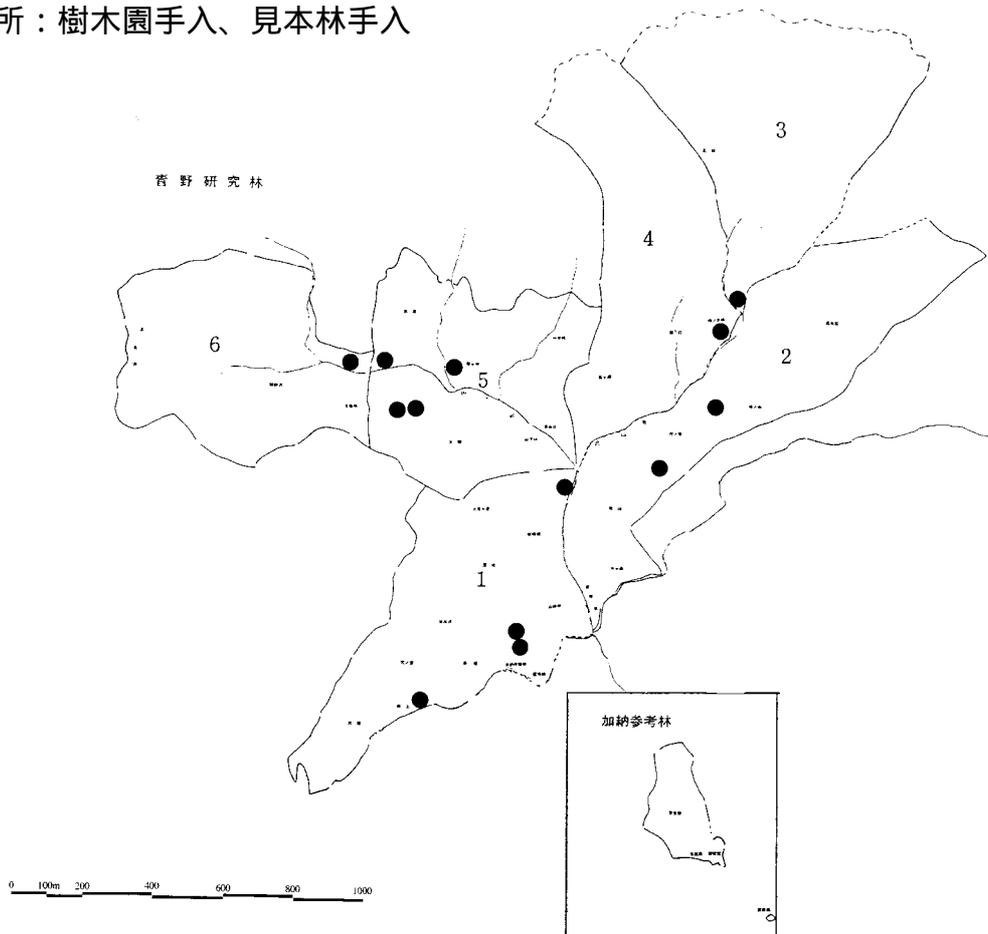
樹芸研究所：調査を行なった調査地



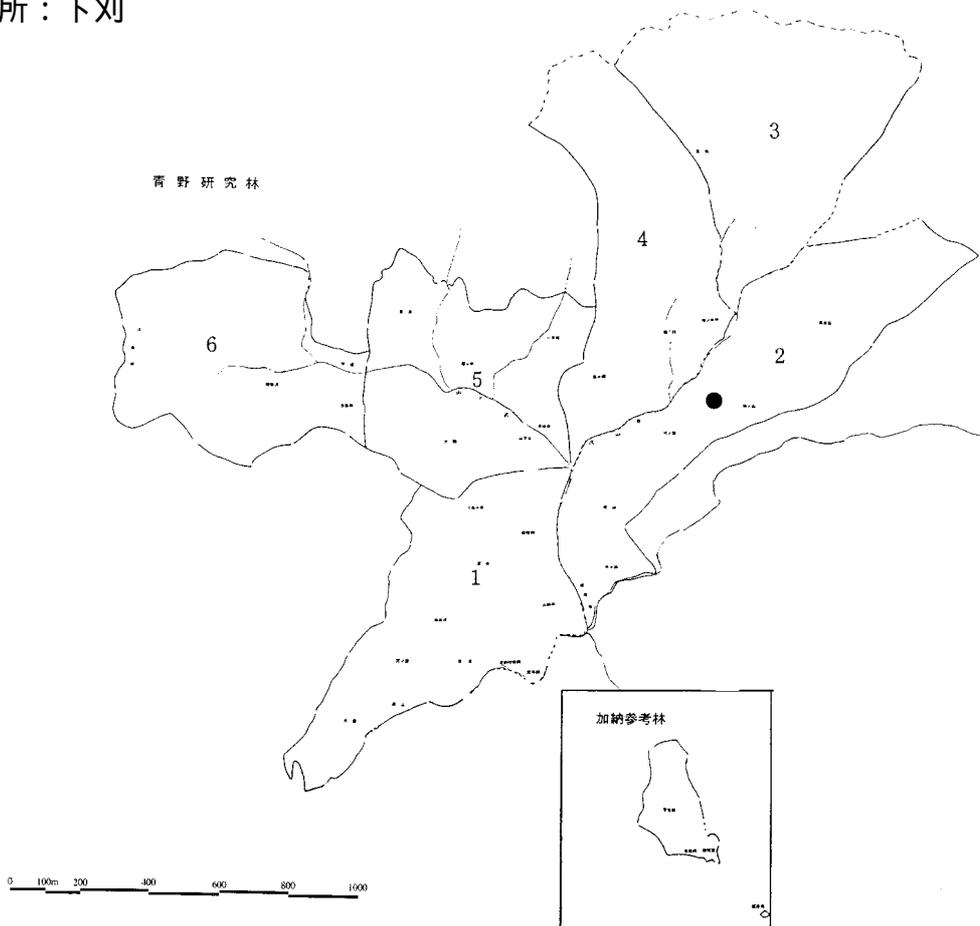
樹芸研究所：熱帯植物研究（温室）



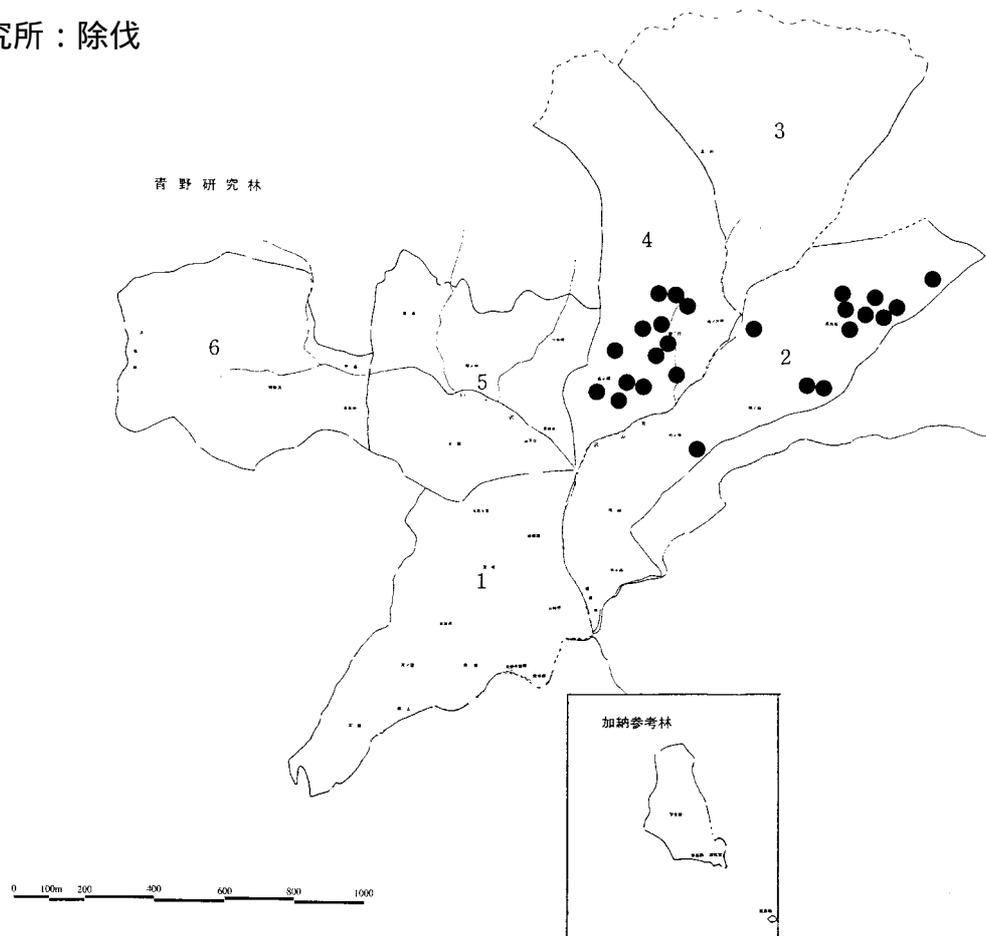
樹芸研究所：樹木園手入、見本林手入



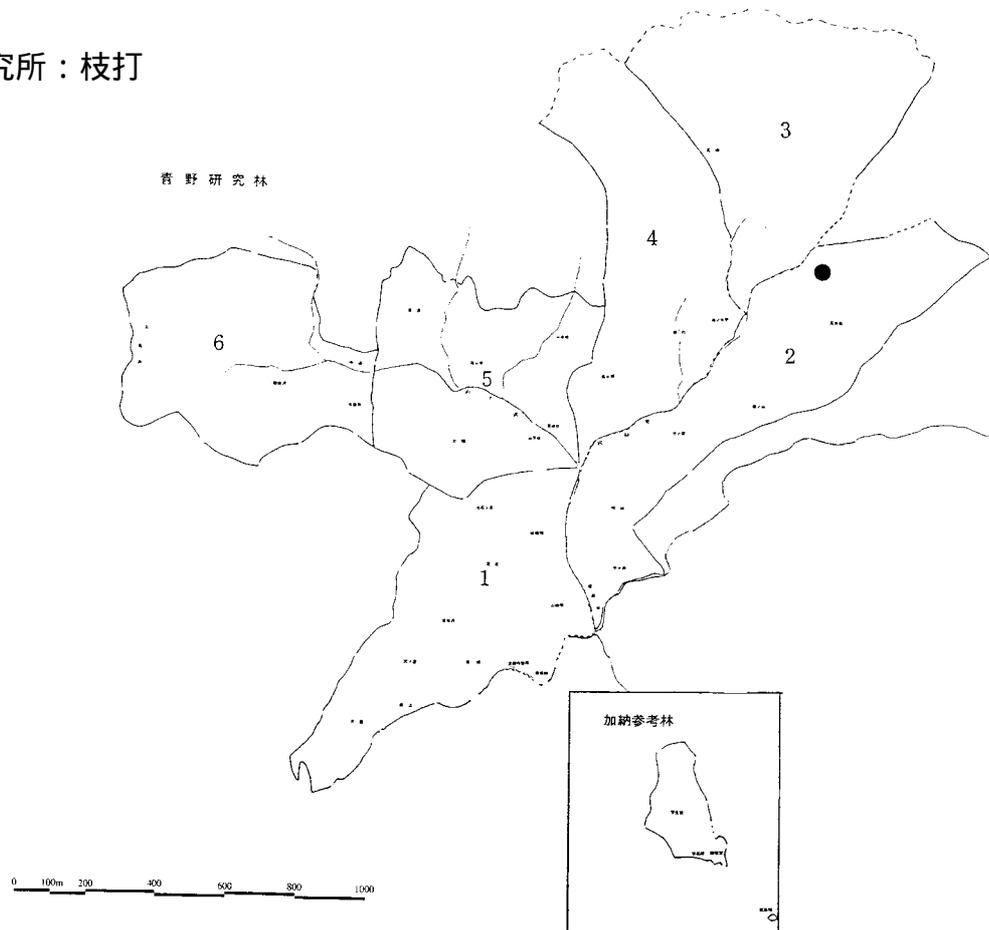
樹芸研究所：下刈



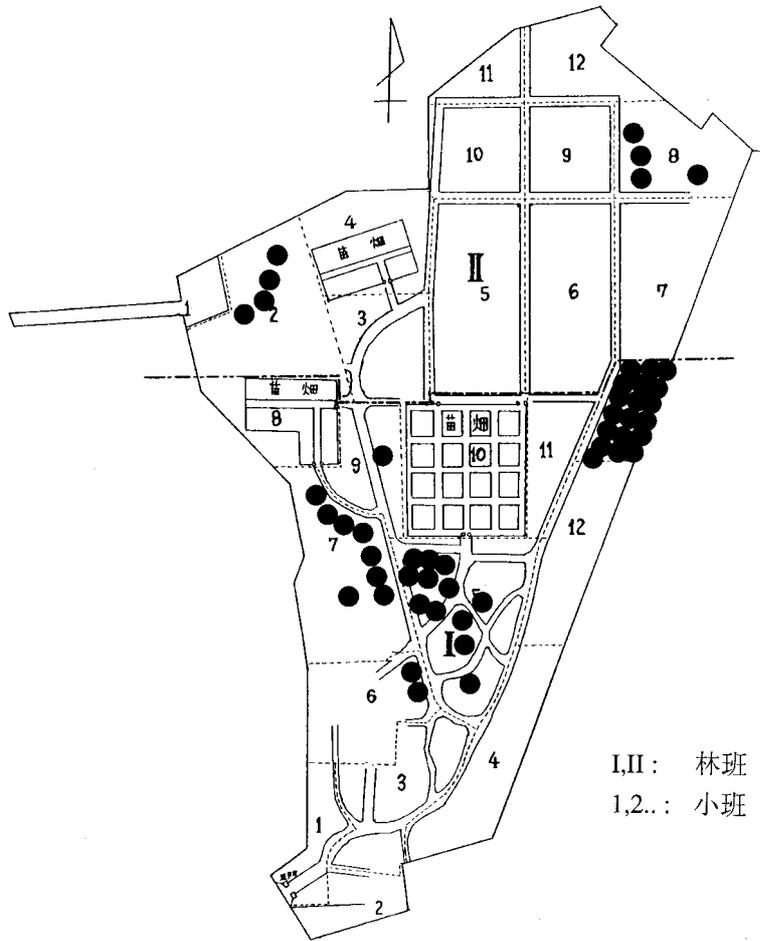
樹芸研究所：除伐



樹芸研究所：枝打



田無試験地：松くい虫予防薬剤注入箇所



2-2 林相別面積集計表

ha

| | 合計 | 樹林地 | | | | | | | | | 竹林 | 伐採跡地 | 未立木地 | その他 |
|-----|--------|--------|-------|-------|-----|------|--------|-------|--------|-------|----|------|------|-------|
| | | 計 | 人工林 | | | 天然林 | | | | | | | | |
| | | | 小計 | 針葉樹林 | 混交林 | 広葉樹林 | 小計 | 針葉樹林 | 混交林 | 広葉樹林 | | | | |
| 千葉 | 2,170 | 2,102 | 841 | 811 | 21 | 9 | 1,261 | | 366 | 895 | 1 | | | 67 |
| 北海道 | 22,830 | 20,757 | 3,437 | 2,578 | 136 | 723 | 17,315 | 1,808 | 11,633 | 3,874 | | | 973 | 1,100 |
| 秩父 | 5,821 | 5,757 | 767 | 749 | | 18 | 4,990 | 117 | 60 | 4,813 | | | | 64 |
| 愛知 | 1,292 | 1,247 | 376 | 369 | | 7 | 871 | | 871 | | | | | 45 |
| 富士 | 41 | 38 | 38 | 34 | 1 | 3 | | | | | | | | 3 |
| 樹研 | 246 | 214 | 132 | 73 | | 59 | 82 | | | 82 | | | | 32 |
| 田無 | 9 | 6 | 6 | 2 | 3 | 1 | | | | | | | | 3 |
| 合計 | 32,409 | 30,121 | 5,597 | 4,616 | 161 | 820 | 24,519 | 1,925 | 12,930 | 9,664 | 1 | | 973 | 1,314 |

2-3 林相別蓄積集計表

m³

| | 計 | 人工林 | 天然林 |
|-----|-----------|---------|-----------|
| 千葉 | 424,673 | 265,251 | 159,422 |
| 北海道 | 4,022,000 | 368,000 | 3,654,000 |
| 秩父 | 760,677 | 134,030 | 626,647 |
| 愛知 | 195,565 | 58,751 | 136,814 |
| 富士 | 3,493 | 3,493 | |
| 樹研 | 3,6993 | 26,427 | 10,566 |
| 田無 | 194 | 194 | |
| 合計 | 5,443,595 | 856,146 | 4,587,449 |

2-4 立木伐採量

m³

| | | 伐採材積（主伐） | | | | | | | 間伐材積 | 主間伐 合計 |
|-----|---------|----------|-------|-------|-----|--------|--------|--------|--------|-----------|
| | | 計 | 人工林 | | | 天然林 | | | | |
| | | | 小計 | 針葉樹 | 広葉樹 | 小計 | 針葉樹 | 広葉樹 | | |
| 千葉 | 立木処分 | 1,618 | 1,618 | 1,618 | | | | | 2,860 | 4,478 |
| | 素材生産資材量 | | | | | | | | 127 | 127 |
| | その他 | | | | | | | | | |
| | 合計 | 1,618 | 1,618 | 1,618 | | | | | 2,987 | 4,605 |
| 北海道 | 立木処分 | 28,295 | 6,614 | 6,488 | 126 | 21,681 | 12,762 | 8,919 | 6,614 | 28,295 |
| | 素材生産資材量 | 7,859 | 150 | 127 | 23 | 7,709 | 5,092 | 2,617 | 150 | 7,859 |
| | その他 | | | | | | | | | |
| | 合計 | 36,154 | 6,764 | 6,615 | 149 | 29,390 | 17,854 | 11,536 | 6,764 | 36,154 |
| 秩父 | 立木処分 | 175 | | | | 36 | 6 | 30 | 139 | 175 |
| | 素材生産資材量 | 354 | 9 | 9 | | | | | 354 | 354 |
| | その他 | | | | | | | | | |
| | 合計 | 529 | 9 | 9 | | 36 | 6 | 30 | 484 | 354 |
| 愛知 | 立木処分 | 148 | 148 | 148 | | | | | 214 | 362 |
| | 素材生産資材量 | | | | | | | | | |
| | その他 | | | | | | | | | |
| | 合計 | 148 | 148 | 148 | | | | | 214 | 362 |
| 富士 | 立木処分 | | | | | | | | | |
| | 素材生産資材量 | | | | | | | | | |
| | その他 | | | | | | | | | |
| | 合計 | | | | | | | | | |
| 樹研 | 立木処分 | | | | | | | | | |
| | 素材生産資材量 | | | | | | | | | |
| | その他 | | | | | | | | | |
| | 合計 | | | | | | | | | |
| 田無 | 立木処分 | | | | | | | | | |
| | 素材生産資材量 | | | | | | | | | |
| | その他 | | | | | | | | | |
| | 合計 | | | | | | | | | |
| 合計 | 立木処分 | 30,236 | 8,380 | 8,254 | 126 | 21,717 | 12,768 | 8,949 | 9,847 | 33,310 |
| | 素材生産資材量 | 8,213 | 159 | 136 | 23 | 7,709 | 5,092 | 2,617 | 631 | 8,340 |
| | その他 | | | | | | | | | |
| | 合計 | 38,449 | 8,539 | 8,390 | 149 | 29,426 | 17,860 | 11,566 | 10,478 | 41,650 |

2-5 育林実行量

| | 造林 | | 保育(ha) | 備考 |
|-----|--------|--------|--------|---|
| | 面積(ha) | 植栽本数 | | |
| 千葉 | 3.48 | 11,640 | 21.02 | 補植1.58 下刈り6.15 つる切り・除伐6.00 撫育間伐(請負) 5.04 枝打ち6.00 |
| 北海道 | 56.60 | 50,480 | 558.67 | つる切、除伐、枝打138.41 (直114.80 請23.61) 下刈223.98 (直75.31 請148.67) 人工播種24.32 (ミズナラ) 野鼠防除84.64 間伐87.32 |
| 秩父 | 0.78 | 1,445 | 64.81 | 補植3.66 下刈2.50 除伐33.26 つる切り9.07 枝打13.73 撫育間伐2.59 |
| 愛知 | 0.40 | 2,250 | 17.88 | 地拵0.50 下刈3.09 つる切り除伐5.42 枝打3.96 間伐4.91 |
| 富士 | | | 16.39 | 下刈・つる切(園地整備, 延べ面積) |
| 樹研 | | | 11.85 | 下刈0.33 除伐10.84 枝打0.68 |
| 田無 | | | | |
| 合計 | 61.26 | 65,815 | 690.62 | |

2-6 植栽樹種

| | | | | | | |
|-----|----|--------|--------|--------|-------|------|
| 千葉 | 樹種 | スギ | ヒノキ | アカマツ | | |
| | 本数 | 4,750 | 6,790 | 100 | | |
| 北海道 | 樹種 | トドマツ | アカエゾマツ | エゾマツ | ヤチダモ | アオダモ |
| | 本数 | 16,980 | 16,070 | 13,655 | 3,150 | 625 |
| 秩父 | 樹種 | スギ | ヒノキ | | | |
| | 本数 | 825 | 1,520 | | | |
| 愛知 | 樹種 | ヒノキ | | | | |
| | 本数 | 2,250 | | | | |
| 富士 | 樹種 | | | | | |
| | 本数 | | | | | |
| 樹研 | 樹種 | | | | | |
| | 本数 | | | | | |
| 田無 | 樹種 | | | | | |
| | 本数 | | | | | |

注：秩父に関しては、2-5 育林実行量に記載されている造林本数 + 補植本数となっています。

2-7 素材生産総括表

m³

| | 素材生産資材量 | | | 素材生産量 | | | 歩留(%) | | |
|-----|----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-------|-----|-----|
| | 計 | 針葉樹 | 広葉樹 | 計 | 針葉樹 | 広葉樹 | 計 | 針葉樹 | 広葉樹 |
| 千葉 | 126.68 | 119.73 | 6.95 | 98.294 | 94.974 | 3.320 | 78 | 79 | 48 |
| 北海道 | 7,858.74 | 5,218.35 | 2,640.39 | 5,556.613 | 3,944.067 | 1,612.546 | 71 | 76 | 61 |
| 秩父 | 353.45 | 353.45 | | 299.119 | 299.119 | | 85 | 85 | |
| 愛知 | | | | | | | | | |
| 富士 | | | | | | | | | |
| 樹研 | | | | | | | | | |
| 田無 | | | | | | | | | |
| 合計 | 8,406.19 | 5,691.53 | 2,647.34 | 5,954.026 | 4,338.160 | 1,615.866 | 71 | 76 | 61 |

2-8 土木実行総括表

m

| | | | | | | | | |
|-----|------|--------|---------|--------|-----------|--------|---------|---------|
| 千葉 | 実行内容 | 自動車道新設 | 自動車道維持 | 歩道維持 | | | | |
| | 実行数量 | 96 | 30,634 | 58,780 | | | | |
| 北海道 | 実行内容 | 作業道新設 | 林道草刈 | 林道補修 | 路肩及法面柴切整理 | 砂利運搬敷均 | 地拵 | 地がき |
| | 実行数量 | 13,300 | 166,000 | 60,100 | 14,000 | 9,300 | 21.00ha | 24.84ha |
| 秩父 | 実行内容 | 自動車道新設 | 自動車道維持 | 歩道維持 | 渡り橋修理 | | | |
| | 実行数量 | 74 | 11,562 | 28,300 | 2カ所 46 | | | |
| 愛知 | 実行内容 | | | | | | | |
| | 実行数量 | | | | | | | |
| 富士 | 実行内容 | | | | | | | |
| | 実行数量 | | | | | | | |
| 樹研 | 実行内容 | 自動車道新設 | 自動車道維持 | 歩道維持 | 渡り橋修理 | | | |
| | 実行数量 | 24 | 9,153 | 2,121 | 1カ所 | | | |
| 田無 | 実行内容 | | | | | | | |
| | 実行数量 | | | | | | | |

2-9 道路現況

m

| | 車道延長 | | | | 歩道延長 | |
|-----|---------|---------|---------|----------|---------|----------|
| | 林道延長 | 作業道延長 | 計 | 密度(m/ha) | 延長 | 密度(m/ha) |
| 千葉 | 31,150 | | 31,150 | 14.2 | 126 | 58 |
| 北海道 | 484,500 | 433,150 | 917,650 | 40.2 | 7,800 | 0.34 |
| 秩父 | 9,728 | 1,834 | 11,562 | 2.0 | 216,071 | 37.1 |
| 愛知 | 11,840 | 1,500 | 13,340 | 10.3 | 12,400 | 9.6 |
| 富士 | 1,937 | | 1,937 | 47.3 | 2,357 | 57.5 |
| 樹研 | 3,264 | | 3,264 | 13.3 | 11,753 | 47.8 |
| 田無 | | | | | | |
| 合計 | 542,419 | 436,484 | 98,903 | | 250,507 | |

3 利用状況

3-1利用概況

本演習林では演習林の利用状況を把握するために、利用団体・利用目的を問わず、演習林を利用する者に対して「演習林利用申込書」の提出を義務付けている。この申込書により

利用演習林名

利用代表者所属機関・部局（学科・研究室）・職

利用の目的（又は研究課題）

利用期間

利用人数

を知ることができる。以下ではこの申込書をもとにして、今年度の演習林利用状況をまとめた。

（延べ人数は単純に申込書の利用者数×日数によるもので実際の延べ利用者数と異なる場合があります。）

演習林利用状況 年間利用延べ人数（平成9年度）

| 演習林 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 |
|-----|------|------|------|-------|-------|
| 千葉 | 511 | 414 | 941 | 2645 | 4511 |
| 北海道 | 292 | 585 | 47 | 697 | 1621 |
| 秩父 | 317 | 301 | 111 | 748 | 1477 |
| 愛知 | 128 | 201 | 85 | 179 | 593 |
| 富士 | 230 | 155 | 26 | 9577 | 9988 |
| 樹芸 | 32 | 55 | 16 | 347 | 450 |
| 田無 | 88 | 203 | 123 | 6369 | 6783 |
| 合計 | 1598 | 1914 | 1349 | 20562 | 29383 |

3-2演習林を利用して行なった論文等

| 発表者全氏名 | 題名 | 誌名 | 巻(号) | 頁 | 年 |
|--------------------------|---|------------|-------|---------|------|
| 井口 和信・高橋 康夫・犬飼 雅子 | エゾシカの食害による森林被害 - 岩魚沢大型試験地の事例(II) - | 森林保護 | 258 | 14-16 | 1997 |
| 福田 健二・西谷 裕子・中村 昌有吉・鈴木 和夫 | Water relations of Yezo spruce and Todo fir in declined stands of boreal forest in Hokkaido Japan | J.For.Res. | 2 | 79-84 | 1997 |
| 有澤 浩 | 北方系希少鳥類の保全と森林管理 | 森林科学 | 20 | 46-50 | 1997 |
| 倉橋 昭夫 | 北方樹木の育種及び遺伝子資源保全 | 北方林業 | 49(7) | 145-148 | 1997 |
| 梶 幹男 | シカによる森林被害 - 東京大学演習林の事例 | 北方林業 | 49(8) | 169-172 | 1997 |

| 発表者全氏名 | 題名 | 誌名 | 巻(号) | 頁 | 年 |
|--|---|----------------------|-------------|-----------|------|
| 本阿弥 俊治・山本 博一・佐藤 烈・道上 昭夫・犬飼 浩 | 択伐施業による針広混交林の林分構造の変化-東京大学北海道演習林105林班における事例 - | 森林計画誌 | 29 | 35-40 | 1997 |
| 農学部附属演習林 | 東京大学演習林気象報告(自1996年1月至1996年12月) | 演習林 | 37 | 83-210 | 1997 |
| 本阿弥 俊治・山本 博一・高橋 康夫・芝野 伸策・岡村 行治・井口 和信 | 北方針葉樹天然林の林分構造 - 大型試験地における分布様式 - | 日林論 | 108 | 89-90 | 1997 |
| 山本 博一・大橋 邦夫・道上 昭夫・芝野 伸策・岩本 進一・犬飼 浩・佐藤 烈 | 針広混交天然林の林分構造の解析(III) 択伐施業による林分構造の変化 | 日林論 | 108 | 91-93 | 1997 |
| 石 福臣・木佐貫 博光・鈴木 和夫 | 中国東北部におけるカラマツ林の分布様式とその構成 | 日林論 | 108 | 287-289 | 1997 |
| 仁多見 俊夫・岩本 進一・福士 憲司・笠原 久臣 | 択伐作業における車両機械集材作業と森林の攪乱及び作業能率 | 日林論 | 108 | 493-496 | 1997 |
| 澤田 晴雄・梶 幹男・五十嵐 勇治・大村 和也 | 秩父山地亜高山帯域における風倒跡地林分の再生過程 | 演習林報告 | 98 | 99-116 | 1997 |
| 山岡 裕一・Michael J.Wingfield・高橋 郁雄・Halvor Solheim | Ophiostomatoid fungi associated with the spruce bark beetle <i>Ips typographus</i> f. <i>japonicus</i> in japan | Mycol. Res. | 101 (10) | 1215-1227 | 1997 |
| SIMON Lawson・古田 公人・片桐 一正 | "Effect of natural enemy exclusion on mortality of <i>Ips typographus japonicus</i> Niijima(Col., Scolytidae) in Hokkaido, Japan" | J. Appl. Ent. | 121 | 89-98 | 1997 |
| 山本 勝彦・犬飼 浩・小池 征寛・宅間 隆二・松井 理生・平田 雅和・大屋 一美・井口 和信 | 急傾斜地におけるポット苗造林の試み - 植栽10年目の生育状況 - | 平成9年度技術官等試験研究・研修会議報告 | | 35-41 | 1998 |
| 福士 憲司・岩本 進一・笠原 久臣・坂口 敏雄・伊原 重男・河原 漠 | 集材作業システムにおける車両集材作業の違いによる森林への影響と作業能率 | 平成9年度技術官等試験研究・研修会議報告 | | 59-67 | 1998 |
| 小笠原 繁男・岡村 行治・鈴木 憲・梶 幹男 | カツラの発芽および実生の成長に関する母樹別変異 | 日林北支論 | 46 | 52-54 | 1998 |
| 岡村 行治・小笠原 繁男・鈴木 憲・梶 幹男 | ヤチガモの発芽および実生の成長に関する母樹別変異 | 日林北支論 | 46 | 55-57 | 1998 |
| 井口 和信・高橋 康夫・犬飼 雅子・梶 幹男 | ハモグリハバチ類の食害によるシナ類の被害状況 | 日林北支論 | 46 | 117-120 | 1998 |

| 発表者全氏名 | 題名 | 誌名 | 巻(号) | 頁 | 年 |
|--------------|---|---------------------|-------|---------|------|
| 高橋 郁雄 | 最近ハイマツ上で明らかにされた主要病害 | 日林北支論 | 46 | 128-129 | 1998 |
| 木佐貫 博光・倉橋 昭夫 | ミズナラ植栽木の成長および着果開始年における産地間差 | 日林北支論 | 46 | 160-162 | 1998 |
| 倉橋 昭夫 | カラマツ属の交雑育種 - 東大北海道演習林での40年間の取り組み - | 北海道の林木育種 | 40(2) | 5-9 | 1998 |
| 木佐貫 博光 | 林木育種事業・研究最近の取り組み - 東京大学北海道演習林 - | 北海道の林木育種 | 40(2) | 12-13 | 1998 |
| 実川 太一 | 天然林施業を行っている北海道の森林の地掻き後の土壌動物相の解明 | 東京大学修士論文 | | 1-43 | 1998 |
| 本阿弥 俊治 | 標準地法による針広混交天然林の森林資源調査 - 東京大学北海道演習林内の大型試験地における事例 - | 東京大学修士論文 | | 108Pp. | 1998 |
| 高橋 瑞樹 | 東京大学北海道演習林のトドマツ天然集団におけるアイソザイム変異に関する研究 | 東京大学修士論文 | | 1-108 | 1998 |
| 本橋 伸夫 | 標高別試験地におけるマツ科樹木の菌根菌相および成長の比較 | 東京大学卒業論文 | | 1-38 | 1998 |
| 佐藤 喜和 | 1996-1997年東大北海道演習林地域におけるエゾヒグマの食性の季節変化 | 東京大学修士論文 | | | |
| 新庄 久尚 | 草本植物の発芽と出現に対するリターの影響 | 帯広畜産大学卒業論文 | | 1-26 | 1998 |
| 梶 幹男 | 草と木の話(フクジュソウ) | 林野時報 | 45(1) | 44 | 1998 |
| 梶 幹男 | 草と木の話(ヤドリギ) | 林野時報 | 45(2) | 41 | 1998 |
| 木佐貫 博光・倉橋 昭夫 | 1.トドマツ(2)自生地の標高によって性質は異なるのか | 北海道の森林づくりと林木育種 | | 19-20 | 1997 |
| 木佐貫 博光・倉橋 昭夫 | 2エゾマツ.アカエゾマツ(1)エゾマツの針葉形態は産地によって違いがあるか | 北海道の森林づくりと林木育種 | | 35-36 | 1997 |
| 木佐貫 博光・倉橋 昭夫 | 2エゾマツ.アカエゾマツ(2)エゾマツの苗木の生育は産地によってどんな違いがあるか | 北海道の森林づくりと林木育種 | | 37-38 | 1997 |
| 木佐貫 博光・倉橋 昭夫 | 2エゾマツ・アカエゾマツ(9)アカエゾマツとエゾマツの間にも子供ができるか | 北海道の森林づくりと林木育種 | | 53-54 | 1997 |
| 倉橋 昭夫 | 3カラマツ類(15)交雑品種「当演1号」(グイマツV-544×カラマツV-307)の特性は | 北海道の森林づくりと林木育種 | | 83-84 | 1997 |
| 木佐貫 博光・井出 雄二 | カラマツとグイマツの種間雑種における葉緑体DNAの遺伝 | 「新しい森林管理法「家系管理法」の確立 | | 152-157 | 1998 |

| 発表者全氏名 | 題名 | 誌名 | 巻(号) | 頁 | 年 |
|-------------------------------|--|-------------------------------|-------|-----------|------|
| 木佐貴 博光 | 東京大学北海道演習林における樹木のフェノロジー長期観測 | 全演協「森林地域における地球環境モニタリング第4回研究会」 | | 1-7 | 1997 |
| 寺田 珠美・鴨田 重裕・佐分 義正 | ユーカリ属培養細胞におけるフェルアラニンアンモニリアーゼ活性(,) - エリクターの影響 - | 東大演報 | 97 | 149-156 | 1997 |
| 鴨田 重裕・寺田 珠美・佐分 義正 | "Purification and some properties of Lignostilbene- , -dioxygenase Isozyme、 from Pseudomonas paucimobilis TMY1009" | Bio sci. Bio tech. Biochem | 61(9) | 1575-1576 | 1997 |
| 中村 昇 | フィンランドの森から | Journal of Timber Engineering | | 10-16 | 1997 |
| 加納 六郎・小林 洋・河内 武 | 千葉県産ニクバ工類の知見 | 千葉生物誌 | 47(1) | 1-16 | 1997 |
| 美濃羽 靖 | 非線形工学的手法による主観的森林情報の解析 | 日林誌 | 79(3) | 143-149 | 1997 |
| 阿達 康真・里見 重成・鶴見 康幸 | 千葉演習林における一般入林者に対するアンケート調査の結果 | 平成9年度技術官等試験研究・研修会議報告(東大演習林) | | 3-11 | 1997 |
| 軽込 勉・山中 千恵子・永島利夫 | 南房総清澄山系における気温と降水量の時空間変動解析 | 平成9年度技術官等試験研究・研修会議報告(東大演習林) | | 75-84 | 1997 |
| 蔵治 光一郎・田中 延亭・白木 克繁・唐鎌 勇・太田 猛彦 | 風速がスギ・ヒノキ壮齡林の樹幹流下量に及ぼす影響 | 日林誌 | 79(4) | 215-221 | 1997 |
| 東京大学農学部附属演習林 | 千葉演習林第11期試験研究計画(自平成9年度至平成16年度) | 演習林(東大) | 37 | 1-82 | 1997 |
| 東京大学農学部附属演習林 | 東京大学演習林気象報告(自1996年1月至1996年12月) | 演習林(東大) | 37 | 83-210 | 1997 |
| 穴倉 文夫・落合 威彦・山中 征夫 | Leech Extracellular Hemoglobin | ZOOLOGICAL SCIENCE | 14 | 923-930 | 1997 |
| 堀江 和美・中村 昇 | 「木材強度デ - タにおける確立・統計」解析シ - トの開発 | 第1回木質構造研究会技術発表会報告集 | | 52-53 | 1997 |
| 蒲谷 肇・前原 忠 | サル・シカの生息保護地域の森林保全と改良に関する研究 | 平成9年度科学研究費研究成果報告書 | | 1-96 | 1997 |

| 発表者全氏名 | 題名 | 誌名 | 巻(号) | 頁 | 年 |
|---|---|---|---------|---------|------|
| 鈴木 誠・村川 功雄・ 龍原 哲 | ヒノキ - スギ二段林における上木の間伐 に伴う下木への影響 | 日林論 | 108 | 99-100 | 1997 |
| 山中 征夫 | ヤマビルの生活環 | 日林論 | 108 | 373-376 | 1997 |
| 熊谷 朝臣・金子 正 則・白木 克繁・執印 康裕・鈴木 雅一・太田 猛彦 | 東京大学千葉演習林・袋山沢流域におけ る森林土壌の水分特性 | 東大演報 | 98 | 135-150 | 1997 |
| 鈴木 誠・井出 雄二 | 東京大学千葉演習林のモウソウチク67年 生で開花 | 森林防疫 | 47(1) | 9-10 | 1998 |
| 新田 郁子・大沢 雅彦 | Bud Structure and Shoot Architecture of Canopy and Understorey Evergreen Broad- leaved Trees at their Northern Limit East Asia | Annals of Botany | 81 | 115-129 | 1998 |
| 村林 伊知郎 | ヤマビルのマ - キング方法の検討 | 日本大学卒業 論文 | | 1-42 | 1998 |
| 真山 智之 | 森林におけるクガビル類2種の棲息環境 | 日本大学卒業 論文 | | 1-35 | 1998 |
| 落合 修 | スギ人工林下層植生の違いによる鳥類相 の比較について | 日本大学博士 論文 | | 1-39 | 1998 |
| 稲村 宏子・阿部 晃 久・山根 基輝・山中 征夫 | "The Adipose Cell of Land Leeches in the Winter Season, Haemadipsa zeylanica var.japonica" | 東京医科大学 紀要 | 24 | 31-40 | 1998 |
| 加納 六郎・小林 洋・ 河内 武 | 千葉県産クロバエ類の知見 | 千葉生物誌 | 48(1) | 61-73 | 1998 |
| 西川 浩己・井出 雄二 | 印章材としてのオノオレカンバの増殖 | 林木育種 | 特別 号 | 33-35 | 1998 |
| 井出 雄二・鈴木 誠 | 東京大学農学部付属演習林千葉演習林の 竹の開花年限試験地におけるモウソウチ クの開花 | 林業技術 | 672 | 11-14 | 1998 |
| 蒲谷 肇・直井 洋司・ 渡辺 朗男・萩原 光 | 千葉県におけるニホンザルの分布域の拡 大と保護管理 | ワイルドライ フフォーラム | 3(1) | 65-75 | 1997 |
| 蒲谷 肇 | 文献調査によるニホンザル、ニホンジカ についてのモニタリング調査手法の検討 | 開発地域等 における自然環 境モニタリン グ手法に係わ る基礎調査 (沼田真編) | 1 | 24-30 | 1998 |
| 蒲谷 肇 | サル・シカの生息保護地域の森林保全と 改良に関する研究 | 平成7年度～平 成8年度科学 研究費補助金 研究成果報告 書 | | 1-96 | 1997 |
| 諫本 信義・澤田 晴雄 | ユリノキの育林と利用についての調査研 究 | 大分県林業試 験場研究時報 | 25 | 56-63 | 1998 |

| 発表者全氏名 | 題名 | 誌名 | 巻(号) | 頁 | 年 |
|---|---|-----------------------------------|--------|---------|------|
| 澤田 晴雄・大村 和也・斉藤 俊浩・大畑 茂 | シヤクガ類のケヤキ人工林の成長におよぼす影響 | 日林関東支論 | 49 | | 1997 |
| OKUBO Tatsuhiro, TANIMOTO Takeo, Rob Peters, SAWADA Haruo, KAJI Mikio | Growth Dynamics During Canopy Recruitment of Spout-Origin Stems in Japanese Beech(Fagus japonica Maxim.) Stools in Old Growth Forest of Central Japan | Journal of SUSTAINABLE FORESTRY | 6(1/2) | 143-154 | 1998 |
| 梶 幹男・大久保 達弘・芝野 博文・蒲谷 肇・石田 健・宮下 直・大村 和也・澤田 晴雄・芝野 伸策・五十嵐 哲也・瓜生アリセ 考子 | 大面積プロットによる秩父地方山地帯天然林生態系の解明 | 平成6年度～平成8年度科学研究補助金(基盤研究(B)(2)) | | 1-127 | 1997 |
| 澤田 晴雄・梶 幹男・五十嵐 勇治・大村 和也 | 秩父山地亜高山帯域における風倒跡地林分の再生過程 | 東大演報 | 98 | 99-116 | 1997 |
| 安村 直樹・柴崎 茂光・田村 早苗・原田 一宏・金 相潤・永田 信 | 森林に対する国民の期待について - 諸塚村と文京区のアンケート結果より - | 東大演報 | 97 | 129-147 | 1997 |
| 安村 直樹・久保山 裕史・奥田 裕規・田中 邦宏・山本 伸幸・立花 敏・井上 真 | 1995年国勢調査データを用いた山村の人口動向に関する一考察 | 森林計画誌 | 30 | 33-39 | 1998 |
| 後藤 太成・井上 淳・原 孝秀 | 複層林の成長経過 - 10年後の成長 - | 平成9年度技術官等試験研究・研修会議報告 | | 42-49 | 1998 |
| 芝野 博文・原 孝秀・春田 泰次・後藤 太成・荒木田 きよみ | 森林の回復過程における流域水収支の長期変動 - 年消失量の意味付けの検討 - | 中部森林研究 | 46 | 177-179 | 1998 |
| 荒木田善隆・井上 淳・荒木田 きよみ | 長期間に渡る巣箱設置によるヤマガラとシジュウカラの繁殖状況 | 中部森林研究 | 46 | 141-142 | 1998 |
| 桐村 剛 | 里山に広がる産業廃棄物処分場問題 | 中部森林研究 | 46 | 5-8 | 1998 |
| 芝野 博文・原 孝秀・春田 泰次・後藤 太成・荒木田 きよみ | "Hydrological experiments and watershed characteristics at University Forest in Aichi, The University of Tokyo" | Forest and Water Resources | | 29-43 | 1997 |
| 桐村 剛 | 愛知県瀬戸市における森林荒廃と砂防造林の歴史について | Sustainable Forest Management | | 61-66 | 1997 |
| 芝野 博文 | 風化花崗岩上に形成された二次林の水源涵養機能 | Forest Water Resources Management | | 73-81 | 1997 |

| 発表者全氏名 | 題名 | 誌名 | 巻(号) | 頁 | 年 |
|--|--|-----------------------------|------|---------|------|
| 一柳錦平・加藤喜久雄 | 林外雨と樹幹流の酸素安定同位体組成の変化 | 日林論 | 108 | 407-408 | 1997 |
| 福田 康 | 裸地から5年後の丘陵斜面における降雨流出過程について | 千葉大学自然科学研究科生命地球科学専攻前期博士課程論文 | | 1-25 | 1998 |
| 澤 望 | 架空索に支持される搬器荷重の上下震動の周期について実験による検討 | 名古屋大学農学部森林資源利用学研究室卒業論文 | | 1-30 | 1998 |
| 南野陽子 | 放牧による草地と林地の管理に関する研究 | 名古屋大学農学部資源生物環境学科畜産学専修系卒業論文 | | 1-74 | 1998 |
| 藤井尚子・丸田恵美子・紙谷智彦 | 太平洋型ブナ林(三国山)におけるブナ実生の発生の年変動 | 第61回日本植物学会大会要旨集 | 61 | 1-32 | 1997 |
| 丸田恵美子・依田悦子・梶 幹男 | Desiccation-tolerance of <i>Fagus crenata</i> Blume seeds from localities of different snowfall regime in central Japan | J. For. Res. | 2 | 45-50 | 1997 |
| 丸田恵美子・依田悦子・梶 幹男 | ブナとイヌブナの実生の初期生長と越冬率の比較研究 | 第61回日本植物学会大会要旨集 | 61 | 45-50 | 1997 |
| 三上伸之 | 山中湖畔における景観開発地域の現状と展望 | 東邦大学理学部生物学科卒業論文 | | 1-9 | 1998 |
| 周志華・三輪誠・宝月岱造 | 外生菌根の繁殖様式に関する研究 | 第109回日本林学会大会講演要旨集 | 109 | 311 | 1998 |
| 池田裕行・西山教雄・千島茂・大橋邦夫・井出雄二 | 東京大学富士演習林ブナ植栽試験地の成長経過 | 東大演報 | 97 | 1-9 | 1997 |
| 西山教雄・千島茂 | 富士演習林の冬期の気象に温暖化傾向は認められるか? | 平成9年度技術官等試験研究・研修会議報告 | | 68-74 | 1997 |
| MATSUMOTO Midori, OHSAWA Asakawa Takeshi, NISHIDA Makoto, NISHIDA Harufumi | <i>Glyptostrobus rubenosawaensis</i> sp. nov., a new permineralized conifer species from the Middle Miocene, Central Hokkaido, Japan | Paleontological Research | 1(2) | 81-99 | 1997 |

| 発表者全氏名 | 題名 | 誌名 | 巻(号) | 頁 | 年 |
|--------------------------------------|--|--|-------|---------|------|
| 浅野 良子・渡邊 良広・ 村瀬 一隆・辻 和明 | 産地の異なるブナのフェノロジー，形質 および光合成特性の比較 | 平成9年度技術 官等試験研 究・研修会議 報告 | | 18-28 | 1998 |
| 山野 遼太郎 | オーストラリア産アカシアのストレス反 応と組織培養 | 東京大学修士 論文 | | 1-119 | 1998 |
| 辻 和明・池田 裕行・渡 邊 良広・村瀬 一隆・井 出 雄二 | Eucalyptus globulus及びEucalyptus smithii の実生苗の成長に及ぼす施肥効果 | 中森研 | 46 | 97-100 | 1998 |
| 元重徹也 | 二酸化炭素濃度とリン施用条件を変えて 栽培したアカマツ苗の光合成 | 東京大学卒業 論文 | | 1-35 | 1998 |
| 入江剛史 | 熱帯早成樹3種の根の貫入能 | 東京大学卒業 論文 | | 1-25 | 1998 |
| 中村華子・益守眞也・小 島克己・丹下 健・八木 久義 | 硬さの異なる土壤に植えたGmelina arborea稚樹の成長 | 日林論 | 108 | 245-248 | 1997 |
| 楠本 大・福田健二・鈴 木和夫 | エスレル処理によるヒノキの傷害樹脂道 形成 | 日林論 | 108 | 359-360 | 1997 |
| 坂上大翼・山崎素直・鈴 木和夫 | マツ材線虫病の病徴の進展に伴うモノテ ルベン類等の動態 | 日林論 | 108 | 347-350 | 1997 |
| 福田健二・市原 優・鈴 木和夫 | マツ材線虫病における誘導抵抗性の発現 | 日林論 | 108 | 355-356 | 1997 |
| ムシャファ | 模擬酸性雨が大型土壤無脊椎動物に与え る影響 | 東京大学修士 論文 | | 1-35 | 1998 |
| 田村早苗・永田信・立花 敏・大橋邦夫 | 1995年「国勢調査」デ - タを用いた林業 就業者のコウホ - ト分析 | 林業経済研究 | 44(1) | 93-98 | 1998 |
| 立花敏・桐村剛・永田 信・井上真・大橋邦夫・ 安村直樹 | 一般国道140号沿線にある埼玉県大滝村と 山梨県三富村の経済・社会の実態と今後 の展開 | 秩父演習林の 環境（秩父演 習林自然環境 調査成果集） | | 232-289 | 1998 |
| 栗田直明・岩本則長・石 塚孝一 | アカシア属樹木に対する水ストレスの影 響に関する研究 | 東京大学農学 部附属演習林 平成9年度技術 官等試験研 究・研修会議 報告 | | 29-34 | 1998 |
| 奈良一秀・栗田直明・賣 月岱造 | 林道開設にともなうスズタケ群落の動態 に関する研究 | 秩父演習林の 環境（秩父演 習林自然環境 調査成果集） | | 290-293 | 1998 |

| 発表者全氏名 | 題名 | 誌名 | 巻(号) | 頁 | 年 |
|----------------------------------|--|---|------|---------|------|
| 宝月岱造 | 細胞形態の構築における細胞壁と微小管の役割 | 植物ホルモンによる細胞形態構築の制御機構(Ⅱ)平成5年度～平成8年度科研費補助金(重点領域研究(Ⅰ))研究成果報告書 | | 532-543 | 1997 |
| 宝月岱造 | 細胞と植物の形態形成 | 植物ホルモンによる細胞形態構築の制御機構(Ⅱ)平成5年度～平成8年度科研費補助金(重点領域研究(Ⅰ))研究成果報告書 | | 544-549 | 1997 |
| 石田京子・宝月岱造 | Role of resin canals in the early stages of pine wilt disease caused by the pine wood nematode | Can.J.Bot. | 75 | 346-351 | 1997 |
| 山本博一 | A Sustainable Natural Forest Management System of The Tokyo University Forest in Hokkaido. | Proc. of The 2nd University Forest Symposium /Workshop of Seoul National University and University of Tokyo | | 15-22 | 1997 |
| 本阿弥俊治・山本博一・高橋康夫・芝野伸策・岡村行治・井口和信 | 北方針葉樹天然林の林分構造 - 大型試験地における分布様式 | 日林論 | 108 | 89-90 | 1997 |
| 山本博一・大橋邦夫・道上昭夫・芝野伸策・岩本進一・犬飼浩・佐藤烈 | 針広混交天然林の林分構造の解析(Ⅲ) - 択伐施業による林分構造の変化 | 日林論 | 108 | 91-94 | 1997 |
| 山本博一 | 森林を育てるための組織を考える | 林業経済 | 583 | 6-8 | 1997 |
| 本阿弥俊治・山本博一・佐藤烈・道上昭夫・犬飼浩 | 択伐施業による針広混交林の林分構造の変化 - 東京大学北海道演習林105林班における事例 - | 森林計画誌 | 29 | 35-40 | 1997 |
| 石田健 | 森林の長期研究フィールドとしての大学演習林 - 東京大学 | 個体群生態学会会報 | 54 | 35-40 | 1997 |
| 石田 健・高美喜男 | アマミヤマシギの相対生息密度の推定. | Strix | 16 | 73-88 | 1998 |
| 石田 健・高美喜男 | ルリカケスの奄美大島金作原生林における巣箱利用例. | Strix | 16 | 148-151 | 1998 |

| 発表者全氏名 | 題名 | 誌名 | 巻(号) | 頁 | 年 |
|----------------|---------------------------------------|------------------|-------|---------|------|
| 安座間安史・石田健 | ノグチゲラとやんばるの森. | BIRDER | 125 | 32-35 | 1997 |
| 藤原章雄・斎藤 馨・石田 健 | インターネットによる東京大学農学部附属演習林マルチメディア情報の公開と課題 | 東京大学農学部演習林報告 | 97 | 157-177 | 1997 |
| 藤原章雄・斎藤 馨 | 映像情報のデジタル化によるランドスケープ情報の共有に関する研究 | 日本造園学会誌ランドスケープ研究 | 61(5) | 601-604 | 1998 |
| 斎藤 馨・藤原章雄・熊谷洋一 | ランドスケープ情報基盤構築のための景觀モニタリング手法 | 日本造園学会誌ランドスケープ研究 | 61(5) | 597-600 | 1998 |

3-3 全利用者

千葉演習林

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|-----------|-----|----|----|-----|-----|------------------------|--------|
| 1 | 4 | 5 | 東京農業大学 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 水生昆虫の調査 | |
| 2 | 4 | 4 | 東大・農・砂防 | 0 | 3 | 1 | 0 | 4 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舍 |
| 3 | 4 | 4 | 東大・農・砂防 | 0 | 3 | 1 | 0 | 4 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舍 |
| 4 | 4 | 1 | 東大・農・砂防 | 0 | 3 | 1 | 0 | 4 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | |
| 5 | 4 | 2 | 東大・農・動物 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | スギ材の捕獲 | |
| 6 | 4 | 1 | 労働金庫 | 0 | 0 | 0 | 50 | 50 | ボケ予防のための山歩こう会(自然観察) | |
| 7 | 4 | 3 | 演習林研究部 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 演習林視察(案内) | 清澄学生宿舍 |
| 8 | 4 | 1 | 東邦大学・薬 | 2 | 2 | 2 | 0 | 6 | 植物調査と採集(主としてイセウリについて) | |
| 9 | 4 | 3 | 千葉大学 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 常緑広葉樹の芽の構造とシュートフェロジ- | |
| 10 | 4 | 1 | 東京新聞 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 各地の視認 | |
| 11 | 4 | 1 | NHK文化センター | 0 | 0 | 0 | 35 | 35 | ハイキング | |
| 12 | 4 | 3 | 東大樹芸研究所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林生物間の相互作用とイネルギー循環系の解析 | 清澄学生宿舍 |
| 13 | 4 | 5 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 杉人工林下層植生の違いによる鳥類相の比較 | 清澄学生宿舍 |
| 14 | 4 | 2 | 国立科学博物館 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 博物館展示構想に関わる基礎的データ等の集積 | |
| 15 | 4 | 1 | 東大・農・風致 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 卒論の要旨持参と資料の返却 | |
| 16 | 4 | 2 | 演習林本部 | 4 | 0 | 0 | 0 | 4 | 事務連絡のため | 清澄学生宿舍 |
| 17 | 4 | 1 | 東大・農・動物 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | スギカミキリの捕獲 | |
| 18 | 4 | 1 | 東大・農・造林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 造林学実験実習地下見 | |
| 19 | 4 | 3 | 千葉大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 年間利用計画書提出の為の予備調査 | |
| 20 | 4 | 5 | 東大・農・砂防 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 新第三紀層山地斜面における土層生成速度 | 札郷宿舍 |
| 21 | 4 | 1 | 袖ヶ浦市 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 野鳥写真撮影 | |
| 22 | 4 | 1 | 東京医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ヤマビルの採集 | 清澄学生宿舍 |
| 23 | 4 | 1 | 東大・農・動物 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | スギ材と杉の水分状態に関する調査 | |
| 24 | 4 | 1 | 演習林研究部 | 2 | 1 | 0 | 1 | 4 | 森林生態圏管理学実習 | |
| 25 | 4 | 1 | 放送大学 | 0 | 2 | 2 | 0 | 4 | 月毎の大型土壌生物の野外調査 | |
| 26 | 4 | 1 | 千葉大学 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 卒業研究の際設置した機器等の回収 | |
| 27 | 4 | 1 | 日本大学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | クガビルの生態 | |
| 28 | 4 | 2 | 東大秩父演習林 | 1 | 0 | 0 | 7 | 8 | 房総の自然研究会月例会 | 郷台宿舍 |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|--------------|-----|----|----|-----|-----|------------------------|--------|
| 29 | 4 | 1 | 千葉市立星久喜小学校 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ハイキングの下見 | |
| 30 | 4 | 1 | 千葉県多古町教育委員会 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 707ティアドベンチャー事業の行程下見 | |
| 31 | 5 | 1 | パソニックエナジー(株) | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 千葉県酸性雨による影響未然防止調査の下見 | |
| 32 | 5 | 4 | 千葉大学・院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 樹木における下層種の樹形と地形の関係 | |
| 33 | 5 | 18 | 千葉大学・院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 樹木における下層種の樹形と地形の関係 | |
| 34 | 5 | 2 | 千葉大学・院 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 | 樹木における下層種の樹形と地形の関係 | |
| 35 | 5 | 1 | 千葉大学・理 | 3 | 5 | 7 | 1 | 16 | 試験地の見学 | |
| 36 | 5 | 1 | 東大・農・砂防 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 千葉大学佐倉保夫先生一行の案内 | |
| 37 | 5 | 1 | 千葉県富津市 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | ハイキング | |
| 38 | 5 | 1 | 多古町教育委員会 | 0 | 0 | 0 | 10 | 10 | 707ティアドベンチャー事業の行程下見 | |
| 39 | 5 | 4 | 東大・農・砂防 | 0 | 3 | 2 | 0 | 5 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舎 |
| 40 | 5 | 2 | 東大・農・砂防 | 0 | 3 | 2 | 0 | 5 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舎 |
| 41 | 5 | 2 | 東大・農・砂防 | 0 | 5 | 0 | 0 | 5 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舎 |
| 42 | 5 | 1 | 千葉市立宮崎 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 林間学校における野外活動の下見 | |
| 43 | 5 | 2 | 東大・農・造林 | 4 | 6 | 28 | 2 | 40 | 造林学実験 | 清澄学生宿舎 |
| 44 | 5 | 2 | 東大・農・造林 | 3 | 7 | 28 | 2 | 40 | 造林学実験 | 清澄学生宿舎 |
| 45 | 5 | 3 | 東大・農・造林 | 3 | 7 | 28 | 1 | 39 | 造林学実験 | 清澄学生宿舎 |
| 45 | 5 | 1 | 東京農業大学 | 1 | 0 | 2 | 0 | 3 | 水生昆虫の調査 | |
| 46 | 5 | 3 | 東京農業大学 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 水生昆虫の調査 | |
| 47 | 5 | 1 | 通産省工業技術院 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 地下構造調査の予察 | |
| 48 | 5 | 1 | 東大・農・動物 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | スギ材飼育のための杉の丸太の樹皮はぎ | |
| 49 | 5 | 3 | 演習林研究部 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 造林実習ビデオ撮影の為 | 札郷宿舎 |
| 50 | 5 | 1 | 千葉市立久喜小学校 | 4 | 0 | 50 | 0 | 54 | ハイキング | |
| 51 | 5 | 1 | 東大・農・動物 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | スギ落葉の採集 | |
| 52 | 5 | 1 | 君津市 | 0 | 0 | 0 | 55 | 55 | 林道の植物観察 | |
| 53 | 5 | 3 | 千葉大学・院 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 常緑広葉樹の芽の構造とシュートレジ- | |
| 54 | 5 | 1 | 上総0-外-クラブ | 0 | 0 | 0 | 120 | 120 | 森林生態系について学習する | |
| 55 | 5 | 2 | 東大・農・利用 | 1 | 3 | 0 | 0 | 4 | 造林作業調査 | 清澄学生宿舎 |
| 56 | 5 | 1 | 東大・農・経理 | 2 | 1 | 12 | 0 | 15 | 森林経理学実習 | 札郷宿舎 |
| 57 | 5 | 1 | 東大・農・経理 | 1 | 1 | 12 | 0 | 14 | 森林経理学実習 | 札郷宿舎 |
| 58 | 5 | 1 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 12 | 0 | 13 | 森林経理学実習 | 札郷宿舎 |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|-------------|-----|----|----|-----|-----|------------------------|--------|
| 59 | 5 | 2 | 東大・農・経理 | 1 | 1 | 12 | 0 | 14 | 森林経理学実習 | 札郷宿舍 |
| 60 | 5 | 3 | 東京医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ヤマビルの採集 | |
| 61 | 5 | 5 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 千葉演習林における施業案の変遷について | 札郷宿舍 |
| 62 | 5 | 12 | 京都大学・院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 小櫃川流域の地質調査 | 清澄学生宿舍 |
| 63 | 5 | 1 | 東大・農・植物 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | ヒノキの障害樹脂道形成位置の月毎の変化 | |
| 64 | 5 | 1 | 日本大学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | カビ類の生態調査及び採集 | |
| 65 | 5 | 1 | 日本ボート協会 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 自然観察（下見） | |
| 66 | 5 | 2 | 東大秩父演習林 | 1 | 0 | 0 | 4 | 5 | 房総の自然研究会月例会 | 郷台宿舍 |
| 67 | 5 | 1 | 東大・農・植物 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 樹木の低温適応反応 | |
| 68 | 5 | 1 | 放送大学学園 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 放送大学テレビ特別講座「森へゆこう」取材 | |
| 70 | 5 | 5 | 東京大学・理 | 4 | 2 | 18 | 0 | 24 | 地質調査実習 | 清澄学生宿舍 |
| 71 | 5 | 2 | 土壤動物学会 | 1 | 0 | 1 | 1 | 3 | 土壤動物学会関連研究会 | 札郷宿舍 |
| 72 | 5 | 5 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 杉人工林下層植生の違いによる鳥類相の比較 | 清澄学生宿舍 |
| 73 | 5 | 4 | 東北大学・理 | 1 | 2 | 5 | 0 | 8 | 常緑広葉樹の光合成特性及び死亡要因の調査 | 札郷宿舍 |
| 74 | 5 | 1 | 千葉県環境部 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 大気測定車の設置場所の視察 | |
| 75 | 6 | 1 | 東大・農・砂防 | 0 | 4 | 1 | 0 | 5 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | |
| 76 | 6 | 4 | 東大・農・砂防 | 0 | 4 | 1 | 0 | 5 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舍 |
| 77 | 6 | 6 | 千葉大学・理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑広葉樹の葉の構造の調査の為のサブリグ | |
| 78 | 6 | 2 | 千葉大学・理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑広葉樹の葉の構造の調査の為のサブリグ | |
| 79 | 6 | 4 | 東京農業大学 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 水生昆虫の調査 | |
| 80 | 6 | 2 | 君津農林高校 | 2 | 0 | 33 | 0 | 35 | 森林生態等の学習をととしての林業学習 | 清澄学生宿舍 |
| 81 | 6 | 4 | 千葉大学・院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑樹種の樹形の調査 | 札郷宿舍 |
| 82 | 6 | 6 | 千葉大学・院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑樹種の樹形の調査 | |
| 83 | 6 | 3 | 千葉大学・院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑樹種の樹形の調査 | |
| 84 | 6 | 2 | 千葉大学・院 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 | 常緑樹種の樹形の調査 | 札郷宿舍 |
| 85 | 6 | 2 | 富山市科学文化センター | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 陸産等脚目の調査 | 清澄学生宿舍 |
| 86 | 6 | 2 | 新潟大学・農 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 二段林の光環境の調査 | 札郷宿舍 |
| 87 | 6 | 5 | 人と自然の博物館 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | シダ植物の観察 | |
| 88 | 6 | 3 | 東大・農・砂防 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 新第三紀層山地斜面における土層生成速度 | 札郷宿舍 |
| 89 | 6 | 1 | 千葉大学・院 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 常緑広葉樹の芽の構造とユートエリジ | |
| 90 | 6 | 1 | 東大・農・砂防 | 0 | 8 | 0 | 1 | 9 | 定期水文観測及び千葉演習林利用者集会参加 | 清澄学生宿舍 |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|--------------|-----|----|-----|-----|-----|-------------------------|--------|
| 91 | 6 | 2 | 東大・農・砂防 | 1 | 11 | 2 | 1 | 15 | 定期水文観測及び千葉演習林利用者集会参加 | 清澄学生宿舎 |
| 92 | 6 | 1 | 川崎市教育委員会 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 新規採用教員職泊研修会の下見 | |
| 93 | 6 | 1 | シヅカコカブ株式会社 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 酸性雨による影響未然防止対策調査の為 | |
| 94 | 6 | 2 | 東大・農・動物 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林の環境変化と地表性甲虫類の関係 | 清澄学生宿舎 |
| 95 | 6 | 1 | 千葉市立宮崎小学校 | 8 | 0 | 90 | 1 | 99 | 植物観察、地層、川の流れの働きなどの自然観察 | |
| 96 | 6 | 1 | ガールスカウト千葉89団 | 0 | 0 | 0 | 10 | 10 | ハイキング下見 | |
| 97 | 6 | 1 | 東大・農・動物 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | ヒノキの障害樹脂道形成位置の月毎の変化 | |
| 98 | 6 | 2 | 東大秩父演習林 | 1 | 0 | 0 | 3 | 4 | 房総の自然研究会月例会 | 郷台宿舎 |
| 99 | 6 | 1 | 東大・農・砂防 | 1 | 6 | 0 | 0 | 7 | 台風通過直後の観測器のメンテナンス | |
| 100 | 6 | 3 | 東京医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ヤマビル採集 | |
| 101 | 6 | 5 | 静岡大学・理 | 3 | 0 | 8 | 0 | 11 | 演習林内の地質調査 | 清澄学生宿舎 |
| 102 | 6 | 5 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 千葉演習林における施業案の変遷について | 札郷宿舎 |
| 103 | 6 | 1 | 市川市立妙典中学校 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 中学生の自然観察、体験学習の下見 | |
| 104 | 6 | 1 | ガールスカウト千葉70団 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | ハイキング下見 | |
| 105 | 6 | 5 | 東大北海道演習林 | 9 | 0 | 1 | 1 | 11 | 「森林生態系における共生関係の解明」現地検討会 | 札郷宿舎 |
| 106 | 6 | 1 | 多古町教育委員会 | 0 | 0 | 0 | 12 | 12 | 70テーマ・アドベンチャー事業の行程下見 | |
| 107 | 7 | 2 | 東大北海道演習林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 平成9年度技術職員研修 | 清澄学生宿舎 |
| 108 | 7 | 4 | 演習林研究部 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 平成9年度技術職員研修 | 清澄学生宿舎 |
| 109 | 7 | 2 | 演習林本部(林長) | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 平成9年度技術職員研修 | 清澄学生宿舎 |
| 110 | 7 | 4 | 東大演習林 | 12 | 0 | 0 | 0 | 12 | 平成9年度技術職員研修 | 清澄学生宿舎 |
| 111 | 7 | 4 | 千葉大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 伐採地における初期遷移と栄養塩動態 | |
| 112 | 7 | 6 | 千葉大学・理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑広葉樹の葉の構造 | |
| 113 | 7 | 4 | 千葉大学・理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑広葉樹の葉の構造 | |
| 114 | 7 | 2 | 東大・農・砂防 | 0 | 6 | 0 | 0 | 6 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舎 |
| 115 | 7 | 2 | 東大・農・砂防 | 0 | 5 | 0 | 0 | 5 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舎 |
| 116 | 7 | 5 | 東京農業大学 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 水生昆虫の調査 | |
| 117 | 7 | 8 | 東大・農・砂防 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 新第三紀層山地斜面における土壌生成速度 | 札郷宿舎 |
| 118 | 7 | 4 | 東大・農・砂防 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 新第三紀層山地斜面における土壌生成速度 | 札郷宿舎 |
| 119 | 7 | 6 | 千葉大学・院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑樹種の樹形の調査 | 札郷宿舎 |
| 120 | 7 | 2 | 千葉大学・院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑樹種の樹形の調査 | 札郷宿舎 |
| 121 | 7 | 2 | 市川市立妙典中学校 | 4 | 0 | 180 | 0 | 184 | 中学生の自然観察、体験学習 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|--------------|-----|----|----|-----|-----|---------------------------|--------|
| 122 | 7 | 1 | 東大・農・砂防 | 1 | 4 | 0 | 0 | 5 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舍 |
| 123 | 7 | 1 | (株)東京シネマ新社 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | ヒメハルゼミの案内 | |
| 124 | 7 | 1 | 千葉県教育庁 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 地層川底の岩盤の様子及び野草観察(下見) | |
| 125 | 7 | 1 | 千葉県教育庁 | 0 | 0 | 0 | 39 | 39 | 地層川底の岩盤の様子及び野草観察(下見) | |
| 126 | 7 | 4 | 宇都宮大学 | 2 | 0 | 48 | 0 | 50 | 樹木学実習 | |
| 127 | 7 | 5 | 東大・農・生物材料 | 1 | 1 | 21 | 0 | 23 | 森林科学実習 | 清澄学生宿舍 |
| 128 | 7 | 4 | 東大・農・経理 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 | 樹木上部の生産量と地下根部との関係 | 札郷宿舍 |
| 129 | 7 | 4 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 二段林の成長調査 | 札郷宿舍 |
| 130 | 7 | 4 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 千葉演習林における施業案の変遷について | 札郷宿舍 |
| 131 | 7 | 1 | スタッフ末京 | 0 | 0 | 0 | 7 | 7 | ヤマビルの撮影の為 | |
| 132 | 7 | 1 | 手賀の丘少年自然の家 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 手賀の丘少年自然の家主催事業「五感でタッチグ」下見 | |
| 133 | 7 | 2 | 東大秩父演習林 | 1 | 0 | 0 | 4 | 5 | 房総の自然研究会月例会 | 郷台宿舍 |
| 134 | 7 | 3 | 東京医科大学 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | ヤマビルの採集 | 清澄学生宿舍 |
| 135 | 7 | 3 | 東大教育学部附属高校 | 2 | 0 | 10 | 0 | 12 | 森林植生と地表棲息小動物 | 清澄学生宿舍 |
| 136 | 7 | 3 | 東大・農・動物 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | ヒノキの傷害樹脂道形成位置 | |
| 137 | 7 | 1 | 東大・農・砂防 | 1 | 5 | 0 | 0 | 6 | 自然体験学習 | |
| 138 | 7 | 3 | 東京電力環境部 | 0 | 0 | 0 | 110 | 110 | 自然観察 | |
| 139 | 7 | 2 | 千葉大学・院 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 常緑広葉樹の芽の構造とシュートフェロジ- | |
| 140 | 7 | 4 | 木更津学童保育所協会 | 0 | 0 | 0 | 30 | 30 | 自然体験学習 | |
| 141 | 7 | 2 | 東大・農・砂防 | 1 | 10 | 0 | 0 | 11 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | |
| 142 | 7 | 2 | 千葉県総合教育センター | 11 | 0 | 0 | 0 | 11 | 中学校理科講座(生物的領域) | 清澄学生宿舍 |
| 143 | 7 | 1 | 館山市立第三中学校 | 2 | 0 | 2 | 0 | 4 | ハイキング及び自然観察の為の下見 | |
| 144 | 7 | 1 | 千葉県安房支庁 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 清澄山鳥獣保護区の調査 | |
| 145 | 8 | 15 | 東北大学・理 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 上総層群の地質調査 | 札郷宿舍 |
| 146 | 8 | 11 | 東北大学・理 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 上総層群の地質調査 | 札郷宿舍 |
| 147 | 8 | 1 | ガールスカウト千葉89団 | 0 | 0 | 0 | 32 | 32 | ハイキング | |
| 148 | 8 | 1 | ボーイスカウト市原第1団 | 0 | 0 | 0 | 40 | 40 | 自然観察 | |
| 149 | 8 | 1 | 天津小湊町商工観光課 | 0 | 0 | 0 | 30 | 30 | 敬老の日特別番組制作 | |
| 150 | 8 | 6 | 千葉大学・院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑樹種の樹形の調査 | |
| 151 | 8 | 1 | 君津市坂畑小学校 | 11 | 0 | 0 | 0 | 11 | 猪ノ川沿いの自然と郷台の杉見本林観察 | |
| 152 | 8 | 6 | 千葉大学・理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑広葉樹の葉の構造 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|---------------|---------|----|----|-----|-----|---------------------------|--------|
| 153 | 8 | 3 | 千葉大学・院 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 伐採地における2次遷移と栄養塩動態 | |
| 154 | 8 | 5 | 東大・農・植物 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 松材線虫病の抵抗因子の解明 | |
| 155 | 8 | 3 | 千葉大学・院 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 常緑広葉樹の芽の構造とシュートフェロジ- | |
| 156 | 8 | 4 | 東京農業大学 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 水生昆虫の調査 | |
| 157 | 8 | 1 | 東大・農・砂防 | 1 | 3 | 0 | 0 | 4 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | |
| 158 | 8 | 1 | 東大・農・砂防 | 1 | 5 | 1 | 0 | 7 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | |
| 159 | 8 | 1 | 東大・農・砂防 | 1 | 5 | 0 | 0 | 6 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | |
| 160 | 8 | 3 | 東大・農・砂防 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舍 |
| 161 | 8 | 2 | 千葉県総合教育センター | 25 | 0 | 0 | 0 | 25 | 小学校理科講座(生物的領域)教員の研修講座 | 清澄学生宿舍 |
| 162 | 8 | 1 | 〃シヅカコウカク(株) | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 酸性雨による影響未然防止対策調査(土壌・植生調査) | 札郷宿舍 |
| 163 | 8 | 3 | 〃シヅカコウカク(株) | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 酸性雨による影響未然防止対策 | 札郷宿舍 |
| 164 | 8 | 3 | 東京農工大学 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 酸性沈着の土壌生態系への影響 | 札郷宿舍 |
| 165 | 8 | 2 | 東大・農・動物 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林の環境変化と地表性甲虫類の関係 | 札郷宿舍 |
| 166 | 8 | 2 | NHK千葉放送局 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | キンダン川取材のため、林道を通る | |
| 167 | 8 | 1 | ボーイスカウト鎌ヶ谷第2団 | 0 | 0 | 0 | 25 | 25 | 自然観察 | |
| 168 | 8 | 1 | 東京農工大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 酸性沈着の土壌生態系への影響 | 札郷宿舍 |
| 169 | 8 | 10 | 東大・農・砂防 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 新第三紀層山地斜面における土層生成速度 | 札郷宿舍 |
| 170 | 8 | 5 | 千葉大学・理 | 3 | 10 | 28 | 0 | 41 | 生態学野外実習 | 清澄学生宿舍 |
| 171 | 8 | 1 | 川崎市教育委員会 | 15 2 | 0 | 0 | 0 | 152 | 新規採用教員第5次研修会 | |
| 172 | 8 | 1 | 東大・農・植物 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 檜の傷害樹脂道形成位置の月変化等 | |
| 173 | 8 | 1 | 多古町教育委員会 | 0 | 0 | 0 | 60 | 60 | 多古町アライアトベンチャー実施(自然体験) | |
| 174 | 8 | 1 | 千葉県立中央博物館 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 球果の方向とその物理特性(標本の採集と測定) | |
| 175 | 8 | 5 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 杉人工林下層植生の違いによる鳥類相の比較 | 清澄学生宿舍 |
| 176 | 8 | 4 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 根系の調査及び研究の為 | |
| 177 | 8 | 2 | 東京医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ヤマビルの採集 | |
| 178 | 8 | 1 | 江東区立第一亀戸小学校 | 25 | 0 | 0 | 0 | 25 | 植物観察 | |
| 179 | 8 | 1 | 君津亀山少年自然の家 | 0 | 2 | 6 | 1 | 9 | 自然体験学習の下見 | |
| 180 | 8 | 2 | 千葉県生物学会 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | ハエ・ガの分布調査 | 清澄学生宿舍 |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|------------|-----|----|----|-----|-----|-----------------------------|--------|
| 181 | 8 | 3 | 千葉県生物学会 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | ハエ・ガの分布調査 | 清澄学生宿舎 |
| 182 | 8 | 1 | 君津亀山少年自然の家 | 14 | 4 | 27 | 0 | 45 | 自然体験学習 | |
| 183 | 8 | 1 | 木更津社会館保育園 | 0 | 0 | 0 | 40 | 40 | 自然体験学習 | |
| 184 | 8 | 1 | 日本大学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | ヤマビルの個体群密度の変化の主要因 | |
| 185 | 8 | 2 | 東大秩父演習林 | 1 | 0 | 0 | 4 | 5 | 房総の自然研究会月例会 | 郷台宿舎 |
| 186 | 9 | 6 | 京都大学・理 | 3 | 0 | 21 | 0 | 24 | 地質調査法野外実習 | 清澄学生宿舎 |
| 187 | 9 | 10 | 東大・農・砂防 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 新第三紀層山地斜面における土層生成速度 | 札郷宿舎 |
| 188 | 9 | 4 | 東大・農・砂防 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 新第三紀層山地斜面における土層生成速度 | 札郷宿舎 |
| 189 | 9 | 5 | 東大・農・砂防 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 新第三紀層山地斜面における土層生成速度 | 札郷宿舎 |
| 190 | 9 | 4 | 東京農業大学 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 水生昆虫の調査 | |
| 191 | 9 | 1 | 東大・農・植物 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 松材線虫病の抵抗性要因の解明 | |
| 192 | 9 | 2 | 東大・農・植物 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 松材線虫病の抵抗性要因の解明 | 清澄学生宿舎 |
| 193 | 9 | 2 | 東大・農・砂防 | 1 | 4 | 1 | 0 | 6 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | |
| 194 | 9 | 2 | 東大・農・砂防 | 0 | 5 | 2 | 0 | 7 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舎 |
| 195 | 9 | 5 | 東大・農・砂防 | 0 | 5 | 1 | 0 | 6 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舎 |
| 196 | 9 | 3 | 東大・農・植物 | 3 | 4 | 28 | 2 | 37 | 森林植物学実習 | 清澄学生宿舎 |
| 197 | 9 | 5 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 杉人工林下層植生の違いによる鳥類相の比較 | 清澄学生宿舎 |
| 198 | 9 | 6 | 東大・農・経理 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 根系の調査及び研究の為 | 札郷宿舎 |
| 199 | 9 | 1 | J R 君津駅 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 黒滝周辺の紅葉探索と自然観察の為 | |
| 200 | 9 | 1 | 君津市企画部 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 演習林内見学ハイキングの為の下見 | |
| 201 | 9 | 1 | 京都大学・演 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 開花孟宗竹林の見学 | |
| 202 | 9 | 1 | 日本大学 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | カビル・ヤマビルの生態調査 | |
| 203 | 9 | 9 | 千葉県立中央博物館 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 猪ノ川沿いに分布する火山灰層の地質調査及び採集 | |
| 204 | 9 | 4 | 東大千葉演習林 | 13 | 0 | 24 | 0 | 37 | 総合科目D(人間・環境一般)1・2年生対象の講義と実習 | 札郷宿舎 |
| 205 | 9 | 1 | 東大・農・造林 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 樹木の低温適応反応 | |
| 206 | 9 | 2 | 鴨川市 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 自然観察 | |
| 207 | 9 | 1 | 東京農工大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 酸性沈着の土壌生態系への影響 | |
| 208 | 9 | 2 | 東京医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ヤマビルの採集 | |
| 209 | 9 | 1 | 東大・農・植物 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 檜の傷害樹脂道形成位置の月変化等 | |
| 210 | 9 | 3 | 千葉大学・理 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 常緑広葉樹の葉の構造 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|----------------|-----|----|----|-----|-----|-------------------------|--------|
| 211 | 9 | 3 | 千葉大学・理 | 5 | 2 | 27 | 0 | 102 | 地質学野外実験 | 清澄学生宿舎 |
| 212 | 9 | 1 | 千葉営林署 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 千葉演習林視察のため | |
| 213 | 9 | 2 | 東大秩父演習林 | 1 | 0 | 0 | 11 | 24 | 房総の自然研究会月例会 | 郷台宿舎 |
| 214 | 9 | 1 | 手賀の沼少年自然の家 | 0 | 0 | 0 | 40 | 40 | 少年自然の家主催事業「五感でウォッチング」 | |
| 215 | 9 | 1 | 市原市立姉崎東中学校 | 1 | 0 | 0 | 40 | 41 | 自然観察と沢の遊行 | |
| 216 | 9 | 5 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 千葉演習林における施業案の変遷 | 札郷宿舎 |
| 217 | 10 | 3 | 東大・農・砂防 | 0 | 5 | 2 | 0 | 21 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舎 |
| 218 | 10 | 2 | 東大・農・砂防 | 0 | 5 | 2 | 0 | 14 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舎 |
| 219 | 10 | 1 | 東大・農・砂防 | 1 | 5 | 1 | 0 | 7 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舎 |
| 220 | 10 | 5 | 東京農業大学 | 0 | 0 | 2 | 0 | 10 | 水生昆虫の調査 | |
| 221 | 10 | 6 | 千葉大学・理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | 常緑広葉樹の葉の特性の調査のための採集 | |
| 222 | 10 | 3 | 千葉大学・理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑広葉樹の葉の特性の調査のための採集 | |
| 223 | 10 | 4 | 鴨川市 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 自然観察 | |
| 224 | 10 | 9 | 東大・農・砂防 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 新第三紀層山地斜面における土層生成速度 | 札郷宿舎 |
| 225 | 10 | 10 | 東大・農・砂防 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 新第三紀層山地斜面における土層生成速度 | 札郷宿舎 |
| 226 | 10 | 1 | 森林総研 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 実生由来の孟宗竹の開花状 | |
| 227 | 10 | 3 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 根系の調査及び研究の為 | 札郷宿舎 |
| 228 | 10 | 6 | 東大・農・経理 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 根系の調査及び研究の為 | 札郷宿舎 |
| 229 | 10 | 3 | 東大・農・経理 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 | 根系の調査及び研究の為 | 札郷宿舎 |
| 230 | 10 | 2 | 東大・農・動物 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林の環境変化と地表性甲虫類の関係 | 清澄学生宿舎 |
| 231 | 10 | 2 | 日本大学 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | カビル・ヤビルの生態調査 | |
| 232 | 10 | 1 | 日本大学 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | カビル・ヤビルの生態調査 | |
| 233 | 10 | 1 | 千葉県森林インストラクター会 | 0 | 0 | 0 | 40 | 40 | 森林及び林業について理解を深めて貰い啓発する為 | |
| 234 | 10 | 1 | 千葉県立中央博物館 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 暖温帯林の群生構造に関する研究 | |
| 235 | 10 | 5 | 千葉大学・院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑広葉樹の樹形の調査 | |
| 236 | 10 | 3 | 千葉大学・院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑広葉樹の樹形の調査 | |
| 237 | 10 | 2 | 東京農工大学 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 清澄山における酸性沈着の影響 | |
| 238 | 10 | 1 | 千葉県立木更津高校 | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 | 生徒による自然観察学習(下見) | |
| 239 | 10 | 1 | 東大・農・植物 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 檜の傷害樹脂道形成位置の月変化等 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|--------------|-----|----|----|-----|-----|-----------------------------|--------|
| 240 | 10 | 1 | 竹文化振興会千葉県支部 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 開花した孟宗竹林の状況調査 | |
| 241 | 10 | 2 | 東大秩父演習林 | 1 | 0 | 0 | 5 | 6 | 房総の自然研究会月例会 | 郷台宿舎 |
| 242 | 10 | 1 | 東大・農・造林 | 1 | 2 | 0 | 3 | 6 | 杉人工林及び広葉樹天然林の見学 | |
| 243 | 10 | 3 | 日本大学 | 1 | 0 | 3 | 0 | 4 | ネズミ類の精子発生の季節的消長に関する研究 | 清澄学生宿舎 |
| 244 | 10 | 2 | 東京医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | ヤマビルの採集 | |
| 245 | 11 | 4 | 東北大学・理 | 1 | 7 | 0 | 0 | 8 | 常緑広葉樹の光合成特性 | 札郷宿舎 |
| 246 | 11 | 6 | 千葉大学・理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑広葉樹の葉の構造を観察する為のサグ・リグ | |
| 247 | 11 | 2 | 千葉大学・理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑広葉樹の葉の構造を観察する為のサグ・リグ | |
| 248 | 11 | 1 | 東大・農・植物 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 松材線虫病の抵抗性要因の解明 | |
| 249 | 11 | 9 | 東大・農・砂防 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 新第三紀層山地斜面における土層生成速度 | 札郷宿舎 |
| 250 | 11 | 2 | 東京工業大学 | 2 | 3 | 25 | 0 | 30 | 演習林内の地質調査 | 清澄学生宿舎 |
| 251 | 11 | 1 | 東京農業大学 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 山武杉腐れの原因解明 | |
| 252 | 11 | 2 | 東京農業大学 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 山武杉腐れの原因解明 | 清澄学生宿舎 |
| 253 | 11 | 3 | 東大・農・砂防 | 1 | 2 | 1 | 0 | 4 | 土壌呼吸の日変化観測（夜間の観測含む） | 郷台宿舎 |
| 254 | 11 | 8 | 千葉大学・院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑広葉樹の樹形の調査 | |
| 255 | 11 | 7 | 千葉大学・院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑広葉樹の樹形の調査 | |
| 256 | 11 | 4 | 東京農業大学 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 水生昆虫の調査 | |
| 257 | 11 | 1 | 東大・農・砂防 | 1 | 4 | 0 | 0 | 5 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | |
| 258 | 11 | 2 | 東大・農・砂防 | 0 | 5 | 1 | 0 | 6 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舎 |
| 259 | 11 | 2 | 東大・農・砂防 | 0 | 5 | 1 | 0 | 6 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舎 |
| 260 | 11 | 1 | 東大・農・砂防 | 0 | 5 | 1 | 0 | 6 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | |
| 261 | 11 | 1 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 二段林成長調査 | |
| 262 | 11 | 3 | 東大・農・経理 | 1 | 0 | 0 | 7 | 8 | 森林Eコリグ'の為のサグ・リグ'プ'ロ'トの設計と試行 | 清澄学生宿舎 |
| 263 | 11 | 1 | 袖ヶ浦市平岡公民館 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | サグ・植物観察（下見） | |
| 264 | 11 | 3 | 東大・農・経理 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 根系の調査及び研究の為 | 札郷宿舎 |
| 265 | 11 | 2 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 根系の調査及び研究の為 | 札郷宿舎 |
| 266 | 11 | 2 | 東大・農・経理 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 根系の調査及び研究の為 | 札郷宿舎 |
| 267 | 11 | 1 | 千葉県立中央博物館 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 房総丘陵の森林の動植物についての生態の観察 | |
| 268 | 11 | 1 | 高知大学・農 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 水酸化AlにCaを層間に固定するEコリグ'の理化学性 | |
| 269 | 11 | 1 | 千葉県森林イストラク'会 | 0 | 0 | 0 | 40 | 40 | 自然体験学習 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|------------|-----|----|----|-----|-----|---------------------------|--------|
| 270 | 11 | 5 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 千葉演習林における経営計画の変遷 | 札郷宿舍 |
| 271 | 11 | 2 | 演習林本部 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 事務連絡 | 清澄学生宿舍 |
| 272 | 11 | 2 | 東大農学部附属牧場 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 事務連絡 | 清澄学生宿舍 |
| 273 | 11 | 1 | 千葉市 | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 | 紅葉見学と自然観察 | |
| 274 | 11 | 1 | 市原市 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 紅葉を主題とした風景写真の撮影 | |
| 275 | 11 | 1 | 君津市 | 0 | 0 | 0 | 11 | 11 | 紅葉見学と自然観察 | |
| 276 | 11 | 1 | 富津市 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 紅葉と滝の自然観察 | |
| 277 | 11 | 1 | 君津市 | 7 | 0 | 21 | 0 | 28 | 自然林に生息する動植物の観察 | |
| 278 | 11 | 1 | 君津市 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 仲間と空缶拾い | |
| 279 | 11 | 1 | 千葉市 | 0 | 0 | 0 | 6 | 6 | 紅葉仲間 | |
| 280 | 11 | 1 | 習志野市 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 三石山登山 | |
| 281 | 11 | 1 | 袖ヶ浦市 | 0 | 0 | 0 | 50 | 50 | 紅葉見物の為 | |
| 282 | 11 | 1 | 木更津市立東清公民館 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 山歩きを通じて自然に親しみ健康の増進を図る(下見) | |
| 283 | 11 | 1 | 白浜町中央公民館 | 0 | 0 | 0 | 30 | 30 | 高齢者の館外研修(紅葉を楽しみながら歩け歩け) | |
| 284 | 11 | 1 | 千葉市 | 0 | 0 | 0 | 27 | 27 | 紅葉見学と自然観察 | |
| 285 | 11 | 1 | 東大・農・植物 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 檜の傷害樹脂道形成位置の月変化等 | |
| 286 | 11 | 1 | 東京農工大学 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 酸性沈着の土壌に対する影響(土壌溶液の採取) | |
| 287 | 11 | 4 | 東大千葉演習林 | 1 | 3 | 2 | 0 | 6 | 猪川林道一般公開に伴う巡林者補助 | 札郷宿舍 |
| 288 | 11 | 1 | 東大秩父演習林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 房総の自然研究会 | |
| 289 | 11 | 2 | 市原市 | 0 | 0 | 0 | 15 | 15 | 仲間(自然観察の為) | |
| 290 | 11 | 2 | 君津亀山少年自然の家 | 0 | 0 | 0 | 45 | 45 | 自然観察と仲間 | |
| 291 | 11 | 1 | 市原市 | 0 | 0 | 0 | 10 | 10 | 仲間(自然観察の為) | |
| 292 | 11 | 1 | 千葉市立宮崎小学校 | 8 | 0 | 0 | 0 | 8 | 理科学習(地層・川の流れの働きなど)教材研究の為 | |
| 293 | 11 | 1 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 7 | 7 | 紅葉風景の写真撮影の為 | |
| 294 | 11 | 1 | 君津市小糸公民館 | 0 | 0 | 0 | 43 | 43 | 演習林内の自然観察 | |
| 295 | 11 | 4 | 東京医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ヤマビル採集 | 清澄学生宿舍 |
| 296 | 11 | 1 | 木更津市立岩根公民館 | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 | 家庭教育学級生の会員交流と自然散策を楽しむ | |
| 297 | 11 | 1 | 君津市 | 0 | 0 | 0 | 15 | 15 | 紅葉見学と自然観察 | |
| 298 | 11 | 1 | 君津市 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 紅葉の散策 | |
| 299 | 11 | 1 | 袖ヶ浦市 | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 | 自然観察及び森林浴 | |
| 300 | 11 | 1 | 市原市立南総公民館 | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 | 自然観察会 | |
| 301 | 11 | 1 | 鴨川市 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 自然観察 | |
| 302 | 11 | 2 | 京都大学演習林 | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 | 業務関係打合せ | 清澄学生宿舍 |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|------------|-----|----|----|-----|-----|-----------------------|-------|
| 303 | 11 | 1 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 紅葉の撮影 | |
| 304 | 11 | 1 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 6 | 6 | 登山（自然観察） | |
| 305 | 11 | 1 | 袖ヶ浦市 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 植物観察の為 | |
| 306 | 11 | 1 | 袖ヶ浦市 | 0 | 0 | 0 | 21 | 21 | 紅葉見学と自然観察 | |
| 307 | 11 | 1 | 君津市 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 自然観察 | |
| 308 | 11 | 1 | 君津市 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 猪川渓谷の紅葉散策 | |
| 309 | 11 | 1 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 猪川渓谷散策 | |
| 310 | 11 | 1 | 君津市君津中央公民館 | 0 | 0 | 0 | 32 | 32 | 君津婦人学級の移動学習（自然観察学習） | |
| 311 | 11 | 1 | 成田市 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 自然観察 | |
| 312 | 11 | 1 | 袖ヶ浦市 | 0 | 0 | 0 | 25 | 25 | 紅葉と自然観察 | |
| 313 | 11 | 1 | 木更津市立東清公民館 | 0 | 0 | 0 | 40 | 40 | 山歩きを通じて自然に親しみ健康の増進を図る | |
| 314 | 11 | 1 | 君津市周南公民館 | 0 | 0 | 0 | 40 | 40 | 公民館事業 仲間 | |
| 315 | 11 | 1 | 千葉県山武郡横芝町 | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 | 自然観察 | |
| 316 | 11 | 1 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 植物観察 | |
| 317 | 11 | 1 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 自然観察 | |
| 318 | 11 | 1 | 茂原市 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 自然観察 | |
| 319 | 11 | 1 | 鴨川市教育委員会 | 0 | 0 | 0 | 50 | 50 | 健康づくりと自然観察 | |
| 320 | 11 | 1 | 市原市役所 | 0 | 0 | 0 | 9 | 9 | 自然観察会 | |
| 321 | 11 | 1 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 23 | 23 | 紅葉と自然観察 | |
| 322 | 11 | 1 | 千葉市中央区 | 0 | 0 | 0 | 25 | 25 | 紅葉見学と自然観察 | |
| 323 | 11 | 1 | 袖ヶ浦市 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 紅葉見学と自然観察 | |
| 324 | 11 | 3 | 東大千葉演習林 | 1 | 1 | 3 | 0 | 5 | 猪川林道一般公開に伴う巡林者補助 | 札郷宿舎 |
| 325 | 11 | 1 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 仲間 | |
| 326 | 11 | 1 | フワノショップ 種久 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 植物観察 | |
| 327 | 11 | 1 | 君津市企画部 | 0 | 0 | 0 | 25 | 25 | 君津ミツ会紅葉亀山仲間実施のため | |
| 328 | 11 | 1 | 千葉県河川海岸課 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 自然観察及び登山 | |
| 329 | 11 | 1 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 60 | 60 | 自然観察と仲間 | |
| 330 | 11 | 1 | J R 君津駅 | 0 | 0 | 0 | 100 | 100 | 黒滝周辺の紅葉探索と自然観察の為 | |
| 331 | 11 | 1 | アツカオクラブ | 0 | 0 | 0 | 30 | 30 | 演習林内の紅葉の撮影会 | |
| 332 | 11 | 1 | 内浦山県民の森 | 0 | 0 | 0 | 120 | 120 | 催事(房総脊梁の仲間仲間) | |
| 333 | 12 | 5 | 東大・農・砂防 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 新第三紀層山地斜面における土層生成速度 | 札郷宿舎 |
| 334 | 12 | 1 | 袖ヶ浦市平岡公民館 | 0 | 0 | 0 | 25 | 25 | 仲間を通して自然に親しみ健康維持に努める | |
| 335 | 12 | 1 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 写真撮影のため(アツカオ) | |
| 336 | 12 | 1 | 丸山町中央公民館 | 1 | 0 | 0 | 35 | 36 | 中央公民館主催(エジソン仲間仲間講座) | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|------------|-----|----|----|-----|-----|----------------------------|--------|
| 337 | 12 | 1 | 君津市 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 自然観察 | |
| 338 | 12 | 6 | 千葉大学・理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑広葉樹の葉の構造上の特性を調べるため | |
| 339 | 12 | 1 | 千葉大学・理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 常緑広葉樹の葉の構造上の特性を調べるため | |
| 340 | 12 | 1 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 自然観察 | |
| 341 | 12 | 1 | 袖ヶ浦市 | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 | 紅葉見学と自然観察 | |
| 342 | 12 | 2 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 自然観察 | |
| 343 | 12 | 1 | 東大・農・砂防 | 1 | 3 | 0 | 0 | 4 | 水文観測及び土壌調査 | |
| 344 | 12 | 2 | 東大・農・砂防 | 0 | 5 | 1 | 0 | 6 | 水文観測及び土壌調査 | 札郷宿舎 |
| 345 | 12 | 1 | 東大・農・砂防 | 1 | 5 | 1 | 0 | 7 | 水文観測及び土壌調査 | 札郷宿舎 |
| 346 | 12 | 1 | 君津市 | 0 | 0 | 0 | 45 | 45 | 自然観察 | |
| 347 | 12 | 1 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 | 紅葉見学と自然観察 | |
| 348 | 12 | 1 | 木更津市立東清公民館 | 0 | 0 | 0 | 15 | 15 | 写真入門講の撮影会開催の為 | |
| 349 | 12 | 1 | 木更津市清見台公民館 | 0 | 0 | 0 | 35 | 35 | 山歩きのつどい(自然観察) | |
| 350 | 12 | 1 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 房総の森林の観察 | |
| 351 | 12 | 1 | 木更津市 | 0 | 0 | 0 | 7 | 7 | 自然観察 仔ガ | |
| 352 | 12 | 3 | 鴨川市 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 自然観察 | |
| 353 | 12 | 1 | 君津市 | 0 | 0 | 0 | 25 | 25 | 紅葉見学と自然観察 | |
| 354 | 12 | 1 | 東大演習林研究部 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 大径材及び高品位材の供給に関する研究 | |
| 355 | 12 | 1 | 君津市 | 0 | 0 | 0 | 30 | 30 | 植物観察 | |
| 356 | 12 | 1 | フワッポ種久 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 演習林内における植物観察 | |
| 357 | 12 | 3 | 東大・農・経理 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 根系の広がりや発達に対する樹木地上部及び立地との関係 | 札郷宿舎 |
| 358 | 12 | 1 | 木更津市立畑沢公民館 | 0 | 0 | 0 | 37 | 37 | 健康と親睦を目的とした公民館主催のワゲイク | |
| 359 | 12 | 1 | 千葉大学・理 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 | 樹木の芽の調査 | |
| 340 | 12 | 1 | 久留里城址資料館 | 0 | 0 | 0 | 40 | 40 | 自然観察 | |
| 341 | 12 | 5 | 東京医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ヤマビルの採集 | 清澄学生宿舎 |
| 342 | 12 | 4 | 東大・農・経理 | 1 | 0 | 5 | 0 | 6 | 森林計測学・学生実習 | 清澄学生宿舎 |
| 343 | 12 | 1 | 理化学研究所 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 地震前兆電磁気現象を用いた短期的地震予知の基礎研究 | |
| 344 | 12 | 1 | 東京農工大学・院 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 土壌溶液の採取 | |
| 345 | 12 | 1 | 東大・農・植物 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | ヒノキ傷害樹脂道形成位置の月毎の変化 | |
| 346 | 12 | 1 | 東大・農・造林 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 武者土に設置したセンサーの回収 | |
| 347 | 12 | 2 | 東大秩父演習林 | 1 | 0 | 0 | 2 | 3 | 房総の自然研究会月例会 | 郷台宿舎 |
| 348 | 12 | 2 | 東大森林生態圏管理学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 共生機構の解明 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|-----------|-----|----|----|-----|-----|----------------------------|--------|
| 349 | 1 | 3 | 東大・農・経理 | 0 | 2 | 0 | 0 | 6 | 根系の広がりや発達に対する樹木地上部及び立地との関係 | 札郷宿舎 |
| 350 | 1 | 3 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 根系の広がりや発達に対する樹木地上部及び立地との関係 | 札郷宿舎 |
| 351 | 1 | 2 | 東大・農・砂防 | 1 | 3 | 0 | 0 | 8 | 水文観測及び土壌調査 | |
| 352 | 1 | 2 | 東大・農・砂防 | 0 | 5 | 1 | 0 | 12 | 水文観測及び土壌調査 | 札郷宿舎 |
| 353 | 1 | 3 | 日本大学 | 2 | 0 | 1 | 0 | 9 | 千葉演習林における鹿個体数の定期調査他 | 清澄学生宿舎 |
| 354 | 1 | 2 | 東大秩父演習林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 千葉演習林における鹿個体数の定期調査他 | 清澄学生宿舎 |
| 355 | 1 | 5 | 千葉大学・理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 常緑広葉樹の葉の構造上の特性についての調査のため | |
| 356 | 1 | 3 | 理化学研究所 | 0 | 0 | 0 | 4 | 12 | 地震前兆電磁気現象を用いた短期的地震予知の基礎研究 | |
| 357 | 1 | 5 | 東京医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | ヤマビルの冬の生態調査 | 清澄学生宿舎 |
| 358 | 1 | 1 | 演習林研究部 | 1 | 0 | 0 | 9 | 10 | 高齢級ヒノキ林の視察ヒノキ材資材調査 | |
| 359 | 1 | 2 | 鴨川市 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 | 自然観察 | |
| 360 | 1 | 1 | 東京農工大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | ヒノキの傷害樹脂道形成位置の季節変化 | |
| 361 | 1 | 2 | 東京農工大学 | 0 | 1 | 1 | 0 | 4 | 土壌溶液の採取 | |
| 362 | 1 | 2 | 東大秩父演習林 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 房総の自然研究会月例会 | |
| 363 | 2 | 3 | 東大・農・砂防 | 1 | 5 | 1 | 0 | 7 | 森林地内のCO2フラックス | 札郷宿舎 |
| 364 | 2 | 2 | 東大・農・砂防 | 1 | 4 | 1 | 0 | 6 | 水文観測及び土壌調査 | |
| 365 | 2 | 3 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 根系の広がりや発達に対する | 札郷宿舎 |
| 366 | 2 | 3 | 東大・農・経理 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 根系の広がりや発達に対する | 札郷宿舎 |
| 367 | 2 | 2 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 根系の広がりや発達に対する | 札郷宿舎 |
| 368 | 2 | 3 | 北海道大学 | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 | 全演協酸性雨ワーキンググループ | 清澄学生宿舎 |
| 369 | 2 | 3 | 鴨川市 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 自然観察 | |
| 370 | 2 | 2 | 東大・農・砂防 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 気象データの整理 | 札郷宿舎 |
| 371 | 2 | 2 | 東大・農・砂防 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 気象データの入力等 | 札郷宿舎 |
| 372 | 2 | 1 | 千葉大学・理 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 常緑広葉樹の芽の構造とシュートレジ- | |
| 373 | 2 | 1 | 林野庁森林技術 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 国際協力事業団からの委託によるタイ国造林普及計画研修 | |
| 374 | 2 | 1 | 東大・農・造林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | スギ高齢林の物質生産特性 | |
| 375 | 2 | 1 | 京都大学・院 | 3 | 1 | 0 | 0 | 4 | カラ林の生態学的位置づけの為の植生の比較研究 | |
| 376 | 2 | 2 | 東大演習林本部 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 管財関係視察 | 清澄学生宿舎 |
| 377 | 2 | 30 | (社)千葉県猟友会 | 0 | 0 | 0 | 33 | 33 | 有害鳥獣駆除(コウゾウカ) | |
| 378 | 2 | 2 | 東京農業大学 | 2 | 1 | 14 | 0 | 17 | 学生の研修 | 清澄学生宿舎 |
| 379 | 2 | 2 | 東大秩父演習林 | 1 | 0 | 0 | 5 | 6 | 房総の自然研究会月例会 | 清澄学生宿舎 |
| 380 | 2 | 1 | 内浦山県民の森 | 0 | 0 | 0 | 100 | 100 | 催事(ふれあいウォーク) | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|----------|-----|----|----|-----|-----|-------------------------------|--------|
| 381 | 2 | 1 | 県立千葉工業高 | 0 | 0 | 10 | 13 | 23 | 道標の点検及び周辺内の清掃のため | |
| 382 | 2 | 5 | 東京医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ヤマビルの冬季の生態について | 清澄学生宿舎 |
| 383 | 2 | 2 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 千葉演習林における経営計画の変遷 | 札郷宿舎 |
| 384 | 2 | 1 | 東大・農・植物 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | cisteia菌に感染した檜のIPL生成、傷害樹脂道形成等 | |
| 385 | 2 | 2 | 東大・農・砂防 | 0 | 4 | 0 | 0 | 2 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舎 |
| 386 | 2 | 4 | 日本大学 | 1 | 0 | 3 | 0 | 4 | アカミ等の生殖産生の季節的消長に関する研究 | 清澄学生宿舎 |
| 387 | 3 | 5 | 演習林研究部 | 1 | 0 | 0 | 2 | 3 | 栓皮材剥皮実験 | 清澄学生宿舎 |
| 388 | 3 | 1 | 東京農業大学 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 水生昆虫についての幼虫採集、場所調査 | |
| 389 | 3 | 2 | 演習林本部 | 4 | 0 | 0 | 0 | 4 | 事務打ち合わせ | 清澄学生宿舎 |
| 390 | 3 | 2 | 東大北海道演習林 | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 | 自然環境保全調査及び林内視察 | |
| 391 | 3 | 1 | 東大・農・砂防 | 1 | 5 | 1 | 0 | 7 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | |
| 392 | 3 | 1 | 市原植物研究会 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 植物観察(シダ類) | |
| 393 | 3 | 1 | 市原植物研究会 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 植物観察(シダ類) | |
| 394 | 3 | 1 | 千葉県中央博物館 | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 | 植物観察会 | |
| 395 | 3 | 1 | 東大・農・砂防 | 1 | 4 | 1 | 0 | 6 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | |
| 396 | 3 | 1 | 房総の鹿調査会 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | コホジカの生息密度調査(予備調査) | |
| 397 | 3 | 1 | 東大・農・経理 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 千葉演習林における経営計画の変遷 | |
| 398 | 3 | 2 | 東大秩父演習林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 堂沢のモミの成長解析 | 札郷宿舎 |
| 399 | 3 | 2 | 東大秩父演習林 | 1 | 0 | 0 | 7 | 8 | 房総の自然研究会月例会 | 郷台宿舎 |
| 400 | 3 | 5 | 東大・農・砂防 | 2 | 6 | 1 | 0 | 9 | 水文・水質観測及び工事 | 札郷宿舎 |
| 401 | 3 | 1 | 東大・農・砂防 | 0 | 5 | 1 | 0 | 6 | 新田(2E)袋山(2C1)の水文水質定期観測 | 札郷宿舎 |
| 402 | 3 | 5 | 東大・農・砂防 | 3 | 0 | 0 | 1 | 4 | 袋山沢伐採に伴う研究打ち合わせ及び水文観測 | 清澄学生宿舎 |
| 403 | 3 | 1 | 市原市 | 0 | 0 | 0 | 8 | 8 | 植物観察 | |
| 404 | 3 | 1 | 大東文化大学 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | モミ林についての観察 | |
| 405 | 3 | 1 | 千葉大学・理 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 常緑広葉樹の芽の構造とシュートフェロジ- | |
| 406 | 3 | 1 | 東大・農・植物 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 傷害樹脂道形成位置の季節変化 | |
| 407 | 3 | 2 | 東大愛知演習林 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 東京大学構内の落葉処理に関する打ち合わせ及び現地見学 | 清澄学生宿舎 |
| 408 | 3 | 5 | 東京医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ヤマビルの冬季の生態について | 清澄学生宿舎 |
| 409 | 3 | 1 | 千葉県中央博物館 | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 | コホジカの生息密度調査(予備調査) | |
| 410 | 3 | 2 | 東京農工大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 土壌溶液の採集 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|-------|-----|----|----|-----|-----|------|--------|
| 411 | 3 | 2 | 演習林本部 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 金庫検査 | 清澄学生宿舎 |

北海道演習林

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|-----|--------------|-----|----|----|-----|-----|-----------------------|-------|
| 1 | 4 | 260 | 農学部 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 森林利用学 | 東山 |
| 2 | 4 | 4 | 演習林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 現地検討会 | 山部 |
| 3 | 4 | 5 | 農学部 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 現地検討会 | 山部 |
| 4 | 4 | 4 | 北海道大学農学部 | 0 | 6 | 0 | 0 | 6 | ヒグマの生態調査 | 東山 |
| 5 | 4 | 3 | 名誉教授 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 森林生態調査 | |
| 6 | 4 | 120 | 演習林演友会 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | トウヒ属の種間雑種，ヤナギ類の分類 | |
| 7 | 4 | 1 | HBC報道制作局 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | ドキュメント番組取材 | |
| 8 | 5 | 1 | HBC報道制作局 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | ドキュメント番組取材 | |
| 9 | 5 | 2 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新について | 山部 |
| 10 | 5 | 1 | 帯広畜産大学 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 | 卒業論文実験用試料の採取 | |
| 11 | 5 | 1 | 新日本製紙 | 0 | 0 | 0 | 11 | 11 | 天然林施業地調査 | |
| 12 | 5 | 1 | 旭川医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ライム病の研究 | |
| 13 | 5 | 1 | 富良野市立山部小学校 | 4 | 0 | 0 | 55 | 59 | 春の遠足 | |
| 14 | 5 | 1 | 北海道林務部 | 13 | 0 | 0 | 0 | 13 | 林分現況及び天然林施業調査 | |
| 15 | 5 | 1 | 共同通信社 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 林内見学 | |
| 16 | 5 | 1 | 東京農業大学 | 3 | 19 | 0 | 0 | 22 | 林内見学 | |
| 17 | 5 | 1 | 名誉教授 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 林内見学 | |
| 18 | 5 | 1 | 環境庁西北北海道地区 | 3 | 1 | 0 | 0 | 4 | シマフクロウの生育調査 | |
| 19 | 5 | 1 | 鳥類研究家 | 0 | 0 | 0 | 15 | 15 | 森林及び鳥類観察 | |
| 20 | 5 | 12 | 農学生命科学研究科 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 天然林における種及び遺伝的多様性の研究 | 山部 |
| 21 | 5 | 1 | 千葉大学理学部 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | トウヒ属の球果及び葉の採集 | |
| 22 | 5 | 1 | 旭川医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ライム病媒介者のマダニ採取 | |
| 23 | 5 | 1 | 町立北落合小学校 | 4 | 0 | 0 | 12 | 16 | 遠足 | |
| 24 | 5 | 3 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新について | 山部 |
| 25 | 5 | 3 | プール学院高等学校 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 実習打ち合わせ | |
| 26 | 5 | 3 | 東北大学理学研究科 | 1 | 1 | 2 | 2 | 6 | アカエゾマツの球果形態と遺伝学多様性の研究 | セナール入 |
| 27 | 6 | 2 | 気候システム研究センター | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 林内見学 | 山部 |
| 28 | 6 | 2 | 教育学部附属高校 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林学習の打ち合わせ | 山部 |
| 29 | 6 | 1 | 名誉教授 | 1 | 0 | 0 | 19 | 20 | 林分施業法による天然林視察 | |
| 30 | 6 | 3 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新について | 山部 |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|---------------|-----|----|----|-----|-----|---------------------------|--------|
| 31 | 6 | 1 | 札幌ホテルに親しむ会 | 1 | 0 | 0 | 40 | 41 | 森林学習 | |
| 32 | 6 | 1 | 滝川鳥類研究会 | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 | 森林性鳥類の生態観察 | |
| 33 | 6 | 1 | 朝日カルチャーセンター | 0 | 0 | 0 | 26 | 26 | 自然に植生する草花についての学習 | |
| 34 | 6 | 2 | 筑波大学農林学系 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | ヤツバキクイムシが伝搬する青変菌の研究 | 山部 |
| 35 | 6 | 1 | 富良野中央公民館 | 0 | 0 | 0 | 55 | 55 | 野草学習 | |
| 36 | 6 | 1 | 帯広畜産大学 | 2 | 1 | 0 | 0 | 3 | 針葉樹に由来する植物珪酸体の形態的特徴に関する研究 | |
| 37 | 6 | 2 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新について | 山部 |
| 38 | 6 | 3 | フリーカメラマン | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 森林生態写真撮影 | |
| 39 | 6 | 5 | 愛知演習林 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 水文観測施設の更新 | 山部 |
| 40 | 6 | 3 | 農学部 | 2 | 0 | 1 | 3 | 6 | 森林内の動物の生態調査 | 山部 |
| 41 | 6 | 3 | 林木育種センター | 1 | 0 | 0 | 3 | 4 | 天然林施業地調査 | 山部 |
| 42 | 6 | 1 | 帯広農業高校 | 3 | 0 | 0 | 40 | 43 | 林内見学 | |
| 43 | 6 | 1 | 東川町公民館 | 0 | 0 | 0 | 40 | 40 | 野外観察 | |
| 44 | 6 | 1 | 旭川地方裁判所 | 0 | 0 | 0 | 6 | 6 | 林内見学 | |
| 45 | 6 | 1 | 海外林業コンサルタント協会 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 現地実証調査 | |
| 46 | 6 | 3 | 名誉教授 | 1 | 0 | 0 | 8 | 9 | 林分施業法による天然林視察 | |
| 47 | 6 | 1 | 山部厚生病院 | 0 | 0 | 0 | 6 | 6 | 薬草及び山菜についての学習 | |
| 49 | 6 | 2 | 文学部 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 林内見学 | 山部 |
| 49 | 6 | 1 | 旭川医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ライム病の研究 | |
| 50 | 6 | 2 | 自然と親しむ会 | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 | 林内自然観察 | セナーハウス |
| 51 | 6 | 4 | 東村山自然生物研究会 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 森林性鳥類の観察 | セナーハウス |
| 52 | 6 | 2 | 北海道大学電子科学研究所 | 7 | 0 | 12 | 0 | 19 | 林内見学 | セナーハウス |
| 53 | 7 | 5 | 農学生命科学研究科 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 大学院集中講義 | 山部 |
| 54 | 7 | 2 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新について | 山部 |
| 55 | 7 | 13 | 聖徳大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 林内昆虫相研究 | |
| 56 | 7 | 2 | 帯広畜産大学 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 針葉樹葉身由来植物の形態的特徴に関する研究 | |
| 57 | 7 | 1 | 長野林業大学校 | 2 | 19 | 0 | 5 | 26 | 天然林の更新と施業 | |
| 58 | 7 | 3 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新について | 山部 |
| 59 | 7 | 4 | 総務部 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 人事院給与簿監査立会 | 山部 |
| 60 | 7 | 6 | 農学生命科学研究科 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | G P S 及びレーザー距離計による森林調査 | 山部 |
| 61 | 7 | 2 | 演習林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 人事院給与簿監査立会 | 山部 |
| 62 | 7 | 3 | 総務部 | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 | 人事院給与簿監査立会 | 山部 |
| 63 | 7 | 3 | 森林総合研究所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 林内労働安全衛生に関する調査及び講演 | 山部 |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|--------------|-----|----|----|-----|-----|--------------------------------|-----------|
| 64 | 7 | 2 | 北海道大学大計センター | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | インターネット講習会 | 山部 |
| 65 | 7 | 1 | 旭川医科大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | マダニ類の生育環境の調査 | |
| 66 | 7 | 6 | 三重大学生物資源学部 | 1 | 2 | 1 | 0 | 4 | ハイマツ及びブナ科並びにカバノキ科の研究 | 山部 |
| 67 | 7 | 2 | 名誉教授 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | NHK番組「森林生態」取材 | |
| 68 | 7 | 1 | 新王子製紙 | 0 | 0 | 0 | 12 | 12 | 天然林更新方法の研修 | |
| 69 | 7 | 2 | 群馬工業高等専門学校 | 1 | 0 | 1 | 1 | 3 | 林内見学 | 山部 |
| 70 | 7 | 2 | 富良野市ことぶき大学 | 0 | 0 | 0 | 16 | 16 | 自然観察 | セミナー 入 |
| 71 | 7 | 4 | 教育学部附属高校 | 3 | 36 | 0 | 0 | 39 | 森林学習 | セミナー 入 |
| 72 | 7 | 2 | 東京農業大学 | 2 | 21 | 0 | 0 | 23 | 林内視察 | セミナー 入 |
| 73 | 7 | 3 | 明治大学農学部 | 1 | 12 | 3 | 0 | 16 | 樹木の生育密度調査及び樹冠透過光率測定 | セミナー 入 |
| 74 | 8 | 6 | 経済学部 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 林内見学 | 山部 |
| 75 | 8 | 16 | 農学部 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 北海道の亜寒帯林における地掻き後の土壌動物相 | 山部 |
| 76 | 8 | 3 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新に関する研究 | 山部 |
| 77 | 8 | 2 | 農学生命科学研究科 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | 大学演習林の機能に関する森林生態社会学的研究 | 山部 |
| 78 | 8 | 4 | 名城大学農学部 | 1 | 0 | 1 | 1 | 3 | 小型寄生蜂類の種多様性の解明 | 山部 |
| 79 | 8 | 3 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新に関する研究 | 山部 |
| 80 | 8 | 3 | 農学生命科学研究科 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 樹木の遺伝的多様性について | 山部 |
| 81 | 8 | 3 | 農学部 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ネットワークに関する検討 | 山部 |
| 82 | 8 | 3 | 千葉演習林 | 1 | 0 | 1 | 6 | 8 | 天然林の遺伝構造の調査 | 山部 |
| 83 | 8 | 2 | 農学生命科学研究科 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | タワーヤード集材作業現地検討 | 山部 |
| 84 | 8 | 3 | 東京農業大学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 天然林の施業の調査 | 山部 |
| 85 | 8 | 2 | 大学入試センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 林内見学 | 山部 |
| 86 | 8 | 3 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新に関する研究 | 山部 |
| 87 | 8 | 3 | 名古屋大学農学部 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 樹木集団としての森林の風雪害抵抗力に関する調査 | 山部 |
| 88 | 8 | 3 | 千葉県立中央博物館 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 果実、球果の方向とその物理特性との相関調査及び標本採集・測定 | 山部 |
| 89 | 8 | 1 | 日本大学生物資源学部 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 林内見学 | |
| 90 | 8 | 3 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新に関する研究 | 山部 |
| 91 | 8 | 2 | 緑の地球ネットワーク | 0 | 0 | 0 | 13 | 13 | 原生林の観察、天然更新、択伐造林等の視察 | セミナー 入 |
| 92 | 8 | 6 | 農学部 | 5 | 27 | 4 | 0 | 36 | 森林動物学実験、森林利用学実習 | セミナー 入 |
| 93 | 9 | 1 | 北海道大学中川地方演習林 | 21 | 0 | 0 | 0 | 21 | 林内見学 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|---------------|-----|-----|----|-----|-----|----------------------------|--------|
| 94 | 9 | 3 | 北海道大学経理部 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 管財事務打合せ及び林内見学 | 山部 |
| 95 | 9 | 3 | 森林総合研究所 | 2 | 0 | 0 | 3 | 5 | 天然林管理現地見学 | 山部 |
| 96 | 9 | 3 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新に関する研究 | 山部 |
| 97 | 9 | 1 | 富良野市東山公民館 | 0 | 0 | 0 | 25 | 25 | 林内散策 | |
| 98 | 9 | 2 | 演習林 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 施設調査 | 山部 |
| 99 | 9 | 2 | 東京農業大学 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 天然林及び人口林施業 | 山部 |
| 100 | 9 | 1 | HBCメディアクリエート | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 「自然と人間、その共存の未来を求めて」取材 | |
| 101 | 9 | 1 | 帯広畜産大学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | チシマザサの寿命 | |
| 102 | 9 | 1 | 新日本製紙 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 林内見学 | |
| 103 | 9 | 1 | 富良野市中央公民館 | 0 | 0 | 0 | 80 | 80 | きのご学習 | |
| 104 | 9 | 1 | 富良野市東山公民館 | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 | 自然散策 | |
| 105 | 9 | 1 | 富良野市山部公民館 | 0 | 0 | 0 | 25 | 25 | きのご学習 | |
| 106 | 9 | 2 | 教養学部 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 林内見学 | |
| 107 | 9 | 4 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新に関する研究 | 山部 |
| 108 | 9 | 1 | 上富良野町教育委員会 | 13 | 0 | 0 | 0 | 13 | 植物観察 | |
| 109 | 9 | 4 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新に関する研究 | 山部 |
| 110 | 9 | 4 | 農学生命科学研究科 | 0 | 5 | 1 | 0 | 6 | エゾヒグマの秋期食性の年次変動及び越冬地利用状況調査 | 東山 |
| 111 | 9 | 3 | 札幌私立月寒中学校 | 5 | 0 | 0 | 9 | 14 | 林内の樹木観察及び植樹 | セナーハウス |
| 112 | 9 | 4 | 教養学部 | 0 | 35 | 0 | 0 | 35 | 集中講義「森林と人との係わり」 | セナーハウス |
| 113 | 9 | 4 | 教養学部 | 0 | 33 | 0 | 0 | 33 | 集中講義「森林資源の持続的利用と人間」 | セナーハウス |
| 114 | 9 | 1 | 秋田営林局森林技術センター | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 先進的施業について | |
| 115 | 10 | 2 | プール学院高等学校 | 15 | 315 | 0 | 0 | 330 | 森林体験学習 | |
| 116 | 10 | 5 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新に関する研究 | 山部 |
| 117 | 10 | 2 | 事務局 | 6 | 0 | 0 | 1 | 7 | 林内施設等視察 | 山部 |
| 118 | 10 | 2 | 道立洞爺少年自然の家 | 0 | 0 | 0 | 7 | 7 | 林内見学 | |
| 119 | 10 | 4 | 経理部 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 北海道財務局実地監査立会 | 山部 |
| 120 | 10 | 3 | 農学部 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | ウダイカンバ虫害調査 | 山部 |
| 121 | 10 | 3 | 北海道財務局 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 北海道財務局実地監査 | 山部 |
| 122 | 10 | 3 | 演習林 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 北海道財務局実地監査立会 | 山部 |
| 123 | 10 | 32 | 農学部 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | カラマツに関する実験 | 山部 |
| 124 | 10 | 2 | 経理部 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 北海道財務局実地監査立会 | 山部 |
| 125 | 10 | 3 | フリーカメラマン | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 森林生態写真撮影 | |
| 126 | 10 | 1 | 北海道大学演習林 | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 | 育種、苗畑関係の技術習得 | |
| 127 | 10 | 2 | 林業経済研究所 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 林内見学 | 山部 |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|---------------|-----|----|----|-----|-----|-------------------------------------|---------|
| 128 | 10 | 2 | 東京農工大学 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 森林経営学 | |
| 129 | 10 | 3 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新に関する研究 | 山部 |
| 130 | 10 | 2 | 生活の家 | 0 | 0 | 0 | 19 | 19 | 林内見学 | |
| 131 | 10 | 3 | 秩父演習林 | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 | 急斜面地に開設した道路の斜面保全、維持管理に関する調査 | 山部 |
| 132 | 10 | 5 | 農学生命科学研究科 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | トドマツの遺伝的多様性について | 山部 |
| 133 | 10 | 2 | 森林総合研究所 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 天然林現地見学及び北方系樹種種子採種 | 山部 |
| 134 | 10 | 1 | 帯広畜産大学 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 針葉樹に由来する植物珪酸体の形態的特徴に関する研究 | |
| 135 | 10 | 2 | 施設部 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 北演庁舎屋根改修工事入札 | 山部 |
| 136 | 10 | 3 | 志美宇丹森林事務所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | エゾマツの更新に関する研究 | 山部 |
| 137 | 10 | 1 | 住友林業紋別山林事務所 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 天然林施業について | |
| 138 | 10 | 3 | 北海道大学天塩演習林 | 17 | 0 | 0 | 0 | 17 | 北海道地方演習林協議会 | 山部 |
| 139 | 10 | 3 | 農学生命科学研究科 | 0 | 5 | 1 | 0 | 6 | エゾヒグマの秋期食性の年次変動に関する研究 | 東山 |
| 140 | 10 | 1 | 薬学部 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 林内見学 | |
| 141 | 10 | 1 | 斜里町有林野経営審議会 | 0 | 0 | 0 | 13 | 13 | 天然林施業技術、北方系樹木の遺伝育種、鳥獣保護調査 | |
| 142 | 10 | 4 | 教養学部 | 1 | 29 | 0 | 0 | 30 | 集中セミナー「森林の可能性と人間」 | セミナーハウス |
| 143 | 10 | 2 | 海外林業コンサツタツツ協会 | 0 | 0 | 0 | 10 | 10 | 天然林経営と住民参加による地域林業 | セミナーハウス |
| 144 | 11 | 4 | 筑波大学農林学系 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 | ヤツバキクイムシが伝搬するオフィアストマキン科菌類の病原性に関する研究 | 山部 |
| 145 | 11 | 2 | 原子力研究総合センター | 4 | 0 | 0 | 0 | 4 | 林内見学 | 山部 |
| 146 | 11 | 2 | 学術情報センター | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 施業調査 | 山部 |
| 147 | 11 | 2 | 国際協力事業団 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 北方天然林施業 | 山部 |
| 148 | 11 | 2 | 森林生態遺伝研究所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 道産ミズナラの産地別変異に関する研究 | 山部 |
| 149 | 11 | 2 | 農学部 | 1 | 0 | 0 | 3 | 4 | 天然林素材生産システムの検討 | 山部 |
| 150 | 11 | 3 | 愛知演習林 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 森林作業環境に関する打合せ | 山部 |
| 151 | 11 | 1 | 帯広畜産大学 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | ヒグマ及びエゾライチョウの生息環境調査 | |
| 152 | 11 | 1 | 経理部 | 4 | 0 | 0 | 0 | 4 | 営繕調査 | 山部 |
| 153 | 11 | 2 | 演習林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 演習林運営に関する打合せ | 山部 |
| 154 | 11 | 5 | 及川自動車 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | タワーヤード集材作業実験 | 山部 |
| 155 | 11 | 2 | 施設部 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 施設調査 | 山部 |
| 156 | 11 | 4 | 農学生命科学研究科 | 0 | 5 | 1 | 0 | 6 | エゾヒグマの秋期食性の年次変動に関する研究 | 東山 |
| 157 | 12 | 3 | 愛知演習林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ポイントゲージの水準測量及び位置測量 | 山部 |
| 158 | 12 | 3 | ハンガリー国際樹木研究所 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 北方主要構造樹種についての樹木学的調査及び視察 | 山部 |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 院生 | 学生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|----------------|-----|----|----|-----|-----|-------------------------------|-------|
| 159 | 12 | 2 | 施設部 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 山部庁舎屋根改修工事竣工検査 | 山部 |
| 160 | 1 | 2 | 北海道大学農学部 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 林学機械作業に関する調査 | 山部 |
| 161 | 1 | 2 | 演習林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 車両系機械による間伐作業実験 | 山部 |
| 162 | 1 | 1 | 名誉教授 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 雑誌社「森からのメッセージ」取材 | |
| 163 | 2 | 3 | 演習林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 秩父自然環境調査データベース運用のための調査及び研究打合せ | 山部 |
| 164 | 2 | 2 | 経理部 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 端末機器操作指導 | 山部 |
| 165 | 2 | 4 | 大沼企画 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | テレビ番組取材「自然動物の生態」 | |
| 166 | 2 | 2 | 斗南病院 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 林内見学 | 山部 |
| 167 | 3 | 2 | 北海道財務局 | 9 | 0 | 0 | 0 | 9 | 林内見学 | 山部 |
| 168 | 3 | 3 | 農学生命科学研究科 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 現地検討会参加 | 山部 |
| 169 | 3 | 3 | 秩父演習林 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 収穫作業跡地調査 | 山部 |
| 170 | 3 | 2 | 工学部附属原子力工学研究施設 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 林内見学 | 山部 |
| 171 | 3 | 3 | 森林総合研究所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 木材販売時の情報提供に関する実態調査 | 山部 |
| 172 | 3 | 3 | 演習林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 演習林情報システム視察及び現地検討会参加 | 山部 |
| 173 | 3 | 1 | 京都大学北海道演習林 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 事務打合せ | |
| 174 | 3 | 2 | 東京水産大学 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 事務打合せ及び林内見学 | 山部 |
| 175 | 3 | 3 | 愛知演習林 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 総合気象観測装置のセンサ交換とメンテ | 山部 |
| 176 | 3 | 3 | 経理部 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 平成8年度金庫検査 | 山部 |

秩父演習林

| NO | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|----|---|----|------------|-----|----|----|-----|-----|--|---------|
| 1 | 4 | 1 | 研究部 | 2 | | | | 2 | 森林景観調査 | |
| 2 | 4 | 3 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 森林景観調査 | |
| 3 | 4 | 16 | 東大農応用動物 | | | 1 | | 1 | クマ調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 4 | 4 | 3 | 日本大学生物資源学部 | 1 | 3 | | | 4 | アカネズミ、ヒメネズミおよびヒミズの精子発生の季節的消長に関する細胞生物学的研究 | 川俣学生寄宿舍 |
| 5 | 4 | 3 | 埼玉県林業試験場 | | | | 3 | 3 | 森林環境の保全に関する研究 | |
| 6 | 4 | 2 | 研究部 | 1 | | | | 1 | コゲラ個体群比較の研究およびツキノワグマの研究 | |
| 7 | 4 | 1 | 東邦大学理学部 | 1 | 1 | | | 2 | ブナ実生の初期成長 | |
| 8 | 4 | 2 | 東邦大学理学部 | | 1 | | | 1 | ブナ実生の初期成長 | |
| 9 | 4 | 2 | 東大農応用動物 | 1 | 6 | 7 | | 14 | 野生生物野外調査実習 | 川俣学生寄宿舍 |
| 10 | 4 | 2 | 東大農利用 | 2 | | | | 2 | 土木学実習打ち合わせ | 栃本宿舎 |

| NO | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|----|---|----|---------------------|-----|----|----|-----|-----|--|---------|
| 11 | 4 | 1 | 東大農植物 | 1 | 1 | 2 | | 4 | 酸性雨処理に対するモミとモミ外生菌根の反応 | |
| 12 | 4 | 2 | 埼玉昆虫談話会 | | | | 9 | 9 | 入川渓谷の早春の昆虫相調査 | 栃本自炊宿舎 |
| 13 | 5 | 2 | 演習林事務部 | 4 | | | | 4 | 事務打ち合わせ、各施設調査 | 川俣学生寄宿舎 |
| 14 | 5 | 19 | 東京大学大学院総合文化研究科 | | | 1 | | 1 | 小林地内の小ほ乳類に関する調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 15 | 5 | 3 | 研究部 | 1 | | | | 1 | ツキノワグマ個体群の動態調査 | |
| 16 | 5 | 2 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 鳥類調査 | 幕営 |
| 17 | 5 | 6 | 東大農応用動物 | | | 1 | | 1 | クマ調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 18 | 5 | 2 | 東大農利用 | 3 | | | | 3 | 森林土木学実習 | 栃本宿舎 |
| 19 | 5 | 4 | 東大農利用 | | 5 | 3 | | 8 | 森林土木学実習 | 川俣学生寄宿舎 |
| 20 | 5 | 2 | 東邦大学理学部 | | 1 | | | 1 | ブナ実生の初期成長 | |
| 21 | 5 | 2 | 東大農動物 | 1 | | 1 | | 2 | 渓流内落葉堆積の観察 | 栃本自炊宿舎 |
| 22 | 5 | 2 | 東大農動物 | | | 1 | | 1 | ブナ、イヌブナの樹冠部の昆虫群集調査 | 栃本自炊宿舎 |
| 23 | 5 | 4 | 東大農動物 | | | 1 | | 1 | ブナ、イヌブナの樹冠部の昆虫群集調査 | 栃本自炊宿舎 |
| 24 | 5 | 3 | 埼玉県教育委員会 | 50 | | | 150 | 200 | 埼玉県高等学校学徒登山大会 | 幕営 |
| 25 | 5 | 1 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 森林景観調査 | |
| 26 | 5 | 1 | 研究部 | 2 | | | | 2 | 森林景観調査、森林映像記録口ポット説明会 | |
| 27 | 5 | 2 | 田無自然観察会 | 1 | | | 6 | 7 | 秩父山地の森林観察 | 川俣学生寄宿舎 |
| 28 | 5 | 2 | 愛知演習林 | 1 | | | | 1 | 量水観測打ち合わせ及び各堰堤の水準測量 | 栃本宿舎 |
| 29 | 5 | 1 | 埼玉県林業試験場 | | | | 3 | 3 | 森林環境の保全に関する研究 | |
| 30 | 5 | 2 | 東大農植物 | | 1 | | | 1 | 酸性雨処理に対するモミとモミ外生菌根の反応 | |
| 31 | 5 | 3 | 日本大学生物資源学部 | 1 | 3 | | | 4 | アカネズミ、ヒメネズミおよびヒミズの精子発生の季節的消長に関する細胞生物学的研究 | |
| 32 | 5 | 1 | 東大農造林 | 1 | 1 | 2 | | 4 | 国道140号自然環境調査、水質調査 | |
| 33 | 5 | 4 | 東京医科歯科大学教養学部 | 1 | 3 | | | 4 | ウグイス繁殖戦略の研究 | 川俣自炊宿舎 |
| 34 | 5 | 1 | 秩父演習林 | | | | 19 | 19 | 東京大学公開講座「奥秩父の自然と人のかかわり」 | |
| 35 | 5 | 1 | 秩父公共職業安定所 | | | | 15 | 15 | 演習林見学 | |
| 36 | 5 | 2 | 研究部 | 2 | | 2 | 1 | 5 | 森林生態圏管理学実習 | 川俣学生寄宿舎 |
| 37 | 5 | 1 | 東京大学農学生命科学研究科生物材料科学 | | | | 1 | 1 | 供試材料の採取 | |
| 38 | 5 | 3 | 千葉演習林 | 1 | | | | 1 | 国道140号自然環境調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 39 | 6 | 17 | 東京大学大学院総合文化研究科 | | | 1 | | 1 | 小林地内の小ほ乳類に関する調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 40 | 6 | 3 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 森林景観調査 | |

| NO | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|----|---|----|-----------------|-----|----|----|-----|-----|-------------------------------|---------|
| 41 | 6 | 26 | 東大農応用動物 | | | 1 | | 1 | クマ調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 42 | 6 | 6 | 東大農動物 | 1 | 1 | | | 2 | スギ落葉分解過程の調査 | 栃本自炊宿舎 |
| 43 | 6 | 2 | 東大農動物 | | 1 | | | 1 | スギ落葉分解過程の調査 | 栃本自炊宿舎 |
| 44 | 6 | 3 | 東大農動物 | | | 1 | | 1 | ブナ、イヌブナの樹冠部の昆虫群集調査 | 栃本自炊宿舎 |
| 45 | 6 | 9 | 東大農動物 | | | 1 | | 1 | ブナ、イヌブナの樹冠部の昆虫群集調査 | ステーション泊 |
| 46 | 6 | 2 | 東大農植物 | | 1 | | | 1 | 酸性雨処理に対するモミとモミ外生菌根の反応 | |
| 47 | 6 | 8 | 研究部 | 1 | | | | 1 | ツキノワグマ個体群の動態調査、山地帯天然林生態系の解明 | 幕営 |
| 48 | 6 | 2 | 埼玉県林業試験場 | | | | 3 | 3 | 森林環境の保全に関する研究 | |
| 49 | 6 | 1 | 東邦大学理学部 | | 1 | | | 1 | ブナ実生の初期成長 | |
| 50 | 6 | 2 | 東大農森林科学 | 8 | 14 | | | 22 | 本学教養学部生に対する森林及び森林科学についてのガイダンス | 川俣学生寄宿舎 |
| 51 | 6 | 2 | アジア生物資源環境研究センター | 4 | | | | 4 | 林道開設に伴うササ群落の動態変化に関する研究 | 栃本宿舎 |
| 52 | 6 | 1 | 日本女子大学 | 1 | | | | 1 | 樹皮の特性、特質について | |
| 53 | 6 | 5 | 東邦大学理学部 | 1 | 17 | 2 | | 20 | 植物野外実習 | 川俣学生寄宿舎 |
| 54 | 6 | 1 | 東大農利用 | 1 | | | | 1 | 国道140号自然環境調査 | |
| 55 | 6 | 3 | 東京医科歯科大学教養学部 | 1 | 2 | 1 | | 4 | ウグイス繁殖戦略の研究 | 栃本自炊宿舎 |
| 56 | 6 | 3 | 国際基督教大学教養学部理学科 | | 30 | | | 30 | 植物野外実習 | 川俣学生寄宿舎 |
| 57 | 6 | 3 | 国際基督教大学教養学部理学科 | 2 | | 1 | 2 | 5 | 植物野外実習 | 栃本宿舎 |
| 58 | 7 | 20 | 東京大学大学院総合文化研究科 | | | 1 | | 1 | 小林地内の小ほ乳類に関する調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 59 | 7 | 9 | 東大農動物 | | | 1 | | 1 | ブナ、イヌブナの樹冠部の昆虫群集調査 | ステーション泊 |
| 60 | 7 | 1 | 研究部 | 2 | | | | 2 | 研究紹介ビデオ作成のための下見 | |
| 61 | 7 | 2 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 森林景観調査 | |
| 62 | 7 | 4 | 東大農植物 | | 1 | | | 1 | 酸性雨処理に対するモミとモミ外生菌根の反応 | |
| 63 | 7 | 1 | 東大農利用 | 1 | | 1 | | 2 | 国道140号自然環境調査 | |
| 64 | 7 | 3 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | | 1 | | 2 | 林道開設に伴うササ群落の動態変化に関する研究 | |
| 65 | 7 | 18 | 東大農応用動物 | | | 1 | | 1 | クマ調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 66 | 7 | 1 | (社)林業機械化協会 | | | | 2 | 2 | 植栽機械試験地現地検討 | |
| 67 | 7 | 13 | 研究部 | 1 | | | | 1 | クマトラップ設置見回り、捕獲作業 | |
| 68 | 7 | 3 | 研究部 | 1 | | | | 1 | クマトラップ設置見回り、捕獲作業 | 川俣自炊宿舎 |

| NO | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|----|---|----|-------------------|-----|----|----|-----|-----|--|---------|
| 69 | 7 | 2 | 愛知演習林 | 2 | | | | 2 | 量水観測における打ち合わせ | 民宿 |
| 70 | 7 | 4 | 東大農植物 | 2 | | | | 2 | 森林植物学実験 | 栃本宿舎 |
| 71 | 7 | 4 | 東大農植物 | | 28 | 2 | | 30 | 森林植物学実験 | 川俣学生寄宿舍 |
| 72 | 7 | 4 | 東大農造林 | 2 | | | | 2 | 森林土壌学実験 | 栃本宿舎 |
| 73 | 7 | 4 | 東大農造林 | | 28 | 3 | 1 | 32 | 森林土壌学実験 | 川俣学生寄宿舍 |
| 74 | 7 | 2 | 東大農造林 | 1 | | 2 | | 3 | 国道140号自然環境調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 75 | 7 | 2 | 東大農動物 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 溪流内落葉堆積の観察 | 栃本自炊宿舎 |
| 76 | 7 | 3 | 千葉演習林 | 1 | | | | 1 | 国道140号自然環境調査 | 栃本自炊宿舎 |
| 77 | 7 | 1 | 埼玉県林業試験場 | | | | 3 | 3 | 森林環境の保全に関する研究 | |
| 78 | 7 | 3 | 日本大学生物資源学部 | | 3 | | | 3 | アカネズミ、ヒメネズミおよびヒミズの精子発生の季節的消長に関する細胞生物学的研究 | 川俣自炊宿舎 |
| 79 | 7 | 2 | 東大農動物 | | 2 | | | 2 | スギ落葉分解過程の調査 | 栃本自炊宿舎 |
| 80 | 7 | 4 | 国立科学博物館植物研究部 | | 1 | | 31 | 32 | 変形菌類の調査 | 民宿 |
| 81 | 7 | 3 | 東京医科歯科大学教養学部 | 1 | 5 | 1 | | 7 | ウグイス繁殖戦略の研究 | 栃本自炊宿舎 |
| 82 | 7 | 3 | 立教大学理学部 | 4 | 29 | | | 33 | 博物館学芸員課程巡検実習 | 川俣学生寄宿舍 |
| 83 | 7 | 3 | 立教大学理学部 | 4 | 44 | | | 48 | 博物館学芸員課程巡検実習 | 川俣学生寄宿舍 |
| 84 | 7 | 2 | 東大農利用 | 3 | | 2 | | 5 | 間伐試験打ち合わせ及び国道140号自然環境調査 | 栃本宿舎 |
| 85 | 8 | 31 | 東京大学大学院総合文化研究科 | | | 1 | | 1 | 小林地内の小ほ乳類に関する調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 86 | 8 | 3 | 埼玉県高等学校生物研究会 | 20 | | | | 20 | 入川流域の動植物調査 | 民宿 |
| 87 | 8 | 15 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 国道140号自然環境調査、ツキノワグマ調査 | |
| 88 | 8 | 1 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 森林景観調査 | |
| 89 | 8 | 2 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 森林景観調査 | 川俣学生寄宿舍 |
| 90 | 8 | 2 | 埼玉県立秩父農工高等学校森林科学科 | 2 | | | 41 | 43 | 樹木実習 | 川俣学生寄宿舍 |
| 91 | 8 | 19 | 東大農応用動物 | | | 1 | | 1 | クマ調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 92 | 8 | 1 | 秩父郡大滝村立光岩小学校 | 9 | | | | 9 | 滝川、入川流域の植物の生態観察 | |
| 93 | 8 | 2 | 東大農動物 | | 1 | 1 | | 2 | 溪流内落葉堆積の観察 | 川俣自炊宿舎 |
| 94 | 8 | 1 | 東大農植物 | | 2 | | | 2 | 酸性雨処理に対するモミとモミ外生菌根の反応 | |
| 95 | 8 | 2 | 東大農植物 | | 1 | | | 1 | 酸性雨処理に対するモミとモミ外生菌根の反応 | |
| 96 | 8 | 3 | 東大農植物 | | | 1 | | 1 | ヒノキとサワラの傷害樹脂道形成能の比較 | 川俣自炊宿舎 |
| 97 | 8 | 6 | 東大農動物 | | | 1 | | 1 | ブナ、イヌブナの樹冠部の昆虫群集調査 | ステーション泊 |
| 98 | 8 | 1 | 埼玉県林業試験場 | | | | 2 | 2 | 森林環境の保全に関する研究 | |

| NO | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|---------------------------|-----|----|----|-----|-----|--|---------|
| 99 | 8 | 4 | (株)フリービット | | | | 6 | 6 | 埼玉県広報番組テレビ東京「さわやか彩の国」番組制作のため | 民宿 |
| 100 | 8 | 3 | 東京医科歯科大学教養学部 | 1 | 3 | 1 | | 5 | ウグイス繁殖戦略の研究 | 栃本自炊宿舎 |
| 101 | 8 | 1 | 東大農植物 | | | 2 | | 2 | 国道140号自然環境調査、沿道樹木の生態状態の変化 | |
| 102 | 8 | 2 | 演習林事務部 | 20 | | | | 20 | 施設及び現地研修 | 川俣学生寄宿舍 |
| 103 | 8 | 3 | 日本大学生物資源学部 | | 3 | | | 3 | アカネズミ、ヒメネズミおよびヒミズの精子発生の季節的消長に関する細胞生物学的研究 | 川俣自炊宿舎 |
| 104 | 8 | 3 | 東大農生態社会 | 2 | 1 | 1 | 3 | 7 | サイバーフォレストビデオ撮影 | 川俣学生寄宿舍 |
| 105 | 8 | 2 | The University of Montana | | 1 | | | 1 | ツキノワグマの研究見学 | |
| 106 | 9 | 26 | 東京大学大学院総合文化研究科 | | | 1 | | 1 | 小林地内の小ほ乳類に関する調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 107 | 9 | 2 | (社)林業機械化協会 | 1 | | | 10 | 11 | 植栽機械の作業実験と勉強会 | |
| 108 | 9 | 20 | 東大農応用動物 | | | 1 | | 1 | クマ調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 109 | 9 | 1 | 東大農植物 | | 1 | | | 1 | 酸性雨処理に対するモミとモミ外生菌根の反応 | |
| 110 | 9 | 2 | 東大農植物 | | 1 | | 1 | 2 | 酸性雨処理に対するモミとモミ外生菌根の反応 | |
| 111 | 9 | 1 | 埼玉県農林部林務課 | | | | 30 | 30 | 埼玉県林業改良指導員による造林用林業機械の見学 | |
| 112 | 9 | 1 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 森林景観調査 | |
| 113 | 9 | 2 | 埼玉県林業試験場 | | | | 3 | 3 | 森林環境の保全に関する研究 | |
| 114 | 9 | 1 | ソウル大学校農業生命科学大学 | 1 | | | 5 | 6 | 秩父演習林見学 | |
| 115 | 9 | 4 | 研究部 | 1 | | | | 1 | ツキノワグマ調査 | |
| 116 | 9 | 4 | 北海道演習林 | 1 | | | 3 | 4 | 植物標本の採集及び林道法面植生調査 | 栃本宿舎 |
| 117 | 9 | 1 | 北海道演習林 | | | | 3 | 3 | 植物標本の採集及び林道法面植生調査 | |
| 118 | 9 | 6 | 東大農動物 | | | 1 | | 1 | ブナ、イヌブナの樹冠部の昆虫群集調査 | |
| 119 | 9 | 1 | 秩父市医師会 | | | | 40 | 40 | 樹木園原生林の見学 | |
| 120 | 9 | 3 | 日本大学農獣医学部 | | 2 | 1 | | 3 | ウグイス繁殖戦略の研究 | 栃本自炊宿舎 |
| 121 | 9 | 4 | 東京大学教養学部 | 5 | 17 | | | 22 | 教養学部集中講義 | 川俣学生寄宿舍 |
| 122 | 9 | 3 | 東大農動物 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 渓流内落葉堆積の観察 | 川俣自炊宿舎 |
| 123 | 9 | 1 | 東大農植物 | | | 1 | | 1 | ヒノキとサワラの傷害樹脂道形成能の比較 | |
| 124 | 9 | 3 | 千葉演習林 | 1 | | | | 1 | 国道140号自然環境調査 | 栃本自炊宿舎 |
| 125 | 10 | 1 | 新潟大学農学部 | 1 | 4 | | | 5 | 間伐作業試験見学 | |
| 126 | 10 | 24 | 東京大学大学院総合文化研究科 | | | 1 | | 1 | 小林地内の小ほ乳類に関する調査 | 川俣自炊宿舎 |

| NO | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|-----------------|-----|----|----|-----|-----|--|---------|
| 127 | 10 | 1 | 横浜国立大学植生生態工学研究室 | | | 3 | | 3 | 林内の溪畔林の見学 | |
| 128 | 10 | 4 | 東大農動物 | | | 1 | | 1 | ブナ、イヌブナの樹冠部の昆虫群集調査 | ステーション泊 |
| 129 | 10 | 2 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 森林景観調査 | |
| 130 | 10 | 3 | 東大農植物 | | 1 | | | 1 | 酸性雨処理に対するモミとモミ外生菌根の反応 | |
| 131 | 10 | 2 | 東大農造林 | 1 | | | | 1 | 国道140号自然環境調査及び研究打ち合わせ | 栃本宿舎 |
| 132 | 10 | 4 | 東大農動物 | 2 | 2 | 9 | | 13 | 森林動物学研究室ゼミ | 川俣学生寄宿舍 |
| 133 | 10 | 1 | 埼玉県林業試験場 | | | | 3 | 3 | 森林環境の保全に関する研究 | |
| 134 | 10 | 2 | 東大農動物 | | 2 | | | 2 | 溪流内落葉堆積の観察 | 川俣自炊宿舎 |
| 135 | 10 | 1 | 秩父市旭町町会 | | | | 25 | 25 | 樹木園と原生林見学 | |
| 136 | 10 | 3 | 日本大学生物資源学部 | 1 | 3 | | | 4 | アカネズミ、ヒメネズミおよびヒミズの精子発生の季節的消長に関する細胞生物学的研究 | 栃本自炊宿舎 |
| 137 | 10 | 4 | 東大農利用 | 1 | | 3 | | 4 | 森林の空間利用のための基盤整備に関する研究 | 栃本宿舎 |
| 138 | 10 | 14 | 東大農応用動物 | | | 1 | | 1 | クマ調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 139 | 10 | 2 | 研究部 | 1 | | | | 1 | ミズナラの調査 | |
| 140 | 10 | 1 | 田無植物愛好会 | | | | 28 | 28 | 冷温帯地域における森林植生の特性について見学 | |
| 141 | 10 | 1 | 東大農植物 | | | 2 | | 2 | ヒノキとサワラの傷害樹脂道形成能の比較 | |
| 142 | 10 | 1 | 伊藤幸也 | | | | 4 | 4 | 樹木園と原生林見学 | |
| 143 | 10 | 2 | 演習林事務局 | 5 | | | | 5 | 給与簿監査 | 栃本宿舎 |
| 144 | 10 | 2 | 研究部 | 23 | | | | 23 | 技術官等試験研究・研修会議 | 川俣学生寄宿舍 |
| 145 | 10 | 1 | 東邦大学理学部 | 1 | | | | 1 | ブナ実生の初期成長 | |
| 146 | 11 | 2 | 東大農応用動物 | | 2 | 1 | | 3 | クマ調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 147 | 11 | 2 | 東大農応用動物 | | | 1 | | 1 | クマ調査 | |
| 148 | 11 | 15 | 東大農応用動物 | | | 1 | | 1 | クマ調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 149 | 11 | 28 | 東京大学大学院総合文化研究科 | | | 1 | | 1 | 小林地内の小ほ乳類に関する調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 150 | 11 | 2 | 東大農利用 | | | 1 | | 1 | 間伐作業データとりまとめ | 秩父事務所 |
| 151 | 11 | 2 | 東大農動物 | | | 1 | | 1 | ブナ、イヌブナの樹冠部の昆虫群集調査 | ステーション泊 |
| 152 | 11 | 1 | 東大農動物 | | | 1 | | 1 | ブナ、イヌブナの樹冠部の昆虫群集調査 | |
| 153 | 11 | 2 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 森林景観調査 | |
| 154 | 11 | 2 | 埼玉県林業試験場 | | | | 3 | 3 | 森林環境の保全に関する研究 | |
| 155 | 11 | 3 | 埼玉県高体連登山専門部 | 35 | | | 205 | 240 | 平成9年度関東高等学校登山大会 | 幕営 |
| 156 | 11 | 1 | 武蔵越生高等学校 | | | | 25 | 25 | 樹木園、原生林の見学 | |

| NO | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|----------------|-----|----|----|-----|-----|--|--------|
| 157 | 11 | 2 | 東大農植物 | 2 | 1 | | | 3 | 酸性雨処理に対するモミとモミ外生菌根の反応 | |
| 158 | 11 | 1 | 東大農生態社会 | 2 | 2 | 2 | 5 | 11 | GIS学会、フォレストビュー分科会 | |
| 159 | 11 | 1 | 東大農植物 | | | 1 | | 1 | ヒノキとサワラの傷害樹脂道形成能の比較 | |
| 160 | 11 | 1 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 国道140号自然環境調査、ミズナラ調査 | |
| 161 | 11 | 4 | 東大農動物 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 渓流内の落葉堆積と水生昆虫の分布パターンの観察 | 栃本自炊宿舎 |
| 162 | 11 | 2 | 埼玉県防災航空隊 | | | | 18 | 18 | 冬期山岳救出救助訓練 | |
| 163 | 12 | 21 | 東京大学大学院総合文化研究科 | | | 1 | | 1 | 小林地内の小ほ乳類に関する調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 164 | 12 | 2 | 東大農応用動物 | | | 1 | | 1 | クマ調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 165 | 12 | 4 | 東大農応用動物 | | | 1 | | 1 | クマ調査 | |
| 166 | 12 | 1 | 埼玉県林業試験場 | | | | 3 | 3 | 森林環境の保全に関する研究 | |
| 167 | 12 | 1 | 東大農利用 | | | 1 | | 1 | 六脚機の寸法取りと機械の調整 | |
| 168 | 12 | 2 | 演習林事務部 | 6 | | | | 6 | 営繕調査 | 栃本宿舎 |
| 169 | 12 | 2 | 研究部 | 2 | | | | 2 | 森林景観調査 | 栃本宿舎 |
| 170 | 12 | 1 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 森林景観調査 | |
| 171 | 12 | 2 | 東大農動物 | | 1 | 1 | | 2 | 渓流内の落葉堆積と水生昆虫の分布パターンの観察 | 栃本自炊宿舎 |
| 172 | 12 | 1 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 国道140号自然環境調査、テレメ調査 | |
| 173 | 12 | 1 | 東大農利用 | 1 | | | | 1 | 国道140号自然環境調査 | |
| 174 | 12 | 1 | 東大農植物 | | | | | 0 | 酸性雨処理に対するモミとモミ外生菌根の反応 | |
| 175 | 1 | 14 | 東京大学大学院総合文化研究科 | | | 1 | | 1 | 小林地内の小ほ乳類に関する調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 176 | 1 | 4 | 日本大学生物資源学部 | | 4 | | | 4 | アカネズミ、ヒメネズミおよびヒミズの精子発生の季節的消長に関する細胞生物学的研究 | 栃本自炊宿舎 |
| 177 | 1 | 1 | 東大農応用動物 | | | 1 | | 1 | クマ調査 | |
| 178 | 1 | 3 | 東大農応用動物 | | | 1 | | 1 | クマ調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 179 | 1 | 1 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 森林景観調査 | |
| 180 | 1 | 2 | 東大農動物 | | | 1 | | 1 | 渓流内の落葉堆積と水生昆虫の分布パターンの観察 | 川俣自炊宿舎 |
| 181 | 1 | 1 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 国道140号自然環境調査 | |
| 182 | 1 | 1 | 研究部 | 1 | | | 1 | 2 | ヤマドリの調査打ち合わせ | |
| 183 | 1 | 2 | 林野庁森林技術総合研修所 | | | | 4 | 4 | JICA研修生の見学 | 栃本宿舎 |
| 184 | 1 | 1 | 東大農利用 | | | 1 | | 1 | 六脚機の寸法取りと機械の調整 | |
| 185 | 2 | 8 | 東京大学大学院総合文化研究科 | | | 1 | | 1 | 小林地内の小ほ乳類に関する調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 186 | 2 | 1 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 森林景観調査 | |

| NO | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|-----------------|-----|----|----|-----|-----|--|--------|
| 187 | 2 | 1 | 研究部 | 2 | | | | 2 | 森林景観調査 | |
| 188 | 2 | 1 | 研究部 | 1 | | | 1 | 2 | 森林景観調査 | |
| 189 | 2 | 1 | 研究部 | 1 | 1 | | | 2 | 森林景観調査 | |
| 190 | 2 | 1 | 日本大学生物資源学部 | | 4 | | | 4 | アカネズミ、ヒメネズミおよびヒミズの精子発生の季節的消長に関する細胞生物学的研究 | |
| 191 | 2 | 1 | 研究部 | 1 | | | | 1 | キクイムシ標本撮影 | |
| 192 | 2 | 5 | 東大農利用 | | | 1 | | 1 | 六脚機の寸法取りと機械の調整 | |
| 193 | 2 | 1 | 日本林業技術協会 | | | | 2 | 2 | 広葉樹の森リフレッシュ事業 | |
| 194 | 2 | 1 | 東大農応用動物 | | | 1 | | 1 | クマ調査 | |
| 195 | 2 | 3 | 東大農動物 | | 1 | 1 | | 2 | 溪流内の落葉堆積と水生昆虫の分布パターンの観察 | 川俣自炊宿舎 |
| 196 | 2 | 2 | 演習林事務部 | 2 | | | | 2 | 国道140号線供用開始に伴う打ち合わせ及び国有財産（土地建物）視察 | 栃本宿舎 |
| 197 | 3 | 12 | 東京大学大学院総合文化研究科 | | | 1 | | 1 | 小林地内の小ほ乳類に関する調査 | 川俣自炊宿舎 |
| 198 | 3 | 1 | 千葉県東葛飾都市緑化推進委員会 | | | | 25 | 25 | 樹木園造林地等見学 | |
| 199 | 3 | 4 | 東大農利用 | | | 1 | | 1 | 国道140号自然環境調査 | |
| 200 | 3 | 2 | 日本大学生物資源学部 | | 1 | | | 1 | アカネズミ、ヒメネズミおよびヒミズの精子発生の季節的消長に関する細胞生物学的研究 | 川俣自炊宿舎 |
| 201 | 3 | 1 | 研究部 | 1 | 1 | | | 2 | 森林景観調査 | |
| 202 | 3 | 1 | 研究部 | 1 | | | | 1 | 森林景観調査 | |
| 203 | 3 | 3 | 東大農動物 | | 1 | 2 | | 3 | 溪流内の落葉堆積と水生昆虫の分布パターンの観察 | 川俣自炊宿舎 |
| 204 | 3 | 1 | 東京医科歯科大学教養学部 | 1 | | 1 | | 2 | ウグイス繁殖戦略の研究 | |
| 205 | 3 | 2 | 研究部 | 4 | | | | 4 | 国道140号自然環境調査検討委員会現地調査 | |
| 206 | 3 | 1 | 千葉演習林 | 5 | | | | 5 | 国道140号自然環境調査検討委員会現地調査 | |
| 207 | 3 | 1 | 北海道演習林 | 2 | | | | 2 | 国道140号自然環境調査検討委員会現地調査 | |
| 208 | 3 | 2 | 演習林事務部 | 3 | | | | 3 | 金庫検査 | 栃本宿舎 |

愛知演習林

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|------------------|-----|----|----|-----|-----|-------------------------------------|--------|
| 1 | 4 | 1 | 愛知教育大学総合科学課程 | 2 | 3 | 1 | | 6 | 水文試験流域の見学 | |
| 2 | 4 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | | | 2 | 森林水文観測（南谷） | |
| 3 | 4 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | | 1 | | 2 | 樹木の種子生産と種子食昆虫の相互作用 | |
| 4 | 4 | 5 | 千葉大学理学部 | | | 1 | | 1 | 水文試験地流域の整備及び観測 | 白坂学生宿舎 |
| 5 | 4 | 3 | 千葉大学理学部 | 1 | | 1 | | 2 | 水文試験地流域の整備及び観測 | 白坂学生宿舎 |
| 6 | 4 | 1 | 岐阜大学流域環境研究センター | | | 2 | | 2 | 水文試験地流域の見学及び樹木標本採集 | |
| 7 | 4 | 1 | 瀬戸市民 | | | | 28 | 28 | 東京大学愛知演習林公開講座 | |
| 8 | 4 | 3 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 | | | 1 | | 1 | 斜面ライシメータでの土中水挙動、表面流量の観測、南谷小流域での水文観測 | 白坂学生宿舎 |
| 9 | 5 | 1 | 岐阜県住民 | | | | 1 | 1 | 甲虫類の採集 | |
| 10 | 5 | 2 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 | | | 1 | | 1 | 斜面ライシメータでの土中水挙動、表面流量の観測 | 白坂学生宿舎 |
| 11 | 5 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | | | | 1 | 森林水文観測 | |
| 12 | 5 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | | 2 | | 3 | 森林水文観測 | |
| 13 | 5 | 1 | 名古屋大学農学部 | 2 | 23 | | 1 | 26 | 森林土壌学実習 | |
| 14 | 5 | 3 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 | | | 2 | | 2 | 演習林利用者研究集会、ライシメータでの土中水挙動、表面流量の観測 | 白坂学生宿舎 |
| 15 | 5 | 2 | 名古屋大学農学部 | 2 | | 1 | | 3 | 演習林利用者研究集会 | 白坂学生宿舎 |
| 16 | 5 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | | | | 1 | 演習林利用者研究集会 | |
| 17 | 5 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | | | | 1 | 演習林利用者研究集会 | |
| 18 | 5 | 1 | 千葉大学理学部 | 2 | | 3 | | 5 | 演習林利用者研究集会 | |
| 19 | 5 | 2 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 | 1 | | | | 1 | 演習林利用者研究集会 | 白坂学生宿舎 |
| 20 | 5 | 5 | 千葉大学理学部 | | | 1 | | 1 | 試験流域における実験観測 | 白坂学生宿舎 |
| 21 | 5 | 2 | 東京大学農学部 | 2 | | | | 2 | 愛知演習林犬山赤津作業所視察 | 白坂学生宿舎 |
| 22 | 6 | 3 | 森林総合研究所森林環境部 | | | | 3 | 3 | 花崗岩地帯のスギ・ヒノキ人工林土壌資料採集 | 白坂学生宿舎 |
| 23 | 6 | 3 | 森林埋水及び砂防工学 | 1 | 11 | 1 | | 13 | 森林保全学実習 | 白坂学生宿舎 |
| 24 | 6 | 1 | 名古屋大学農学部 | 2 | | 1 | | 3 | 森林微気象データの回収と林内雨量の観測 | |
| 25 | 6 | 1 | 名古屋生涯学習センター | | | | 34 | 34 | 森林保全研究林観察会 | |
| 26 | 6 | 3 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 | | | 2 | | 2 | 斜面ライシメータでの土中水挙動、表面流量の観測 | 白坂学生宿舎 |
| 27 | 6 | 1 | 名古屋大学農学部 | 2 | 1 | 1 | | 4 | 森林微気象データの回収と林内雨量の観測 | |
| 28 | 6 | 1 | 名古屋大学 農学部 | 1 | | 1 | | 2 | 森林微気象データの回収と林内雨量の観測 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|------------------|-----|----|----|-----|-----|--|--------|
| 29 | 6 | 4 | 千葉屋大学理学部 | | | 3 | | 3 | 犬山流域の観測および整備 | 白坂学生宿舎 |
| 30 | 7 | 11 | 千葉屋大学理学部 | | | 3 | | 3 | 犬山流域の観測および整備 | 白坂学生宿舎 |
| 31 | 7 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 里山の維持管理と動物生産に関する研究 | |
| 32 | 7 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 23 | | | 24 | 森林測樹学実習 | |
| 33 | 7 | 1 | 名古屋大学農学部 | 2 | 23 | 1 | | 26 | 森林水文学実習 | |
| 34 | 7 | 1 | 名古屋大学農学部 | 2 | | 1 | | 3 | 森林水文観測 | |
| 35 | 7 | 1 | 名古屋大学農学部 | 2 | 1 | | | 3 | 森林微気象データの回収と林内雨量の観測 | |
| 36 | 7 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 2 | | | 3 | 里山の維持管理に関する研究 | |
| 37 | 7 | 1 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 | 1 | | | | 1 | 科学研究費補助金基盤研究(A)(2)に関する打ち合わせ | |
| 38 | 7 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 森林微気象データの回収と林内雨量の観測 | |
| 39 | 8 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | 1 | | 3 | リタートラップの設置 | |
| 40 | 8 | 1 | 名古屋大学農学部 | 2 | 1 | 1 | | 4 | 林内日射量の分布調査 | |
| 41 | 8 | 1 | 瀬戸市教育委員会文化財課 | | | | 44 | 44 | 史跡小長曾窯の見学 | |
| 42 | 8 | 2 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 | | | 5 | | 5 | 斜面ライシメータでの土中水挙動、表面流量の観測 | 白坂学生宿舎 |
| 43 | 8 | 6 | 千葉大学理学部 | | | 2 | | 2 | 森林水文流域整備及び観測 | 白坂学生宿舎 |
| 44 | 8 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | | | | 1 | 森林水文観測 | |
| 45 | 8 | 3 | 東京農業大学農学部 | | 5 | 1 | | 6 | 風化花崗岩帯における森林の保水機能、風化花崗岩における降水と土砂流出について | 白坂学生宿舎 |
| 46 | 9 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 3 | | | 4 | 集材架線に関する構造力学解析 | |
| 47 | 9 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 3 | | | 4 | 微気象データ回収 | |
| 48 | 9 | 3 | 千葉大学理学部 | | | 2 | | 2 | 森林水文観測 | 白坂学生宿舎 |
| 49 | 9 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 3 | | | 4 | 集材架線に関する構造力学解析 | |
| 50 | 9 | 1 | 瀬戸市立水無瀬中学校 | | | | 5 | 5 | 中学生に森林の学習をさせるための見学 | |
| 51 | 9 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 3 | | | 4 | 集材架線に関する構造力学解析 | |
| 52 | 9 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 森林水文観測 | |
| 53 | 9 | 3 | 東大農学部附属演習林本部 | 2 | | | | 2 | 宿舎改修に関する事務打ち合わせ | 白坂学生宿舎 |
| 54 | 9 | 2 | 東京大学農学部附属演習林本部 | 1 | | | | 1 | 宿舎改修に関する事務打ち合わせ | 白坂学生宿舎 |
| 55 | 9 | 2 | 東京大学施設部 | 6 | | | | 6 | 宿舎改修に関する事務打ち合わせ | 白坂学生宿舎 |
| 56 | 10 | 1 | 名古屋大学農学部 | 2 | 2 | 1 | | 5 | 微気象データの回収 | |
| 57 | 10 | 1 | 東京大学事務局 | 1 | | | | 1 | 愛知演習林視察(事務局長) | |
| 58 | 10 | 1 | 東京大学農学部 | 1 | | | | 1 | 愛知演習林視察(農学部長) | |
| 59 | 10 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 森林水文観測 | |
| 60 | 10 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 3 | | | 4 | 集材架線の構造力学解析 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|------------------|-----|----|----|-----|-----|------------------------|--------|
| 61 | 10 | 1 | 名古屋大学農学部 | 3 | 2 | 1 | | 6 | 微気象データの回収 | |
| 62 | 10 | 6 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 | 1 | 19 | 3 | | 23 | 測量学実習および量水観測 | 白坂学生宿舎 |
| 63 | 10 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | | 3 | | 4 | 集材架線に関する構造力学解析 | |
| 64 | 10 | 1 | 愛知教育大学教育学部 | 1 | 5 | | | 6 | 活断層の位置をガンマ線特性から推定する調査 | |
| 65 | 10 | 8 | 千葉大学理学部 | | | 3 | | 3 | 水文観測 | 白坂学生宿舎 |
| 66 | 10 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | | 3 | | 4 | 集材架線に関する構造力学解析 | |
| 67 | 10 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 2 | 2 | | 5 | 森林水文観測 | |
| 68 | 10 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | | | 2 | 里山の維持管理と動物生産に関する研究 | |
| 69 | 10 | 1 | 名古屋大学農学部 | 2 | 2 | | | 4 | 微気象データの回収 | |
| 70 | 11 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 2 | 1 | | 4 | 森林水文観測 | |
| 71 | 11 | 1 | 瀬戸市民 | | | | 23 | 23 | 東京大学愛知演習林公開講座 | |
| 72 | 11 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 2 | | | 3 | 集材架線の構造力学解析 | |
| 73 | 11 | 1 | 東京農業大学農学部 | | 2 | | | 2 | 卒論作成のための水文試験 | |
| 74 | 11 | 1 | 名古屋昭和区生涯学習センター | | | | 28 | 28 | ネイチャーウォッチング97 | |
| 75 | 11 | 1 | 千葉大学理学部 | | | 2 | | 2 | 森林水文流域整備および観測 | |
| 76 | 11 | 2 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 | | | 2 | | 2 | 斜面ライシメータの土中水挙動の解析 | 白坂学生宿舎 |
| 77 | 11 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 2 | | | 3 | 集材架線の構造力学解析 | |
| 78 | 11 | 3 | 東京農工大学農学部 | 1 | | 1 | 2 | 4 | 愛知演習林試験地および施設等の見学 | 白坂学生宿舎 |
| 79 | 11 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 3 | | | 4 | 集材架線の構造力学解析 | |
| 80 | 11 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 3 | | | 4 | 集材架線の構造力学解析 | |
| 81 | 11 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 林地微気象データと落葉の回収 | |
| 82 | 11 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 2 | 1 | | 4 | 林地微気象データと落葉の回収 | |
| 83 | 11 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | | | | 1 | 森林水文観測 | |
| 84 | 12 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 3 | | | 4 | 集材架線の構造力学解析 | |
| 85 | 12 | 1 | 名古屋大学農学部 | 2 | 2 | 1 | | 5 | 林地微気象データと落葉の回収 | |
| 86 | 12 | 1 | 名古屋市民 | | | | 5 | 5 | 森林の機能と演習林の樹木の観察 | |
| 87 | 12 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 森林水文観測 | |
| 88 | 12 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 3 | | | 4 | 集材架線の構造力学解析 | |
| 89 | 12 | 2 | 東京大学施設部 | 5 | | | | 5 | 赤津教官学生宿舎改修に伴う入札説明および入札 | 白坂学生宿舎 |
| 90 | 12 | 2 | 東京大学演習林本部 | 1 | | | | 1 | 赤津教官学生宿舎改修に伴う入札説明および入札 | 白坂学生宿舎 |
| 91 | 12 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 3 | | | 4 | 集材架線に関する構造力学解析 | |
| 92 | 12 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 林地微気象データの回収 | |
| 93 | 12 | 1 | 名古屋大学農学部 | 2 | 1 | 1 | | 4 | 林地微気象データの回収 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|-------------------|-----|----|----|-----|-----|----------------------------------|--------|
| 94 | 12 | 2 | 東京大学農学生命科学研究科 | 1 | | | | 1 | 試験計画に関する打ち合わせ | 白坂学生宿舎 |
| 95 | 12 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 林地微気象データと落葉の回収 | |
| 96 | 1 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 林地微気象データと落葉の回収 | |
| 97 | 1 | 2 | 樹芸研究所 | 4 | | | | 4 | 研究打ち合わせおよび愛知演習林見学 | 白坂学生宿舎 |
| 98 | 1 | 1 | 名古屋大学農学部 | 2 | 6 | | | 8 | 集材架線に関する構造力学解析 | |
| 99 | 1 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 5 | 1 | | 7 | 林地微気象データと落葉の回収 | |
| 100 | 1 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 林地微気象データと落葉の回収 | |
| 101 | 1 | 1 | 東京大学農学生命科学研究科 | | | | 3 | 3 | 斜面ライシメータでの土中水挙動、表面流出の観測 | |
| 102 | 2 | 2 | 東京大学施設部 | 2 | | | | 2 | 教官学生宿舎改修工事における状況調査 | 白坂学生宿舎 |
| 103 | 2 | 2 | 千葉演習林 | 1 | 1 | | | 2 | 酸性雨モニタリング及び量水、微気象観測施設の視察 | 市内 |
| 104 | 2 | 2 | 東京大学アジア生物資源環境センター | 1 | | | | 1 | 愛知演習林赤津作業所管内試験地見学 | 白坂学生宿舎 |
| 105 | 2 | 1 | 瀬戸市役所環境課 | | | | 2 | 2 | 市全域を対象とした「瀬戸市生態系調査」のうち動物・植物の現地調査 | |
| 106 | 2 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | | | 2 | 林地微気象データと落葉の回収 | |
| 107 | 2 | 2 | 東京大学施設部 | 3 | | | | 3 | 教官学生宿舎改修工事における状況調査 | 白坂学生宿舎 |
| 108 | 2 | 2 | 東京大学農学部演習林 | | | 1 | 1 | 2 | ヒノキ人工造成過程における遺伝的多様性の変動 | 白坂学生宿舎 |
| 109 | 2 | 1 | 静岡県林業技術センター | | | | 1 | 1 | 海岸防災林の機能評価に関する研究 | |
| 110 | 2 | 2 | 樹芸研究所 | 2 | | | | 2 | 事務打ち合わせおよび各試験地視察 | 白坂学生宿舎 |
| 111 | 3 | 2 | 東大農学生命科学研究科 | 1 | | | | 1 | 試験および事業打ち合わせ | 白坂学生宿舎 |
| 112 | 3 | 3 | 東京大学演習林本部 | 1 | | | | 1 | 事務打ち合わせおよび宿舎改修竣工検査立ち会い | 白坂学生宿舎 |
| 113 | 3 | 2 | 東京大学施設部 | 5 | | | | 5 | 宿舎改修竣工検査 | 白坂学生宿舎 |
| 114 | 3 | 1 | 東京大学演習林本部 | 1 | | | | 1 | 事務打ち合わせおよび宿舎改修竣工検査立ち会い | |
| 115 | 3 | 1 | 名古屋大学農学部 | 1 | 1 | | 1 | 3 | 森林微気象データの回収と測器の撤去 | |
| 116 | 3 | 7 | 名古屋大学農学部 | 1 | 6 | 1 | | 8 | 測量学実習 | 白坂学生宿舎 |
| 117 | 3 | 4 | 千葉大学理学部 | | | 1 | | 1 | 水文施設での観測 | 白坂学生宿舎 |
| 118 | 3 | 2 | 東京大学事務局 | 2 | | | | 2 | 金庫検査 | 白坂学生宿舎 |
| 119 | 3 | 2 | 東京大学演習林本部 | 1 | | | | 1 | 金庫検査立ち会い | 白坂学生宿舎 |

富士演習林

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|---------------|-----|----|----|------|------|----------------------|-------|
| 1 | 5 | 1 | 東邦大学理学部 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 | ブナ植栽林におけるブナ実生の生存と成長 | |
| 2 | 5 | 19 | 渋谷区教育委員会 | 58 | 0 | 0 | 723 | 781 | 自然観察 | |
| 3 | 5 | 3 | 早稲田大学高等学院 | 8 | 0 | 0 | 206 | 214 | 自然観察 | |
| 4 | 5 | 2 | 森林科学科 | 2 | 1 | 1 | 1 | 5 | 酸性雨に対するA0層の緩衝能に関する研究 | |
| 5 | 6 | 2 | 森林風致研 | 2 | 6 | 1 | 0 | 9 | 環境設計演習林における現地調査 | |
| 6 | 6 | 1 | 中央大学付属高校 | 4 | 0 | 0 | 85 | 89 | 自然観察会 | |
| 7 | 6 | 1 | 都立北園高校 | 24 | 0 | 0 | 305 | 329 | 自然観察会 | |
| 8 | 6 | 1 | 横浜市立岡村中学校 | 20 | 0 | 0 | 280 | 300 | 自然観察会 | |
| 9 | 7 | 1 | 青葉学園幼稚園 | 25 | 0 | 0 | 91 | 116 | 自然観察会 | |
| 10 | 7 | 3 | JBCCバスフェスティバル | 0 | 0 | 0 | 7000 | 7000 | バス釣り大会 | |
| 11 | 7 | 2 | 丸山幼稚園 | 14 | 0 | 0 | 50 | 64 | 見学 | |
| 12 | 7 | 1 | 八幡幼稚園 | 17 | 0 | 0 | 84 | 101 | 見学 | |
| 13 | 7 | 1 | 静岡星美小学校 | 8 | 0 | 0 | 64 | 72 | 見学 | |
| 14 | 7 | 5 | 馬術部 | 0 | 15 | 0 | 0 | 15 | 夏期合宿 | |
| 15 | 7 | 12 | 法学部 | 0 | 28 | 3 | 0 | 31 | サッカー部合宿 | |
| 16 | 7 | 1 | 横浜市立南舞小学校 | 2 | 0 | 0 | 14 | 16 | 野鳥・虫観察 | |
| 17 | 7 | 1 | 足長育英会 | 15 | 0 | 0 | 278 | 293 | 見学 | |
| 18 | 8 | 1 | 丸山幼稚園 | 14 | 0 | 0 | 50 | 64 | 見学 | |
| 19 | 8 | 2 | アジア生物研 | 3 | 4 | 0 | 0 | 7 | 菌根性キノコの繁殖様式に関する研究 | |
| 20 | 8 | 1 | 吉田高校 | 1 | 0 | 0 | 39 | 40 | 野外学習 | |
| 21 | 8 | 1 | ボーイスカウト | 0 | 0 | 0 | 36 | 36 | 林内見学 | |
| 22 | 8 | 1 | 小平市ヨットクラブ | 0 | 0 | 0 | 20 | 20 | 林内見学 | |
| 23 | 8 | 27 | 馬術部 | | 0 | 15 | 0 | 15 | 夏期合宿 | |
| 24 | 9 | 7 | 工学部土木学科 | 1 | 63 | 0 | | 64 | 測量実習 | |
| 25 | 9 | 3 | アジア生物研 | | 1 | 3 | 0 | 4 | 菌根性キノコの繁殖様式に関する研究 | |
| 26 | 9 | 1 | 東邦大学理学部 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | ブナ植栽林におけるブナ実生の生存と成長 | |
| 27 | 9 | 2 | 樹芸研究所 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 産地別ブナの形質調査 | |
| 28 | 10 | 3 | 東邦大学理学部 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 | ブナ植栽林におけるブナ実生の生存と成長 | |
| 29 | 10 | 6 | アジア生物研 | | 1 | 3 | 0 | 4 | 菌根性キノコの繁殖様式に関する研究 | |
| 30 | 10 | 2 | 青少年センター | 0 | 0 | 0 | 80 | 80 | 自然林の見学 | |
| 32 | 10 | 1 | 富士フェニックス短大 | 2 | 0 | 0 | 48 | 50 | 森林構造の観察 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|------------|-----|----|----|-----|-----|---------------------|-------|
| 33 | 11 | 1 | 東邦大学理学部 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 | ブナ植栽林におけるブナ実生の生存と成長 | |
| 34 | 11 | 1 | 富士フェニックス短大 | 1 | 0 | 0 | 40 | 41 | 森林構造の観察 | |
| 35 | 11 | 2 | 湖畔荘清溪 | 0 | 0 | 0 | 80 | 80 | 見学 | |
| 36 | 12 | 1 | 東邦大学理学部 | 0 | 30 | 0 | 3 | 33 | ブナ植栽林におけるブナ実生の生存と成長 | |
| 37 | 3 | 3 | 田無試験地 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | カラマツ林分の調査 | |

樹芸研究所

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|-------------------|-----|----|----|-----|-----|---|-------|
| 1 | 4 | 1 | 一般見学者 | | | | 12 | 12 | 温室内の熱帯・亜熱帯植物見学 | |
| 2 | 4 | 1 | 農学部造林学研究室 | 1 | | | | 1 | 熱帯産樹種の生理的特性に関する研究（フタバガキ栽培条件試験、増殖試験、メタセコイア幹形質調査） | |
| 3 | 5 | 1 | 一般見学者 | | | | 10 | 10 | 温室内の熱帯・亜熱帯植物見学 | |
| 4 | 5 | 2 | 農学部 | 1 | | | | 1 | 温室内の熱帯・亜熱帯植物、青野試験林見学 | |
| 5 | 5 | 1 | 森林文化協会 | | | | 85 | 85 | 一般市民を対象に自然に対する理解を深めるための野外講座「第14回朝日グリーンセミナー」の観察会 | |
| 6 | 6 | 1 | 一般見学者 | | | | 6 | 6 | 温室内の熱帯・亜熱帯植物見学 | |
| 7 | 6 | 1 | 新潟大学農学部 | 1 | | | | 1 | 温室内の熱帯・亜熱帯植物、青野試験林見学及波長別光エネルギー分析装置受領 | |
| 8 | 6 | 1 | 下田市立下田小学校 | 7 | | | 96 | 103 | 小学校5年生対象に森林に対する理解を深めるための森林教室 環境を守る森林のはたらき | |
| 9 | 6 | 1 | 農学部造林学研究室 | 1 | 1 | 1 | | 3 | 用土の違いが樹木の成長に及ぼす影響に関する研究 | |
| 10 | 7 | 1 | 一般見学者 | | | | 6 | 6 | 温室内の熱帯・亜熱帯植物見学 | |
| 11 | 7 | 2 | 農学生命科学研究科森林専攻 | | | 1 | | 1 | アカシア属樹木のストレス反応に関する研究 | |
| 12 | 7 | 4 | 県立下田南高等学校南伊豆分校園芸科 | | 2 | | | 2 | 校外実習 | |
| 13 | 8 | 1 | 一般見学者 | | | | 4 | 4 | 温室内の熱帯・亜熱帯植物見学 | |
| 14 | 8 | 2 | 農学部植物学教室 | | | 1 | | 1 | 樹木の環境ストレスに対する適応に関する研究 | |
| 15 | 8 | 1 | 県立下田南高等学校 | | 1 | | | 1 | 林学教育・研究を内容の体験学習 | |
| 16 | 8 | 1 | 県立下田南高等学校 | | 1 | | | 1 | 林学教育・研究を内容の体験学習 | |
| 17 | 9 | 1 | 一般見学者 | | | | 3 | 3 | 温室内の熱帯・亜熱帯植物見学 | |

| No. | 月 | 日 数 | 団体名 | 教 職 員 | 学 生 | 院 生 | そ の 他 | 人 員 計 | 利用目的 | 宿泊施 設名 |
|-----|----|--------|------------------------|-------------|--------|--------|-------------|-------------|--|-----------|
| 18 | 9 | 41 | 森林生態圏管理学大 講座 | | | 1 | | 1 | オーストラリア産アカシアのストレス 反応に関する研究 | |
| 19 | 9 | 4 | 演習林研究部 | 4 | 21 | 1 | | 26 | 国際開発農学専修森林実習 | 下賀茂 寮 |
| 20 | 9 | 1 | 森林科学専攻造林学 教室 | | | 2 | | 2 | 樹木の低温適応反応に関する研究 熱 帯樹木の組織培養（フタバガキ）に關 する研究 | |
| 21 | 9 | 1 | 静岡県伊豆農林事務 所治山課 | | | | 9 | 9 | 演習林内の自然観察他 | |
| 22 | 10 | 1 | 一般見学者 | | | | 12 | 12 | 温室内の熱帯・亜熱帯植物見学 | |
| 23 | 10 | 3 | 演習林田無試験地 | 1 | 2 | | | 3 | 種子の採取 | |
| 24 | 11 | 1 | 一般見学者 | | | | 2 | 2 | 温室内の熱帯・亜熱帯植物見学 | |
| 25 | 11 | 1 | 農学生命科学研究科 | | | 1 | | 1 | 樹木の低温適応反応に関する研究 | |
| 26 | 11 | 1 | 南伊豆町立南上小学 校 | 2 | | | 19 | 21 | 森林教室 | |
| 27 | 12 | 1 | 一般見学者 | | | | 24 | 24 | 温室内の熱帯・亜熱帯植物見学 | |
| 28 | 12 | 1 | 自然観察会 | | | | 7 | 7 | 広葉樹林の生態・生理・育成に関する 研究の見学 | |
| 29 | 12 | 1 | 海外林業コンサルタ ンツ協会技術部 | | | | 30 | 30 | 熱帯樹木の見学 | |
| 30 | 12 | 2 | 農学部森林植物学教 室 | 2 | 10 | 5 | 2 | 19 | 森林植物の調査 | |
| 31 | 1 | 1 | 一般見学者 | | | | 3 | 3 | 温室内の熱帯・亜熱帯植物見学 | |
| 32 | 2 | 1 | 一般見学者 | | | | 5 | 5 | 温室内の熱帯・亜熱帯植物見学 | |
| 33 | 2 | 2 | 北海道演習林 | 2 | | | | 2 | 樹芸研究所試験林・温室植物に関する 研修 | |
| 34 | 2 | 2 | 農学部森林植物学教 室 | | | 1 | | 1 | 樹木の環境ストレスに対する適応に關 する研究 | |
| 35 | 2 | 3 | 愛知演習林 | 2 | | | | 2 | 研究打合わせ及び現地調査 | |
| 36 | 2 | 1 | 農学生命科学研究科 造林学教室 | 1 | | | | 1 | 樹木の低温適応反応に関する研究 | |
| 37 | 3 | 1 | 一般見学者 | | | | 9 | 9 | 温室内の熱帯・亜熱帯植物見学 | |
| 38 | 3 | 1 | 日本大学生物資源科 学部森林資源科学科 | 2 | 17 | 1 | 1 | 21 | 森林動物ゼミ生の現場研修（内外有用 樹種展示林、見本林及び温室施設等の 見学） | |
| 39 | 3 | 2 | 富士演習林 | 2 | | | | 2 | 温泉熱を利用した、熱帯・亜熱帯植物 の見学及び試験林の見学 | |
| 40 | 3 | 1 | トヨタ自動車株式会 社F P部 | | | | 2 | 2 | ユーカリ属の野外植栽、組織培養につ いて見学 | |
| 41 | 3 | 1 | 農学部造林学教室 | | | 1 | | 1 | 樹木の低温適応反応に関する研究 | |
| 42 | 3 | 2 | 秩父演習林 | 3 | | | | 3 | 樹芸研究所試験・施業等の研修及び打 合せ | |

田無試験地

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|-----------------|-----|----|----|-----|-----|--|-------|
| 1 | 4 | 5 | 森林動物学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシの個体群動態 | |
| 2 | 4 | 15 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシ、オオモミジの生物季節について | |
| 3 | 4 | 9 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | Effects of acid rain to soil invertebrates | |
| 4 | 4 | 1 | 森林植物学 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | マツ材線虫病の誘導抵抗性機構 | |
| 5 | 4 | 1 | 森林植物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | マツ材線虫病の枯死機構の解明 | |
| 6 | 4 | 9 | 造林学 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 高濃度CO2施与の樹木の成長 | |
| 7 | 4 | 6 | 森林生態圏管理学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 熱帯マメ科樹種の組織培養 | |
| 8 | 4 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林共生系の解析 | |
| 9 | 4 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 外生菌根の栄養吸収促進機能の解析 | |
| 10 | 4 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 菌根菌繁殖様式の遺伝学的研究 | |
| 11 | 4 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根の造林学的用法の開発 | |
| 12 | 4 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根菌感染過程の分子生物学的解析 | |
| 13 | 4 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根菌感染過程の細胞生物学的解析 | |
| 14 | 4 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根のストレス生理学 | |
| 15 | 4 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | DNA多型解析の森林生態学の応用法の開発 | |
| 16 | 4 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 景観形成、解析に関する研究、親水空間の計画、デザイン | |
| 17 | 4 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 水辺空間の計画と利用、維持管理システムに関する研究 | |
| 18 | 4 | 21 | ICU | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | マツ材線虫病の細胞生理学的研究 | |
| 19 | 4 | 21 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | DNA多型分析による繁殖様式の解析 | |
| 20 | 4 | 1 | 千葉大学 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 武蔵野台地における地下水涵養機構に関する研究 | |
| 21 | 4 | 1 | 造林学 | 2 | 28 | 0 | 0 | 30 | 造林学実験 | |
| 22 | 4 | 1 | 一般4月計 | 0 | 0 | 0 | 559 | 559 | 林内見学 | |
| 23 | 5 | 5 | 森林動物学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシの個体群動態 | |
| 24 | 5 | 7 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシ、オオモミジの生物季節について | |
| 25 | 5 | 11 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | Effects of acid rain to soil invertebrates | |
| 26 | 5 | 1 | 森林植物学 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | マツ材線虫病の誘導抵抗性機構 | |
| 27 | 5 | 3 | 森林植物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | マツ材線虫病の枯死機構の解明 | |
| 28 | 5 | 1 | 造林学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 樹木の低温適応反応 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|-----------------|-----|----|----|-----|-----|--|-------|
| 29 | 5 | 6 | 造林 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 高濃度CO2施与の樹木の成長 | |
| 30 | 5 | 1 | 造林 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | アカマツ菌根菌共生系の高CO2濃度に対する研究 | |
| 31 | 5 | 9 | 森林生態圏管理学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 熱帯マメ科樹種の組織培養 | |
| 32 | 5 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林共生系の解析 | |
| 33 | 5 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 外生菌根の栄養吸収促進機能の解析 | |
| 34 | 5 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 菌根菌繁殖様式の遺伝学的研究 | |
| 35 | 5 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根の造林学的用法の開発 | |
| 36 | 5 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根菌感染過程の分子生物学的解析 | |
| 37 | 5 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根菌感染過程の細胞生物学的解析 | |
| 38 | 5 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根のストレス生理学 | |
| 39 | 5 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | DNA多型解析の森林生態学の応用法の開発 | |
| 40 | 5 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 景観形成、解析に関する研究、親水空間の計画、デザイン | |
| 41 | 5 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 水辺空間の計画と利用、維持管理システムに関する研究 | |
| 42 | 5 | 21 | ICU | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | マツ材線虫病の細胞生理学的研究 | |
| 43 | 5 | 21 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | DNA多型分析による繁殖様式の解析 | |
| 44 | 5 | 1 | 千葉大学 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 武蔵野台地における地下水涵養機構に関する研究 | |
| 45 | 5 | 1 | 静岡大学 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 改良ポプラ穂木採取 | |
| 46 | 5 | 1 | 造林 | 2 | 28 | 0 | 0 | 30 | 造林学実験 | |
| 47 | 5 | 1 | 動物 | 3 | 31 | 0 | 0 | 34 | 森林動物学実験 | |
| 48 | 5 | 1 | 一般5月計 | 0 | 0 | 0 | 998 | 998 | 林内見学 | |
| 49 | 6 | 2 | 動物 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシの個体群動態 | |
| 50 | 6 | 4 | 動物 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシ、オオモミジの生物季節について | |
| 51 | 6 | 14 | 動物 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | Effects of acid rain to soil invertebrates | |
| 52 | 6 | 3 | 植物 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | マツ材線虫病の枯死機構の解明 | |
| 53 | 6 | 2 | 造林学 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 熱帯早成樹の成長と土壌物理生 | |
| 54 | 6 | 1 | 造林学 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 高濃度CO2施与の樹木の成長 | |
| 55 | 6 | 5 | 造林学 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | アカマツ菌根菌共生系の高CO2濃度に対する研究 | |
| 56 | 6 | 1 | 森林生態圏管理学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 熱帯マメ科樹種の組織培養 | |
| 57 | 6 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林共生系の解析 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|-----------------|-----|----|----|-----|-----|--|-------|
| 58 | 6 | 2 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | フタバガキ科樹木の共生系に関する研究 | |
| 59 | 6 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 外生菌根の栄養吸収促進機能の解析 | |
| 60 | 6 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 菌根菌繁殖様式の遺伝学的研究 | |
| 61 | 6 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根の造林学的用法の開発 | |
| 62 | 6 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根菌感染過程の分子生物学的解析 | |
| 63 | 6 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根のストレス生理学 | |
| 64 | 6 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | DNA多型解析の森林生態学の応用法の開発 | |
| 65 | 6 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 景観形成、解析に関する研究、親水空間の計画、デザイン | |
| 66 | 6 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 水辺空間の計画と利用、維持管理システムに関する研究 | |
| 67 | 6 | 21 | ICU | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | マツ材線虫病の細胞生理学的研究 | |
| 68 | 6 | 21 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | DNA多型分析による繁殖様式の解析 | |
| 69 | 6 | 1 | 千葉大学 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 武蔵野台地における地下水涵養機構に関する研究 | |
| 70 | 6 | 2 | 東京都土木技術研究所 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 地下水位観測 | |
| 71 | 6 | 1 | 森林動物学 | 3 | 31 | 0 | 0 | 34 | 森林動物学実験 | |
| 72 | 6 | 1 | 一般6月計 | 0 | 0 | 0 | 356 | 356 | 林内見学 | |
| 73 | 7 | 2 | 森林動物学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシの個体群動態 | |
| 74 | 7 | 4 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシ、オオモミジの生物季節について | |
| 75 | 7 | 14 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | Effects of acid rain to soil invertebrates | |
| 76 | 7 | 6 | 森林植物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | マツ材線虫病の枯死機構の解明 | |
| 77 | 7 | 11 | 森林植物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | マツ材線虫病の萎凋機構の解明 | |
| 78 | 7 | 8 | 造林学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 樹木の低温適応反応 | |
| 79 | 7 | 11 | 造林学 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 熱帯早成樹の成長と土壌物理生 | |
| 80 | 7 | 4 | 造林学 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 高濃度CO2施与の樹木の成長 | |
| 81 | 7 | 5 | 造林学 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | アカマツ菌根菌共生系の高CO2濃度に対する研究 | |
| 82 | 7 | 6 | 森林生態圏管理学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 熱帯マメ科樹種の組織培養 | |
| 83 | 7 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林共生系の解析 | |
| 84 | 7 | 3 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | フタバガキ科樹木の共生系に関する研究 | |
| 85 | 7 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 外生菌根の栄養吸収促進機能の解析 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|-----------------|-----|----|----|-----|-----|--|-------|
| 86 | 7 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 菌根菌繁殖様式の遺伝学的研究 | |
| 87 | 7 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根の造林学的用法の開発 | |
| 88 | 7 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根菌感染過程の分子生物学的解析 | |
| 89 | 7 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根のストレス生理学 | |
| 90 | 7 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | DNA多型解析の森林生態学の応用法的開発 | |
| 91 | 7 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 景観形成、解析に関する研究、親水空間の計画、デザイン | |
| 92 | 7 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 水辺空間の計画と利用、維持管理システムに関する研究 | |
| 93 | 7 | 21 | ICU | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | マツ材線虫病の細胞生理学的研究 | |
| 94 | 7 | 21 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | DNA多型分析による繁殖様式の解析 | |
| 95 | 7 | 1 | 東京都土木技術研究所 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 地下水位観測 | |
| 96 | 7 | 1 | 造林学 | 2 | 28 | 0 | 0 | 30 | 造林学実験 | |
| 97 | 7 | 1 | 一般7月計 | 0 | 0 | 0 | 276 | 276 | 林内見学 | |
| 98 | 8 | 1 | 演習林 | 1 | 0 | 0 | 2 | 3 | JACA研修 | |
| 99 | 8 | 4 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシ、オオモミジの生物季節について | |
| 100 | 8 | 15 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | Effects of acid rain to soil invertebrates | |
| 101 | 8 | 7 | 森林植物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | マツ材線虫病の枯死機構の解明 | |
| 102 | 8 | 10 | 森林植物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | マツ材線虫病の萎凋機構の解明 | |
| 103 | 8 | 7 | 造林学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 樹木の低温適応反応 | |
| 104 | 8 | 7 | 造林学 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 熱帯早成樹の成長と土壌物理生 | |
| 105 | 8 | 1 | 造林学 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 高濃度CO2施与の樹木の成長 | |
| 106 | 8 | 8 | 造林学 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | アカマツ菌根菌共生系の高CO2濃度に対する研究 | |
| 107 | 8 | 13 | 森林生態圏管理学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 熱帯マメ科樹種の組織培養 | |
| 108 | 8 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林共生系の解析 | |
| 109 | 8 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 外生菌根の栄養吸収促進機能の解析 | |
| 110 | 8 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 菌根菌繁殖様式の遺伝学的研究 | |
| 111 | 8 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根の造林学的用法の開発 | |
| 112 | 8 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根菌感染過程の分子生物学的解析 | |
| 113 | 8 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根のストレス生理学 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|-----------------|-----|----|----|-----|-----|--|-------|
| 114 | 8 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | DNA多型解析の森林生態学の応用法の開発 | |
| 115 | 8 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 景観形成、解析に関する研究、親水空間の計画、デザイン | |
| 116 | 8 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 水辺空間の計画と利用、維持管理システムに関する研究 | |
| 117 | 8 | 21 | ICU | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | マツ材線虫病の細胞生理学的研究 | |
| 118 | 8 | 21 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | DNA多型分析による繁殖様式の解析 | |
| 119 | 8 | 2 | 東京都土木技術研究所 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 地下水位観測 | |
| 120 | 8 | 1 | 一般8月計 | 0 | 0 | 0 | 254 | 254 | 林内見学 | |
| 121 | 9 | 2 | 森林動物学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシの個体群動態 | |
| 122 | 9 | 4 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシ、オオモミジの生物季節について | |
| 123 | 9 | 7 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | Effects of acid rain to soil invertebrates | |
| 124 | 9 | 4 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 田無試験地におけるアオキ群落の環境因子と大型土壤動物相の関係 | |
| 125 | 9 | 5 | 森林植物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | マツ材線虫病の枯死機構の解明 | |
| 126 | 9 | 5 | 森林植物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | マツ材線虫病の萎凋機構の解明 | |
| 127 | 9 | 1 | 造林学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 樹木の低温適応反応 | |
| 128 | 9 | 7 | 造林学 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 熱帯早成樹の成長と土壌物理生 | |
| 129 | 9 | 2 | 造林学 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | アカマツ菌根菌共生系の高CO2濃度に対する研究 | |
| 130 | 9 | 20 | 森林生態圏管理学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 熱帯マメ科樹種の組織培養 | |
| 131 | 9 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林共生系の解析 | |
| 132 | 9 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 外生菌根の栄養吸収促進機能の解析 | |
| 133 | 9 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 菌根菌繁殖様式の遺伝学的研究 | |
| 134 | 9 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根の造林学的用法の開発 | |
| 135 | 9 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根菌感染過程の分子生物学的解析 | |
| 136 | 9 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根のストレス生理学 | |
| 137 | 9 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | DNA多型解析の森林生態学の応用法の開発 | |
| 138 | 9 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 景観形成、解析に関する研究、親水空間の計画、デザイン | |
| 139 | 9 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 水辺空間の計画と利用、維持管理システムに関する研究 | |
| 140 | 9 | 21 | ICU | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | マツ材線虫病の細胞生理学的研究 | |
| 141 | 9 | 21 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | DNA多型分析による繁殖様式の解析 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|-----------------|-----|----|----|------|------|--|-------|
| 142 | 9 | 1 | 東京都土木技術研究所 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 地下水水位観測 | |
| 143 | 9 | 1 | 森林動物学 | 3 | 31 | 0 | 0 | 34 | 森林動物学実験 | |
| 144 | 9 | 1 | 一般9月計 | 0 | 0 | 0 | 276 | 276 | 林内見学 | |
| 145 | 10 | 4 | 森林動物学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシの個体群動態 | |
| 146 | 10 | 14 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | Effects of acid rain to soil invertebrates | |
| 147 | 10 | 7 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | カエデの生物季節とアブラムシの個体群密度 | |
| 148 | 10 | 3 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 田無試験地におけるアオキ群落の環境因子と大型土壤動物相の関係 | |
| 149 | 10 | 2 | 森林植物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | マツ材線虫病の枯死機構の解明 | |
| 150 | 10 | 2 | 森林植物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | マツ材線虫病の萎凋機構の解明 | |
| 151 | 10 | 15 | 造林学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 樹木の低温適応反応 | |
| 152 | 10 | 21 | 森林生態圏管理学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 熱帯マメ科樹種の組織培養 | |
| 153 | 10 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林共生系の解析 | |
| 154 | 10 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 外生菌根の栄養吸収促進機能の解析 | |
| 155 | 10 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 菌根菌繁殖様式の遺伝学的研究 | |
| 156 | 10 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根の造林学的用法の開発 | |
| 157 | 10 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根菌感染過程の分子生物学的解析 | |
| 158 | 10 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根のストレス生理学 | |
| 159 | 10 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | DNA多型解析の森林生態学の応用法の開発 | |
| 160 | 10 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 景観形成、解析に関する研究、親水空間の計画、デザイン | |
| 161 | 10 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 水辺空間の計画と利用、維持管理システムに関する研究 | |
| 162 | 10 | 21 | ICU | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | マツ材線虫病の細胞生理学的研究 | |
| 163 | 10 | 21 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | DNA多型分析による繁殖様式の解析 | |
| 164 | 10 | 1 | 千葉大学 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 武蔵野台地における地下水涵養機構に関する研究 | |
| 165 | 10 | 2 | 東京都土木技術研究所 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 地下水水位観測 | |
| 166 | 10 | 1 | 一般10月計 | 0 | 0 | 0 | 1088 | 1088 | 林内見学 | |
| 167 | 11 | 4 | 森林動物学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシの個体群動態 | |
| 168 | 11 | 24 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシ、オオモミジの生物季節について | |
| 169 | 11 | 6 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | Effects of acid rain to soil invertebrates | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|-----------------|-----|----|----|-----|-----|--------------------------------|-------|
| 170 | 11 | 4 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 田無試験地におけるアオキ群落の環境因子と大型土壌動物相の関係 | |
| 171 | 11 | 2 | 森林植物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | マツ材線虫病の枯死機構の解明 | |
| 172 | 11 | 8 | 造林学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 樹木の低温適応反応 | |
| 173 | 11 | 4 | 造林学 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | アカマツ菌根菌共生系の高CO2濃度に対する研究 | |
| 174 | 11 | 15 | 森林生態圏管理学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 熱帯マメ科樹種の組織培養 | |
| 175 | 11 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林共生系の解析 | |
| 176 | 11 | 6 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | フタバガキ科樹木の共生系に関する研究 | |
| 177 | 11 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 外生菌根の栄養吸収促進機能の解析 | |
| 178 | 11 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 菌根菌繁殖様式の遺伝学的研究 | |
| 179 | 11 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根の造林学的用法の開発 | |
| 180 | 11 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根菌感染過程の分子生物学的解析 | |
| 181 | 11 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根のストレス生理学 | |
| 182 | 11 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | DNA多型解析の森林生態学の応用法の開発 | |
| 183 | 11 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 景観形成、解析に関する研究、親水空間の計画、デザイン | |
| 184 | 11 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 水辺空間の計画と利用、維持管理システムに関する研究 | |
| 185 | 11 | 21 | ICU | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | マツ材線虫病の細胞生理学的研究 | |
| 186 | 11 | 21 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | DNA多型分析による繁殖様式の解析 | |
| 187 | 11 | 1 | 東京都土木技術研究所 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 地下水位観測 | |
| 188 | 11 | 1 | 一般11月計 | 0 | 0 | 0 | 999 | 999 | 林内見学 | |
| 189 | 12 | 3 | 森林動物学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシの個体群動態 | |
| 190 | 12 | 13 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシ、オオモミジの生物季節について | |
| 191 | 12 | 3 | 森林動物学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 田無試験地におけるアオキ群落の環境因子と大型土壌動物相の関係 | |
| 192 | 12 | 8 | 造林学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 樹木の低温適応反応 | |
| 193 | 12 | 2 | 造林学 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | アカマツ菌根菌共生系の高CO2濃度に対する研究 | |
| 194 | 12 | 21 | 森林生態圏管理学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 熱帯マメ科樹種の組織培養 | |
| 195 | 12 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林共生系の解析 | |
| 196 | 12 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 外生菌根の栄養吸収促進機能の解析 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|----|----|-----------------|-----|----|----|-----|-----|--------------------------------|-------|
| 197 | 12 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 菌根菌繁殖様式の遺伝学的研究 | |
| 198 | 12 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根の造林学的用法の開発 | |
| 199 | 12 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根菌感染過程の分子生物学的解析 | |
| 200 | 12 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根のストレス生理学 | |
| 201 | 12 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | DNA多型解析の森林生態学の応用法の開発 | |
| 202 | 12 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 景観形成、解析に関する研究、親水空間の計画、デザイン | |
| 203 | 12 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 水辺空間の計画と利用、維持管理システムに関する研究 | |
| 204 | 12 | 21 | ICU | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | マツ材線虫病の細胞生理学的研究 | |
| 205 | 12 | 21 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | DNA多型分析による繁殖様式の解析 | |
| 206 | 1 | | 千葉大学 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 武蔵野台地における地下水涵養機構に関する研究 | |
| 207 | 12 | 4 | 東京都立衛生研究所 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 野ネズミの野外分布及び生態調査 | |
| 208 | 12 | 1 | 一般12月計 | 0 | 0 | 0 | 192 | 192 | 林内見学 | |
| 209 | 1 | 1 | 動物 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 田無試験地におけるアオキ群落の環境因子と大型土壤動物相の関係 | |
| 210 | 1 | 11 | 造林 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 樹木の低温適応反応 | |
| 211 | 1 | 2 | 森林生態圏管理学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 熱帯マメ科樹種の組織培養 | |
| 212 | 1 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林共生系の解析 | |
| 213 | 1 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 外生菌根の栄養吸収促進機能の解析 | |
| 214 | 1 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 菌根菌繁殖様式の遺伝学的研究 | |
| 215 | 1 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根の造林学的用法の開発 | |
| 216 | 1 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根菌感染過程の分子生物学的解析 | |
| 217 | 1 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根のストレス生理学 | |
| 218 | 1 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | DNA多型解析の森林生態学の応用法の開発 | |
| 219 | 1 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 景観形成、解析に関する研究、親水空間の計画、デザイン | |
| 220 | 1 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 水辺空間の計画と利用、維持管理システムに関する研究 | |
| 221 | 1 | 21 | ICU | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | マツ材線虫病の細胞生理学的研究 | |
| 222 | 1 | 21 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | DNA多型分析による繁殖様式の解析 | |
| 223 | 1 | 1 | 東京都土木技術研究所 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 地下水位観測 | |

| No. | 月 | 日 数 | 団体名 | 教 職 員 | 学 生 | 院 生 | そ の 他 | 人 員 計 | 利用目的 | 宿泊 施設 名 |
|-----|---|--------|---------------------|-------------|--------|--------|-------------|-------------|--|---------------|
| 224 | 1 | 1 | 一般1月計 | 0 | 0 | 0 | 85 | 85 | 林内見学 | |
| 225 | 2 | 1 | 動物 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシの個体群動態 | |
| 226 | 2 | 1 | 動物 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | Effects of acid rain to soil invertebrates | |
| 227 | 2 | 1 | 動物 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 田無試験地におけるアオキ群落の環境因子と大型土壤動物相の関係 | |
| 228 | 2 | 7 | 造林 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 樹木の低温適応反応 | |
| 229 | 2 | 20 | 森林生態圏管理学 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 熱帯マメ科樹種の組織培養 | |
| 230 | 2 | 21 | アジア生物資源環境 研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林共生系の解析 | |
| 231 | 2 | 21 | アジア生物資源環境 研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 外生菌根の栄養吸収促進機能の解析 | |
| 232 | 2 | 21 | アジア生物資源環境 研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 菌根菌繁殖様式の遺伝学的研究 | |
| 233 | 2 | 21 | アジア生物資源環境 研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根の造林学的用法の開発 | |
| 234 | 2 | 21 | アジア生物資源環境 研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根菌感染過程の分子生物学的解析 | |
| 235 | 2 | 21 | アジア生物資源環境 研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根のストレス生理学 | |
| 236 | 2 | 21 | アジア生物資源環境 研究センター | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | DNA多型解析の森林生態学の応用法の開発 | |
| 237 | 2 | 20 | アジア生物資源環境 研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 景観形成、解析に関する研究、親水空間の計画、デザイン | |
| 238 | 2 | 20 | アジア生物資源環境 研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 水辺空間の計画と利用、維持管理システムに関する研究 | |
| 239 | 2 | 21 | ICU | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | マツ材線虫病の細胞生理学的研究 | |
| 240 | 2 | 21 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | DNA多型分析による繁殖様式の解析 | |
| 241 | 2 | 2 | 東京都土木技術研 究所 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 地下水位観測 | |
| 242 | 2 | 1 | 一般2月計 | 0 | 0 | 0 | 284 | 284 | 林内見学 | |
| 243 | 3 | 7 | 動物 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシの個体群動態 | |
| 244 | 3 | 2 | 動物 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | モミジニタイケアブラムシ、オオモミジの生物季節について | |
| 245 | 3 | 4 | 動物 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | Effects of acid rain to soil invertebrates | |
| 246 | 3 | 2 | 植物 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | マツ材線虫病の枯死機構の解明 | |
| 247 | 3 | 5 | 造林 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 樹木の低温適応反応 | |
| 248 | 3 | 21 | アジア生物資源環境 研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 森林共生系の解析 | |
| 249 | 3 | 21 | アジア生物資源環境 研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 外生菌根の栄養吸収促進機能の解析 | |
| 250 | 3 | 21 | アジア生物資源環境 研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 菌根菌繁殖様式の遺伝学的研究 | |
| 251 | 3 | 21 | アジア生物資源環境 研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根の造林学的用法の開発 | |

| No. | 月 | 日数 | 団体名 | 教職員 | 学生 | 院生 | その他 | 人員計 | 利用目的 | 宿泊施設名 |
|-----|---|----|-----------------|-----|----|----|-----|-----|----------------------------|-------|
| 252 | 3 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根菌感染過程の分子生物学的解析 | |
| 253 | 3 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 外生菌根のストレス生理学 | |
| 254 | 3 | 21 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | DNA多型解析の森林生態学の応用法の開発 | |
| 255 | 3 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 景観形成、解析に関する研究、親水空間の計画、デザイン | |
| 256 | 3 | 20 | アジア生物資源環境研究センター | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 水辺空間の計画と利用、維持管理システムに関する研究 | |
| 257 | 3 | 21 | ICU | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | マツ材線虫病の細胞生理学的研究 | |
| 258 | 3 | 21 | 日本大学 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | DNA多型分析による繁殖様式の解析 | |
| 269 | 3 | 1 | 東京都土木技術研究所 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 地下水水位観測 | |
| 260 | 3 | 2 | 東京都立衛生研究所 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 野ネズミの野外分布及び生態調査 | |
| 261 | 3 | 1 | 一般3月計 | 0 | 0 | 0 | 956 | 956 | 林内見学 | |

4 教育活動

4-1大学院（講義および演習）

演習林所属の教官のうち教授、助教授、講師は全員農学生命科学研究科森林科学専攻の担当となっており、森林科学特別演習・特別実験などを通じ博士課程・修士課程の学生の論文指導に当たっている。また、演習林の教官が直接大学院生の指導教官となっていない場合でも、現地演習林における大学院学生の研究については、ほとんどすべてのケースで直接、間接に指導を行っている。

| 教官名 | 講義名 | 対象研究科 | 専攻 | 課程 |
|--|---------------|--------|------|------|
| 井出雄二・大橋邦夫 | 国際森林学特論 | 農学生命科学 | 森林科学 | 修士課程 |
| 山本博一・石田 健 | 森林生態圏管理学 | 農学生命科学 | 森林科学 | 修士課程 |
| 梶 幹男・佐倉詔夫・蒲谷 肇 | 森林生態システム利用学 | 農学生命科学 | 森林科学 | 修士課程 |
| 井出雄二・高橋郁雄・石田 健 | 森林遺伝子管理学 | 農学生命科学 | 森林科学 | 修士課程 |
| 仁多見俊夫 | 森林管理システム学 | 農学生命科学 | 森林科学 | 修士課程 |
| 芝野博文 | 水循環機能学 | 農学生命科学 | 森林科学 | 修士課程 |
| 井出雄二・梶 幹男・高橋郁雄・仁多見俊夫・蒲谷 肇・芝野博文・大橋邦夫・山本博一・佐倉詔夫・石田 健 | 森林科学特別実験 | 農学生命科学 | 森林科学 | 修士課程 |
| 井出雄二・梶 幹男・高橋郁雄・仁多見俊夫・蒲谷 肇・芝野博文・大橋邦夫・山本博一・佐倉詔夫・石田 健 | 森林科学特別演習 | 農学生命科学 | 森林科学 | 修士課程 |
| 井出雄二・梶 幹男・高橋郁雄・蒲谷 肇・佐倉詔夫・石田 健 | 森林生態圏管理学特別演習Ⅰ | 農学生命科学 | 森林科学 | 博士課程 |
| 井出雄二・梶 幹男・高橋郁雄・蒲谷 肇・佐倉詔夫・石田 健 | 森林生態圏管理学特別実験Ⅰ | 農学生命科学 | 森林科学 | 博士課程 |
| 大橋邦夫・山本博一・仁多見俊夫・芝野博文 | 森林生態圏管理学特別演習Ⅱ | 農学生命科学 | 森林科学 | 博士課程 |
| 大橋邦夫・山本博一・仁多見俊夫・芝野博文 | 森林生態圏管理学特別実験Ⅱ | 農学生命科学 | 森林科学 | 博士課程 |

4-2学部講義等

演習林教官はそれぞれの専門分野に応じ農学部の講義を担当している他、教養学部における総合科目等、演習林が独自に開講する森林科学に関する講義も行っている。

| 教官名 | 講義名 | 対象学部 | 専修（科類） | 学年 |
|--|---------------------|------|--------------|------|
| 井出雄二・山本博一・ 蒲谷 肇 | 森林実習 | 農学部 | 国際開発 農学専修 | 3年 |
| 井出雄二・佐倉詔夫・ 梶 幹男・山本博一・ 高橋郁雄・宮本義憲・ 仁多見俊夫・大橋邦夫 | 総合科目一般D (人間環境一般) | 教養学部 | 全科類 | 1.2年 |
| 井出雄二 | 林木育種学 | 農学部 | 森林系3専修 | 4年 |
| 梶 幹男・石田 健 | 森林動物学実験 | 農学部 | 森林系3専修 | 3年 |
| 梶 幹男 | 森林利用学実習 | 農学部 | 森林系3専修 | 3年 |
| 仁多見俊夫 | 森林土木学実習 | 農学部 | 森林系3専修 | 4年 |
| 蒲谷 肇 | 森林土壌学実験 | 農学部 | 森林系3専修 | 3年 |
| 芝野博文 | 測量学実習 | 農学部 | 森林系3専修 | 3年 |

森林系3専修：森林生物科学専修，森林環境科学専修，森林資源科学専修

4-3他大学への非常勤講師

演習林教官の一部は、他大学の非常勤講師を併任している。

| 教官名 | 講義名 | 対象大学 | 学部等 | 学年等 |
|-------|---------|---------|------------|------|
| 井出雄二 | 森林資源学特論 | 三重大学大学院 | 生物資源学研究科 | 修士課程 |
| 井出雄二 | 林木育種学 | 新潟大学 | 農学部生産環境科学科 | 3.4年 |
| 梶 幹男 | 森林立地学 | 千葉大学 | 園芸学部 | 3年 |
| 仁多見俊夫 | 林業機械学 | 新潟大学 | 農学部生産環境科学科 | 3.4年 |
| 芝野博文 | 森林水文学 | 東京農業大学 | 農学部 | 2年 |

4-4講習会・セミナー等

一般を対象とした自然観察、記念植樹、森林体験セミナーや、研究者・技術者を対象とした講座などを演習林主催により各地方演習林で開催したほか、東京電力との共催による自然観察会などが行われた。

| 講座名 | 主催 | 場所 | 日程 |
|-------------------------------|-----------------------|----------------|--------------|
| TEPCOペアウォッチングIN亀山 | 千葉演習林・東京電力 | 千葉演習林 郷台作業所 | 7月26日 |
| 中学校理科講座(生物的領域) | 千葉演習林・千葉県総合 教育センター | 清澄作業所 | 7月30日～7月31日 |
| 小学校理科講座(生物的野外領域) | 千葉演習林・千葉県総合 教育センター | 清澄作業所 | 8月7日～8月8日 |
| 公開セミナー「森林のしくみと人間との関わり」 | 北海道演習林 | 北海道演習林 | 5月25日 |
| 東京大学公開講座「奥秩父の自然と人のかかわり」 | 秩父演習林 | 秩父演習林 | 5月23日 |
| 本学教養学部生に対する森林及び森林科学についてのガイダンス | 東大農森林科学専攻 | 秩父演習林 | 6月14日～6月15日 |
| 市民のための森林学入門 | 愛知演習林 | 愛知演習林 | 4月25日, 11月7日 |
| 下田小学校森林教室 | 樹芸研究所 | 樹芸研究所 | 6月16日 |
| 南上小学校森林教室 | 樹芸研究所 | 樹芸研究所 | 11月21日 |
| 田無試験地休日開放 | 田無試験地 | 田無試験地 | 4月6日 |
| 田無試験地休日開放 | 田無試験地 | 田無試験地 | 5月11日 |
| 田無試験地休日開放 | 田無試験地 | 田無試験地 | 8月24日 |
| 森林体験セミナー | 農学部附属演習林 | 田無試験地 | 11月15日 |
| 田無試験地休日開放 | 田無試験地 | 田無試験地 | 11月23日 |
| 田無試験地休日開放 | 田無試験地 | 田無試験地 | 3月29日 |

4-5実習

本学農学部 of 森林科学を学ぶ学部学生の実習・実験の大部分が演習林を利用して行われている他、他学部、他大学の実習・実験も多数行われている。実習は学部の教官が担当する科目であっても、現地演習林の教官が直接に関わる場合がほとんどである。また、実習・実験の準備および現場の作業には多数の演習林技官がこれに当たっている。

| 教官名 | 実習名 | 実習地 | 学校名 | 対象学部・研究科 | 学科等 | 学年 | 日程 | 対応した教職員の延べ人数 | 宿泊施設名 |
|-------|-----------------------|-----|-------------|----------|----------|----|-------------|--------------|--------|
| 山本博一 | 森林生態圏管理学実習 | 千葉 | 東京大学 | 農学生命科学 | 森林生態圏管理学 | | 4月23日 | 8 | |
| 八木久義 | 造林学実験 | 千葉 | 東京大学 | 農学部 | | | 5月6日～5月10日 | 30 | 清澄学生宿舎 |
| 箕輪光博 | 森林経理学実習 | 千葉 | 東京大学 | 農学部 | | | 5月19日～5月23日 | 15 | 札郷宿舎 |
| 大路樹生 | 地質調査実習 | 千葉 | 東京大学 | 理学部 | 地質学 | | 5月26日～5月30日 | | 清澄学生宿舎 |
| 伊藤雄功 | 森林生態等の学習をととしての林業学習 | 千葉 | 君津農林高校 | | | | 6月4日～6月5日 | 4 | 清澄学生宿舎 |
| 北里洋 | 演習林内の地質調査 | 千葉 | 静岡大学 | 理学部 | | | 6月23日～6月27日 | | 清澄学生宿舎 |
| 大久保達弘 | 樹木学実習 | 千葉 | 宇都宮大学 | 農学部 | 森林科学 | | 7月14日～7月17日 | 8 | |
| 空閑重則 | 森林科学実習 | 千葉 | 東京大学 | 農学部 | 生物材料 | | 7月14日～7月18日 | 30 | 清澄学生宿舎 |
| 山岡寛人 | 森林植生と地表棲息小動物 | 千葉 | 東大教育学部附属高 | | | | 7月14日～7月17日 | 8 | 清澄学生宿舎 |
| 渡辺正 | 中学校理科講座(生物的領域) | 千葉 | 千葉県総合教育センター | | | | 7月30日～7月31日 | 6 | 清澄学生宿舎 |
| 渡辺正 | 小学校理科講座(生物的領域)教員の研修講座 | 千葉 | 千葉県総合教育センター | | | | 8月7日～8月8日 | 6 | 清澄学生宿舎 |
| 大沢雅彦 | 生態学野外実習 | 千葉 | 千葉大学 | 理学部 | | | 8月18日～8月22日 | 5 | 清澄学生宿舎 |
| 前田晴良 | 地質調査法野外実習 | 千葉 | 京都大学 | 理学部 | 地質学 | 3年 | 9月1日～9月6日 | | 清澄学生宿舎 |
| 鈴木和夫 | 森林植物学実習 | 千葉 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専修 | 3年 | 9月8日～9月10日 | 15 | 清澄学生宿舎 |

| 教官名 | 実習名 | 実習地 | 学校名 | 対象学部・研究科 | 学科等 | 学年 | 日程 | 対応した教職員の延べ人数 | 宿泊施設名 |
|----------------------|-----------------|-----|---------|----------|----------|------|---------------|--------------|--------------|
| 蔵治光一郎 | 総合科目D(人間・環境一般) | 千葉 | 東京大学 | 教養学部 | | 1.2年 | 9月16日～9月19日 | 56 | 札郷宿舎 |
| 山口寿之 | 地質学野外実験 | 千葉 | 千葉大学 | 理学部 | 地質学 | 3年 | 9月24日～9月26日 | | 清澄学生宿舎 |
| 丸山茂徳 | 演習林内の地質調査 | 千葉 | 東京工業大学 | 理学部 | 地質学 | | 11月4日～11月5日 | | 清澄学生宿舎 |
| 白石則彦 | 森林計測学・学生実習 | 千葉 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専修 | 3年 | 12月15日～12月18日 | 12 | 清澄学生宿舎 |
| 杉浦考蔵 | 学生の研修 | 千葉 | 東京農業大学 | 農学部 | 森林科学 | | 2月17日～2月18日 | 2 | 清澄学生宿舎 |
| 高橋郁雄 | 森林生態観察 | 北海道 | 東京農業大学 | 生物産業学部 | | 3年 | 6月5日 | 1 | |
| 宮本義憲 | 北方林の森林施業に関する研修 | 北海道 | 長野林業大学校 | | | 2年 | 7月11日 | 1 | |
| 中村 昇 | 森林生態観察 | 北海道 | 東京農業大学 | 生物産業学部 | | 3年 | 8月7日～8月8日 | 1 | セミナーハウス |
| 高橋郁雄 | 森林生態学実習 | 北海道 | 明治大学 | 農学部 | | 3.4年 | 8月4日～8月6日 | 1 | セミナーハウス |
| 梶 幹男・高橋郁雄・宮本義憲・木佐貫博光 | 森林動物学実験、森林利用学実習 | 北海道 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専修 | 3年 | 8月18日～8月23日 | 6 | セミナーハウス |
| 梶 幹男・高橋郁雄・宮本義憲・木佐貫博光 | 総合科目D | 北海道 | 東京大学 | 教養学部 | | 3年 | 9月16日～9月19日 | 8 | セミナーハウス |
| 梶 幹男・高橋郁雄・宮本義憲 | 総合科目D | 北海道 | 東京大学 | 教養学部 | | 3年 | 9月29日～10月2日 | 6 | セミナーハウス |
| 宮下直 | 野生生物野外調査実習 | 秩父 | 東京大学 | 農学部 | 応用動物科学専攻 | | 4月15日～4月16日 | 2 | 川俣学生寄宿舍 |
| 小林洋司 | 森林土木学実習 | 秩父 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専修 | 4年 | 5月6日～5月9日 | 11 | 栃本宿舎、川俣学生寄宿舍 |
| 石田健 | 森林生態圏管理学実習 | 秩父 | 東京大学 | 農学生命科学 | 森林生態圏管理学 | | 5月27日～5月28日 | 1 | 川俣学生寄宿舍 |
| 丸田恵美子 | 植物野外実習 | 秩父 | 東邦大学 | 理学部 | | | 6月23日～6月27日 | 2 | 川俣学生寄宿舍 |

| 教官名 | 実習名 | 実習地 | 学校名 | 対象学部・研究科 | 学科等 | 学年 | 日程 | 対応した教職員の延べ人数 | 宿泊施設名 |
|----------|-----------------------|-----|----------|----------|----------|------|-------------|--------------|--------------|
| 上遠岳彦 | 植物野外実習 | 秩父 | 国際基督教大学 | 教養学部 | 理学科 | 1.2年 | 6月30日～7月2日 | | 川俣学生寄宿舍 |
| 鈴木和夫 | 森林植物学実験 | 秩父 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専修 | 3年 | 7月11日～7月14日 | 10 | 栃本宿舎、川俣学生寄宿舍 |
| 丹下健 | 森林土壌学実験 | 秩父 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専修 | 3年 | 7月15日～7月18日 | 14 | 栃本宿舎、川俣学生寄宿舍 |
| 上田恵介 | 博物館学芸員課程巡検実習 | 秩父 | 立教大学 | 理学部 | | 3年 | 7月28日～8月1日 | | 川俣学生寄宿舍 |
| 浅田章一 | 樹木実習 | 秩父 | 秩父農工高等学校 | 森林科学科 | | 1年 | 8月5日～8月6日 | 2 | 川俣学生寄宿舍 |
| 仁多見俊夫 | 教養学部集中講義「森林と人の関わり」 | 秩父 | 東京大学 | 教養学部 | | 1.2年 | 9月16日～9月19日 | 29 | 川俣学生寄宿舍 |
| 沓名重明 | 資源生物環境学実験実習B（森林土壌学実習） | 愛知 | 名古屋大学 | 農学部 | 資源生物環境学科 | 3 | 1 | 3 | |
| 田中隆文 | 資源生物環境学実験実習B（森林水文学実習） | 愛知 | 名古屋大学 | 農学部 | 資源生物環境学科 | 3 | 1 | 1 | |
| 太田猛彦執印康裕 | 砂防工学実習 | 愛知 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専修 | 4 | 3 | 5 | 白坂学生宿舎 |
| 森和郎 | 自然地理学実習 | 愛知 | 三重大学 | 教育学部 | | 3 | 1 | 1 | |
| 竹中千里 | 資源生物環境学実験実習B（測樹学実習） | 愛知 | 名古屋大学 | 農学部 | 資源生物環境学科 | 3 | 1 | 1 | |
| 辻村真貴 | 水文学野外実験 | 愛知 | 愛知教育大学 | 教育学部 | 総合科学科 | 2 | 1 | 2 | |
| 芝野博文執印康裕 | 測量学実習 | 愛知 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専修 | 3 | 6 | 5 | |
| 服部重昭恩田裕一 | 測量学実習 | 愛知 | 名古屋大学 | 農学部 | 資源生物環境学科 | 2 | 7 | 3 | |
| 小野良平 | 環境設計 | 富士 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専修 | 3年 | 6月27日～6月28日 | 1 | 民宿泊 |
| 清水英範 | 測量実習 | 富士 | 東京大学 | 工学部 | 土木学科 | 3年 | 9月2日～9月9日 | 1 | 山中寮 |

| 教官名 | 実習名 | 実習地 | 学校名 | 対象学部・研究科 | 学科等 | 学年 | 日程 | 対応した教職員の延べ人数 | 宿泊施設名 |
|--|---------|-----|------|----------|--------------|----|---------------|--------------|-------|
| 蒲谷 肇・ 井出雄二・ 前原 忠・ 山本博一・ 池田裕行 | 森林実習 | 樹芸 | 東京大学 | 農学部 | 国際開発 農学専修 | 3年 | 9月1日～ 9月4日 | 12 | 下賀茂寮 |
| 八木久義 | 造林学実験 | 田無 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専 修 | 3年 | 4月21日 | 4 | |
| 八木久義 | 造林学実験 | 田無 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専 修 | 3年 | 5月26日 | 4 | |
| 久保田耕平 | 森林動物学実験 | 田無 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専 修 | 3年 | 5月30日 | 4 | |
| 久保田耕平 | 森林動物学実験 | 田無 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専 修 | 3年 | 6月6日 | 4 | |
| 八木久義 | 造林学実験 | 田無 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専 修 | 3年 | 7月7日 | 4 | |
| 久保田耕平 | 森林動物学実験 | 田無 | 東京大学 | 農学部 | 森林系3専 修 | 3年 | 9月26日 | 4 | |

5科学研究費・受託研究費等によって行われた研究

5-1科学研究費

| 教官、技官名 | 研究種目 | 研究課題 | 研究代表者名 | 研究代表者所属 |
|-----------------|------------|------------------------------------|--------|-------------------|
| 井出雄二 | 基盤研究(B)(2) | 天然林施業における植物の種多様性および遺伝的多様性の動態解析 | 井出雄二 | 千葉演習林 |
| 井出雄二 | 基盤研究(B)(2) | 熱帯樹木バイオテクノロジー研究のためのモデルシステムの確立 | 井出雄二 | 千葉演習林 |
| 井出雄二 | 基盤研究(B)(2) | 新しい森林管理法「家系管理法」の確立 | 寶月岱造 | アジア生物資源環境研究センター |
| 井出雄二 | 創成的基礎研究 | 東アジアの地域の環境に調和した持続的生物生産技術開発のための基盤研究 | 佐々木恵彦 | 日本大学 |
| 梶幹男 | 基盤研究(C) | 劣化した森林を再生するための森林造成システムの確立 | 山本博一 | 東京大学農学生命科学研究科 |
| 梶幹男 | 基盤研究(B)(2) | 天然林施業における植物の種多様性および遺伝的多様性の動態解析 | 井出雄二 | 東京大学農学生命科学研究科 |
| 高橋郁雄 | 基盤研究(C) | 劣化した森林を再生する森林造成システムの確立 | 山本博一 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 |
| 木佐貫博光 | 奨励研究(A) | DNAマーカーを用いた北方林構成樹種の遺伝的多様性の評価 | 木佐貫博光 | 北海道演習林 |
| 梶 幹男・高橋郁雄・木佐貫博光 | 基盤研究(C) | 劣化した森林を再生するための森林造成システムの確立 | 山本博一 | 演習林研究部 |
| 木佐貫博光 | 基盤研究(A) | 新しい森林管理法「家系管理法」の確立 | 寶月岱造 | アジア生物資源環境研究センター |
| 梶 幹男・木佐貫博光 | 基盤研究(B) | 天然林施業における植物の種多様性および遺伝的多様性の動態解析 | 井出雄二 | 千葉演習林 |
| 梶 幹男・蒲谷 肇・木佐貫博光 | 基盤研究(A) | 産地試験設定を伴うミズナラのフェノロジーの地理変異に関する研究 | 今田盛夫 | 九州大学 |
| 蒲谷 肇 | 基盤研究(A)(1) | 産地試験設定を伴うミズナラのフェノロジーの地理的変異に関する研究 | 今田盛生 | 九州大学農学部 |
| 安村直樹 | 国際学術研究 | 日韓の森林関連産業に環境問題が与えた影響の比較分析 | 永田 信 | 東京大学農学部 |
| 斎藤俊浩 | 奨励研究(B) | ウグイスのさえずりを基にした環境モニタリング | 斎藤俊浩 | 東京大学農学部附属演習林秩父演習林 |

| 教官、技官名 | 研究種目 | 研究課題 | 研究代表者名 | 研究代表者所属 |
|--------|------------|---|--------|-------------------|
| 芝野博文 | 基盤研究(B)(2) | 強酸性黒色土の生成機構の解明 | 八木久義 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 |
| 芝野博文 | 基盤研究(B)(2) | A0層を用いた酸性雨に起因する森林土壌の酸性化防止技術 | 八木久義 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 |
| 芝野博文 | 基盤研究(B)(2) | 渇水時における都市近郊水源林の水資源供給量の評価に関する研究 | 芝野博文 | 東京大学農学部 |
| 芝野博文 | 基盤研究(A)(2) | 対照流域法による森林_環境系の応答解析 | 太田猛彦 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 |
| 芝野博文 | 基盤研究(A)(2) | 水源涵養林施業マニュアルの作成に関する実証的研究 | 太田猛彦 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 |
| 春田泰次 | 基盤研究(B)(2) | A0層を用いた酸性雨に起因する森林土壌の酸性化防止技術 | 八木久義 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 |
| 春田泰次 | 基盤研究(B)(2) | 強酸性黒色土の生成機構の解明 | 八木久義 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 |
| 池田裕行 | 基盤研究(B) | 熱帯樹木バイオテクノロジー研究のためのモデルシステムの構築 | 井出雄二 | 東京大学農学部附属演習林千葉演習林 |
| 渡邊良広 | 奨励研究(B) | 熱帯産マメ科樹木アカシア・アウリカリフォルミスのカルスからの植物体再生法の確立 | 渡邊良広 | 東京大学農学部附属演習林樹芸研究所 |
| 辻 和明 | 奨励研究(B) | アカシア属樹木の成長に及ぼす共生根粒菌の影響 | 辻和明 | 東京大学農学部附属演習林樹芸研究所 |
| 大橋邦夫 | 基盤研究(A)(1) | 大径材及び高品位材の供給に関する研究 | 八木久義 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 |
| 大橋邦夫 | 基盤研究(B)(2) | 林業労働の参入・退出のコウホ - ト分析-新規参入者の定着条件と退出要因- | 永田信 | 東京大学大学院農学生命科学研究科 |
| 山本博一 | 基盤研究(C)(2) | 劣化した森林を再生するための森林造成システムの確立 | 山本博一 | 東京大学演習林 |
| 山本博一 | 基盤研究(A)(1) | 大径材及び高品位材の供給に関する研究 | 八木久義 | 東京大学農学生命科学研究科 |
| 山本博一 | 基盤研究(B)(2) | 天然林施業における植物の種多様性および遺伝的多様性の動態解析 | 井出雄二 | 千葉演習林 |
| 石田 健 | 基盤研究B(2) | 大面積プロットによる秩父地方山地帯天然林生態系の解明 | 梶幹男 | 研究部（北海道演習林） |
| 石田 健 | 基盤研究C(2) | コゲラ個体群の生態的・分子生物学的な比較 | 石田健 | 秩父演習林 |

5-2他機関との研究

| 教官名 | 研究課題 | 共同研究者 |
|-------|-------------------------|----------------|
| 梶 幹男 | ブナの実生の初期成長 | 丸田恵美子（東邦大学理学部） |
| 梶 幹男 | エゾシカ食害防除に関する研究 | 小島康夫（北海道大学農学部） |
| 仁多見俊夫 | 山林植栽作業の機械化に関する研究 | 社団法人林業機械化協会 |
| 石田 健 | アマミヤマシギ希少野生動植物種保護管理対策調査 | 熊本営林局・(中原英泰) |

5-3受託研究

演習林が受託している秩父演習林自然環境調査に演習林の多くの教官が加わった。

| 教官名 | 研究課題 | 受託機関 |
|---|---|-------|
| 井出雄二・梶 幹男・仁多見俊夫・蒲谷 肇・安村直樹・大橋邦夫・山本博一・石田健 | 秩父演習林自然環境調査 | 建設省 |
| 井出雄二・梶 幹男・高橋郁雄・松下範久・木佐貫博光 | 森林生態系における共生関係の解明と共生機能の高度利用のための基礎研究（代表：鈴木和夫） | 農林水産省 |

5-4奨学寄付金

| 教官名 | 研究課題 |
|-------|--------------|
| 井出雄二 | 樹木の組織培養研究 |
| 井出雄二 | 松くい虫防除に関する研究 |
| 仁多見俊夫 | 機械化植栽技術研究 |

6研修

6-1技官

| 研修名 | 研修場所 | 日程 | 参加人数 |
|----------------------------|-------------------|---------------|------|
| 平成9年度北海道地区新採用職員研修 | 人事院北海道事務局 | 4月8日～4月11日 | 1 |
| 東京大学砂防学研究室研究発表会 | 千葉演習林清澄学生宿舎 | 6月11日～6月13日 | 19 |
| 第26回北海道地区中堅係員研修 | 人事院北海道事務局 | 6月23日～6月27日 | 1 |
| 平成9年度東京大学技術職員研修（森林調査・管理関係） | 千葉演習林清澄学生宿舎 | 7月1日～7月4日 | 12 |
| 東京大学安全管理講習会 | 東京大学 | 7月10日～7月11日 | 1 |
| 高性能林業機械オペレーター養成研修 | 千葉県林業サ・ビスセンタ - | 8月6日～8月8日 | 2 |
| クレーン取扱技能講習 | 秩父市 | 8月21日 | 1 |
| 林業機械研修 | 秩父演習林 | 9月1日 | 14 |
| 第4回東海地区農学部附属演習林技術職員研修 | 三重大学 | 9月9日～9月12日 | 3 |
| 第4回京都大学演習林技術職員研修 | 奈良県東吉野村 | 9月30日～10月3日 | 1 |
| 環境保全を配慮した効率的森林施業技術習得 | スウェーデン | 10月17日～10月25日 | 1 |
| 平成9年度第1回農学部技術官研修会 | 東京大学農学部 | 10月23日 | 2 |
| 平成9年度技術協力専門家養成研修（地球環境対策） | 国際協力事業団 | 10月27日～12月19日 | 1 |
| 平成9年度技術官等試験研究・研修会議 | 秩父演習林 | 10月30日～10月31日 | 28 |
| 日本林学会北海道支部大会 | 函館 | 11月5日～11月6日 | 4 |
| 平成9年度技術職員研修（コンピュータ関係） | 東京大学 | 11月11日～11月13日 | 1 |
| 第7回北海道大学演習林技術職員研修 | 北海道大学雨竜演習林 | 11月18日～11月21日 | 2 |
| JICA専門家研修 | インドネシア・タイ | 11月30日～12月13日 | 1 |
| 北海道林務部林業技術交流大会 | 札幌 | 1月27日～1月28日 | 5 |
| 帯広営林支局業務研究発表会 | 帯広 | 2月2日 | 9 |
| 平成9年度林業体験発表及び林業講演会 | 埼玉県林業試験場 | 2月10日 | 4 |
| 旭川営林支局業務研究発表会 | 旭川 | 2月27日 | 10 |
| 森林総合研究所北海道支所研究発表会 | 札幌 | 3月19日 | 4 |

6-2事務官

大学、演習林における事務を遅延なく円滑に推進するため、各種業務研修に担当者を参加させている。また、定められた職員研修には該当者を必ず参加させ、資質の向上を図っている。

| 研修名 | 研修場所 | 日程 | 参加人数 |
|----------------------|------|---------------|------|
| 平成9年度掛長研修 | 東京大学 | 5月27日～5月30日 | 1 |
| 平成9年度掛主任研修 | 東京大学 | 6月9日～6月13日 | 3 |
| 平成9年度契約事務担当者実務研修 | 東京大学 | 9月9日～9月12日 | 2 |
| 平成9年度人事事務担当者実務研修 | 東京大学 | 9月14日～9月17日 | 1 |
| 平成9年度東京大学パソコンリーダー講習会 | 東京大学 | 10月1日～10月3日 | 1 |
| 平成9年度会計事務担当者実務研修 | 東京大学 | 10月21日～10月24日 | 1 |
| 給与実務担当者研修会 | 旭川 | 10月28日～10月30日 | 1 |
| 災害補償実務担当者研修会 | 札幌 | 10月31日 | 1 |
| 平成9年度中堅職員研修 | 東京大学 | 11月18日～11月21日 | 3 |
| 平成9年度人事事務研修 | 文部省 | 12月3日～12月12日 | 1 |

6-3安全・防災

作業の安全及び職員の健康に関する研修を実施している。演習林独自に実施するものの他、地域で開催される各種講習等にも積極的な参加を行っている。

| 研修名 | 研修場所 | 日程 | 参加人数 |
|--------------------------|----------|---------------|------|
| 消防訓練 | 北海道演習林 | 4月11日 | 81 |
| 平成9年度東京大学安全管理講習会 | 東京大学 | 7月10日～7月11日 | 2 |
| 林内作業の安全対策講習会 | 北海道演習林 | 7月18日 | 50 |
| 間伐材搬出打合せ会議 | 秩父演習林 | 7月28日 | 21 |
| 直営生産事業安全講習会 | 秩父演習林 | 8月21日 | 13 |
| 総合防災訓練 | 田無試験地 | 9月1日 | 8 |
| 全体会議 | 秩父演習林 | 11月28日 | 21 |
| 第18回関東・甲信越地区国立大学等安全管理協議会 | お茶の水女子大学 | 11月27日～11月28日 | |
| 施業現地検討会 | 秩父演習林 | 12月8日 | 8 |
| 交通安全講習会 | 北海道演習林 | 12月8日 | 55 |
| 健康管理講習会 | 北海道演習林 | 12月8日 | 53 |
| 山林消防火災訓練 | 富士演習林 | 3月2日 | 2 |

7国際交流

7-1国際シンポジウム

| 教官名 | シンポジウム名 | 主催 | 開催地 | 日程 |
|---|--|----------------------------------|-----------------|-----------------|
| 芝野博文・桐村 剛・ 春田泰次・勝野良則・ 荒木田善隆・ 山本博一・石田 健 | ソウル・東京大学大 学校両校演習林シン ポジウム | ソウル大学校・南部 演習林 | チュザン・ソウ ル | 8月27日～8 月29日 |
| 松下範久 | Ninth International Conference of Root and Butt Rots | IUFRO | フランス | 8月31日～9 月7日 |
| 山本博一 | Biodiversity in managed forest | スウェーデン林業調 査研究所・スウェー デン農業大学 | スウェーデン・ ウプサラ | 5月28日～6 月3日 |

7-2共同研究

| 教官名 | 研究テーマ | 共同研究者氏名 | 国籍 |
|------|-----------------|-----------------------------|----|
| 芝野博文 | 華北平原広域水収支に関する研究 | 中国科学院石家荘中国農業現代化研 究所所長劉昌明 | 中国 |

7-3外国人研修者の来訪

| 研究者氏名 | 国籍 | 来訪目的 | 日程 |
|---------------------------------|----------|-------------------------------|--------------|
| 鄭龍文 | 韓国 | 演習林視察 | 4月9日～4月11日 |
| ワ・ウィック・ギナル | ニュージーランド | 森林生態系における共生関係の解 明について現地検討会 | 6月27日～6月28日 |
| Chatri TEMAYHAWITAYALER T | タイ | 演習林視察 | 2月14日 |
| チョン ヨンムン | 韓国 | 林内視察 | 6月9日～6月12日 |
| スティーブ マッキーン ド | アメリカ | 天然林の取扱及びカラマツ育種の 観察 | 7月4日 |
| Niro Higuchi 外1名 | インドネシア | 森林管理に関する研修 | 8月7日～12月28日 |
| Susan Imhasly | スイス | 林内視察 | 8月21日～8月22日 |
| Ugyen Dorji | ブータン | 木質材料高度利用技術集団研修 | 9月30日 |
| Zsolt Debreczy | ハンガリー | 北方天然林を構成する主要樹種の 採集 | 10月3日～10月31日 |

| 研究者氏名 | 国籍 | 来訪目的 | 日程 |
|--------------------------------|-------|-----------------|---------------|
| 楊 宗武 | 中国 | 樹木病原菌類の調査 | 10月13日～10月14日 |
| 崔 泰鎬 | 韓国 | 供試材の採取 | 5月27日 |
| Peter Peczely | ハンガリー | 鳥類調査 | 7月24日～7月27日 |
| Gwen Couderc | フランス | サイバーフォレスト・ビデオ撮影 | 8月26日～8月28日 |
| 尹 汝昌・金 世彬・俞 炳一・金 相潤・李 春熙 | 韓国 | 演習林の見学 | 9月5日 |
| Juanita G. Pascual | フィリピン | 演習林の見学 | 1月29日～1月30日 |
| 鐘 祥浩・姜 志林 | 中国 | 量水施設見学 | 11月17日～11月19日 |
| 鐘 祥浩 | 中国 | 量水施設見学 | 2月9日 |

7-4外国人研修者の招聘

なし

7-5外国人研修者の講演会

なし

7-6外国出張

| 氏名 | 官職 | 目的国 | 目的 | 期間 | 種別 |
|-------|------------|------------------|---|-------------------|-------------------------|
| 山本博一 | 文部教官 教授 | スウェーデン フィンランド | 「管理された森林の多様性」シンポジウム出席及び森林攪乱試験地及び森林博物館視察 | 9.5.27- 9.6.9 | 文部省国際研究集会派遣旅費・東京大学委任経理金 |
| 井出雄二 | 文部教官 教授 | 中国 | nnコウヨウザン遺伝子分析研究のため | 9.7.15- 9.7.20 | 東京大学委任経理金 |
| 蔵治光一郎 | 文部教官 助手 | マレーシア インドネシア | 創成的基礎研究研究班6「新しい枠組みによる持続的生物生産に関する基礎研究」のための研究打ち合わせ、現地調査 | 9.7.21- 9.8.6 | 平成9年度科学研究費補助金（創成的基礎研究） |
| 安村直樹 | 文部教官 助手 | カナダ | カナダの森林・林業・林産業の視察及び聞き取り調査 | 9.7.28- 9.8.9 | 科学研究費補助金 |
| 梶幹男 | 文部教官 教授 | 韓国 | 東京大学演習林とソウル大学校演習林とのシンポジウム・ワークショップ参加及び研究打ち合わせ | 9.8.25- 9.8.31 | 委任経理金（東京大学学術研究奨励資金） |

| 氏名 | 官職 | 目的国 | 目的 | 期間 | 種別 |
|-------|----------------|---------------|--|---------------------|---------------------------|
| 山本博一 | 文部教官 教授 | 韓国 | 東京大学演習林とソウル大学校演習林とのシンポジウム・ワークショップ参加及び研究打ち合わせ | 9.8.26- 9.8.30 | 委任経理金（東京大学学術研究奨励資金） |
| 石田健 | 文部教官 講師 | 韓国 | 東京大学演習林とソウル大学校演習林とのシンポジウム・ワークショップ参加及び研究打ち合わせ | 9.8.27- 9.8.30 | 委任経理金（東京大学学術研究奨励資金） |
| 前原忠 | 文部教官 助手 | 韓国 | 東京大学演習林とソウル大学校演習林とのシンポジウム・ワークショップ参加及び研究打ち合わせ | 9.8.27- 9.8.30 | 委任経理金（東京大学学術研究奨励資金） |
| 則武謙 | 文部事務官事務長 補佐 | 韓国 | 東京大学演習林とソウル大学校演習林とのシンポジウム・ワークショップの事務打ち合わせ | 9.8.26- 9.8.30 | 委任経理金（演習林研究助成金） |
| 蔵治光一郎 | 文部教官 助手 | タイ | 国際学術研究「東南アジアモンスーン地域の水文環境の変動と水資源への影響」のための現地観測、資料収集、打ち合わせ | 9.8.28- 9.9.7 | 平成9年度科学研究費補助金国際学術研究（学術調査） |
| 安村直樹 | 文部教官 助手 | 韓国 | 韓国の森林関連産業への聞き取り調査 | 9.10.13- 9.10.19 | 科学研究費補助金 |
| 齊藤俊浩 | 文部技官 | スウェーデン | 環境保全を配慮した効率的森林施業技術を習得するため | 9.10.17- 9.10.25 | 委任経理金（東京大学全学協力基金） |
| 蔵治光一郎 | 文部教官 助手 | タイ | 国際学術研究「湿潤アジアにおける水循環の大気陸面過程と水資源・水災害の変動の研究」のための、熱帯モンスーン林における熱、水フラックスの集中観測及び研究打ち合わせ | 9.11.16- 9.11.23 | 平成9年度科学研究費補助金国際学術研究（学術調査） |
| 澤田晴雄 | 文部技官 | インドネシア・ タイ | 平成9年度技術協力専門家養成研修（第3回）海外現地研修（文部省地球環境対策コース） | 9.11.30- 9.12.13 | 国際協力事業団 国際協力総合研修所 |
| 蔵治光一郎 | 文部教官 助手 | タイ・ラオス | ユネスコ国際水文学計画（IHP）アジア太平洋FRIENDに関する研究打ち合わせならびに対象流域調査 | 9.12.16- 9.12.23 | 平成9年度科学研究費補助金国際学術研究（学術調査） |
| 安村直樹 | 文部教官 助手 | インドネシア | インドネシアの森林関連産業に関する聞き取り調査 | 10.2.11- 10.2.18 | 科学研究費補助金 |

7-7海外研修旅行

| 氏名 | 官職 | 目的国 | 目的 | 期間 | 種別 |
|-------|-------------|-----------------|---|-------------------|------|
| 仁多見俊夫 | 文部教官 助教授 | スウェーデン ノルウェー | 森林作業機械の情報収集と現地調査 のため | 9.6.5- 9.6.17 | 私費研修 |
| 芝野博文 | 文部教官 助教授 | 中国 | 華北平原における広域水収支研究の ための予備調査 | 9.6.28- 9.7.7 | 私費研修 |
| 大橋邦夫 | 文部教官 助教授 | ニュージーラ ンド | ニュージーランドの森林及び自然保 護制度に関する現地調査 | 9.7.30- 9.8.13 | 私費研修 |
| 吉田孝久 | 文部教官 助手 | ブルガリア | 第8回国際微分方程式会議出席 | 9.8.15- 9.8.25 | 私費研修 |
| 芝野博文 | 文部教官 助教授 | 韓国 | 東京大学演習林とソウル大学校演習 林とのシンポジウム・ワークショッ プ参加 | 9.8.26- 9.8.31 | 私費研修 |
| 春田泰次 | 文部教官 助助手 | 韓国 | 東京大学演習林とソウル大学校演習 林とのシンポジウム・ワークショッ プ参加 | 9.8.26- 9.8.31 | 私費研修 |
| 桐村剛 | 文部教官 助助手 | 韓国 | 東京大学演習林とソウル大学校演習 林とのシンポジウム・ワークショッ プ参加 | 9.8.26- 9.8.31 | 私費研修 |
| 松下範久 | 文部教官 助手 | フランス | 第9回根と根株腐朽に関する国際会 議出席 | 9.8.29- 9.9.9 | 私費研修 |

8出版・広報活動

8-1演習林報告

「演習林報告」97・98号を印刷発行した。

演習林報告第97号 6月発行

- 池田裕行・西山教雄・千島 茂・大橋邦夫・井出雄二
東京大学富士演習林ブナ植栽試験地の成長経過
..... 1-10
- 賢美
韓国と日本における都市中心部形成過程に関する比較研究
..... 11-92
- 金 相潤・永田 信
韓国と日本における都市型森林レクリエーション利用者の
利用特性および意識構造に関する社会経済学的分析
- - 韓国の北漢山国立公園と日本の明治の森・
高尾国定公園を事例として - -
..... 93-128
- 安村直樹・柴崎茂光・田村早苗・原田一宏・金 相潤・永田 信
森林に対する国民の期待について
- - 諸塚村と文京区のアンケート結果より - -
..... 129-148
- 寺田珠実・鴨田重裕・佐分義正
ユーカリ属培養細胞におけるフェニルアラニン
アンモニアリアーゼ活性(IV)
- - エリシターの影響 - -
..... 149-156
- 藤原章雄・斎藤 馨・石田 健
インターネットによる東京大学農学部附属演習林
マルチメディア情報の公開と課題
..... 157-178
- 李 春熙・永田 信
ソウルと東京における公園緑地関連行政組織の比較研究
..... 179-202
- 立花 敏
日本の針葉樹材需給構造に関する計量経済学的研究
..... 203-298

演習林報告第98号 12月発行

- 沈 海龍・井出雄二
中国東北地方の森林地帯における植栽針葉樹と

| | |
|--|---------|
| 天然更新広葉樹の混交林の造成技術 | 1-8 |
| 古田公人・久保田耕平・ムシャファ・岩本則長 人口酸性雨が大型土壤動物に与える影響とリターの有無 | 9-24 |
| 橋本善太郎 わが国の都道府県立自然公園制度の評価に関する研究 | 25-98 |
| 澤田晴雄・梶 幹男・五十嵐勇治・大村和也 秩父山地亜高山帯における風倒跡地林分の再生過程 | 99-116 |
| 春田泰次・仁王以智夫 スギ落葉の分解にともなう無機成分の流入と流出 | 117-134 |
| 熊谷朝臣・金子正則・白木克繁・執印康裕・鈴木雅一・太田猛彦 東京大学千葉演習林・袋山沢流域における森林土壌の水分特性 | 135-150 |
| 岩岡正博・有賀一広・小林洋司 履帯式ハーベスタ、フォワーダによる列状間伐が 残存木に与える影響 | 151-160 |
| 永井芳郎・岩岡正博・酒井秀夫・井上公基・小林洋司 自走式搬器による集材作業システムの検討 | 161-197 |

8-2演習林

演習林に関する資料集である「演習林」37号を印刷発行した。

演習林第37号 11月発行

農学部附属千葉演習林

千葉演習林第11期試験研究計画
(自平成9年度至平成16年度)

..... 1-82

農学部附属演習林

東京大学演習林気象報告
(自1996年1月至1996年12月)

..... 83-210

8-3著書

| 教官名 | 書名 |
|------|---|
| 佐倉詔夫 | 千葉県自然観察ガイド(分担執筆) |
| 石田 健 | 日本動物大百科3(ヤマシギ・アマミヤマシギ)、分担執筆 |
| 石田 健 | 日本動物大百科4(アオゲラ・アカゲラ・オオアカゲラ・コアカゲラ・コゲラ・ルリカケス)、分担執筆 |

8-4新聞・雑誌・放送等

| 新聞名 | 日付 | 表題 |
|----------------------------|----------------|-----------------------------|
| 千葉日報 | 10月14日 | 久留里線で亀山湖へ(ふれあい市民号に参加を) |
| 読売新聞 | 11月21日 | 紅葉した猪ノ川林道を一部開放 |
| 千葉日報 | 11月12日 | 紅葉の新名所誕生(東大演習林の一部開放) |
| ファミリア新聞 | 11月18日 | 東大演習林からのお知らせ(猪ノ川渓谷の一部を開放) |
| 房日新聞 | 11月11日 | 紅葉を楽しんで(東大の一部を開放) |
| 読売新聞 | 7月26日 | 緑と水は命の源(君津で森のサミット開催) |
| 千葉日報 | 7月25日 | 湧き水テ - マに活発意見(君津市で森のサミット) |
| 北海道新聞 | 5月27日 | 東大北海道演習林で公開セミナー |
| 日刊富良野 | 8月1日 | 環境にやさしい車 |
| 北海道新聞 | 8月22日 | 東大演習林の森林軌道 |
| 北海道新聞 | 11月12日 | 東大演習林の梶林長が講演 |
| 北海道新聞 | 12月14日 | イントラネット威力発揮 |
| 「地球フォーカス」 パーフェクTV ch227 | 3月3日 | 犬山研究林「野鳥の食餌植物園」 |
| 伊豆新聞 | 6月17日 | 1泊2日で体験教室開始 下田小学校 |
| 伊豆新聞 | 6月27日 | 下田・賀茂グラフウイークリー |
| S H K | 8月18日 | 自然のすばらしさを！～下田小学校体験教室～ |
| 伊豆新聞 | 9月22日 | 南伊豆町青野 雑木林で自然観察 県内東京から10人参加 |
| 伊豆新聞 | 9月26日 | 下田・賀茂グラフウイークリー |
| 静岡おもしろ遊び場ガイド | るるぶ情報 版中部31 | 東京大学農学部附属演習林樹芸研究所 |

8-5学内広報・その他広報

| 誌名 | 号数 | 題名 |
|--------|--------|----------------------------------|
| 文教速報 | 第5623号 | 公開講座「市民のための森林学入門」春季講座 |
| 文教速報 | 第5624号 | 秩父演習林公開講座「奥秩父の自然と人のかかわり」 |
| 文教速報 | 第5631号 | 東大北海道演習林が第3回公開セミナー |
| 文教ニュース | 第1424号 | 東大北海道演習林公開セミナー |
| 学内広報 | 第1099号 | 秩父演習林で公開講座「奥秩父の自然と人のかかわり」開催される |
| 学内広報 | 第1098号 | 愛知演習林で公開講座「市民のための森林学入門」春季講座開催される |
| 学内広報 | 第1101号 | 第3回北海道演習林公開セミナー |
| 学内広報 | 第1103号 | 演習林樹芸研究所で「朝日グリーンセミナー」開催される |
| 文教速報 | 第5640号 | 小学生対象に「森林教室」- 東大演習林樹芸研究所 - |
| 学内広報 | 第1104号 | 演習林樹芸研究所「第5回森林教室」103人の参加で開催される |
| 学内広報 | 第1106号 | 北海道演習林で職員安全対策講習会 |
| 学内広報 | 第1106号 | 平成9年度「森林体験セミナー」参加募集 |
| 文教速報 | 第5679号 | 「第2回東京大学・ソウル大学演習林シンポジウム」開催 |
| 文教速報 | 第5694号 | 田無試験地で「第7回森林体験セミナー」開催 |
| 文教速報 | 第5697号 | 東大演習林樹芸研究所、森林教室を開催 |
| 文教ニュース | 第1448号 | 東大演習林 樹芸研究所において森林教室開催 |
| 学内広報 | 第1110号 | 第2回東京大学・ソウル大学両校演習林シンポジウム開催 |
| 学内広報 | 第1113号 | 農学部附属演習林樹芸研究所において森林教室開催 |
| 文教速報 | 第5694号 | 平成9年度東京大学農学部附属演習林森林体験セミナー |
| 文教速報 | 第5702号 | 愛知演習林で「市民のための森林学入門講座」開催 |
| 文教ニュース | 第1447号 | 平成9年度東京大学農学部附属演習林森林体験セミナー |
| 学内広報 | 第1114号 | 平成9年度東京大学農学部附属演習林森林体験セミナー |

9 各種委員会報告

9-1 運営委員会

運営委員会は、演習林規則第5条により設置したもので演習林の管理および運営に関する重要事項を審議する。今年度は平成9年7月9日および平成10年3月10日の2回開催された。

また、委員は、委員長である演習林長が

- ・演習林の教授および助教授
- ・農学部長が推薦する農学部の教授又は助教授

に委嘱する。

9-2 地方林長会議

演習林における種々の活動について報告および審議がなされる。今年度の開催は平成9年7月9日、平成9年12月10日および平成10年3月10日の3回であった。

会議は、

- ・地方演習林の林長
- ・事務長、事務長補佐、掛長

で構成されている。

地方林長会議の前に本部研究部の講師以上の教官を含めた、小委員会を開催し、林長会議の議題整理並びに検討を行った。

9-3 補佐会議

本演の林長の補佐会議であり、演習林会議と同様に演習林長の諮問機関である。毎月1回会議がもたれた（8月を除く）。

9-4 演習林会議

演習林長の諮問機関の役割を持つ。毎月1度開催された（8月を除く）。会議のメンバーは、助教授以上の教官、事務長である。

9-5 将来計画委員会

1992年3月の演習林長会議で、自己点検・評価を行うために発足した。委員会は演習林の教授、助教授によって構成される。拡大将来計画委員会には演習林長、林長補佐、森林科学専攻長、生物材料科学専攻長が加わる。平成9年度の開催日は以下の通りである。

拡大将来計画委員会

平成9年4月11日、5月13日、12月3日、平成10年3月17日

9-6 演習林編集委員会

当演習林の発行する「東京大学農学部演習林報告」、「演習林」の発行編集を行う委員会である。平成9年度は計6回の委員会が開催された。（8出版・広報活動参照）

9-7 演習林施設委員会

演習林の「施設の適正利用と改善の方策について」検討するため、平成8年2月16日から委員会を設置し、平成9年度には、1回の委員会が開催された。

9-8 全演の事務主任会議

平成9年7月24日～7月25日に開催された。当初予算配分の説明、地方演の近況報告、各掛所管事項の説明などが行われた。周知確認のための会議であり、構成員は本部事務部掛主任以上、地方演事務主任である。

10学外各種委員会

延べ31人に及ぶ教官が学外で各種委員会の委員となっている。

| 教官名 | 委員会名称 | 委員会所轄機関 |
|-------|-------------------------------|----------------|
| 井出雄二 | 千葉県スギ溝腐病対策委員会 | 千葉県 |
| 井出雄二 | 千葉県流域林業活性化協議会 | 千葉県 |
| 井出雄二 | 千葉県みどりの県民会議 | 千葉県 |
| 井出雄二 | 千葉県森林審議会 | 千葉県 |
| 井出雄二 | 樹木医認定委員会 | 財)日本緑化センター |
| 井出雄二 | 日本林学会評議委員 | 日本林学会 |
| 井出雄二 | 林業技術編集委員会 | (社)日本林業技術協会 |
| 井出雄二 | 林木育種協会理事 | (社)林木育種協会 |
| 井出雄二 | 林木の育種編集委員 | (社)林木育種協会 |
| 井出雄二 | 農林水産省ジーンバンク事業林木遺伝資源部会 | 林木育種センター |
| 井出雄二 | 熱帯林再生技術研究組合技術開発委員会 | 熱帯林再生技術研究組合 |
| 井出雄二 | 林学研究連絡委員会 | 日本学会会議 |
| 鴫田 好 | 千葉県鳥獣保護委員 | 千葉県安房支庁 |
| 前原 忠 | 千葉県鳥獣保護委員 | 千葉県安房支庁 |
| 山中征夫 | 千葉県鳥獣保護委員 | 千葉県安房支庁 |
| 梶 幹男 | 自然環境保全基礎調査植生分科会 | 環境庁自然保護局 |
| 梶 幹男 | 日本林学会北海道支部評議委員会 | (財)日本林学会北海道支部会 |
| 梶 幹男 | 入札監視委員会 | 旭川営林支局 |
| 木佐貫博光 | 日本林学会北海道支部幹事会 | 日本林学会北海道支部 |
| 木佐貫博光 | 日本林学会北海道支部あり方検討委員会 | 日本林学会北海道支部 |
| 木佐貫博光 | 北海道林木育種協会編集委員会 | (財)北海道林木育種協会 |
| 木佐貫博光 | 北海道林木育種協会評議委員会 | (財)北海道林木育種協会 |
| 仁多見俊夫 | 機械化開発委員会 | 社団法人林業機械化協会 |
| 蒲谷 肇 | 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止委員会 | 千葉県富津市・君津市 |
| 蒲谷 肇 | 千葉県史自然誌系維管束植物・植生執筆委員会 | (財)千葉県史料研究財団 |
| 蒲谷 肇 | 千葉県自然環境保全審議会 | 千葉県 |
| 山本博一 | 農林水産統計観測審議会 | 農林水産省統計情報部 |
| 佐倉詔夫 | 千葉県史編纂、維管束植物・植生執筆委員会 | (財)千葉県史料研究財団 |
| 石田 健 | 評議員会 | 日本鳥学会 |

| 教官名 | 委員会名称 | 委員会所轄機関 |
|------|-----------|---------|
| 石田 健 | 目録編集委員会 | 日本鳥学会 |
| 石田 健 | 森林科学編集委員会 | 日本林学会 |

11山火事予防活動

山火事の予防は森林の管理の中でも極めて重要な位置を占めており、消火訓練や研修だけでなく通常の警戒にも力を入れている。

| 名称 | 場所 | 日程 | 参加人数 |
|---------------------------------|-----------|------------------|------|
| 春季火防警戒 | 郷台作業所管内 | 4月19日 | 30 |
| 林野火災予防強調期間中の林内巡視及び日直 | 北海道演習林 | 4月21日～ 5月31日 | 53 |
| 山火事防止のための監視 大滝村主催、共催団体秩父演習林他 | 大滝村 | 11月15日～2 月15日 | 7 |
| 消防訓練 | 秩父演習林栃本管内 | 1月21日 | 15 |
| 冬季火防警戒 | 清澄作業所管内 | 2月4日 | 30 |
| 赤津地区山火事予防訓練 | 赤津作業所 | | 5 |
| 犬山地区山火事予防訓練 | 犬山作業所 | | 5 |

12主要設備

平成9年度に購入した概ね100万円以上の主要設備は以下の通りである。

| | |
|----------------------------|----------------|
| 設備名称 | 設備用途 |
| トヨタ製 ハイゼンゴ`ン4WD デラックス(ロング) | 事務連絡、業務用 |
| 新キャタピラー三菱製 ミニバックホー | 土木用 |
| アイティーオー製 ショーケース | 標本展示用 |
| 小松フォークリフト(株)製 ヒンジドフォークリフト | 土木用 |
| 床作機 | 種苗事業用整地アタッチメント |
| トヨタ ハイラックス | 土木事業用車両 |
| 三菱 ホイルローダ | 土木事業用重機械 |
| ディスクモアー | 林道草刈用アタッチメント |
| 設備名称 | 設備用途 |
| コマツホイルローダ | 林道等の維持補修 |
| コマツミニショベル | 土木作業用 |

13年間行事表

| 月 | 行事内容 |
|-----|---|
| 4月 | 春季火災予防研修(千葉),消防訓練,安全祈願祭,富良野市林野火災予消防対策協議会,麓郷森林愛護組合総会,布部地区林野火災予消防対策協議会,山部森林愛護組合総会,林野火災予消防強調月間(北海道),東大野生動物野外調査実習(秩父),日本林学会大会、土壌肥料学会、植樹祭、苗畑除草施肥灌水、愛知演習林公開講座「春季講座」(愛知),植樹祭(樹芸),農学部森林系3専修造林学実験(田無) |
| 5月 | 春季業務研修会(千葉),植樹祭,演習林公開セミナー「森と人とのかかわり」(北海道),東大森林土木学実習,公開講座「奥秩父の自然と人のかかわり」,東大森林生態圏管理学大講座実習,ワサビ沢利用に関する検討会(秩父),利用者研究集会、苗畑除草施肥灌水(愛知),朝日グリーンセミナー(森林文化協会)(樹芸),農学部森林系3専修造林学実験・森林動物学実験(田無) |
| 6月 | 一般定期健康診断,日本林学会北海道支部シンポジウム(北海道),東大森林科学専攻主催「森林でのガイダンス」,東邦大学野外実習,国際基督教大学植物実習(秩父),森林保全学実習、苗畑除草施肥灌水(愛知),則武事務長補佐,備品購入現地検討(富士),森林教室(小学生)(樹芸),農学部森林系3専修森林動物学実験(田無) |
| 7月 | TEPCOペアオッチング(千葉),安全会議,林内作業の安全に関する講習会,教育学部附属高等学校実習(北海道),東大森林植物学実習,東大森林土壌学実習,立教大学博物館巡検実習,国道140号調整会議,予算会議(秩父),堰堤砂出し、苗畑除草施肥灌水(愛知),ヨット部棧橋造り、山中寮閉寮祭、山中寮消防訓練、事務主任会議(富士),学生実習(高校生)(樹芸),農学部森林系3専修造林学実験(田無) |
| 8月 | 立木処分競争入札(千葉),林学科実習(北海道),直営生産事業安全講習会,埼玉県秩父農工高校樹木実習(秩父),苗畑除草施肥灌水(愛知),山中寮閉寮祭(富士),予算会議(樹芸) |
| 9月 | 胸部・胃部健康診断,教養学部少人数講義,北海道地方演習林業務担当者会議,レクリエーション大会(北海道),東大教養学部集中講義「森林と人のかかわり」(秩父),立木処分調査(愛知),国際農学専修 森林実習(樹芸),農学部森林系3専修森林動物学実験(田無) |
| 10月 | 林道工事競争入札(千葉),北海道地方演習林協議会(北海道),給与簿監査(秩父),日本林学会中部支部会、技術官等試験研究・研修会議、測量学実習、立木処分調査(愛知),技官研修会議(富士),健康診断(樹芸) |
| 11月 | 秋季業務安全研修(千葉),日本林学会北海道支部研究発表大会,特別健康診断,シカ猟解禁(北海道),全体会議(秩父),山の神祭礼、施設(営繕)関係調査の立ち会い、蔓きり除伐、立木処分調査、愛知演習林公開講座秋季講座(愛知),森林教室(小学校)(樹芸),農学部附属演習林森林体験セミナー(田無) |
| 12月 | 交通安全講習会,健康管理講習会(北海道),全体会議(秩父),御用納め、蔓きり除伐(愛知) |
| 1月 | 消防救急講習会(秩父),御用始め、蔓きり除伐(愛知),大雪,積雪1m超,作業小屋屋根潰れる(富士),岩樟園林道延長(7工区)工事入札(樹芸) |
| 2月 | 冬季火災予防研修,業務安全研修(千葉),北海道林業技術研究発表会,各営林支局業務研究発表会(北海道),地ごしらえ(愛知) |
| 3月 | 上川地区林野火災予消防対策協議会,森林総合研究所北海道支所研究発表会,麓郷ラングラウフ,持続的森林経営に関する現地検討会(北海道),金庫検査(秩父),名古屋大学測量学実習、平成8年度末帳簿及び金庫の定時検査有名林業地見学旅行(愛知),樹芸研究所研修、田無試験地栗田技官,石塚技官来演,研修、平成10年度演習林交換会下見、作業小屋屋根修理終了(富士) |

III 資料

1 人事異動

1997年4月1日付

| 新官職名 | 氏名 | 旧官職名 |
|---------------------------------|-------|---------------------------------|
| 農学部附属演習林長・富士演習林長・大学院農学生命科学研究科教授 | 八木久義 | 大学院農学生命科学研究科教授 |
| 大学院農学生命科学研究科教授 | 熊谷洋一 | 農学部附属演習林長・富士演習林長・大学院農学生命科学研究科教授 |
| 農学部附属演習林事務長 | 植田榮司 | 工学部・工学系研究科經理課長 |
| 農学部附属演習林会計掛長 | 関辰男 | 原子力研究総合センタ - 会計掛長 |
| 北海道演習林庶務掛長 | 高橋克郎 | 北海道大学農学部庶務掛企画主任 |
| 農学部附属演習林管財掛主任 | 戸田浩 | 地震研究所用度掛 |
| 愛知演習林事務室主任 | 加藤正勝 | 愛知演習林事務掛 |
| 農学部附属演習林庶務掛 | 伊藤由利子 | 法学部・法学政治学研究科庶務掛 |
| 農学部附属演習林用度掛 | 蛭川聖二 | 工学部附属総合試験所会計掛 |
| 千葉演習林試験掛・文部技官（技術職員） | 山中千恵子 | 千葉演習林試験掛・文部技官（実験助手） |
| 北海道演習林種苗造林掛 | 磯崎靖雄 | 〔新規採用〕 |
| 社会科学研究所事務長 | 鈴木利次 | 農学部附属演習林事務長 |
| 生産技術研究所総務課調査主任・第4部業務掛長（併） | 吉田農夫男 | 農学部附属演習林会計掛長 |
| 旭川医科大学総務部庶務課専門職員 | 間口辰博 | 北海道演習林庶務掛長 |
| 東京水産大学庶務課人事係長 | 座間秀子 | 農学部附属演習林庶務掛人事主任 |
| 經理部管財課管財第一掛 | 品川陽一 | 農学部附属演習林用度掛 |
| 先端科学技術研究センタ - 經理掛 | 瀧口節生 | 農学部附属演習林管財掛 |
| 千葉演習林造林掛主任・清澄作業所主任（併） | 鴫田好 | 千葉演習林清澄作業所主任・造林掛主任（併） |
| 千葉演習林郷台作業所主任 | 村川功雄 | 千葉演習林郷台作業所 |
| 千葉演習林郷台作業所 | 阿達康真 | 千葉演習林生産処分掛 |
| 千葉演習林事務掛・生産処分掛（併） | 石野裕昭 | 千葉演習林事務掛 |
| 北海道演習林山麓作業所調査第一掛 | 松井理生 | 北海道演習林種苗造林掛 |

1997年9月1日付

| 新官職名 | 氏名 | 旧官職名 |
|--------------------------|------|---------------------------------|
| 農学部附属演習林長・大学院農学生命科学研究科教授 | 八木久義 | 農学部附属演習林長・富士演習林長・大学院農学生命科学研究科教授 |
| 富士演習林長・研究部・講師 | 石田健 | 研究部・講師 |
| 研究部・助手 | 中村昇 | 北海道演習林・助手 |

1997年9月16日付

| 官職名 | 氏名 | 適用 |
|--------------|------|----|
| 農学部附属演習林管財掛長 | 古川松夫 | 死亡 |

1997年10月1日付

| 新官職名 | 氏名 | 旧官職名 |
|----------------------|-----|------------------------|
| 千葉演習林調査掛主任・試験掛(併)・講師 | 中村昇 | 研究部・助手 |
| 千葉演習林施業掛主任・助手 | 石原猛 | 千葉演習林調査掛主任・施業掛主任(併)・助手 |

1997年11月1日付

| 新官職名 | 氏名 | 旧官職名 |
|----------------------|-------|-------------------|
| 秩父演習林造林掛主任 | 大畑茂 | 秩父演習林造林掛主任・影森苗畑主任 |
| 秩父演習林土木掛主任・試験掛(併) | 千嶋武 | 秩父演習林大血川作業所主任 |
| 秩父演習林大血川作業所主任・試験掛(併) | 澤田晴雄 | 秩父演習林試験掛 |
| 秩父演習林影森苗畑主任 | 田代八郎 | 秩父演習林土木掛主任 |
| 秩父演習林施業・調査掛・試験掛(併) | 齋藤俊浩 | 秩父演習林試験掛 |
| 秩父演習林施業・調査掛・試験掛(併) | 高野充広 | 秩父演習林造林掛 |
| 秩父演習林造林掛・試験掛(併) | 五十嵐勇治 | 秩父演習林施業・調査掛 |

1997年12月1日付

| 新官職名 | 氏名 | 旧官職名 |
|--------------|------|--------|
| 北海道演習林試験掛・助手 | 鴨田重裕 | 研究部・助手 |

1998年1月16日付

| 新官職名 | 氏名 | 旧官職名 |
|-------------------------------|------|-----------------------|
| 研究部・講師 | 佐倉詔夫 | 千葉演習林試験掛・講師 |
| 農学部附属演習林管財掛長 | 野沢時彦 | 北海道演習林管財掛長・営繕掛 (併) |
| 北海道演習林総務主任・管財掛 長(併)・営繕掛(併) | 日向雅道 | 北海道演習林総務主任 |

1998年3月31日付

| 官職名 | 氏名 | 適用 |
|---------------------------|-------|------|
| 農学部附属演習林事務長補佐 | 則武讓 | 定年退職 |
| 千葉演習林土木掛主任 | 朝生忠義 | 定年退職 |
| 千葉演習林造林掛主任・清澄作 業所主任(併) | 鴫田好 | 定年退職 |
| 千葉演習林清澄作業所 | 菅野信一 | 定年退職 |
| 北海道演習林山麓作業所主任 | 鎌田登 | 定年退職 |
| 秩父演習林事務主任 | 根岸宗一郎 | 定年退職 |
| 愛知演習林・事務主任(併) | 勝野良則 | 定年退職 |

2 収入・支出

2-1 予算及び決算額

| | |
|---------|-------------|
| 人件費 | 1,149,133千円 |
| 物件費 | |
| 校費 | 546,111千円 |
| 土地建物借料 | 8,415千円 |
| 市区町村交付金 | 84,369千円 |
| 受託研究 | 29,190千円 |
| 施設整備費 | 40,177千円 |
| その他 | 27,454千円 |
| 計 | 735,716千円 |
| 合計 | 1,884,849千円 |

2-2 歳入決算内訳書

| 科目及び目の区分 | 収 納 済 歳 入 額 | | | 備考 |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|-----------------|
| | 現金分 | 納入告知書等分 | 計 | |
| (項) 雑収入 | 円 | 円 | 円 | |
| (目) 学校財産貸付料 | | | | |
| 土地貸付料 | 0 | 15,895 | 15,895 | |
| 建物及物件貸付料 | 1,134,872 | 0 | 1,134,872 | |
| (目) 用途指定寄附金受入 | 0 | 4,650,000 | 4,650,000 | 学術研究費 4件 |
| (目) 受託調査試験等収入 | | | | |
| 受託研究調査試験 検査等収入 | 0 | 29,400,000 | 29,400,000 | 受託研究29,400,000円 |
| (目) 弁償及違約金 | 0 | 0 | 0 | |
| 損害賠償金 | 0 | 0 | 0 | |
| (目) 農場及演習林収入 | | | | |
| 演習林収入 | 0 | 283,661,270 | 283,661,270 | |
| | 0 | 283,661,270 | 283,661,270 | |
| (目) 雑入 | | | | |
| 延納利子収入 | 0 | | | |
| 返納金 | 0 | 869,974 | 869,974 | 演習林関係 |
| 延滞金 | 0 | 1,030 | 1,030 | 自賠償保険料の戻り |
| | 0 | 5,097 | 5,097 | 北海道演習林山本木材(株)分 |
| 合計 | | | 319,738,138 | |

2-3 演習林収入歳入決算内訳細分表

| 区 分 | 立 木 | 素 材 | その他 | | 合 計 |
|--------|-------------------------|-------------------------|----------|---------|--------------|
| | | | ヒサカキ | 苗木 | |
| 千葉演習林 | 4,478.05m ³ | 98.294m ³ | 275束 | 700本 | 72,291,779円 |
| | 69,744,500円 | 2,249,329円 | 239,250円 | 58,700円 | |
| 北海道演習林 | 28,295.39m ³ | 5,556.613m ³ | | 330本 | 200,875,009円 |
| | 95,860,590円 | 104,981,869円 | | 32,550円 | |
| 秩父演習林 | 175.59m ³ | 299.119m ³ | | | 7,176,982円 |
| | 1,942,500円 | 5,234,482円 | | | |
| 愛知演習林 | 510.89m ³ | | | | 3,317,500円 |
| | 3,317,500円 | | | | |
| 合 計 | 33,459.92m ³ | 5,954.026m ³ | 275束 | 1,030本 | 283,661,270円 |
| | 170,865,090円 | 112,465,680円 | 239,250円 | 91,250円 | |

3 組織図

3-1 本部

| 組織（主任職員） | | | 配置職員（教職員） | | 配置職員（非常勤職員） |
|----------|-----------------------------|-----------------------------|-----------|--------------------------------------|-------------|
| 演習林長 | 教授 | 八木 久義 | | | |
| 事務長 | | 植田 榮司 | | | |
| 事務長補佐 | | 則武 讓 | | | |
| 会計主任 | | 林 忠博 | | | |
| 庶務掛 | 掛長 | 五十嵐 勉 | 事務官 | 伊藤 由利子 | |
| | 掛主任 | 遠藤久美子 | 事務官 | 菊地 仁一 | |
| 会計掛 | 掛長 | 関 辰男 | 事務官 | 江頭 裕士 | |
| | 給与主任 | 紺野喜久恵 | | | |
| 用度掛 | 掛長（併） | 林 忠博 | 事務官 | 蛭川 聖二 | 唐木田昭子 |
| 管財掛 | 掛長 | 古川 松夫 | 事務官 | 伊福 晃 | |
| | | <small>平成9年9月16日まで</small> | | | |
| | 掛長 | 野沢 時彦 | | | |
| | | <small>平成10年1月16日より</small> | | | |
| | 掛主任 | 戸田 浩 | | | |
| 研究部 | 部長・教授 | 山本 博一 | （併）教授 | 井出 雄二 | |
| | | | （併）助教授 | 大橋 邦夫 | |
| | | | 講師 | 佐倉 詔夫 | |
| | | | | <small>平成10年1月16日より</small> | |
| | | | 講 師 | 石田 健 | |
| | | | 助手 | 中村 昇 | |
| | | | | <small>平成9年9月1日より平成9年9月30日まで</small> | |
| 助 手 | 鴨田 重裕 | | | | |
| | <small>平成9年11月30日まで</small> | | | | |
| 助 手 | 藤原 章雄 | | | | |
| 事務官 | 三井 伸子 | | | | |

3-2 千葉演習林

| 組織（主任職員） | | | 配置職員（教職員） | | 配置職員（非常勤職員） | |
|----------|-------|-----------------------|-----------|----------|-------------|--|
| 林長 | 教授 | 井出 雄二 | | | | |
| 林長補佐 | 講師 | 佐倉 詔夫 平成10年1月15日まで | | | | |
| 事務掛 | 事務主任 | 若月八重子 | 事務官 | 野山 智 | | |
| | | | 事務官 | 田山 勝則 | | |
| | | | 事務官 | 石野 裕昭 | | |
| 宿泊管理掛 | 主任 | 永島 利夫 | | | 糟谷 育代 | |
| | | | | | 鈴木 俊江 | |
| | | | | | 行方 和子 | |
| 調査掛 | 主任・助手 | 石原 猛 | | | | |
| | 助手 | 中村 昇 | | | | |
| | | 平成9年10月1日より | | | | |
| 施設管財掛 | 主任 | 永島 初義 | 技 官 | 鈴木 祐紀 | | |
| 施 業 掛 | 主任（併） | 石原 猛 | 技 官 | 石川 敏朗 | | |
| 生産処分掛 | 主任 | 鶴見 康幸 | 技 官 | 石野 裕昭（併） | | |
| 土 木 掛 | 主任 | 朝生 忠義 | 技 官 | 大石 諭 | | |
| 造 林 掛 | 主任（併） | 鴫田 好 | 技 官 | 米道 学 | | |
| 試 験 掛 | 主任・助手 | 鈴木 誠 | 助 手 | 山中 征夫 | | |
| | | | 助 手 | 前原 忠 | | |
| | | | 助 手 | 蔵治光一郎 | | |
| | | | 技 官 | 山中千恵子 | | |
| 清澄作業所 | 主任 | 鴫田 好 | 技 官 | 大塚 明宏 | 滝川マサ子 | |
| | | | 技 官 | 藤平 晃司 | 岡本 眸 | |
| | | | 技 官 | 菅野 信一 | | |
| 札郷作業所 | 主任 | 唐鎌 勇 | 技 官 | 塚越 剛史 | 糟谷 いさ | |
| | | | 技 官 | 軽込 勉 | 黒川よし子 | |
| | | | | | 鈴木 貞夫 | |
| | | | | | 鈴木ユキエ | |
| 郷台作業所 | 主任 | 村川 功雄 | 技 官 | 里見 重成 | 鴫田美登里 | |
| | | | 技 官 | 阿達 康眞 | 鴫田 英子 | |
| | | | | | 加藤 みよ | |

3-3 北海道演習林

| 組織（主任職員） | | | 配置職員（教職員） | | 配置職員（非常勤職員） |
|------------|---|----------------|---|---------------------------------|---|
| 林長 | 教授 | 梶 幹男 | | | |
| 林長補佐 | 講師 | 高橋 郁雄 | | | |
| 総務主任 | | 日向 雅道 | | | |
| 庶務掛 | 掛長 主任 | 高橋 克郎 五十嵐信春 | 事務官 技 官 | 天山 学 大屋 裕子 | 穴澤三恵子 |
| 会計掛 | 掛長 経理主任 | 横田 隆義 越智 俊子 | 事務官 事務官 | 米田 久和 横山 和宏 | |
| 管財掛 | 掛長 <small>平成10年1月15日まで</small> 掛長（併） <small>平成10年1月16日より</small> | 野沢 時彦 日向 雅道 | 事務官 | 岡田 教和 | |
| 営繕掛 | | | 事務官（併） <small>平成10年1月15日まで</small> 事務官（併） <small>平成10年1月16日より</small> | 野沢 時彦 日向 雅道 | 大地留美子 |
| セミナーハウス（併） | | 高橋 克郎 | | | 矢野勝次郎、松平 安雄 山本八ナ子、飯沼 芳子 |
| 業務主任 | | 河原 漠 | | | |
| 調査企画掛 | 主任 | 芝野 伸策 | 技 官 | 木村 徳志 | |
| 種苗造林掛 | 主任 | 廣川 俊英 | 技 官 技 官 | 小澤 慰寛 磯崎 靖雄 | |
| 生産処分掛 | 主任 | 道上 昭夫 | 事務官（併） | 越智 俊子 | 吉田 幸子、藤島ノブ子 |
| 土木掛 | 主任 | 五十嵐秀雄 | 技 官 技 官 | 稲葉 文吉 飯沼 利雄 | 佐々木政夫 |
| 資料管理掛 | 主任 | 高橋 康夫 | 技 官 技 官 | 井口 和信 犬飼 雅子 | 伊原 悦子、宍戸ミエ子 新山美穂子 |
| 試験掛 | | | 助 手 助 手 <small>平成9年9月1日まで</small> 助 手 <small>平成9年12月1日より</small> 助 手 | 宮本 義憲 中村 昇 鴨田 重裕 木佐貫博光 | |
| 東山作業所 | 主任 | 高田 功一 | | | |
| 事務掛 | 事務主任 | 中島 満治 | | | 座間 悦子 |
| 造林掛 | 主任 | 島 強 | 技 官 技 官 | 清水目元一 大屋 一美 | 若菜ヤイコ、大島スミ子 本田 サタ、日向エイ子 押切 春二、鎌田 敬子 影山 キヨ、佐藤 文子 三和 謙一 |

| | | | | | |
|-------|----|-------|--------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 生産掛 | 主任 | 岩本 進一 | 技 官 技 官 技 官 技 官 | 坂口 敏雄 笠原 久臣 福士 憲司 伊原 重男 | 芳賀 一雄、荒木 寿幸 牧村 博、鶴田 博昭 千徳 勝洋 |
| 山麓作業所 | 主任 | 鎌田 登 | | | |
| 調査第一掛 | 主任 | 犬飼 浩 | 技 官 技 官 技 官 技 官 | 山本 勝彦 宅間 隆二 松井 理生 小池 征寛 | |
| 調査第二掛 | 主任 | 佐藤 烈 | 技 官 技 官 技 官 技 官 | 穴戸 憲治 高橋 範和 平田 雅和 岡平 卓巳 | |
| 山部樹木園 | 主任 | 小笠原繁男 | 技 官 技 官 | 岡村 行治 鈴木 憲 | 佐々木雅子、五十嵐嘉子 伊藤 君江、吉川 忠雄 |

3-4 秩父演習林

| 組織（主任職員） | | | 配置職員（教職員） | 配置職員（非常勤職員） |
|----------|---|----------------|--|---|
| 林長 | 助教授 | 仁多見俊夫 | | |
| 林長補佐 | 講師 | 蒲谷 肇 | | |
| 事務掛 | 事務主任 事務室主任 | 根岸宗一郎 大畑喜久江 | 事務官 大村 栄 事務官 萩原 稔 | 柴崎テル子 |
| 施業・調査掛 | 主任 | 山中 隆平 | 技 官 五十嵐勇治 平成9年10月31日まで 技 官 斎藤 俊浩 平成9年11月1日より 技 官 高野 充広 平成9年11月1日より | |
| 造林掛 | 主任 | 大畑 茂 | 技 官 高野 充広 平成9年10月31日まで 技 官 五十嵐勇治 平成9年11月1日より | |
| 生産処分掛 | 主任 | 佐々木和男 | | |
| 土木掛 | 主任 平成9年10月31日まで 主任 平成9年11月1日より | 田代 八郎 千嶋 武 | | |
| 試験掛 | 主任（併）・講師 | 蒲谷 肇 | 助手 安村 直樹 技 官 澤田 晴雄 平成9年10月31日まで11月1日より併任 技 官 斎藤 俊浩 平成9年10月31日まで11月1日より併任 技官(併) 大村 和也 技官(併) 千嶋 武 平成9年11月1日より 技官(併) 五十嵐勇治 平成9年11月1日より 技官(併) 高野 充広 平成9年11月1日より | |
| 栃本作業所 | 主任 | 大村 和也 | 技 官 小河 民也 技 官 大村 幸正 技 官 神塚 武一 | 原田多恵子 澤登きわ子 石川 亜紀 平成9年12月31日まで |
| 大血川作業所 | 主任 平成9年10月31日まで 平成9年11月1日より | 千嶋 武 澤田 晴雄 | 技 官 平野 和男 | 黒沢 音治 加藤 光三 平成9年12月31日まで 千島啓之助 |
| 影森苗畑 | 主任（併） 平成9年10月31日まで 平成9年11月1日より | 大畑 茂 田代 八郎 | | 大森己知男 |

3-5 愛知演習林

| 組織（主任職員） | 配置職員（教職員） | 配置職員（非常勤職員） |
|--|--|--|
| 林長 助教授 芝野 博文 | | |
| 林長補佐 | | |
| 事務掛 事務主任 勝野 良則 事務室主任 加藤 正勝 平成9年4月1日より 事務室主任 春田まち子 | | |
| 調査処分掛 | 技官（併） 築瀬 憲次 技 官 荒木田善隆 | |
| 造林掛 | 技官（併） 原 孝秀 技 官 後藤 太成 | |
| 土木営繕掛 | 技 官 渡部 賢 | |
| 試験掛 | 助 手 春田 泰次 助 手 吉田 孝久 助 手 桐村 剛 技 官 荒木田きよみ | |
| 赤津作業所 主任 原 孝秀 | | 熊谷喜美子 |
| 白坂苗畑 | 技 官 井上 淳 | 大川くに子 胡桃沢 清 胡桃沢晃子 横道ヨシエ 平成9年7月31日まで 長尾志奈子 田中 佳重 平成9年12月1日より |
| 犬山作業所 主任 築瀬 憲次 | | 伊藤半二郎 |
| 東山試験地 | 助 手 春田 泰次 | |
| 穴の宮試験地 | 技 官 後藤 太成 | |
| 新居試験地 | （併）助教授 芝野 博文 | 近藤よし江 |

3-6 富士演習林

| 組織（主任職員） | 配置職員（教職員） | 配置職員（非常勤職員） |
|--|-----------------------|-------------------------|
| 林長（併） 教 授 八木 久義 平成9年8月31日まで 講 師 石田 健 平成9年9月1日より | | |
| 試験・業務掛 | 技 官 西山 教雄 技 官 千島 茂 | 高村 洋子 坂本 松雄 大森三千男 |

3-7 樹芸研究所

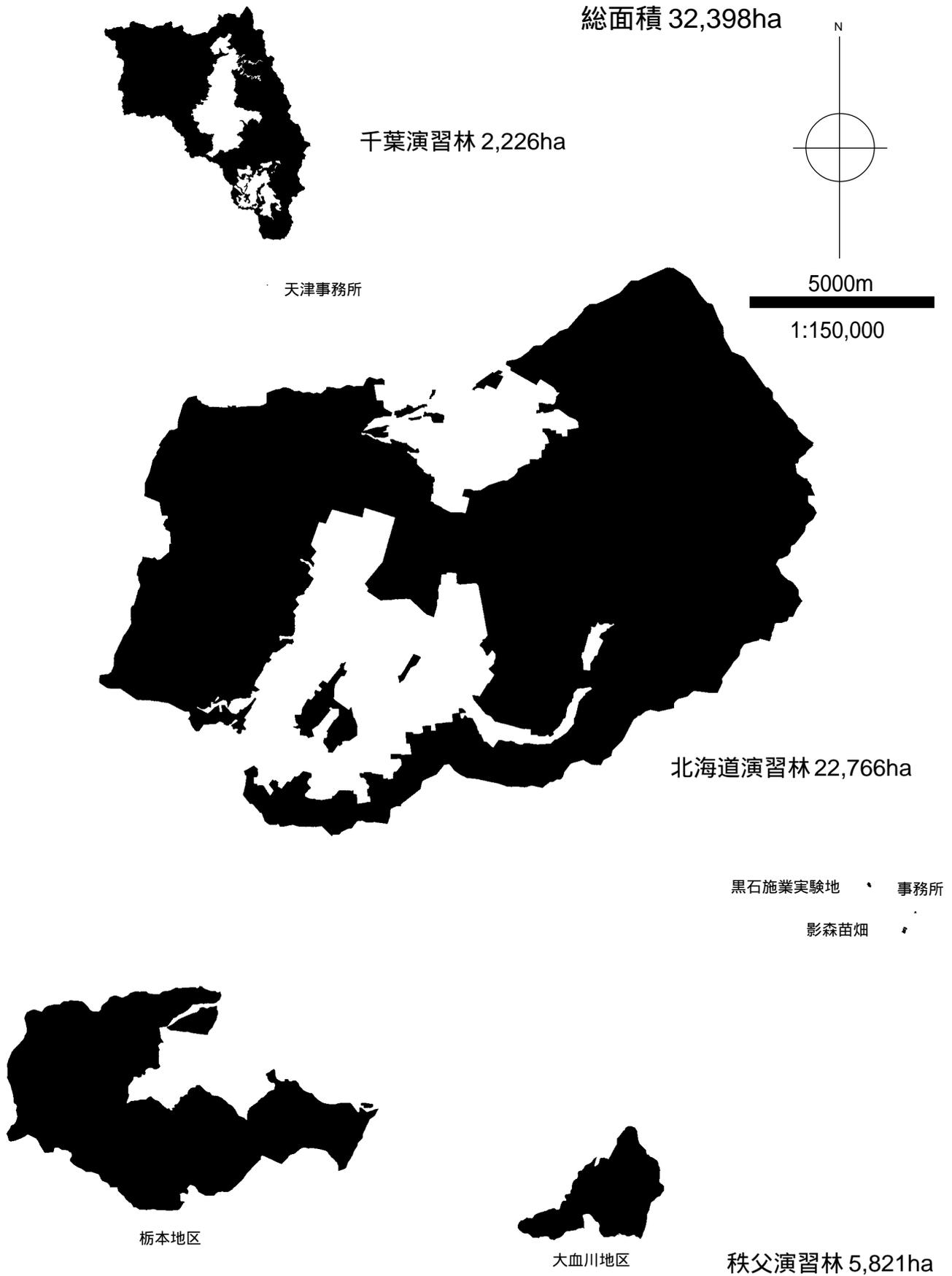
| 組織（主任職員） | | 配置職員（教職員） | 配置職員（非常勤職員） |
|----------|--------------------------|---|-------------------------|
| 所長（併） | 教授 山本 博一 | | |
| 所長補佐 | 助手 池田 裕行 | | |
| 事務掛 | 総括主任 山田 博明 庶務主任 高橋 久恵 | | |
| 試験掛 | 主任（併） 池田 裕行 | 助手 松下 範久 技官 村瀬 一隆 技官 辻 和明 技官 浅野 良子 | 山田 必子 須藤 和子 土屋 福江 |
| 青野作業所 | 主任 渡邊 良広 | | 鈴木 光子 鈴木恵美子 犬塚 兌子 |

3-8 田無試験地

| 組織（主任職員） | | 配置職員（教職員） | 配置職員（非常勤職員） |
|----------|-----------|--|----------------------------|
| 試験地主任 | 助教授 大橋 邦夫 | | |
| 試験・業務掛 | | 助手 中山 正道 技官 石塚 孝一 技官 岩本 則長 技官 栗田 直明 | 佐々木 スミ子 野中 富雄 澤島 よし江 |

IV 付録

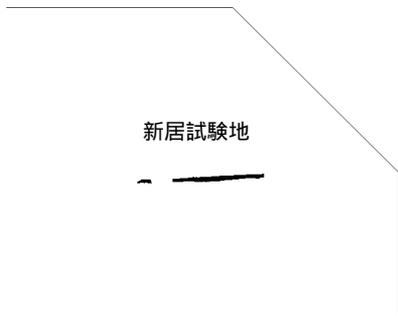
1 東京大学農学部附属演習林 同縮尺図





犬山研究林

愛知演習林 1,292ha



新居試験地

穴の宮試験地



事務所



赤津研究林



富士演習林 38ha



青野研究林



加納研究林・事務所

樹芸研究所 246ha



田無試験地 9.1ha

研究部

2各演習林所在地および連絡先

研究部

〒113-8657
東京都文京区弥生1-1-1
電話 03-5841-5497
ファックス 03-5841-5494

千葉演習林

〒299-5503
千葉県安房郡天津小湊町天津770
電話 0470-94-0621
ファックス 0470-94-2321

北海道演習林

〒079-1561
北海道富良野市字山部2条通北1
電話 0167-42-2111
ファックス 0167-42-2689

秩父演習林

〒368-0034
埼玉県秩父市日野田町1-1-49
電話 0494-22-0272
ファックス 0494-23-9620

愛知演習林

〒489-0031
愛知県瀬戸市五位塚町11-44
電話 0561-82-2371
ファックス 0561-85-2838

富士演習林

〒401-0501
山梨県南都留郡山中湖村山中341-2
電話 0555-62-0012
ファックス 0555-62-4798

樹芸研究所

〒415-0304
静岡県加茂郡南伊豆町加納457
電話 0558-62-0021
ファックス 0558-62-3170

田無試験地

〒188-0002
東京都田無市緑町1-1-8
電話 0424-61-1528
ファックス 0424-61-1528

3 教職員の写真

(次ページより)

平成9年4月1日から平成11年3月31日(発行日)の期間中に在職した方で、希望のあった方の写真を掲載しております。